

政府開発援助(O DA)
国別データ集
2022

外務省国際協力局 編

東アジア・東南アジア地域に対する ODA.....	2	[11] コロンビア.....	118
[1] インドネシア.....	4	[12] ジャマイカ.....	120
[2] カンボジア.....	6	[13] スリナム.....	122
[3] タイ.....	8	[14] セントクリストファー・ネービス.....	124
[4] 東ティモール.....	10	[15] セントビンセント及びグレナディーン諸島.....	126
[5] フィリピン.....	12	[16] セントルシア.....	128
[6] ベトナム.....	14	[17] チリ.....	130
[7] マレーシア.....	16	[18] ドミニカ国.....	132
[8] ミャンマー.....	18	[19] ドミニカ共和国.....	134
[9] モンゴル.....	20	[20] トリニダード・トバゴ.....	136
[10] ラオス.....	22	[21] ニカラグア.....	138
大洋州地域に対する ODA.....	26	[22] ハイチ.....	140
[1] キリバス.....	28	[23] パナマ.....	142
[2] クック.....	30	[24] バハマ.....	144
[3] サモア.....	32	[25] パラグアイ.....	146
[4] ソロモン.....	34	[26] バルバドス.....	148
[5] ツバル.....	36	[27] ブラジル.....	150
[6] トンガ.....	28	[28] ベネズエラ.....	152
[7] ナウル.....	40	[29] ベリーズ.....	154
[8] ニウエ.....	42	[30] ペルー.....	156
[9] バヌアツ.....	44	[31] ボリビア.....	158
[10] パプアニューギニア.....	46	[32] ホンジュラス.....	160
[11] パラオ.....	48	[33] メキシコ.....	162
[12] フィジー.....	50	中東・北アフリカ地域に対する ODA.....	166
[13] マーシャル.....	52	[1] アフガニスタン.....	168
[14] ミクロネシア連邦.....	54	[2] アルジェリア.....	170
南西アジア地域に対する ODA.....	58	[3] イエメン.....	172
[1] インド.....	60	[4] イラク.....	174
[2] スリランカ.....	62	[5] イラン.....	176
[3] ネパール.....	64	[6] エジプト.....	178
[4] パキスタン.....	66	[7] シリア.....	180
[5] バングラデシュ.....	68	[8] チュニジア.....	182
[6] ブータン.....	70	[9] トルコ.....	184
[7] モルディブ.....	72	[10] パレスチナ.....	186
中央アジア・コーカサス地域に対する ODA.....	76	[11] モロッコ.....	178
[1] ウズベキスタン.....	78	[12] ヨルダン.....	190
[2] カザフスタン.....	80	[13] リビア.....	192
[3] キルギス.....	82	[14] レバノン.....	194
[4] タジキスタン.....	84	サブサハラ・アフリカ地域に対する ODA.....	198
[5] トルクメニスタン.....	86	[1] アンゴラ.....	202
[6] アゼルバイジャン.....	88	[2] ウガンダ.....	204
[7] アルメニア.....	90	[3] エスワティニ.....	206
[8] ジョージア.....	92	[4] エチオピア.....	208
中南米地域に対する ODA.....	96	[5] エリトリア.....	210
[1] アルゼンチン.....	98	[6] ガーナ.....	212
[2] アンティグア・バーブーダ.....	100	[7] カーボベルデ.....	214
[3] ウルグアイ.....	102	[8] ガボン.....	216
[4] エクアドル.....	104	[9] カメルーン.....	218
[5] エルサルバドル.....	106	[10] ガンビア.....	220
[6] ガイアナ.....	108	[11] ギニア.....	222
[7] キューバ.....	110	[12] ギニアビサウ.....	224
[8] グアテマラ.....	112	[13] ケニア.....	226
[9] グレナダ.....	114	[14] コートジボワール.....	228
[10] コスタリカ.....	116	[15] コモロ.....	230
		[16] コンゴ共和国.....	232
		[17] コンゴ民主共和国.....	234

[18]	サントメ・プリンシペ	236
[19]	ザンビア	238
[20]	シエラレオネ	240
[21]	ジブチ	242
[22]	ジンバブエ	244
[23]	スーダン	246
[24]	セーシェル	248
[25]	赤道ギニア	250
[26]	セネガル	252
[27]	ソマリア	254
[28]	タンザニア	256
[29]	チャド	258
[30]	中央アフリカ	260
[31]	トーゴ	262
[32]	ナイジェリア	264
[33]	ナミビア	266
[34]	ニジェール	268
[35]	ブルキナファソ	270
[36]	ブルンジ	272
[37]	ベナン	274
[38]	ボツワナ	276
[39]	マダガスカル	278

[40]	マラウイ	280
[41]	マリ	282
[42]	南アフリカ	284
[43]	南スーダン	286
[44]	モーリシャス	288
[45]	モーリタニア	290
[46]	モザンビーク	292
[47]	リベリア	294
[48]	ルワンダ	296
[49]	レソト	298

欧州地域に対する ODA		302
[1]	アルバニア	304
[2]	ウクライナ	306
[3]	コンボ	308
[4]	セルビア	310
[5]	ベラルーシ	312
[6]	ボスニア・ヘルツェゴビナ	314
[7]	北マケドニア	316
[8]	モルドバ	318
[9]	モンテネグロ	320

解 説

1 概説

(1)掲載基準

本書に掲載されている実績(案件や数値)は、原則として、2022年11月時点の記述となっている。ただし、一部の重要事項については必要に応じてその後の動きも記述している。

掲載対象としている国・地域は、原則として、2021年適用の「ODA対象国・地域に関するDACリスト(以下「DACリスト」)」に依拠している。ただし、例外として、中国は、「DACリスト」に含まれているが、我が国の対中ODAは2021年度末で全ての事業が終了したため、本書の掲載対象としていない。また、同「DACリスト」から「卒業」した国・地域のうち、新規案件が実施されている「トリニダード・トバゴ」、「バルバドス」、「セントクリストファー・ネイビス」、「パハマ」、「チリ」、「セーシェル」「ウルグアイ」及び「クック諸島」については掲載を継続している。

なお、本文中のドル表示は、特別に記載のあるものを除いて全て米ドル換算である。

(2)国及び地域の定義

国別の説明は、基本的に地域毎に50音順で掲載している。国名表記は、原則として、「在外公館の名称及び位置並びに在外公館に勤務する外務公務員の給与に関する法律(令和4年6月17日法律第6号)」による。

(3) 暦年統計(OECD/DAC基準)

地域別経済協力実績及び各国の経済協力実績のうち「国別表-2、表-3、表-4(OECD/DAC基準)」については以下の内容を記載している。

- ア 「暦年」(1月～12月)の実績を記載。
- イ 「支出総額ベース」(表-3及び4)とは、政府貸付等について貸付実行額を計上し、「支出純額ベース」(表-2)とは、同貸付実行額から回収額(返済額)を差し引いた額を計上していることを示している。なお、「支出純額ベース」での政府貸付等の実績は、回収額(返済額)が貸付実行額を上回ることによりマイナスとなることがある。
- ウ 無償資金協力については、表2から4全てにおいて、「交換公文ベース」で計上されており、債務救済及び国際機関等を通じた贈与(国別に分類できるもの)を含む。「交換公文ベース」とは、被援助国との間で交わされた交換公文に記載されている支出総額として約束した金額(約束した事業が廉価に行われた場合等では、必ずしも全額が供与されない。また、諸般の事情で中止された事業もごく一部存在する。)を示している。したがって、複数年度にわたり行われるプロジェクトの金額は、「交換公文ベース」では交換公文が交わされた年に一括して計上している。
- エ 全ての図表において、四捨五入の関係上、累計が一致しないことがある。
- オ また、我が国の援助は基本的に円建てで行われている一方で、ドル表示の暦年実績については国際比較を目的としてOECD/DACの定める各年のDACレート(2019年1ドル=109.0459円、2020年1ドル106.7624円、2021年1ドル=109.7653円)で換算した値に基づいている。

(4)年度統計

各国の経済協力実績のうち「国別表1-1、1-2及び国別表-5」については以下の内容を記載している。

- ア 「年度」(4月～翌年3月)の実績を記載。
- イ 各年度の円借款の記載は、原則として「交換公文ベース」とする。具体的には、当該年度に交換公文を締結した案件の供与限度額の総額を、当該年度の実績として記載している。ただし、円借款の累計(表-1-2)は、JICA年次報告書のデータ(借款契約ベース)を使用している。
- ウ 無償資金協力は、原則として交換公文ベースとする。具体的には、①当該年度に交換公文を締結した単年度案件及び②過去の国庫債務負担行為案件の当該年度の年割額を、当該年度の実績として記載している。なお、無償資金協力のうち、草の根・人間の安全保障無償資金協力、日本NGO連携無償資金協力及び草の根文化無償資金協力については、当該年度にG/C(贈与契約)を締結した案件を、緊急無償資金協力は、当該年度に外務大臣(又は臨時代理)による閣議発言をもって支援の決定をした案件を記載している。
※暦年統計における「交換公文ベース」とは異なる。
- エ 技術協力はJICAが実施している技術協力の経費の支出額を記載している。
- オ 全ての図表において、四捨五入の関係上、累計が一致しないことがある。

(5) 基本データの出典元

主要経済指標等〈国別データ〉

人口	GNI 一人 あたり	経済 成長率	対外債務 残高	財政収支 /GDP比	債務 /GNI比
2021年 (百万人)	2021年 (ドル)	2021年 (%)	2021年 (億ドル)	2021年 (%)	2021年 (%)

World Development Indicators (WDI) (世界銀行)
(<http://data.worldbank.org/data-catalog>)
(2022年11月現在)

●DAC分類……………DACリスト(2021年実績に適用)参照

・後発開発途上国(LDC: Least Developed Countries)

国連開発政策委員会(CDP: UN Committee for Development Policy)が設定した基準に基づき、国連経済社会理事会の審議を経て、国連総会の決議により認定された国のこと。なお、LDCとしての認定には、当該国の同意を条件とする。

・低所得国(LIC (s): Low Income Countries)

2016年の一人あたりのGNIが1,005ドル以下の国・地域(LDCを除く)。

・低中所得国(LMIC (s): Lower Middle Income Countries and Territories)

2016年の一人あたりGNIが1,006ドル以上3,955ドル以下の国・地域(LDCを除く)。

・高中所得国(UMIC (s): Upper Middle Income Countries and Territories)

2016年の一人あたりGNIが3,956ドル以上12,235ドル以下の国・地域。

●世界銀行分類……………世界銀行 Operational Policies(2021年4月)

Country Classification(2021年7月)

Operational Policies による融資分類

・分類i国: IDA融資適格国(世銀が融資するプロジェクトにおける国際競争入札で現地企業が優先される国)

2020年の一人あたりGNIが1,045ドル以下の国

・分類ii国: IDA融資適格国

2020年の一人あたりGNIが1,205ドルより下の国

・分類iii国: IBRD融資適格国

2020年の一人あたりGNIが1,205ドル以上の国

・分類iv国: IBRD卒業プロセス開始国

2020年の一人あたりGNIが7,155ドル以上の国

※一人あたりの所得ではIDA融資の適格国でありながらも、信用力が高くIBRD貸し付けを受ける資格を持つブレンド国になる例もある。

Country Classification による所得分類

・低所得国(low income countries): 2021年の一人あたりGNIが1,085ドル以下の国(分類i国)

・低中所得国(lower middle income countries): 2021年の一人あたりGNIが1,086ドル以上4,255ドル以下の国

・高中所得国(upper middle income countries): 2021年の一人あたりGNIが4,256ドル以上13,205ドル以下の国

・高所得国(high income countries): 2021年の一人あたりGNIが13,205ドル以上の国

※過去データ及び最新データについては、入手可能なデータによるものであり、各年は各国で異なっている。

2 略語表記

本書において使用されている略語は、以下のとおりである。

A

ADB Asian Development Bank アジア開発銀行

ADF Asian Development Fund アジア開発基金

AfDB African Development Bank アフリカ開発銀行

AfDF African Development Fund アフリカ開発基金

AFESD Arab Fund for Economic and Social Development
アラブ経済社会開発基金

AFTA ASEAN Free Trade Area ASEAN自由貿易地域

APEC Asia-Pacific Economic Cooperation

アジア太平洋経済協力

ASEAN Association of Southeast Asian Nations

東南アジア諸国連合

AU African Union アフリカ連合

B

BADEA Arab Bank for Economic Development in Africa
アフリカ経済開発アラブ銀行

C

CARICOM Caribbean Community

カリブ共同体(本文中では「カリコム」と表記)

CIF Climate Investment Funds 気候投資基金

CDB Caribbean Development Bank カリブ開発銀行

EC European Commission 欧州委員会

CIS Commonwealth of Independent States 独立国家共同体

E

EBRD European Bank for Reconstruction and Development
欧州復興開発銀行

EPA Economic Partnership Agreement 経済連携協定
EPSA Enhanced Private Sector Assistance for Africa
アフリカ民間セクター開発のための共同イニシアティブ
E/S Engineering Service 調査・設計等のための役務
EU European Union 欧州連合
F—————
FAO Food and Agriculture Organization of the United Nations 国
連食糧農業機関
FTA Free Trade Agreement 自由貿易協定
G—————
GAVI Gavi, the Vaccine Alliance Gavi アライアンス
GDP Gross Domestic Product 国内総生産
GEF Global Environment Facility 地球環境ファシリティ
GFATM Global Fund to Fight AIDS, Tuberculosis and Malaria
世界エイズ・結核・マラリア対策基金
GGGI Global Green Growth Institute
グローバル・グリーン・成長機構
GNI Gross National Income 国民総所得
I—————
IAEA International Atomic Energy Agency 国際原子力機関
IBRD International Bank for Reconstruction and Development
国際復興開発銀行(国際開発協会(IDA)と合わせて世界銀行
(World Bank)とも呼称される。)
ICRC International Committee of the Red Cross
赤十字国際委員会
IDA International Development Association
国際開発協会(国際復興開発銀行(IBRD)と共に世界銀行とも呼
称される。)
IDB Inter-American Development Bank 米州開発銀行
IEA International Energy Agency 国際エネルギー機関
IFAD International Fund for Agricultural Development
国際農業開発基金
IFC International Finance Corporation 国際金融公社
ILO International Labour Organization 国際労働機関
IMF International Monetary Fund 国際通貨基金
IMF-CTF IMF Concessional Trust Funds
国際通貨基金(譲許的信託基金)
IOM International Organization for Migration 国際移住機関
Isl.Dev Bank Islamic Development Bank イスラム開発銀行
J—————
JBIC Japan Bank for International Cooperation 国際協力銀行
JETRO Japan External Trade Organization 日本貿易振興機構
JICA Japan International Cooperation Agency 国際協力機構
JOCV Japan Overseas Cooperation Volunteers
青年海外協力隊
JPF Japan Platform ジャパン・プラットフォーム
L—————
LDC Least Developed Countries 後発開発途上国
N—————
NATO North Atlantic Treaty Organization 北大西洋条約機構
NGO Non-Governmental Organization 非政府組織
NIEs Newly Industrializing Economies 新興工業経済地域

Nordic Dev.Fund Nordic Development Fund 北欧開発基金
O—————
OECD/DAC Organization for Economic Co-operation and
Development/ Development Assistance Committee
経済協力開発機構 開発援助委員会
OFID OPEC Fund for International Development
石油輸出国機構国際開発基金
OSCE Organization for Security and Co-operation in Europe 欧
州安全保障協力機構
P—————
PALM Pacific Islands Leaders Meeting 太平洋・島サミット
PIF Pacific Islands Forum 太平洋諸島フォーラム
PKO Peacekeeping Operations 国連平和維持活動
S—————
SICA Sistema de la Integración Centroamericana
中米統合機構
T—————
TICAD Tokyo International Conference on African Development
アフリカ開発会議
U—————
UN United Nations 国際連合
UNCTAD United Nations Conference on Trade and Development
国連貿易開発会議
UNDP United Nations Development Programme 国連開発計画
UNEP United Nations Environment Programme 国連環境計画
UNESCO United Nations Educational, Scientific and Cultural
Organization 国連教育科学文化機関
UNFPA United Nations Population Fund 国連人口基金
UN-HABITAT United Nations Human Settlements Programme 国
連人間居住計画
UNHCR United Nations High Commissioner for Refugees
国連難民高等弁務官事務所
UNICEF United Nations Children's Fund 国連児童基金
UNIDO United Nations Industrial Development Organization
国連工業開発機関
UNODC United Nations Office on Drugs and Crime
国連薬物犯罪事務所
UNPBF United Nations Peacebuilding Fund 国連平和構築基金
UNRWA United Nations Relief and Works Agency for Palestine
Refugees in the Near East
国連パレスチナ難民救済事業機関
UNTA United Nations Regular Program for Technical Assistance
国連通常技術支援計画
UNU United Nations University 国連大学
UNV United Nations Volunteers 国連ボランティア計画
W—————
WDI World Development Indicators 世界開発指標
WFP World Food Programme 国連世界食糧計画
WHO World Health Organization 世界保健機関
WTO World Trade Organization 世界貿易機関

3 用語解説

本書において使用されている用語の意味は以下のとおりである。

D—————

DAC(Development Assistance Committee) 開発援助委員会

OECD(経済協力開発機構)において、開発援助に関する事柄を取り扱う委員会。OECD加盟38か国のうち30か国及び欧州連合(EU)から成る。

E—————

E/N(Exchange of Notes) 交換公文

国家間の権利義務関係を規定する国際約束の一形態。

EU Institutions 欧州連合諸機関

欧州連合(EU: European Union)の諸機関(欧州委員会(EC: European Commission)、欧州投資銀行(EIB: European Investment Bank)等)の総称。

G—————

G/C(Grant Contract) 贈与契約

草の根・人間の安全保障無償資金協力、日本NGO連携無償資金協力及び草の根文化無償資金協力に関し、在外公館と被供与団体との間で結ばれる契約。ただし、日本NGO連携無償資金協力の場合は、外務本省と被供与団体の契約の場合もある。

O—————

ODA(Official Development Assistance) 政府開発援助

(1) ODAとは、一人当たりのGNIをもとにDACリストに掲載された開発途上国への贈与及び貸付のうち、次の3つの条件を充たすものを指す。

- ①公的機関によって供与されるものであること。
- ②開発途上国の経済開発や福祉の向上に寄与することを主たる目的としていること。
- ③有償資金協力については、その供与条件が緩やかな条件のもの

(2) ODAは、無償資金協力、技術協力、有償資金協力及び国際機関への出資・拠出等から成る。

さ————

支出純額(Net Disbursement)

政府貸付等の実績として、貸付実行額から回収額(被援助国から援助供与国への返済額)を差し引いた額を使用した額。

支出総額(Gross Disbursement)

政府貸付等の実績として、貸付実行額を使用した額。

ODA 対象国・地域に関する DAC リスト(2021 年実績に適用)

後発開発途上国 (LDCs)	低所得国(LICs) 一人当たり GNI \$ 1,005 以下	低中所得国(LMICs) 一人当たり GNI \$ 1,006- \$ 3,955 以下	高中所得国(UMICs) 一人当たり GNI \$ 3,956- \$ 12,235 以下
アフガニスタン	北朝鮮	アンゴラ	アルバニア
バングラデシュ	ジンバブエ	アルメニア	アルジェリア
ベナン		ボリビア	アンティグア・バーブーダ
ブータン		カーボヴェルデ	アルゼンチン
ブルキナファソ		カメルーン	アゼルバイジャン
ブルンジ		コンゴ共和国	ベラルーシ
カンボジア		コートジボワール	ベリーズ
中央アフリカ		エジプト	ボスニア・ヘルツェゴビナ
チャド		エルサルバドル	ボツワナ
コモロ		エスワティニ王国	ブラジル
コンゴ民主共和国		ジョージア	中国
ジブチ		ガーナ	コロンビア
		グアテマラ	
		ホンジュラス	
エリトリア		インド	コスタリカ
		インドネシア	キューバ
エチオピア		ヨルダン	ドミニカ国
ガンビア		ケニア	ドミニカ共和国
ギニア		コソボ	エクアドル
ギニアビサウ		キルギス	赤道ギニア
ハイチ		ミクロネシア連邦	フィジー
キリバス		モルドバ	
ラオス		モンゴル	ガボン
レソト		モロッコ	グレナダ
		ニカラグア	ガイアナ
リベリア		ナイジェリア	イラン
マダガスカル		パキスタン	イラク
マラウイ		パプアニューギニア	ジャマイカ
マリ		フィリピン	
モーリタニア			カザフスタン
モザンビーク		スリランカ	レバノン
ミャンマー			リビア
ネパール		シリア	マレーシア
		タジキスタン	
ニジェール		トケラウ	モルディブ
ルワンダ		チュニジア	マーシャル
サントメ・プリンシペ		ウクライナ	モーリシャス
		ウズベキスタン	メキシコ
セネガル		パヌアツ	モンテネグロ
シエラレオネ		ベトナム	モンセラット
ソロモン		バレスチナ自治区	ナミビア
ソマリア			ナウル
南スーダン			ニウエ
スーダン			北マケドニア共和国
タンザニア			パラオ
東ティモール			パナマ
トーゴ			パラグアイ
ツバル			ペルー
ウガンダ			セント・ヘレナ
			セントルシア
			セントビンセント及びグレナディーン
			諸島
			サモア
			セルビア
イエメン			
ザンビア			南アフリカ
			スリナム
			タイ
			トンガ
			トルコ
			トルクメニスタン
			ベネズエラ
			フリス・フテュナ

出典: DAC List of ODA Recipients (OECD/DAC)

注) 1. 2016 年の GNI 値を基準とするもの。

2. クックについては 2020 年に卒業。

東アジア・東南アジア地域

東アジア・東南アジア地域

表-1 東アジア・東南アジア地域に対する我が国二国間ODA実績

(支出純額及び支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年		2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	累計	
ODA	贈与	無償資金協力	401.66 (15.4)	395.82 (15.0)	424.58 (16.6)	413.08 (13.5)	528.64 (16.2)	19,628.65
		(うち国際機関を通じた贈与)	49.54 (3.7)	36.00 (2.7)	63.81 (5.5)	107.71 (6.0)	148.80 (7.1)	809.41
		技術協力	438.69 (15.2)	413.28 (15.6)	418.44 (15.4)	301.82 (12.6)	265.70 (11.0)	26,144.65
		贈与計	840.35 (15.3)	809.10 (15.3)	843.02 (16.0)	714.90 (13.1)	794.34 (14.0)	45,773.30
	政府貸付等 支出総額	3,047.27 (31.8)	2,282.06 (28.5)	2,957.58 (31.5)	4,459.05 (39.1)	3,109.65 (25.6)	138,501.76	
	<政府貸付等 支出純額>	<- 883.42>	<- 2,174.12>	<- 1,395.05>	<686.41>	<- 505.73>	<34,926.27>	
政府開発援助計 支出総額(ODA計)		3,887.62 (25.8)	3,091.17 (23.3)	3,800.60 (25.9)	5,173.95 (30.6)	3,903.99 (21.9)	184,275.07	
<政府開発援助計 支出純額(ODA計)>		<- 43.07>	<- 1,365.01>	<- 552.03>	<1,401.31>	<288.61>	<80,699.58>	
		-	-	-	<(13.7)>	<(2.5)>		

注) 1. ()内は各形態別の全世界合計に占める東アジア地域の割合(%)

2. 国際機関等を通じた贈与は、2006年から、拠出時に供与先の国が明確であるものについては、各被援助国への援助として「無償資金協力」へ計上することに改めた。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

4. 「政府開発援助計 支出純額」の割合については、貸付の償還等に伴いマイナス数値となる場合に適切な割合が出せないことから、掲載していない。

表-2 東アジア・東南アジア地域に対するDAC諸国のODA実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

援助実績種別	暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
政府開発援助計	2018	日本 3,091.18	ドイツ 2,511.24	フランス 987.23	米国 970.45	オーストラリア 572.59	9,958.59	3,091.18
	2019	日本 3,800.59	ドイツ 1,455.28	米国 886.08	フランス 653.20	韓国 543.88	9,004.96	3,800.59
	2020	日本 5,173.94	ドイツ 2,256.32	フランス 1,148.60	米国 1,001.82	韓国 655.47	11,975.00	5,173.94
政府貸付等	2018	日本 2,282.07	ドイツ 1,682.28	フランス 738.90	韓国 297.50	ポーランド 61.83	5,089.14	2,282.07
	2019	日本 2,957.58	ドイツ 618.49	フランス 459.35	韓国 284.71	ポーランド 10.63	4,344.64	2,957.58
	2020	日本 4,459.04	ドイツ 1,391.37	フランス 931.72	韓国 383.72	ポルトガル 42.89	7,279.77	4,459.04
無償資金協力	2018	米国 906.77	日本 395.82	オーストラリア 298.69	英国 262.97	ドイツ 194.00	2,904.70	395.82
	2019	米国 828.01	日本 424.61	オーストラリア 284.48	英国 245.70	ドイツ 171.58	2,689.19	424.61
	2020	米国 969.53	日本 413.07	オーストラリア 323.65	英国 243.12	ドイツ 173.46	2,945.56	413.07
技術協力	2018	ドイツ 634.96	日本 413.27	オーストラリア 273.90	フランス 204.20	韓国 86.42	1,964.78	413.27
	2019	ドイツ 665.21	日本 418.42	オーストラリア 201.56	フランス 149.91	韓国 112.19	1,971.14	418.42
	2020	ドイツ 691.46	日本 301.83	オーストラリア 173.51	フランス 164.06	韓国 99.20	1,749.70	301.83

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2022年10月)

注) ただし、地域区分についてはDAC基準とは異なる。

表-3 東アジア・東南アジア地域に対する国際機関のODA実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

援助実績種別	暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
政府開発援助計	2018	IDA 1,039.02	AsDB 725.01	EU Institutions 614.60	GFATM 252.91	GAVI 78.25	451.48	3,161.28
	2019	IDA 1,047.50	AsDB 631.05	EU Institutions 482.47	GFATM 366.66	GAVI 97.16	377.01	3,001.91
	2020	IDA 1,266.61	AsDB 1,134.35	EU Institutions 791.56	GFATM 441.00	IMF-CTF 119.97	599.56	4,353.09
政府貸付等	2018	IDA 1,024.14	AsDB 610.87	EU Institutions 214.55	OPEC Fund 38.88	IFAD 32.32	14.54	1,935.32
	2019	IDA 1,045.02	AsDB 532.82	EU Institutions 95.69	IFAD 28.70	OPEC Fund 26.41	2.17	1,730.82
	2020	IDA 1,266.30	AsDB 1,038.87	EU Institutions 253.89	IMF-CTF 119.97	OPEC Fund 53.45	59.02	2,791.48
無償資金協力	2018	EU Institutions 324.01	GFATM 252.91	AsDB 113.27	GAVI 78.25	GEF 76.30	285.75	1,130.48
	2019	GFATM 366.66	EU Institutions 321.12	AsDB 98.24	GAVI 97.16	WHO 56.65	265.57	1,205.41
	2020	GFATM 441.00	EU Institutions 436.22	GAVI 112.16	AsDB 95.48	GEF 65.34	307.78	1,458.03
技術協力	2018	EU Institutions 76.04	ILO 13.31	FAO 5.25	AsDB 0.86	OPEC Fund 0.02	-	95.47
	2019	EU Institutions 65.66	-	-	-	-	-	65.66
	2020	EU Institutions 101.43	IAEA 2.13	-	-	-	-	103.58

出典) OECDデータベース (OECD.Stat) (2022年10月)

- 注) 1. ただし、地域区分についてはDAC基準とは異なる。
 2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

[1] インドネシア

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
2.76億人	4,140ドル	3.7%	4164.71億ドル	低中所得国	iii / 低中所得国

出典) WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対インドネシア援助形態実績(年度別)

(単位: 億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	1,272.15	6.77	63.67
2018年度	700.21	29.80	54.39
2019年度	1,551.10	88.26	56.58
2020年度	1,000.00	21.20	24.91
2021年度	-	8.94	53.81

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対インドネシア援助形態実績(累計)

(単位: 億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	53,235.78	2,939.47	3,764.16

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対インドネシア援助形態別実績

(支出純額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-1,128.94	11.50 (3.87)	69.30	-1,048.13
2018年	-999.71	2.89 -	49.00	-947.82
2019年	-968.94	26.75 (1.80)	59.17	-883.02
2020年	-206.84	19.98 (11.50)	37.77	-149.09
2021年	-465.78	117.00 (20.41)	34.68	-314.10
累計	4,394.97	2,195.67 (63.00)	4,111.25	10,701.88

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対インドネシア経済協力実績

(支出総額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	ドイツ 572.68	日本 399.92	米国 278.84	オーストラリア 252.10	フランス 167.42	1,905.39	399.92
2017年	日本 520.59	米国 414.16	フランス 347.50	ドイツ 332.81	オーストラリア 207.53	2,041.55	520.59
2018年	ドイツ 1,203.90	日本 637.77	フランス 455.49	オーストラリア 262.72	米国 252.38	3,080.35	637.77
2019年	日本 664.34	オーストラリア 187.52	米国 158.40	ドイツ 129.90	ノルウェー 48.17	1,380.87	664.34
2020年	日本 1,369.77	ドイツ 997.15	フランス 326.40	オーストラリア 183.54	米国 167.61	3,257.87	1,369.77

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対インドネシア経済協力実績

(支出総額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	GFATM 76.20	EU Institutions 55.14	GEF 18.19	AsDB 16.19	IFAD 13.24	31.49	210.45
2017年	GFATM 281.81	CIF 43.27	GAVI 35.29	EU Institutions 26.35	IFAD 11.61	30.52	428.86
2018年	GFATM 49.06	EU Institutions 19.49	GAVI 14.83	CERF 14.43	GEF 10.42	30.75	138.97
2019年	GFATM 74.23	GAVI 18.73	EU Institutions 15.18	GEF 7.34	UNICEF 5.38	25.24	146.11
2020年	GFATM 94.55	EU Institutions 20.95	CIF 19.63	GEF 15.00	AsDB 13.91	20.25	184.31

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	8.94億円	
		<ul style="list-style-type: none"> ・ジャパンプラット フォーム(JPF)を通じた 人道支援 (2件) (0.37) ・日本NGO連携無償 (4件) (1.90) ・草の根・人間の安全 保障無償 (9件) (0.62) ・インドネシアにおける新型コロ ナ対応のための緊急無償資金 協力(UNOPS連携) (6.05) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ガジヤマダ大学フィールドリ サーチセンターにおけるオーブ ンイノベーション促進を通じた 産官学地連携拡充プロジェクト [21.04～ 23.04] ・感染症早期警戒対応能力強 化プロジェクト [21.06～ 25.06] ・官民協力による農産物流通シ ステム改善プロジェクトフェーズ 2 [21.06～ 25.06] ・ビジネス環境改善のためのド ラフター能力向上及び紛争 解決機能強化プロジェクト [21.10～ 25.09] ・新型コロナウイルス感染症流 行下における遠隔技術を活用 した集中治療能力強化プロジェ クト [21.10～ 24.04] ・新型コロナウイルス及びその 他感染症ワクチン管理能力強 化プロジェクト [21.10～ 22.12] ・離島における持続的水産開 発促進プロジェクト [22.01～ 25.10] ・地震・津波観測及び情報発信 能力向上プロジェクト [22.02～ 25.02]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[2] カンボジア

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
1,695万人	1,550ドル	3.0%	200.20億ドル	後発開発途上国	iii/ 低所得国

出典) WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対カンボジア援助形態実績(年度別)

(単位: 億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	235.02	42.53	36.23
2018年度	128.15	75.97	35.00
2019年度	294.17	96.69	34.63
2020年度	250.00	75.70	18.33
2021年度	263.36	99.45	37.11

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対カンボジア援助形態実績(累計)

(単位: 億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	2,336.46	2,362.74	987.65

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対カンボジア援助形態別実績

(支出純額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	58.55	83.15 (4.34)	41.58	183.28
2018年	63.04	65.15 (1.44)	31.17	159.36
2019年	63.11	60.29 (0.75)	31.49	154.89
2020年	139.94	97.98 (10.69)	22.21	260.13
2021年	363.98	71.69 (16.71)	23.34	459.00
累計	929.31	1,931.01 (76.01)	1,010.04	3,870.36

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対カンボジア経済協力実績

(支出総額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	日本 140.92	米国 87.40	オーストラリア 57.75	韓国 57.32	ドイツ 41.97	498.48	140.92
2017年	日本 188.92	フランス 97.94	米国 91.43	韓国 71.13	オーストラリア 58.37	632.73	188.92
2018年	日本 169.07	米国 102.87	フランス 79.44	韓国 65.23	ドイツ 53.66	594.01	169.07
2019年	フランス 192.39	日本 176.43	米国 90.20	韓国 78.26	オーストラリア 43.87	688.66	176.43
2020年	日本 271.23	米国 114.35	韓国 101.43	フランス 100.35	オーストラリア 39.05	740.92	271.23

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対カンボジア経済協力実績

(支出総額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	AsDB 156.77	EU Institutions 62.74	GFATM 23.54	GAVI 10.88	IFAD 10.21	40.34	304.46
2017年	AsDB 138.74	EU Institutions 51.43	GFATM 32.58	OPEC Fund 17.46	IDA 15.77	53.19	309.19
2018年	AsDB 103.39	EU Institutions 89.78	IDA 23.60	GFATM 17.88	CIF 15.48	42.22	292.35
2019年	AsDB 163.36	EU Institutions 65.81	IDA 61.73	GFATM 24.97	GAVI 19.69	48.21	383.77
2020年	AsDB 429.27	EU Institutions 139.62	IDA 92.08	IFAD 21.67	CIF 18.87	39.23	740.75

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	263.36億円	99.45億円	
	<ul style="list-style-type: none"> ・シムリアップ上水道拡張計画(第二期) (63.36) ・新型コロナウイルス感染症危機対応緊急支援借款(フェーズ2) (200.00) 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本NGO連携無償 (11件) (5.51) ・草の根・人間の安全保障無償 (15件) (2.10) ・人材育成奨学計画 (4件) (3.40) ・経済社会開発計画 (6件) (31.00) ・市民参加を通じた地方行政における透明性及び説明責任強化計画(UNDP連携) (3.00) ・農村地域における再生可能エネルギーへの包摂的なアクセス計画(UNDP連携) (2.00) ・第二次統合的地雷除去及び地雷被害者支援計画 (20.00) ・スバイリエンにおける上水道拡張計画(国債1/4) (1.49) ・プノンペンにおける下水道整備計画(国債3/5) (13.37) ・プルサット上水道拡張計画(国債3/4) (8.81) ・タクマウ上水道拡張計画(国債3/5) (7.34) ・シムリアップ州病院改善計画(国債2/4) (1.42) 	<ul style="list-style-type: none"> ・プノンペンにおける総合交通管理計画及び交通管制センター運営維持管理の能力改善プロジェクト [22.01～24.12] ・新型コロナウイルス対策能力向上プロジェクト [21.07～22.06] ・土地管理及びインフラ開発のための電子基準点整備プロジェクト [21.08～23.12] ・新型コロナウイルス感染症予防のための水・衛生改善プロジェクト [21.10～23.03] ・保健人材継続教育制度強化プロジェクト [21.12～26.12] ・灌漑排水国家標準設計基準策定プロジェクト [22.03～26.03]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[3] タイ

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
6,995万人	7,260ドル	1.6%	2,109.82億ドル	高中所得国	iii/ 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対タイ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	—	4.30	26.92
2018年度	—	1.57	26.78
2019年度	94.34	0.14	28.27
2020年度	—	1.74	16.74
2021年度	—	2.11	25.03

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対タイ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	23,789.02	1,729.01	2,415.73

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対タイ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	53.40	9.89 (7.75)	28.38	91.67
2018年	-570.65	3.43 -	26.70	-540.52
2019年	-534.51	1.78 (0.14)	27.73	-505.01
2020年	-13.21	4.78 (3.49)	24.26	15.84
2021年	-99.42	17.17 (2.16)	18.52	-63.73
累計	685.54	1,073.44 (25.76)	3,002.11	4,761.08

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対タイ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	日本 414.05	米国 53.63	ドイツ 15.94	フランス 10.64	英国 9.07	523.08	414.05
2017年	日本 388.61	米国 52.26	ドイツ 17.26	フランス 13.15	英国 9.29	497.88	388.61
2018年	日本 270.82	米国 42.21	フランス 20.61	ドイツ 18.59	英国 11.89	377.40	270.82
2019年	日本 259.38	米国 45.62	ドイツ 35.97	英国 17.80	フランス 8.58	385.67	259.38
2020年	日本 220.55	米国 44.62	ドイツ 35.38	英国 14.82	フランス 9.08	344.09	220.55

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対タイ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	EU Institutions 17.42	GFATM 12.35	UNHCR 11.68	GEF 6.74	WHO 3.11	5.77	57.06
2017年	GFATM 23.08	EU Institutions 13.84	UNHCR 9.28	GEF 3.45	WHO 1.65	4.49	55.77
2018年	GFATM 11.45	EU Institutions 10.30	UNHCR 4.41	GEF 3.50	WHO 3.31	4.81	37.77
2019年	GFATM 12.28	EU Institutions 9.44	WHO 2.41	UNHCR 1.80	ILO 1.42	4.78	32.12
2020年	GFATM 25.89	EU Institutions 12.47	GEF 6.35	UNHCR 5.55	WHO 3.19	4.59	58.04

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	2.11億円	
		・ジャパンプラットフォーム(JPF)を通じた人道支援 (1件) (0.05)	・バンコク首都圏都市鉄道新マスタープラン(M-MAP2)策定プロジェクト [21.06~24.06]
		・日本NGO連携無償 (2件) (1.08)	・税関人材育成能力強化プロジェクト [21.07~24.07]
		・草の根・人間の安全保障無償 (10件) (0.98)	・新型コロナウイルス抗体開発能力強化プロジェクト [21.09~23.03]
			・新型コロナウイルス感染症等パンデミック対応のための国立ラボ施設機材及びネットワーク強化プロジェクト [21.09~22.09]
			・保健省感染症研究所における新型コロナウイルス対応能力強化プロジェクト [21.09~22.09]
			・ASEAN災害保健医療管理に係る地域能力強化プロジェクト [22.01~26.03]
			・人身取引対策のためのメコン地域ネットワーク強化プロジェクト [22.01~25.01]
			・皮膚科医育成のための能力強化プロジェクト [22.03~25.03]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[4] 東ティモール

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
134万人	1,940ドル	4.4%	2.79億ドル	後発開発途上国	iii/ 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対東ティモール援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	—	34.23	7.83
2018年度	—	16.40	10.62
2019年度	—	3.17	8.56
2020年度	—	8.18	5.24
2021年度	—	30.67	13.59

注)1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対東ティモール援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	52.78	382.97	170.01

注)1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対東ティモール援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	2.43	13.74	-	24.13
2018年	3.11	20.29 (2.47)	8.16	31.56
2019年	11.49	29.83 (2.08)	7.79	49.10
2020年	4.50	8.47 (0.99)	6.20	19.17
2021年	3.94	10.81 (8.11)	6.96	21.70
累計	33.45	297.97 (39.75)	154.53	485.95

注)1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対東ティモール経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	オーストラリア 56.78	日本 36.71	米国 19.99	ポルトガル 14.58	韓国 12.06	161.14	36.71
2017年	オーストラリア 69.06	日本 24.13	米国 22.86	ポルトガル 15.44	韓国 11.77	163.54	24.13
2018年	オーストラリア 59.20	日本 31.56	米国 22.65	ポルトガル 15.95	ニュージーランド 13.10	157.86	31.56
2019年	オーストラリア 52.64	日本 49.10	米国 28.08	ポルトガル 14.75	ニュージーランド 13.45	181.27	49.10
2020年	オーストラリア 83.46	米国 37.73	日本 19.17	ポルトガル 14.59	ニュージーランド 13.80	191.15	19.17

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対東ティモール経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	EU Institutions 20.28	IDA 14.40	AsDB 12.60	GFATM 5.66	GEF 3.73	6.07	62.74
2017年	EU Institutions 27.86	AsDB 12.80	IDA 10.37	GFATM 5.53	GEF 4.33	7.43	68.31
2018年	AsDB 15.33	EU Institutions 14.86	GFATM 5.80	GEF 4.75	IDA 2.86	6.02	49.64
2019年	AsDB 16.41	EU Institutions 14.04	GFATM 4.73	IDA 4.17	GEF 2.17	8.29	49.82
2020年	EU Institutions 26.60	AsDB 14.65	GFATM 5.09	GCF 2.66	IDA 2.36	8.81	60.17

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	30.67億円	
		・ジャパンプラットフォーム(JPF)を通じた人道支援 (3件) (0.85)	・新型コロナウイルス対策医薬品サプライチェーン及び医療サービス供給能力強化プロジェクト [21.05~22.07]
		・日本NGO連携無償 (4件) (1.68)	
		・草の根・人間の安全保障無償 (5件) (0.50)	・新型コロナウイルス影響下におけるPCR検査体制強化プロジェクト [21.11~23.03]
		・人材育成奨学計画 (4件) (1.47)	・水道公社事業運営改善プロジェクト [21.11~25.01]
		・新型コロナウイルス感染症危機及び洪水災害に対する食料支援計画(WFP連携) (3.27)	・新型コロナウイルス影響下における手洗い強化プロジェクト [21.12~23.07]
		・子供の栄養改善計画(UNICEF連携) (3.42)	
		・プレジデnte・ニコラウ・ロバト国際空港整備計画 (19.48)	

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[5] フィリピン

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
1.11億人	3,640ドル	5.7%	1,064.28億ドル	低中所得国	iii / 低中所得国

出典) WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対フィリピン援助形態実績(年度別)

(単位: 億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	1,298.57	112.56	122.50
2018年度	2,696.72	58.06	93.51
2019年度	44.09	9.78	86.71
2020年度	2,540.55	36.93	54.54
2021年度	2,533.07	44.92	59.84

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 2018年度実績には米ドル建て借款1件(当時の時勢レートで円貨換算)を含む。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対フィリピン援助形態実績(累計)

(単位: 億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	36,258.56	3,113.08	2,717.77

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 2018年度実績には米ドル建て借款1件(当時の時勢レートで円貨換算)を含む。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対フィリピン援助形態別実績

(支出純額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-256.89	63.17 (10.20)	52.01	-141.71
2018年	-134.19	106.84 (10.36)	95.84	68.49
2019年	378.37	26.27 (4.82)	93.83	498.47
2020年	530.54	46.23 (14.16)	72.63	649.41
2021年	645.50	32.22 (8.79)	55.19	732.91
累計	5,531.18	2,751.86 (114.59)	2,795.93	11,078.98

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対フィリピン経済協力実績

(支出総額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	日本 301.51	米国 268.30	韓国 63.34	フランス 62.59	オーストラリア 53.83	841.87	301.51
2017年	日本 352.30	米国 157.83	オーストラリア 53.93	ドイツ 41.71	韓国 40.92	708.31	352.30
2018年	日本 562.50	フランス 123.59	米国 122.19	韓国 64.92	オーストラリア 53.62	1,026.02	562.50
2019年	日本 1,000.40	米国 145.99	韓国 76.34	オーストラリア 50.99	ドイツ 38.96	1,373.92	1,000.40
2020年	日本 1,151.14	フランス 291.94	韓国 157.07	米国 153.38	オーストラリア 47.40	1,925.11	1,151.14

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対フィリピン経済協力実績

(支出総額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	EU Institutions 42.33	GFATM 38.14	OPEC Fund 8.72	GEF 7.01	IFAD 3.90	20.66	120.76
2017年	GFATM 53.10	EU Institutions 28.28	GEF 7.33	UNICEF 2.98	CERF 2.48	18.38	112.57
2018年	GFATM 40.41	EU Institutions 37.62	GEF 6.54	UNICEF 5.61	AsDB 5.17	26.17	121.52
2019年	GFATM 54.47	EU Institutions 36.48	AsDB 4.78	UNICEF 4.68	IFAD 4.44	22.98	127.83
2020年	GFATM 52.17	EU Institutions 26.63	AsDB 8.58	UNFPA 4.93	GEF 4.59	18.41	115.32

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	2,533.07億円 (2,533.07)	44.92億円	
	・マニラ首都圏地下鉄計画 (フェーズ1)(第二期)	<ul style="list-style-type: none"> ・ジャパンプラット フォーム(JPF)を通じた人道支援 (3件) (1.20) ・日本NGO連携無償 (2件) (0.83) ・草の根・人間の安全保障無償 (6件) (0.58) ・人材育成奨学計画 (4件) (3.30) ・草の根文化無償 (1件) (0.14) ・食糧援助(WFP連携) (3.50) ・新型コロナウイルス感染症危機対応緊急支援計画 (6.87) ・メトロセブ水道区汚泥管理計画 (14.45) ・フィリピンにおける台風被害に対する緊急無償資金協力 (UNHCR連携) (0.18) ・同上案件(OCHA連携) (0.22) ・同上案件(IFRC連携) (1.98) ・同上案件(UNICEF連携) (1.73) ・同上案件(WFP連携) (5.40) ・同上案件(IOM連携) (4.54) 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスワクチン コールドチェーンおよびロジス ティクス支援プロジェクト [22.01～ 22.08] ・園芸作物におけるフードバ リューチェーン改善プロジェク ト [22.02～ 28.02]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[6] ベトナム

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
9,817万人	3,560ドル	2.6%	1,362.13億ドル	低中所得国	iii/ 低中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ベトナム援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	1,003.04	30.43	67.10
2018年度	-	13.63	64.81
2019年度	118.91	30.40	50.15
2020年度	-	49.60	42.90
2021年度	108.13	37.39	48.95

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ベトナム援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	27,841.83	1,667.89	1,783.86

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ベトナム援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	832.20	19.60	76.17	927.96
2018年	136.77	13.48 (0.63)	53.51	203.75
2019年	75.43	16.44 (0.73)	56.76	148.63
2020年	1.09	30.44 (5.19)	43.66	75.18
2021年	-297.14	88.26 (9.03)	45.69	-163.19
累計	14,952.88	1,306.30 (18.75)	2,174.60	18,433.78

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ベトナム経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	日本 1,583.47	ドイツ 213.84	韓国 185.40	フランス 128.93	米国 112.32	2,429.59	1,583.47
2017年	日本 1,389.60	韓国 187.73	ドイツ 179.57	フランス 135.71	米国 124.66	2,185.82	1,389.60
2018年	日本 673.85	ドイツ 220.27	韓国 157.99	米国 119.31	フランス 119.22	1,476.89	673.85
2019年	日本 650.57	フランス 225.69	ドイツ 192.54	韓国 108.53	米国 101.00	1,434.56	650.57
2020年	日本 620.42	ドイツ 210.93	フランス 146.07	米国 137.48	韓国 137.25	1,388.66	620.42

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ベトナム経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	IDA 753.62	AsDB 403.39	EU Institutions 60.12	GFATM 44.38	IFAD 21.26	46.84	1,329.62
2017年	IDA 744.34	AsDB 229.87	EU Institutions 77.07	GFATM 52.08	IFAD 18.49	53.87	1,175.72
2018年	IDA 733.76	AsDB 362.73	EU Institutions 83.59	GFATM 20.03	IFAD 15.29	39.25	1,254.65
2019年	IDA 622.93	AsDB 180.12	EU Institutions 38.14	GFATM 32.18	OPEC Fund 9.34	29.73	912.45
2020年	IDA 675.04	AsDB 261.01	EU Institutions 90.33	GFATM 47.59	OPEC Fund 17.06	62.22	1,153.24

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	108.13億円 (108.13)	37.39億円	
	・第二期ホーチミン市水環境改善計画(第四期)	<ul style="list-style-type: none"> ・日本NGO連携無償 (5件) (2.03) ・草の根・人間の安全保障無償 (15件) (2.33) ・草の根文化無償 (1件) (0.09) ・経済社会開発計画 (3件) (19.00) ・人材育成奨学計画 (4件) (7.60) ・子どものための災害リスク及び気候変動に対する強靱性強化計画 (UNICEF連携) (6.34) 	<ul style="list-style-type: none"> ・国際財務報告基準(IFRS)導入支援プロジェクト [21.04～24.04] ・持続的自然資源管理強化プロジェクトフェーズ2 [21.05～25.05] ・パリ協定に係る「自国が決定する貢献(NDC)」実施支援プロジェクト [21.06～24.06] ・フェ中央病院新型コロナウイルス感染症対応能力向上プロジェクト [21.09～22.03] ・ベトナム北部山岳地域のフラッシュフラッドと地滑りによる被害の対処・最小化のための能力強化プロジェクト [22.01～25.01] ・公務員採用試験改革プロジェクト [22.01～25.01] ・鉄道学校における都市鉄道研修能力強化プロジェクト [22.02～26.01]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[7] マレーシア

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
3,278万人	10,930ドル	3.1%	—	高中所得国	iv/ 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対マレーシア援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	—	0.04	9.73
2018年度	—	0.04	9.43
2019年度	—	0.10	8.41
2020年度	—	5.47	5.70
2021年度	—	0.63	9.14

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対マレーシア援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	9,238.10	153.08	1,210.51

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対マレーシア援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-109.31	6.36	13.32	-89.63
2018年	-108.43	0.03	10.14	-98.25
2019年	-81.74	0.04	9.45	-72.24
2020年	-90.82	2.29 (2.20)	7.55	-80.98
2021年	-89.67	11.84 (0.14)	8.47	-69.36
累計	292.62	125.56 (5.89)	1,585.76	2,003.94

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対マレーシア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	日本 47.46	ドイツ 11.36	英国 5.79	フランス 5.48	米国 4.65	78.44	47.46
2017年	日本 34.39	英国 16.93	ドイツ 12.99	フランス 5.73	米国 3.81	77.09	34.39
2018年	日本 19.09	ドイツ 15.19	英国 12.69	フランス 10.02	米国 5.35	65.32	19.09
2019年	日本 41.68	英国 14.93	ドイツ 14.69	米国 10.35	フランス 4.37	93.22	41.68
2020年	ドイツ 14.62	英国 13.30	日本 9.84	米国 9.54	フランス 5.01	59.46	9.84

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対マレーシア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	GEF 6.55	GFATM 1.03	EU Institutions 0.91	UNICEF 0.79	WHO 0.50	1.51	11.31
2017年	GEF 6.22	UNHCR 5.59	EU Institutions 1.38	UNICEF 1.06	WHO 0.74	1.92	16.90
2018年	UNHCR 5.64	GEF 2.99	EU Institutions 2.20	GFATM 1.04	UNICEF 0.95	2.60	15.42
2019年	UNHCR 3.09	EU Institutions 2.75	GEF 1.65	ILO 1.31	WHO 0.86	3.32	12.97
2020年	UNHCR 7.44	GEF 3.74	GFATM 1.94	EU Institutions 0.90	UNICEF 0.88	2.23	17.15

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	0.63億円	
		・日本NGO連携無償 (1件) (0.27)	・全人教育推進プロジェクト [21.06～25.06]
		・草の根・人間の安全保障無償 (4件) (0.28)	・新型コロナウイルス対策ワクチン流通体制強化計画 [21.08～22.03]
		・草の根文化無償 (1件) (0.08)	・E-Waste管理システム実施プロジェクト [21.09～24.09]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[8] ミャンマー

経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
5,481万人	1,140ドル	-18.0%	139.27億ドル	後発開発途上国	ii / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ミャンマー援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	1,170.40	135.07	92.00
2018年度	-	190.68	104.09
2019年度	1,688.58	150.14	66.55
2020年度	727.79	185.38	48.79
2021年度	-	40.27	34.21

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ミャンマー援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	13,784.72	3,605.45	1,133.70

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ミャンマー援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	151.96	135.96 (18.99)	91.15	379.07
2018年	312.06	136.56 (19.92)	88.28	536.90
2019年	496.57	179.85 (44.52)	80.51	756.93
2020年	943.13	103.29 (31.39)	47.10	1,093.52
2021年	253.56	113.83 (42.44)	37.03	404.43
累計	3,015.35	5,910.55 (357.99)	1,113.56	10,039.46

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ミャンマー経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	日本 506.82	英国 144.59	米国 131.45	韓国 47.31	オーストラリア 46.47	1,082.44	506.82
2017年	日本 379.07	英国 155.71	米国 139.56	韓国 77.61	オーストラリア 68.24	1,075.87	379.07
2018年	日本 536.90	米国 143.96	英国 133.76	ドイツ 59.74	ポーランド 58.93	1,257.53	536.90
2019年	日本 756.93	米国 148.77	英国 144.25	韓国 90.64	ドイツ 74.20	1,515.76	756.93
2020年	日本 1,093.52	米国 177.07	英国 132.67	韓国 109.25	ドイツ 74.93	1,923.32	1,093.52

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ミャンマー経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	IDA 144.81	EU Institutions 126.78	GFATM 113.88	AsDB 41.86	GAVI 19.66	48.33	495.34
2017年	IDA 220.55	GFATM 105.50	EU Institutions 77.69	AsDB 29.63	GAVI 22.91	44.81	501.09
2018年	IDA 208.87	EU Institutions 81.28	GFATM 45.80	AsDB 43.49	GAVI 39.05	54.89	473.38
2019年	IDA 232.74	EU Institutions 120.24	GFATM 69.49	GAVI 35.30	AsDB 30.13	60.73	548.66
2020年	IDA 296.91	AsDB 185.16	EU Institutions 178.53	IMF-CTF 119.97	GFATM 79.82	128.99	989.38

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	40.26億円 <ul style="list-style-type: none"> ・日本NGO連携無償 (6件) (8.43) ・草の根・人間の安全保障無償 (4件) (0.71) ・人材育成奨学計画 (3件) (5.65) ・日本ミャンマー・アウンサン職業訓練学校整備計画 (14.89) (国債3/4) ・ミャンマーでのクーデターの影響を受ける住民への食料支援のための緊急無償資金協力(WFP連携) (4.32) ・ミャンマー南東部でクーデターの被害を受けた人々に対する人道支援のための緊急無償資金協力(UNHCR連携) (3.24) ・同上案件(WFP連携) (1.40) ・同上案件(UNICEF連携) (1.62) 	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[9] モンゴル

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
333万人	3,760ドル	1.4%	339.40億ドル	低所得国	iii / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対モンゴル援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	320.00	40.97	23.58
2018年度	—	12.50	22.59
2019年度	—	15.71	22.27
2020年度	250.00	32.44	12.93
2021年度	—	15.40	23.38

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対モンゴル援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	1,829.44	1,254.34	557.29

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対モンゴル援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	442.73	31.25	27.10	501.08
2018年	18.63	25.46	18.15	62.24
2019年	27.32	37.10	21.37	85.80
2020年	226.10	21.28 (2.09)	15.74	263.12
2021年	-22.04	28.36 (21.11)	12.73	19.05
累計	1,377.14	1,064.26 (29.30)	652.75	3,094.15

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対モンゴル経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	日本 191.43	韓国 42.88	ドイツ 23.43	スイス 21.85	米国 7.07	311.83	191.43
2017年	日本 516.73	韓国 25.60	ドイツ 23.05	スイス 18.85	米国 13.50	624.78	516.73
2018年	日本 88.18	韓国 80.10	ドイツ 33.38	スイス 16.45	米国 13.61	263.44	88.18
2019年	日本 114.88	韓国 57.23	ドイツ 30.13	米国 15.87	スイス 14.97	272.72	114.88
2020年	日本 298.56	フランス 45.76	韓国 32.66	米国 31.49	ドイツ 24.87	486.66	298.56

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対モンゴル経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	AsDB 31.82	EU Institutions 13.41	IDA 11.07	GFATM 2.31	GEF 2.23	8.68	69.54
2017年	IDA 139.80	AsDB 38.03	EU Institutions 13.84	GFATM 4.50	GEF 1.81	10.97	208.97
2018年	AsDB 65.17	EU Institutions 30.20	IDA 15.73	GFATM 4.29	IFAD 1.78	9.83	127.01
2019年	AsDB 54.57	IDA 25.66	EU Institutions 19.55	GFATM 3.01	WHO 1.99	10.21	114.99
2020年	IDA 145.76	AsDB 99.15	EU Institutions 43.87	GFATM 4.14	IFAD 2.75	13.88	309.54

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	15.40億円	
		<ul style="list-style-type: none"> ・ジャパンプラットフォーム(JPF)を通じた人道支援 (1件) (0.25) ・日本NGO連携無償 (1件) (0.75) ・草の根・人間の安全保障無償 (11件) (2.56) ・草の根文化無償 (2件) (0.19) ・人材育成奨学計画 (4件) (2.82) ・新型コロナウイルス感染症危機対応緊急支援計画 (8.83) 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス治療・予防体制及び母子のための医療サービス提供体制改善プロジェクト [21.05～22.09] ・モンゴル学校給食導入支援プロジェクト [21.11～25.11] ・地震防災能力向上プロジェクトフェーズ2 [22.03～26.03]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[10] ラオス

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
738万人	2,520ドル	2.5%	171.88億ドル	後発開発途上国	iii / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ラオス援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	—	50.21	22.54
2018年度	—	44.68	23.30
2019年度	—	25.93	28.57
2020年度	—	44.51	13.69
2021年度	—	40.79	29.74

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ラオス援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	484.36	1,735.85	848.72

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ラオス援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	25.19	25.52 (3.12)	21.70	72.42
2018年	41.77	20.44 -	22.17	84.38
2019年	4.83	44.48 (7.79)	21.80	71.11
2020年	10.87	52.11 (4.02)	20.56	83.53
2021年	3.14	28.80 (13.96)	16.92	48.85
累計	217.66	1,442.36 (35.75)	848.59	2,508.60

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ラオス経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	日本 63.78	韓国 37.66	米国 32.53	ドイツ 29.61	オーストラリア 29.19	256.91	63.78
2017年	日本 77.39	韓国 56.20	米国 44.65	ドイツ 25.30	スイス 24.82	301.08	77.39
2018年	日本 89.57	韓国 72.53	米国 55.48	ドイツ 33.35	ルクセンブルク 28.99	385.84	89.57
2019年	日本 76.60	韓国 65.09	米国 54.32	ドイツ 34.23	オーストラリア 24.72	340.27	76.60
2020年	日本 89.37	米国 63.37	韓国 41.55	ドイツ 28.24	ルクセンブルク 22.26	321.21	89.37

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ラオス経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	AsDB 53.75	IDA 53.34	EU Institutions 28.25	GFATM 13.64	GEF 5.11	21.93	176.01
2017年	IDA 100.14	AsDB 58.92	EU Institutions 29.81	GFATM 7.04	CIF 4.29	21.48	221.66
2018年	AsDB 114.89	IDA 52.82	EU Institutions 32.55	GAVI 5.11	GFATM 5.05	33.05	243.46
2019年	AsDB 154.23	IDA 100.27	EU Institutions 48.37	GAVI 6.57	IFAD 4.37	29.45	343.25
2020年	AsDB 98.65	IDA 54.46	EU Institutions 33.62	CIF 22.25	Nordic Dev.Fund 8.38	36.70	254.05

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	40.79億円	
		・日本NGO連携無償 (4件) (1.76)	・リスク管理を通じた通関手 続き能力向上プロジェクト [21.07～ 24.07]
		・草の根・人間の安全 保障無償 (16件) (1.48)	・電力公社経営マネジメント 改善プロジェクト [21.09～ 24.03]
		・経済社会開発計画 (2件) (20.00)	・新型コロナウイルスに係る 感染症対策プロジェクト [21.09～ 22.10]
		・人材育成奨学計画 (4件) (3.04)	
		・草の根文化無償 (1件) (0.10)	・効果的なREDD+資金活用 に向けた持続的森林管理能 力強化プロジェクト [22.02～ 27.02]
		・ラオス国立大学工学部施設 及び実験機材整備計画 (1.15)	・病院の保健医療サービス の質および財務管理改善プ ロジェクト [22.03～ 25.03]
		・ルアンパバーン市上水道拡 張計画 (10.26)	
		・教員養成校改善計画 (3.00)	

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附带プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

大洋州地域

大洋州地域

表-1 大洋州地域に対する我が国二国間ODA実績

(支出純額及び支出総額ベース、単位：百万ドル)

暦年		2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	累計	
ODA	贈与	無償資金協力	79.58 (3.0)	140.38 (5.3)	139.62 (5.5)	133.73 (4.4)	138.09 (4.2)	2,735.04
		(うち国際機関等を通じた贈与)	0.58 (0.0)	9.04 (0.7)	6.35 (0.5)	10.70 (0.6)	63.04 (3.0)	130.04
		技術協力	52.41 (1.8)	46.07 (1.7)	39.96 (1.5)	32.73 (1.4)	21.46 (0.9)	1,653.00
		贈与計	132.00 (2.4)	186.45 (3.5)	179.59 (3.4)	166.46 (3.0)	159.55 (2.8)	4,388.04
	政府貸付等 支出総額	189.24 (2.0)	32.75 (0.4)	41.45 (0.4)	162.14 (1.4)	458.92 (3.8)	1,634.77	
	<政府貸付等 支出純額>	<98.61>	<13.41>	<26.56>	<151.42>	<458.36>	<936.78>	
政府開発援助計 支出総額(ODA計)		321.24 (2.1)	219.19 (1.6)	221.04 (1.5)	328.60 (1.9)	618.47 (3.5)	6,022.81	
<政府開発援助計 支出純額(ODA計)>		<230.61>	<199.86>	<206.15>	<317.88>	<617.91>	<5,324.82>	

注) 1. ()内は各形態別の全世界合計に占める大洋州地域の割合(%)

2. 国際機関等を通じた贈与は、2006年から、拠出時に供与先の国が明確であるものについては、各被援助国への援助として「無償資金協力」へ計上することに改めた。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

4. 「政府開発援助計 支出純額」の割合については、貸付の償還等に伴いマイナス数値となる場合に適切な割合が出せないことから、掲載していない。

表-2 大洋州地域に対するDAC諸国のODA実績

(支出総額ベース、単位：百万ドル)

援助実績種別	暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
政府開発援助計	2018	オーストラリア 841.87	ニュージーランド 327.03	日本 219.20	米国 186.35	フランス 75.26	1,718.15	219.20
	2019	オーストラリア 819.50	ニュージーランド 313.90	日本 221.04	米国 140.08	フランス 131.26	1,700.59	221.04
	2020	オーストラリア 786.46	日本 328.59	ニュージーランド 293.91	米国 258.32	フランス 128.58	1,892.43	328.59
政府貸付等	2018	日本 32.75	-	-	-	-	32.75	32.75
	2019	日本 41.46	カナダ 0.78	-	-	-	42.24	41.46
	2020	日本 162.14	カナダ 1.15	-	-	-	163.29	162.14
無償資金協力	2018	オーストラリア 408.52	ニュージーランド 252.97	米国 179.16	日本 140.38	フランス 37.41	1,070.32	140.38
	2019	オーストラリア 397.90	ニュージーランド 248.10	日本 139.60	米国 133.20	フランス 99.54	1,074.32	139.60
	2020	オーストラリア 419.41	米国 254.51	ニュージーランド 234.09	日本 133.73	フランス 90.27	1,204.31	133.73
技術協力	2018	オーストラリア 433.35	ニュージーランド 74.06	日本 46.07	フランス 37.85	ドイツ 9.76	615.08	46.07
	2019	オーストラリア 421.60	ニュージーランド 65.80	日本 39.98	フランス 31.72	米国 6.88	584.04	39.98
	2020	オーストラリア 367.05	ニュージーランド 59.82	フランス 38.31	日本 32.72	英国 8.74	524.83	32.72

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2022年10月)

表-3 大洋州地域に対する国際機関のODA実績

(支出総額ベース、単位：百万ドル)

援助実績種別	暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
政府開発援助計	2018	IDA 314.99	EU Institutions 139.41	AsDB 92.93	GEF 29.66	GCF 24.07	103.41	704.51
	2019	IDA 166.33	EU Institutions 142.69	AsDB 111.30	GCF 86.04	GFATM 25.41	103.96	635.76
	2020	IMF-CTF 399.01	AsDB 303.13	IDA 236.70	EU Institutions 138.27	CIF 64.41	153.42	1,294.96
政府貸付等	2018	IDA 232.52	AsDB 48.69	IFAD 7.21	OPEC Fund 3.51	-	-	291.94
	2019	IDA 78.29	AsDB 53.23	IFAD 8.85	OPEC Fund 2.32	-	-	142.71
	2020	IMF-CTF 398.82	AsDB 128.28	IDA 83.77	EU Institutions 13.56	IFAD 7.02	0.14	631.59
無償資金協力	2018	EU Institutions 112.52	IDA 82.48	AsDB 44.24	GEF 29.66	GCF 24.07	84.38	377.34
	2019	EU Institutions 127.84	IDA 88.04	GCF 86.04	AsDB 58.07	GFATM 25.41	92.80	478.21
	2020	AsDB 174.87	IDA 152.93	EU Institutions 107.40	CIF 64.41	GCF 44.58	101.65	645.87
技術協力	2018	EU Institutions 26.89	ILO 5.94	FAO 2.36	AsDB 0.02	-	-	35.24
	2019	EU Institutions 14.85	-	-	-	-	-	14.85
	2020	EU Institutions 17.31	IAEA 0.21	-	-	-	-	17.52

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

[1] キリバス

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
12.1万人	2,920ドル	-0.5%	-	後発開発途上国	iii / 低中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対キリバス援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	14.36	1.31
2018年度	-	24.56	1.27
2019年度	-	8.31	0.86
2020年度	-	4.19	0.36
2021年度	-	3.00	0.30

注)1.年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2.四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対キリバス援助形態実績(累計)

(単位:億円)

累計	円借款	無償資金協力	技術協力
-	-	264.72	50.42

注)1.累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2.四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対キリバス援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年度	-	5.73	1.14	6.87
2018年度	-	20.46	1.20	21.66
2019年度	-	10.81	0.76	11.56
2020年度	-	12.10 (0.18)	0.40	12.50
2021年度	-	1.11 (0.38)	0.26	1.37
累計	-	224.34 (0.55)	64.82	289.16

注)1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対キリバス経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	オーストラリア 19.18	ニュージーランド 11.18	日本 2.85	韓国 0.84	イタリア 0.54	34.78	2.85
2017年	オーストラリア 20.67	ニュージーランド 12.60	日本 6.87	韓国 0.53	ドイツ 0.06	40.81	6.87
2018年	日本 21.66	オーストラリア 20.79	ニュージーランド 13.66	韓国 0.80	ドイツ 0.29	57.45	21.66
2019年	オーストラリア 20.50	日本 11.56	ニュージーランド 10.61	韓国 0.93	イタリア 0.69	44.43	11.56
2020年	オーストラリア 18.86	ニュージーランド 14.90	日本 12.50	韓国 0.93	米国 0.22	47.62	12.50

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対キリバス経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	IDA 6.77	AsDB 5.22	EU Institutions 2.41	GEF 1.88	IFAD 0.67	0.88	17.83
2017年	AsDB 19.09	IDA 13.45	EU Institutions 2.49	IFAD 0.64	WHO 0.38	0.40	36.44
2018年	IDA 10.98	AsDB 5.25	EU Institutions 3.96	IFAD 0.93	GEF 0.82	0.95	22.87
2019年	IDA 7.28	AsDB 2.77	EU Institutions 2.39	WHO 0.33	IFAD 0.15	0.17	13.08
2020年	EU Institutions 6.77	AsDB 1.57	IDA 1.00	IFAD 0.84	UNPBF 0.73	0.76	11.66

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	3.00億円 ・経済社会開発計画 (1件) (3.00)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[2] クック

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
1.8万人	-	-	-	-	-

出典)アジア開発銀行等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対クック援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	0.42	0.05
2018年度	-	2.54	0.08
2019年度	-	0.36	0.05
2020年度	-	1.19	0.01
2021年度	-	1.69	-

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対クック援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	9.16	8.78

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対クック援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	0.42	0.09	0.51
2018年	-	2.07	0.04	2.11
2019年	-	0.39	0.07	0.46
2020年	-	0.49 (0.06)	0.02	0.51
2021年	-	1.08	0.00	1.08
累計	-	5.29	9.11	14.41

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対クック経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	ニュージーランド 11.19	オーストラリア 3.10	日本 0.23	ドイツ 0.04	韓国 0.02	14.57	0.23
2017年	ニュージーランド 11.41	オーストラリア 2.36	日本 0.51	ドイツ 0.06	韓国 0.01	14.35	0.51
2018年	ニュージーランド 26.67	オーストラリア 2.11	-	韓国 0.16	ドイツ 0.01	31.06	2.11
	-	日本 2.11	-	-	-	-	-
2019年	ニュージーランド 24.89	オーストラリア 3.18	日本 0.46	韓国 0.02	ドイツ 0.00	28.55	0.46
2020年	-	-	-	-	-	-	-

出典) OECD/DAC

注) 1. 卒業国向け援助を除く。

2. 2020年にDACリストから卒業したため、同年からOECD/DACは援助額の集計を行っていない。

表-4 国際機関の対クック経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	GEF 1.24	Adaptation Fund 1.17	EU Institutions 1.11	WHO 0.25	GCF 0.14	0.05	3.95
2017年	GEF 4.31	EU Institutions 2.05	GCF 0.29	WHO 0.17	UNDP 0.07	-	6.89
2018年	Adaptation Fund 1.34	GEF 1.33	EU Institutions 1.12	WHO 0.16	ILO 0.05	0.05	4.10
	-	-	-	-	UNDP 0.05	-	-
2019年	GEF 0.80	GCF 0.74	ILO 0.25	-	UNDP 0.02	-	2.06
	-	-	WHO 0.25	-	-	-	-
2020年	-	-	-	-	-	-	-

出典) OECD/DAC

注) 1. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

2. 2020年にDACリストから卒業したため、同年からOECD/DACは援助額の集計を行っていない。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	1.69億円 ・草の根・人間の安全 保障無償 (2件) (0.19) ・経済社会開発計画 (1件) (1.50)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[3] サモア

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
20万人	3,860ドル	-8.1%	4.43億ドル	低所得国	iii / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対サモア援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	4.63	4.46
2018年度	-	11.05	3.66
2019年度	-	34.48	3.68
2020年度	-	5.48	1.68
2021年度	-	2.80	2.26

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対サモア援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	45.98	384.80	158.88

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対サモア援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	6.27	17.01	5.31	28.59
2018年	-1.80	24.72	3.32	26.24
2019年	-1.83	34.12	3.15	35.44
2020年	-0.93	7.55 (0.18)	1.97	8.59
2021年	-	6.89 (2.67)	1.66	8.55
累計	39.44	323.99 (2.85)	141.84	505.27

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対サモア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	オーストラリア 25.90	日本 16.63	ニュージーランド 14.79	米国 1.41	韓国 0.11	58.87	16.63
2017年	オーストラリア 31.18	日本 29.48	ニュージーランド 15.50	米国 1.24	英国 0.23	77.77	29.48
2018年	日本 28.04	オーストラリア 25.28	ニュージーランド 20.24	米国 1.83	韓国 0.69	76.16	28.04
2019年	日本 37.26	オーストラリア 23.71	ニュージーランド 14.79	英国 2.39	米国 1.23	80.63	37.26
2020年	オーストラリア 24.95	ニュージーランド 20.06	日本 9.52	米国 0.92	韓国 0.74	57.00	9.52

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対サモア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	IDA 13.13	AsDB 9.29	EU Institutions 6.24	GEF 3.46	OPEC Fund 2.93	4.75	39.80
2017年	IDA 27.03	AsDB 18.83	EU Institutions 8.12	GEF 6.33	GCF 4.77	3.86	68.94
2018年	IDA 19.24	EU Institutions 16.40	AsDB 11.52	GCF 7.38	GEF 5.66	5.84	66.06
2019年	IDA 32.36	EU Institutions 6.55	GEF 4.28	AsDB 4.26	CERF 2.71	3.75	53.91
2020年	IDA 32.42	AsDB 27.06	CIF 26.68	IMF-CTF 22.56	GCF 11.82	4.12	124.67

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	2.80億円 ・経済社会開発計画 (1件) (1.00) ・草の根・人間の安全保障無償 (9件) (1.80)	・沖縄連携によるサモア水道 公社維持管理能力強化プロジェクト・フェーズ2 [21.10~25.01]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附带プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[4] ソロモン

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
70.4万人	2,300ドル	-0.2%	4.83億ドル	後発開発途上国	iii / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ソロモン援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	5.51	5.99
2018年度	-	8.25	6.85
2019年度	-	8.70	6.46
2020年度	25.00	27.91	3.80
2021年度	-	22.17	3.32

注)1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ソロモン援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	25.00	371.92	141.53

注)1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ソロモン援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	7.88	4.81	12.69
2018年	-	18.66	5.51	24.18
2019年	-	1.84	6.31	8.15
2020年	-	9.89 (0.39)	3.61	13.51
2021年	22.78	25.11 (2.10)	3.29	51.17
累計	19.94	300.78 (2.98)	149.34	470.07

注)1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ソロモン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	オーストラリア 108.56	日本 19.13	ニュージーランド 14.26	韓国 2.44	米国 0.88	146.24	19.13
2017年	オーストラリア 119.20	ニュージーランド 18.58	日本 12.69	韓国 4.45	米国 0.67	156.34	12.69
2018年	オーストラリア 113.40	日本 24.18	ニュージーランド 22.20	韓国 2.77	米国 1.60	166.09	24.18
2019年	オーストラリア 119.61	ニュージーランド 22.21	米国 21.40	日本 8.15	韓国 2.74	176.28	8.15
2020年	オーストラリア 87.03	ニュージーランド 21.26	日本 13.51	英国 1.15	米国 0.90	125.75	13.51

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ソロモン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	AsDB 17.44	IDA 6.85	GEF 3.97	GFATM 3.29	EU Institutions 1.25	4.13	36.92
2017年	AsDB 11.04	EU Institutions 9.58	IDA 4.18	IFAD 3.19	GEF 2.47	7.81	38.27
2018年	AsDB 9.72	EU Institutions 8.44	IDA 5.76	GAVI 2.89	GFATM 2.78	7.02	36.60
2019年	EU Institutions 11.89	IDA 11.06	GCF 8.00	AsDB 6.72	CIF 4.33	9.55	51.55
2020年	AsDB 36.39	IDA 30.94	IMF-CTF 9.84	EU Institutions 9.39	CIF 3.84	2.65	93.04

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	22.17億円 ・草の根・人間の安全保障無償 (7件) (1.36) ・経済社会開発計画 (1件) (4.00) ・ホニアラ国際空港整備計画 (国債4/4) (9.74) ・第二次クム幹線道路改善計画 (国債2/4) (3.42) ・ホニアラ国際空港整備計画【追加贈与】 (3.65)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[5] ツバル

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
1.2万人	6,760ドル	3.0%	-	後発開発途上国	iii / 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ツバル援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	0.14	0.78
2018年度	-	6.83	1.48
2019年度	-	1.22	0.14
2020年度	-	1.00	0.02
2021年度	-	2.33	0.01

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ツバル援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	113.37	31.30

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ツバル援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	0.34	1.16	1.50
2018年	-	0.36	1.71	2.06
2019年	-	3.38	0.12	3.50
2020年	-	1.98 (0.02)	0.06	2.04
2021年	-	3.16	0.02	3.18
累計	-	104.38 (0.02)	29.18	133.56

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ツバル経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	オーストラリア 5.53	ニュージーランド 4.98	日本 1.85	イタリア 0.29	韓国 0.24	12.91	1.85
2017年	オーストラリア 6.47	ニュージーランド 5.17	日本 1.50	韓国 0.10	イタリア 0.05	13.30	1.50
2018年	オーストラリア 6.43	ニュージーランド 3.48	日本 2.06	韓国 0.16	英国 0.06	12.20	2.06
2019年	オーストラリア 9.41	ニュージーランド 6.41	日本 3.50	韓国 0.21	イタリア 0.13	19.83	3.50
2020年	オーストラリア 7.58	ニュージーランド 7.20	日本 2.04	韓国 0.38	カナダ 0.17	17.44	2.04

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ツバル経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	IDA 7.98	GEF 1.67	AsDB 0.92	EU Institutions 0.75	ILO 0.10	0.07	11.49
2017年	IDA 8.21	AsDB 4.89	GCF 2.01	EU Institutions 0.26	ILO 0.20	0.06	15.64
2018年	IDA 10.52	EU Institutions 2.38	GEF 1.40	AsDB 1.17	UNDP 0.05	0.08	15.59
2019年	AsDB 7.97	GCF 4.69	IDA 2.53	EU Institutions 1.62	FAO 0.14	0.07	17.03
2020年	IDA 17.43	AsDB 7.43	UNPBF 0.70	EU Institutions 0.12	ILO 0.04	-	25.72

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	2.33億円 ・草の根・人間の安全保障無償 (2件) (0.33) ・経済社会開発計画 (1件) (2.00)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[6] トンガ

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
10.7万人	-	0.7%	2.24億ドル	高中所得国	iii / -

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対トンガ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	24.80	2.31
2018年度	-	29.14	2.34
2019年度	-	0.62	1.73
2020年度	-	3.02	0.89
2021年度	-	16.71	4.36

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対トンガ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	306.80	123.68

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対トンガ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年度	-	19.44	3.48	22.92
2018年度	-	11.46	2.07	13.54
2019年度	-	15.23	1.55	16.78
2020年度	-	16.66 (0.08)	0.96	17.62
2021年度	-	12.85 (0.29)	0.87	13.72
累計	-	259.26 (0.38)	109.00	368.27

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対トンガ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	オーストラリア 19.68	ニュージーランド 16.99	日本 12.91	米国 1.35	イタリア 0.49	51.71	12.91
2017年	日本 22.92	オーストラリア 22.74	ニュージーランド 8.46	ドイツ 1.79	米国 1.55	57.61	22.92
2018年	オーストラリア 25.75	ニュージーランド 22.56	日本 13.54	米国 1.60	韓国 0.16	63.72	13.54
2019年	オーストラリア 19.00	日本 16.78	ニュージーランド 9.67	米国 1.28	ドイツ 0.30	47.50	16.78
2020年	オーストラリア 22.16	日本 17.62	ニュージーランド 14.79	アイルランド 2.04	米国 0.67	58.07	17.62

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対トンガ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	AsDB 14.30	IDA 13.21	EU Institutions 3.27	GEF 1.15	IFAD 0.94	0.69	33.57
2017年	IDA 12.12	AsDB 9.84	CIF 6.56	EU Institutions 3.69	IFAD 0.94	0.82	33.96
2018年	IDA 16.51	AsDB 9.45	EU Institutions 5.08	CIF 3.92	IFAD 0.67	0.86	36.49
2019年	GCF 24.32	IDA 15.92	AsDB 14.87	CIF 4.13	EU Institutions 1.97	1.70	62.91
2020年	IDA 50.77	AsDB 31.06	CIF 19.03	EU Institutions 2.83	IFAD 0.89	1.59	106.17

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	16.71億円 ・経済社会開発計画 (2件) (12.00) ・全国早期警報システム導入及び防災通信能力強化計画 (2.07) 【追加贈与】 ・トンガにおける火山噴火及び津波被害に対する緊急無償資金協力(UNICEF連携) (1.35) ・同上案件(WFP連携) (1.29)	・新型コロナウイルス感染症流行下における遠隔技術を活用した集中治療能力強化プロジェクト [21.07~22.12]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[7] ナウル

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
1.1万人	-	1.5%	-	高中所得国	iv / -

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ナウル援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	-	0.15
2018年度	-	8.81	0.12
2019年度	-	2.19	0.06
2020年度	-	1.07	0.02
2021年度	-	2.00	0.01

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ナウル援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	34.17	2.91

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ナウル援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	0.31	0.13	0.44
2018年	-	0.23	0.07	0.30
2019年	-	8.33	0.06	8.39
2020年	-	2.22 (0.03)	0.04	2.26
2021年	-	1.12	0.02	1.14
累計	-	34.55 (0.03)	6.47	41.02

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ナウル経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	オーストラリア 14.25	日本 2.19	ニュージーランド 0.98	韓国 0.35	イタリア 0.20	17.97	2.19
2017年	オーストラリア 21.35	ニュージーランド 1.61	日本 0.44	韓国 0.14	カナダ 0.01	23.54	0.44
2018年	オーストラリア 23.29	ニュージーランド 3.11	日本 0.30	イタリア 0.05	-	26.75	0.30
2019年	オーストラリア 17.84	日本 8.39	ニュージーランド 2.82	イタリア 0.28	スイス 0.11	29.59	8.39
2020年	オーストラリア 13.45	ニュージーランド 3.48	日本 2.26	韓国 0.20	スイス 0.15	19.63	2.26

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ナウル経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	AsDB 3.83	GEF 0.53	EU Institutions 0.01	-	-	-	4.38
	-	-	WHO 0.01	-	-	-	-
2017年	AsDB 1.73	EU Institutions 0.27	WHO 0.07	UNDP 0.06	-	-	2.14
2018年	GCF 5.51	AsDB 3.01	EU Institutions 1.51	GEF 0.65	WHO 0.01	-	10.70
2019年	GCF 18.84	AsDB 5.15	EU Institutions 0.65	WHO 0.06	FAO 0.03	-	24.74
2020年	AsDB 8.41	EU Institutions 0.07	WHO 0.03	-	-	-	8.51

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	2.00億円 ・経済社会開発計画 (1件) (2.00)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[8] ニウエ

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
0.19万人	-	-	-	高中所得国	-

出典)アジア開発銀行

表-1-1 我が国の対ニウエ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	-	0.09
2018年度	-	1.17	0.05
2019年度	-	0.13	0.13
2020年度	-	1.13	-
2021年度	-	1.20	-

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ニウエ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	3.83	2.13

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ニウエ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	-	0.10	0.10
2018年	-	0.91	0.05	0.96
2019年	-	0.16	0.10	0.26
2020年	-	0.15 (0.02)	0.03	0.17
2021年	-	1.03	0.00	1.03
累計	-	2.43 (0.02)	2.02	4.44

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ニウエ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	ニュージーランド 9.71	オーストラリア 2.58	日本 0.24	米国 0.06	韓国 0.02	12.61	0.24
2017年	ニュージーランド 11.96	オーストラリア 1.75	日本 0.10	カナダ 0.01	韓国 0.00	13.83	0.10
2018年	ニュージーランド 16.11	日本 0.96	オーストラリア 0.45	-	-	17.51	0.96
2019年	ニュージーランド 15.50	オーストラリア 2.44	日本 0.26	韓国 0.02	-	18.22	0.26
2020年	ニュージーランド 18.43	オーストラリア 2.03	日本 0.17	韓国 0.12	-	20.75	0.17

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ニウエ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	GEF 0.98	UNDP 0.05	WHO 0.04	EU Institutions 0.01	-	-	1.07
2017年	EU Institutions 0.43	GEF 0.39	UNDP 0.07	WHO 0.05	-	-	0.94
2018年	GEF 0.83	GCF 0.29	EU Institutions 0.18	UNDP 0.06	WHO 0.02	0.01	1.40
2019年	EU Institutions 0.38	FAO 0.09	WHO 0.07	GEF 0.06	UNDP 0.03	-	0.62
2020年	GEF 1.02	AsDB 0.32	UNDP 0.06	WHO 0.02	-	-	1.43

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	1.20億円 ・草の根・人間の安全保障無償 (1件) (0.20) ・経済社会開発計画 (1件) (1.00)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[9] バヌアツ

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
31.4万人	3,140ドル	0.5%	5.15億ドル	低所得国	iii / 低所得国

出典) WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対バヌアツ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	0.51	4.37
2018年度	-	3.51	4.21
2019年度	-	8.07	5.29
2020年度	-	7.36	2.45
2021年度	-	6.61	1.86

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対バヌアツ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	95.43	160.14	100.71

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対バヌアツ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	25.20	0.77	3.99	29.97
2018年	7.92	0.92	4.25	13.09
2019年	1.12	2.66	3.32	7.10
2020年	-0.02	6.74 (0.38)	3.23	9.95
2021年	-	3.51	1.70	5.21
累計	73.21	134.09 (1.02)	94.52	301.82

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対バヌアツ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	オーストラリア 40.36	日本 27.84	ニュージーランド 27.28	米国 3.46	フランス 2.74	103.72	27.84
2017年	オーストラリア 50.53	日本 29.97	ニュージーランド 16.42	米国 3.65	フランス 2.73	103.85	29.97
2018年	オーストラリア 42.94	ニュージーランド 17.08	日本 13.09	フランス 5.27	米国 3.63	83.31	13.09
2019年	オーストラリア 42.75	ニュージーランド 17.21	日本 7.10	フランス 3.74	米国 2.39	76.33	7.10
2020年	オーストラリア 54.15	ニュージーランド 20.52	日本 9.97	フランス 4.07	米国 1.81	92.13	9.97

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対バヌアツ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	EU Institutions 11.92	AsDB 5.05	IDA 3.96	GEF 3.95	WHO 0.87	1.38	27.13
2017年	IDA 18.19	AsDB 9.51	WHO 1.25	GGGI 0.83	EU Institutions 0.57	0.88	31.23
2018年	IDA 28.44	AsDB 10.36	GEF 6.55	EU Institutions 3.55	WHO 0.78	1.98	51.67
2019年	IDA 39.14	AsDB 11.44	EU Institutions 2.64	GCF 2.11	GEF 1.30	1.65	58.28
2020年	AsDB 23.94	IDA 17.72	EU Institutions 14.84	GCF 2.85	CIF 2.72	4.04	66.11

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	6.61億円 ・草の根・人間の安全 保障無償 (2件) (0.19) ・サント島における水力発電施設建設計画(国債1/5) (1.36) ・テオウマ橋災害復興計画(国債3/4) (5.06)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[10] パプアニューギニア

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
912万人	2,790ドル	1.5%	169.83億ドル	低所得国	iii / 低所得国

出典) WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対パプアニューギニア援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	0.88	11.00
2018年度	-	17.33	13.68
2019年度	-	4.07	9.54
2020年度	300.00	29.27	5.74
2021年度	-	15.37	8.01

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対パプアニューギニア援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	1,357.28	506.67	385.06

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対パプアニューギニア援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	6.99	2.16	-	21.19
2018年	8.39	22.31 (0.91)	13.39	44.10
2019年	24.17	20.92	7.91	52.99
2020年	88.00	23.30 (1.16)	6.76	118.06
2021年	318.15	22.08 (11.91)	5.43	345.67
累計	461.54	447.47 (16.19)	357.17	1,266.19

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対パプアニューギニア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	オーストラリア 338.53	日本 61.08	ニュージーランド 23.29	米国 11.88	ドイツ 1.96	441.06	61.08
2017年	オーストラリア 381.46	日本 37.37	ニュージーランド 22.54	米国 10.98	ドイツ 1.41	457.08	37.37
2018年	オーストラリア 418.60	日本 60.53	ニュージーランド 28.47	米国 8.75	ドイツ 2.82	525.57	60.53
2019年	オーストラリア 415.17	日本 64.94	ニュージーランド 28.72	米国 6.96	ドイツ 3.09	524.49	64.94
2020年	オーストラリア 363.52	日本 126.69	ニュージーランド 24.20	米国 10.96	ドイツ 3.11	532.18	126.69

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対パプアニューギニア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	AsDB 41.23	IDA 32.56	GFATM 19.96	EU Institutions 15.67	IFAD 3.52	18.93	131.87
2017年	AsDB 37.27	GFATM 21.77	IDA 20.20	EU Institutions 13.28	GEF 5.06	19.98	117.54
2018年	IDA 192.45	AsDB 38.15	EU Institutions 34.00	GFATM 15.06	CERF 9.19	28.67	317.53
2019年	EU Institutions 48.10	AsDB 41.95	IDA 32.13	GFATM 19.19	GAVI 13.26	29.75	184.40
2020年	IMF-CTF 366.61	AsDB 88.27	IDA 36.55	EU Institutions 24.05	GFATM 21.82	36.24	573.56

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	15.37億円 ・経済社会開発計画 (3件) (12.10) ・草の根・人間の安全保障無償 (3件) (0.27) ・ブーゲンビル住民投票後支援計画(UNDP連携) (3.00)	・院内感染対策を通じた基礎的医療サービス向上プロジェクト [21.07～23.03] ・電力系統計画・運用能力向上プロジェクト [21.12～24.12] ・運輸省港湾政策及び行政能力強化プロジェクトフェーズ2 [22.03～25.03]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[11] パラオ

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
1.8万人	-	-9.7%	-	高中所得国	iv/ 高所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対パラオ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	3.25	3.58
2018年度	-	18.59	1.73
2019年度	-	8.93	2.44
2020年度	-	12.79	1.03
2021年度	-	7.37	3.28

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対パラオ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	284.34	82.16

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対パラオ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	8.32	4.66	12.97
2018年	-	12.84 (0.07)	1.99	14.82
2019年	4.22	11.84	2.34	18.40
2020年	15.48	16.39 (3.78)	1.23	33.10
2021年	0.92	11.51 (0.40)	1.52	13.95
累計	20.61	230.56 (4.25)	85.11	336.29

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対パラオ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	日本 10.48	オーストラリア 1.22	米国 0.89	韓国 0.19	ニュージーランド 0.10	13.02	10.48
2017年	日本 12.97	米国 2.92	オーストラリア 1.49	ニュージーランド 0.19	ベルギー 0.15	17.77	12.97
2018年	米国 66.40	日本 14.82	オーストラリア 1.20	韓国 0.61	ニュージーランド 0.25	83.51	14.82
2019年	日本 18.40	オーストラリア 2.20	米国 1.36	ニュージーランド 0.51	韓国 0.41	23.34	18.40
2020年	日本 33.10	オーストラリア 3.99	米国 2.52	ニュージーランド 1.18	韓国 0.69	41.66	33.10

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対パラオ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	AsDB 3.41	GEF 1.21	IAEA 0.07	GCF 0.04	WHO 0.03	-	4.76
2017年	AsDB 3.56	EU Institutions 0.13	WHO 0.09	IAEA 0.04	UNDP 0.02	-	3.84
2018年	AsDB 0.59	GEF 0.20	ILO 0.08	FAO 0.05	UNDP 0.04	0.06	1.03
2019年	EU Institutions 0.70	AsDB 0.66	ILO 0.16	IAEA 0.14	FAO 0.08	0.07	1.81
2020年	AsDB 21.07	GCF 0.35	IAEA 0.10	ILO 0.05	-	-	21.61
	-	-	-	WHO 0.05	-	-	-

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	7.37億円 <ul style="list-style-type: none"> ・日本NGO連携無償 (1件) (0.95) ・草の根・人間の安全保障無償 (6件) (1.73) ・経済社会開発計画 (1件) (2.50) ・農畜産業発展支援計画 (2.00) ・廃棄物処分場建設計画【追加贈与】 (0.19) 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症流行下における遠隔技術を活用した集中治療能力強化プロジェクト [21.07～23.03] ・無収水削減能力向上プロジェクト [22.01～24.02] ・気候変動への強靱性強化のための統合的沿岸生態系管理能力向上プロジェクト [22.02～25.02]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[12] フィジー

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
90.3万人	4,860ドル	-4.1%	20.28億ドル	高中所得国	iii / 高中所得国

出典) WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対フィジー援助形態実績(年度別)

(単位: 億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	—	4.14	6.89
2018年度	—	4.08	8.10
2019年度	50.00	9.84	6.96
2020年度	100.00	8.65	4.01
2021年度	100.00	6.07	5.07

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対フィジー援助形態実績(累計)

(単位: 億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	272.87	238.15	313.49

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対フィジー援助形態別実績

(支出純額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-1.08	12.86 (0.01)	6.70	18.48
2018年	-1.10	1.81 (0.07)	5.45	6.16
2019年	-1.11	4.42 (0.10)	7.19	10.49
2020年	19.00	15.44 (0.59)	5.73	40.17
2021年	116.51	2.12 (0.38)	2.62	121.25
累計	135.86	207.68 (31.42)	298.84	642.38

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対フィジー経済協力実績

(支出総額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	オーストラリア 57.63	ニュージーランド 16.42	日本 10.77	米国 3.52	ドイツ 2.35	95.42	10.77
2017年	オーストラリア 46.89	日本 19.56	ニュージーランド 16.77	韓国 3.72	米国 2.49	96.39	19.56
2018年	オーストラリア 47.07	ニュージーランド 17.00	韓国 7.44	日本 7.26	ドイツ 2.68	85.84	7.26
2019年	オーストラリア 41.54	ニュージーランド 14.81	日本 11.61	韓国 6.35	英国 4.72	84.52	11.61
2020年	オーストラリア 48.11	日本 41.31	ニュージーランド 16.51	韓国 8.16	英国 3.54	122.91	41.31

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対フィジー経済協力実績

(支出総額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	EU Institutions 11.36	AsDB 2.79	UNDP 2.32	WHO 2.24	GEF 1.52	2.35	22.58
2017年	EU Institutions 33.52	GEF 10.66	UNDP 1.64	WHO 1.25	AsDB 0.73	2.54	50.33
2018年	EU Institutions 11.84	UNICEF 8.84	GEF 5.23	GCF 4.50	GGGI 1.43	4.28	36.11
2019年	GCF 17.14	EU Institutions 11.66	UNICEF 9.94	GEF 2.05	UNDP 1.27	3.77	45.83
2020年	IDA 28.83	EU Institutions 17.55	UNICEF 9.91	GEF 9.56	UNDP 1.59	3.95	71.40

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	100.00億円 ・新型コロナウイルス感染症 危機対応緊急支援借款 (フェーズ2) (100.00)	6.07億円 ・草の根・人間の安全 保障無償 (12件) (1.67) ・経済社会開発計画 (2件) (3.00) ・タマプア・イ・ワイ橋架け替え計 画 (1.40)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[13] マーシャル

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
6.0万人	—	-2.5%	-	高中所得国	iii / 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対マーシャル援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	—	11.01	1.71
2018年度	—	10.18	1.15
2019年度	—	8.66	1.11
2020年度	—	5.05	0.92
2021年度	—	32.04	0.98

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対マーシャル援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	—	221.40	55.40

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対マーシャル援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	0.78	-	3.92
2018年	-	3.00	-	1.07
2019年	-	9.38	-	1.03
2020年	-	11.57 (0.09)	0.99	12.56
2021年	-	0.68	-	0.41
累計	-	137.51 (0.09)	65.58	203.09

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対マーシャル経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	米国 6.90	日本 3.87	オーストラリア 1.34	ニュージーランド 0.27	韓国 0.17	12.89	3.87
2017年	米国 56.53	オーストラリア 9.58	日本 4.69	ドイツ 0.37	英国 0.31	72.05	4.69
2018年	米国 42.13	日本 4.07	ドイツ 1.32	オーストラリア 0.81	ニュージーランド 0.80	49.33	4.07
2019年	米国 42.08	日本 10.41	オーストラリア 2.05	ドイツ 0.82	ニュージーランド 0.70	56.64	10.41
2020年	米国 104.50	日本 12.56	オーストラリア 2.08	ドイツ 1.96	ニュージーランド 0.56	122.37	12.56

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対マーシャル経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	AsDB 0.59	IDA 0.50	EU Institutions 0.24	IAEA 0.17	WHO 0.13	0.12	1.74
2017年	AsDB 1.53	IDA 1.03	ILO 0.18	WHO 0.15	IAEA 0.07	-	2.95
2018年	IDA 2.52	AsDB 2.46	EU Institutions 1.77	GCF 0.40	GEF 0.23	0.41	7.80
2019年	IDA 5.85	EU Institutions 3.56	AsDB 2.50	ILO 0.26	WHO 0.24	0.22	12.63
2020年	GCF 27.72	AsDB 24.29	IDA 7.52	UNPBF 0.81	EU Institutions 0.40	0.26	61.00

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	32.04億円 ・草の根・人間の安全保障無償 (3件) (0.27) ・経済社会開発計画 (5件) (23.00) ・マジュロ環礁における貯水池整備計画(国債2/4) (8.77)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[14] ミクロネシア連邦

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
11.6万人	—	-3.2%	-	低所得国	iii/ 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ミクロネシア連邦援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	—	4.94	2.24
2018年度	—	3.65	2.42
2019年度	—	6.44	2.14
2020年度	—	5.35	1.79
2021年度	—	12.17	0.66

注)1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ミクロネシア連邦援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	—	260.49	98.07

注)1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ミクロネシア連邦援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	2.77	2.38	5.15
2018年	-	12.33	2.15	14.49
2019年	-	9.29	2.12	11.41
2020年	-	5.59 (0.16)	1.95	7.53
2021年	-	1.97	0.70	2.67
累計	15.65	203.87 (0.16)	115.95	335.47

注)1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ミクロネシア連邦経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	米国 29.56	日本 5.74	オーストラリア 1.24	韓国 0.32	ニュージーランド 0.28	37.34	5.74
2017年	米国 69.73	オーストラリア 13.63	日本 5.15	韓国 0.66	ニュージーランド 0.35	89.55	5.15
2018年	米国 55.43	日本 14.49	オーストラリア 2.80	ニュージーランド 0.91	韓国 0.73	74.47	14.49
2019年	米国 57.78	日本 11.41	オーストラリア 4.17	ニュージーランド 1.04	韓国 0.57	75.49	11.41
2020年	米国 122.47	日本 7.53	オーストラリア 3.58	韓国 0.57	ニュージーランド 0.40	134.76	7.53

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ミクロネシア連邦経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	IDA 8.84	AsDB 3.15	GEF 0.94	WHO 0.49	GCF 0.20	0.01	13.63
2017年	IDA 5.20	EU Institutions 2.06	AsDB 1.55	Adaptation Fund 1.25	WHO 0.51	0.13	10.69
2018年	IDA 25.45	Adaptation Fund 0.48	WHO 0.42	AsDB 0.30	FAO 0.20	0.09	26.95
2019年	IDA 18.01	GCF 0.60	WHO 0.47	AsDB 0.32	FAO 0.29	-	19.70
2020年	AsDB 21.30	IDA 10.86	EU Institutions 4.60	Adaptation Fund 2.30	WHO 0.45	-	39.50

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	12.17億円 ・日本NGO連携無償 (1件) (0.94) ・草の根・人間の安全保障無償 (2件) (0.23) ・経済社会開発計画 (2件) (7.00) ・水産海事学校能力向上計画 (4.00)	・水産海事学校能力向上プロジェクト [21.04～24.10]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

南西アジア地域

南西アジア地域

表-1 南西アジア地域に対する我が国二国間ODA実績

(支出純額及び支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年		2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	累計	
ODA	贈与	無償資金協力	188.59 (7.2)	191.05 (7.3)	217.67 (8.5)	174.79 (5.7)	267.11 (8.2)	12,827.37
		(うち国際機関等を通じた贈与)	27.27 (2.0)	74.46 (5.7)	64.08 (5.5)	79.06 (4.4)	144.55 (6.9)	1,117.62
		技術協力	299.35 (10.4)	186.68 (7.1)	202.11 (7.4)	154.78 (6.4)	133.29 (5.5)	5,071.29
		贈与計	487.94 (8.9)	377.73 (7.2)	419.78 (8.0)	329.57 (6.0)	400.40 (7.0)	17,898.67
	政府貸付等 支出総額	3,844.07 (40.1)	3,618.48 (45.2)	4,076.16 (43.4)	4,134.77 (36.2)	5,443.53 (44.9)	68,212.89	
	<政府貸付等 支出純額>	<2,469.00>	<2,176.35>	<2,582.02>	<2,649.74>	<4,127.89>	<37,168.98>	
政府開発援助計 支出総額(ODA計)		4,332.00 (28.7)	3,996.20 (30.1)	4,495.94 (30.6)	4,464.34 (26.4)	5,843.93 (32.8)	86,111.55	
<政府開発援助計 支出純額(ODA計)>		<2,956.94> <(36.6)>	<2,554.08> <(41.9)>	<3,001.80> <(40.1)>	<2,979.30> <(29.1)>	<4,528.29> <(39.0)>	<55,067.64>	

注) 1. ()内は各形態別の全世界合計に占める南西アジア地域の割合(%)

2.国際機関等を通じた贈与は、2006年から、拠出時に供与先の国が明確であるものについては、各被援助国への援助として「無償資金協力」へ計上することに改めた。

3.四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

4.「政府開発援助計 支出純額」の割合については、貸付の償還等に伴いマイナス数値となる場合に適切な割合が出せないことから、掲載していない。

表-2 南西アジア地域に対するDAC諸国のODA実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

援助実績種別	暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
政府開発援助計	2018	日本 3,996.20	ドイツ 1,212.12	米国 1,167.21	英国 979.64	フランス 517.14	8,758.46	3,996.20
	2019	日本 4,495.94	ドイツ 1,263.13	米国 1,068.50	英国 1,022.59	フランス 516.48	9,324.37	4,495.94
	2020	日本 4,464.34	ドイツ 1,572.27	米国 896.10	英国 820.41	フランス 527.13	9,116.79	4,464.34
政府貸付等	2018	日本 3,618.47	ドイツ 613.78	フランス 460.52	韓国 72.26	英国 20.66	4,800.41	3,618.47
	2019	日本 4,076.16	ドイツ 679.55	フランス 476.17	韓国 208.82	英国 32.67	5,476.91	4,076.16
	2020	日本 4,134.76	ドイツ 878.13	フランス 479.01	韓国 105.42	英国 32.86	5,631.44	4,134.76
無償資金協力	2018	米国 1,138.78	英国 887.52	ドイツ 213.29	日本 191.05	スイス 108.99	3,063.35	191.05
	2019	米国 1,050.70	英国 834.80	日本 217.67	ドイツ 160.98	スイス 100.00	2,848.44	217.67
	2020	米国 880.80	英国 693.68	ドイツ 211.72	日本 174.78	オーストラリア 97.27	2,497.40	174.78
技術協力	2018	ドイツ 385.05	日本 186.67	英国 71.46	オーストラリア 49.00	カナダ 45.90	894.71	186.67
	2019	ドイツ 422.59	日本 202.11	英国 155.12	カナダ 40.71	オーストラリア 30.71	999.02	202.11
	2020	ドイツ 482.41	日本 154.79	英国 93.88	フランス 75.02	カナダ 51.44	987.94	154.79

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2022年10月)

注) ただし、地域区分についてはDAC基準とは異なる。

表-3 南西アジア地域に対する国際機関のODA実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

援助実績種別	暦年	1位		2位		3位		4位		5位		その他	合計
政府開発援助計	2018	IDA	3,845.63	AsDB	940.37	EU Institutions	837.22	GAVI	349.21	GFATM	233.99	633.55	6,839.94
	2019	IDA	4,061.09	AsDB	1,793.85	EU Institutions	569.06	GAVI	380.23	GFATM	258.38	606.39	7,669.01
	2020	IDA	4,601.72	AsDB	2,152.13	EU Institutions	850.01	IMF-CTF	504.62	GAVI	448.55	1,002.65	9,559.71
政府貸付等	2018	IDA	3,809.46	AsDB	867.98	EU Institutions	408.85	IFAD	106.36	CIF	83.51	81.72	5,357.86
	2019	IDA	3,998.14	AsDB	1,679.70	EU Institutions	248.33	IFAD	141.41	OPEC Fund	38.58	12.53	6,118.70
	2020	IDA	4,492.63	AsDB	2,015.75	IMF-CTF	495.68	EU Institutions	336.38	IFAD	100.82	189.70	7,630.97
無償資金協力	2018	GAVI	349.21	EU Institutions	334.27	GFATM	233.99	UNICEF	129.63	AsDB	72.25	257.63	1,376.96
	2019	GAVI	380.23	GFATM	258.38	EU Institutions	212.69	UNICEF	144.35	AsDB	114.19	332.45	1,442.28
	2020	GAVI	448.55	EU Institutions	421.90	GFATM	311.72	AsDB	136.39	UNICEF	122.66	395.39	1,836.65
技術協力	2018	EU Institutions	94.11	ILO	8.72	FAO	2.01	AsDB	0.14		-	-	105.11
			-		-		-	OPEC Fund	0.14		-	-	-
	2019	EU Institutions	108.04		-		-		-		-	-	108.04
	2020	EU Institutions	91.73	IAEA	0.37		-		-		-	-	92.10

出典) OECDデータベース (OECD.Stat) (2022年10月)

注) 1. ただし、地域区分についてはDAC基準とは異なる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

[1] インド

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
13.93億人	2,170ドル	8.9%	6,128.66億ドル	低所得国	iii / 低所得国

出典) WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対インド援助形態実績(年度別)

(単位: 億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	3,841.32	16.00	90.67
2018年度	4,219.55	17.57	106.62
2019年度	3,744.40	14.62	87.00
2020年度	3,562.96	51.20	73.14
2021年度	3,122.58	46.74	85.65

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対インド援助形態実績(累計)

(単位: 億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	68,783.90	1,069.61	1,085.59

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対インド援助形態別実績

(支出純額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	1,390.52	1.35	162.76	1,554.63
2018年	1,280.92	8.34	86.15	1,375.40
2019年	1,681.14	7.48	106.15	1,794.77
2020年	597.77	12.55 (5.97)	81.51	691.82
2021年	2,266.95	57.87 (41.87)	62.46	2,387.27
累計	21,567.32	697.32 (62.83)	1,249.39	23,514.02

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対インド経済協力実績

(支出総額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	日本 1,800.46	ドイツ 618.30	フランス 167.38	英国 127.71	米国 121.35	2,919.80	1,800.46
2017年	日本 2,376.10	ドイツ 1,181.84	フランス 214.78	米国 137.21	英国 118.33	4,112.84	2,376.10
2018年	日本 2,231.91	ドイツ 876.49	フランス 351.61	英国 133.91	米国 133.66	3,812.68	2,231.91
2019年	日本 2,699.94	ドイツ 947.84	フランス 272.70	英国 153.15	米国 99.02	4,271.24	2,699.94
2020年	日本 1,807.74	ドイツ 1,189.76	フランス 422.58	英国 134.51	米国 93.67	3,738.42	1,807.74

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対インド経済協力実績

(支出総額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	IDA 1,610.17	EU Institutions 303.02	GAVI 135.09	GFATM 130.09	UNICEF 58.96	132.09	2,369.42
2017年	IDA 1,279.87	EU Institutions 466.37	GAVI 144.20	CIF 67.25	UNICEF 64.83	75.47	2,097.99
2018年	IDA 1,031.68	EU Institutions 402.73	GAVI 106.22	GFATM 103.21	CIF 70.71	138.60	1,853.14
2019年	IDA 1,024.02	EU Institutions 196.28	GFATM 130.83	GAVI 120.87	UNICEF 63.15	111.97	1,647.10
2020年	IDA 837.44	EU Institutions 314.54	GFATM 147.44	GAVI 84.39	CIF 54.64	131.66	1,570.11

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	3122.58億円	46.74億円	
	・アッサム州保健システム強化計画 (456.05)	・ジャバンプラットフォーム(JPF)を通じた人道支援 (2件) (0.40)	・新型コロナウイルス感染拡大予防能力向上プロジェクト [21.08~22.09]
	・ベンガルール上下水道整備計画(フェーズ3)(第二期) (370.68)	・草の根・人間の安全保障無償 (5件) (0.38)	・インド工科大学ハイデラバード校 日印産学研究ネットワーク構築支援プロジェクト フェーズ2 [21.12~27.05]
	・チェンナイ地下鉄建設計画(フェーズ2)(第二期) (730.00)	・インドにおける新型コロナ対応のための緊急無償資金協力(UNOPS連携) (35.96)	
	・貨物専用鉄道建設計画(フェーズ2)(第三期) (1,165.20)		
	・北東州道路網連結性改善計画(フェーズ6) (231.29)	・インドに対するコールド・チェーン整備のための緊急無償資金協力(UNICEF連携) (10.00)	
	・タミル・ナド州気候変動対策生物多様性保全・緑化計画 (105.35)		
	・ウッタラカンド州統合的園芸農業開発計画 (64.01)		

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[2] スリランカ

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
2,216万人	3,820ドル	3.7%	565.92億ドル	低中所得国	iii / 低中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対スリランカ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	554.06	18.60	24.24
2018年度	300.40	14.04	18.18
2019年度	-	34.33	10.34
2020年度	-	23.85	9.93
2021年度	-	6.30	15.72

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対スリランカ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	11,267.07	2,236.73	882.37

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対スリランカ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-20.64	26.28 (1.20)	25.93	31.58
2018年	-29.47	18.06 (1.27)	19.72	8.31
2019年	2.81	18.16 (5.27)	11.71	32.68
2020年	39.94	32.44 (8.02)	11.41	83.79
2021年	-51.21	15.06 (12.35)	7.42	-28.73
累計	2,885.64	1,649.01 (79.10)	897.45	5,432.09

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対スリランカ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	日本 199.03	韓国 38.06	米国 33.64	ドイツ 23.64	オーストラリア 10.70	351.89	199.03
2017年	日本 224.02	米国 33.83	オーストラリア 21.53	ドイツ 20.21	韓国 19.45	371.54	224.02
2018年	日本 200.63	米国 55.55	韓国 30.47	フランス 20.19	ドイツ 18.01	383.78	200.63
2019年	日本 225.85	フランス 50.00	韓国 43.23	米国 36.77	ドイツ 22.66	434.27	225.85
2020年	日本 297.36	米国 39.65	韓国 23.67	ドイツ 22.40	フランス 18.79	459.58	297.36

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対スリランカ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	IDA 235.59	AsDB 147.28	EU Institutions 36.58	IFAD 22.78	OPEC Fund 10.03	20.81	473.08
2017年	IDA 199.74	AsDB 102.64	EU Institutions 36.27	IFAD 12.32	OPEC Fund 10.13	34.60	395.70
2018年	IDA 124.83	AsDB 93.41	EU Institutions 27.34	OPEC Fund 22.32	GFATM 11.35	28.97	308.22
2019年	AsDB 126.27	IDA 114.04	EU Institutions 14.44	IFAD 12.17	GCF 10.00	27.42	304.35
2020年	IDA 171.51	AsDB 128.03	EU Institutions 26.26	OPEC Fund 16.49	IFAD 8.72	17.06	368.07

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	6.30億円 <ul style="list-style-type: none"> ・日本NGO連携無償 (2件) (1.38) ・草の根・人間の安全保障無償 (6件) (2.29) ・人材育成奨学計画 (4件) (2.63) 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス対応強化プロジェクト [21.05～23.03] ・サプライチェーン強化を通じた中小規模農家の生計向上プロジェクト [21.07～25.06] ・スリランカにおける障害者の就労支援促進プロジェクト [21.11～25.11] ・参加型コミュニティ給水事業のための地方行政官能力強化プロジェクト [22.02～24.12] ・コミュニティにおける高齢者向けサービス運営能力強化プロジェクト [22.02～25.02] ・都市開発計画能力強化プロジェクト [22.03～25.03]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[3] ネパール

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
2,968万人	1,230ドル	4.2%	88.56億ドル	後発開発途上国	ii / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ネパール援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	27.12	20.42
2018年度	-	48.16	24.70
2019年度	-	31.34	21.10
2020年度	-	33.49	11.92
2021年度	100.00	21.58	19.81

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ネパール援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	1,313.02	2,247.45	839.22

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ネパール援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	39.20	28.25	29.96	97.41
2018年	52.02	34.54	20.51	107.07
2019年	60.31	48.62	17.59	126.52
2020年	42.83	22.99 (6.32)	16.87	82.69
2021年	45.76	33.50 (14.17)	11.88	91.14
累計	272.93	1,937.68 (51.41)	805.58	3,016.19

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ネパール経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	米国 162.83	英国 140.66	日本 73.90	スイス 49.00	ドイツ 35.02	589.76	73.90
2017年	米国 189.09	英国 134.17	日本 105.91	ドイツ 44.64	スイス 39.31	651.03	105.91
2018年	米国 174.52	英国 127.74	日本 115.72	ドイツ 51.64	ノルウェー 34.85	622.11	115.72
2019年	米国 151.14	日本 137.23	英国 115.51	ドイツ 45.85	スイス 38.44	589.29	137.23
2020年	米国 136.37	英国 108.29	日本 87.60	ドイツ 57.49	スイス 39.13	525.35	87.60

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ネパール経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	IDA 233.97	AsDB 209.37	EU Institutions 100.77	IFAD 16.88	GFATM 16.74	64.19	641.91
2017年	IDA 296.39	AsDB 279.09	EU Institutions 94.88	GFATM 23.68	OPEC Fund 16.29	72.82	783.14
2018年	IDA 597.67	AsDB 250.70	EU Institutions 54.35	GFATM 18.55	GAVI 15.07	67.09	1,003.42
2019年	IDA 485.34	AsDB 310.47	EU Institutions 49.35	GAVI 24.77	IFAD 15.65	62.46	948.07
2020年	IDA 533.24	AsDB 513.41	IMF-CTF 227.48	EU Institutions 33.88	CIF 30.73	75.17	1,413.92

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	100.00億円 ・経済成長・強靱化政策借款 (100.00)	21.58億円 ・ジャパンプラットフォーム(JPF)を通じた人道支援 (2件) (0.38) ・日本NGO連携無償 (7件) (4.78) ・草の根・人間の安全保障無償 (6件) (0.62) ・人材育成奨学計画 (3件) (2.96) ・人材育成奨学計画(三年型) (0.54) ・シンズリ道路震災復旧計画【追加贈与】 (0.35) ・ビラトナガルにおける上水道改善計画 (1.99) ・公立高次病院医療機材整備計画 (9.96)	・安全な建物建設のためのネパール国建築基準遵守促進プロジェクト [21.04～25.05] ・カトマンズ盆地における都市交通マネジメントプロジェクト [22.02～25.07] ・ネパール水道公社水道事業能力向上プロジェクト [22.03～25.02] ・種子生産・供給・品質管理システム強化プロジェクト [22.03～27.03]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[4] パキスタン

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
2.25億人	1,500ドル	6.0%	1,304.33億ドル	低中所得国	iii/ 低中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対パキスタン援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	26.65	85.23	16.59
2018年度	-	23.78	21.31
2019年度	-	59.58	18.50
2020年度	-	48.91	13.56
2021年度	-	48.17	22.33

注)1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対パキスタン援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	8,174.75	2,994.10	654.34

注)1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対パキスタン援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-165.84	71.47 (17.82)	21.01	-73.36
2018年	-207.35	52.34 (29.34)	17.56	-137.45
2019年	-208.95	57.75 (21.11)	16.71	-134.49
2020年	-12.36	27.00 (17.91)	9.88	24.52
2021年	16.37	40.60 (11.35)	18.99	75.95
累計	3,907.24	2,602.73 (665.20)	630.35	7,140.32

注)1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対パキスタン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	米国 638.61	英国 624.41	日本 244.70	ドイツ 134.99	カナダ 41.65	1,820.22	244.70
2017年	米国 538.12	英国 518.42	ドイツ 214.12	日本 168.28	フランス 134.81	1,710.53	168.28
2018年	米国 470.68	英国 444.34	ドイツ 132.58	日本 126.71	フランス 73.69	1,367.73	126.71
2019年	英国 389.95	米国 363.92	日本 132.11	フランス 100.90	ドイツ 99.30	1,255.29	132.11
2020年	米国 304.95	英国 261.71	ドイツ 114.06	日本 52.98	フランス 51.73	876.76	52.98

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対パキスタン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	IDA 856.85	AsDB 437.21	EU Institutions 141.22	GAVI 126.97	GFATM 64.85	111.36	1,738.45
2017年	IDA 722.57	AsDB 430.24	EU Institutions 133.45	GAVI 123.64	GFATM 98.86	88.00	1,596.76
2018年	IDA 487.71	GAVI 165.76	EU Institutions 136.03	GFATM 64.06	AsDB 62.93	97.26	1,013.73
2019年	AsDB 848.09	IDA 581.20	GAVI 141.60	EU Institutions 111.87	GFATM 58.98	110.72	1,852.44
2020年	IDA 1,431.08	AsDB 625.69	GAVI 270.76	EU Institutions 134.55	GFATM 65.53	128.68	2,656.31

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	48.17億円	
		・ジャパンプラットフォーム(JPF)を通じた人道支援 (1件) (0.03)	・パンジャブ州母子保健強化プロジェクト [21.12~25.11]
		・日本NGO連携無償 (4件) (2.88)	・ファイサラバード水道事業経営改善プロジェクト [22.02~26.02]
		・草の根・人間の安全保障無償 (4件) (0.30)	・学校活動と住民参加を通じたジェンダーに配慮した就学継続プロジェクト [22.03~26.02]
		・人材育成奨学計画 (4件) (3.06)	
		・国境管理能力向上計画(IOM連携) (3.99)	
		・ポリオ感染拡大防止・撲滅計画(UNICEF連携) (4.95)	
		・ファイサラバードにおける浄水場及び送配水管網改善計画 (2.58)	
		・サッカール市における気象レーダー設置計画 (3.38)	
		・パキスタン医科学研究所における母子保健センター及び小児病院の集中治療拡充計画 (14.54)	
		・シンド州における母子保健医療施設拡充計画 (1.94)	
		・ムルタン市気象レーダー整備計画 (10.52)	

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[5] バングラデシュ

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
1.66億人	2,620ドル	6.9%	914.29億ドル	後発開発途上国	iii/ 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対バングラデシュ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	1,782.23	45.23	46.11
2018年度	2,003.71	54.21	41.89
2019年度	2,757.86	34.74	32.58
2020年度	3,732.47	41.34	26.24
2021年度	3,105.64	39.63	41.43

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対バングラデシュ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	27,063.93	5,055.63	999.45

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対バングラデシュ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	1,227.67	40.32 (6.45)	44.67	1,312.66
2018年	1,082.25	65.62 (43.60)	31.41	1,179.28
2019年	1,046.06	55.15 (37.70)	37.98	1,139.18
2020年	1,935.50	50.05 (32.72)	24.66	2,010.21
2021年	1,850.90	79.09 (49.77)	22.93	1,952.92
累計	8,413.86	5,250.85 (228.27)	1,146.77	14,811.48

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対バングラデシュ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	日本 568.28	米国 255.22	英国 219.53	ドイツ 64.20	カナダ 45.92	1,377.86	568.28
2017年	日本 1,421.65	米国 279.45	英国 226.44	ドイツ 88.40	スウェーデン 53.53	2,370.69	1,421.65
2018年	日本 1,297.71	米国 327.50	英国 255.38	ドイツ 118.82	カナダ 89.28	2,497.06	1,297.71
2019年	日本 1,255.59	米国 409.08	英国 334.07	ドイツ 133.88	韓国 108.49	2,667.67	1,255.59
2020年	日本 2,130.83	米国 312.73	英国 261.02	ドイツ 170.67	韓国 112.66	3,340.70	2,130.83

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対バングラデシュ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	IDA 1,021.55	AsDB 385.74	EU Institutions 115.11	GAVI 76.38	OPEC Fund 54.45	163.96	1,817.20
2017年	IDA 1,332.21	AsDB 361.62	EU Institutions 141.44	GAVI 76.87	GFATM 60.32	152.06	2,124.53
2018年	IDA 1,564.58	AsDB 490.19	EU Institutions 168.62	GAVI 61.75	GFATM 34.50	145.54	2,465.19
2019年	IDA 1,794.45	AsDB 395.43	EU Institutions 160.71	GAVI 92.21	GFATM 47.87	167.39	2,658.05
2020年	IDA 1,536.73	AsDB 723.52	EU Institutions 279.47	IMF-CTF 247.61	GAVI 84.37	229.93	3,101.65

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	3,105.64億円	39.63億円	
	・新型コロナウイルス感染症 危機対応緊急支援借款 (フェーズ2) (400.00)	・ジャパンプラット フォーム(JPF)を通じ た人道支援 (12件) (3.74)	・バングラデシュ食品安全庁 査察・規制・調整機能強化プ ロジェクト [21.05～ 26.05]
	・マタバリ超々臨界圧石炭火 力発電計画(VI) (1,373)	・日本NGO連携無償 (9件) (5.89)	
	・ダッカ都市交通整備計画 (1号線)(第二期) (1,150)	・草の根・人間の安全 保障無償 (7件) (0.69)	・ダッカ交通安全プロジェクト [21.07～ 25.03]
	・ダッカ都市交通整備計画 (V) (183)	・人材育成奨学計画 (4件) (4.36)	・マルチステークホルダー連 携による小規模園芸農家の ための市場志向型農業振興 プロジェクト [21.08～ 25.12]
		・草の根文化無償 (1件) (0.10)	
		・コックスバザール県における ミャンマーからの避難民及びホ ストコミュニティのための保健医 療へのアクセス改善計画(UNH CR連携) (5.02)	・マタバリ港における運営・ 維持管理及び経営能力向上 プロジェクト [22.01～ 26.11]
		・コックスバザール県における ミャンマーからの避難民及びホ ストコミュニティのためのシェル ター及び生活環境改善計画(IO M連携) (5.10)	・公衆衛生工学局総合能力 強化プロジェクト(フェーズ2) [22.02～ 25.03]
		・小規模農家のための生計及び フード・バリューチェーン支援並 びにミャンマーからの避難民の ための食料支援計画(WFP連 携) (5.19)	・都市機能強化プロジェクト [22.02～ 25.02]
		・第四次初等教育開発計画 (5.00)	・ハズラット・シャージャラー ル国際空港におけるグラン ドハンドリング能力向上プロ ジェクト [22.03～ 24.04]
		・行政運営研究・人材育成施設 整備計画 (2.38)	・看護サービス人材育成プロ ジェクトフェーズ2 [22.03～ 26.03]
		・バングラデシュに流入した避難 民に対する緊急無償資金協力 (UNHCR連携) (1.08)	
		・バングラデシュに流入した避難 民に対する緊急無償資金協力 案件(WFP連携) (1.08)	

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[6] ブータン

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
78万人	-	-10.1%	30.69億ドル	後発開発途上国	iii/-

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ブータン援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	13.59	10.22
2018年度	-	5.16	12.80
2019年度	-	15.28	8.65
2020年度	-	7.35	7.98
2021年度	-	9.76	11.72

注)1.年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2.四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ブータン援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	57.63	428.54	252.31

注)1.累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2.四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ブータン援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-0.83	16.43	11.95	27.54
2018年	-0.91	9.18	9.57	17.84
2019年	1.76	17.99	9.50	29.25
2020年	-0.21	13.35 (2.51)	8.55	21.68
2021年	-0.87	2.23	7.94	9.31
累計	50.96	362.55 (3.57)	233.12	646.63

注)1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2.無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3.四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ブータン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	日本 19.79	オーストラリア 4.10	スイス 2.70	オーストラリア 2.59	韓国 0.71	31.79	19.79
2017年	日本 28.49	オーストラリア 8.60	オーストリア 3.15	スイス 1.19	ドイツ 0.63	44.31	28.49
	-	-	-	-	韓国 0.63	-	-
2018年	日本 18.80	オーストラリア 4.40	オーストリア 2.45	スイス 1.42	米国 0.71	30.12	18.80
2019年	日本 30.22	オーストラリア 3.40	オーストリア 3.05	韓国 2.53	ドイツ 1.07	42.97	30.22
2020年	日本 22.68	オーストラリア 3.44	韓国 1.77	ドイツ 1.57	オーストリア 1.29	33.09	22.68

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ブータン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	AsDB 10.43	EU Institutions 6.30	GEF 3.45	IFAD 2.07	IDA 2.00	5.73	29.99
2017年	AsDB 36.08	IDA 32.18	EU Institutions 5.73	GEF 5.14	WHO 1.83	5.26	86.22
2018年	IDA 34.44	AsDB 29.55	EU Institutions 15.04	GEF 5.26	IFAD 2.54	4.62	91.45
2019年	AsDB 83.94	IDA 33.14	EU Institutions 16.34	GCF 6.25	WHO 2.98	7.48	150.13
2020年	AsDB 87.79	IDA 57.96	EU Institutions 24.06	GCF 3.49	GEF 3.40	9.28	185.98

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	9.76億円	
		<ul style="list-style-type: none"> ・草の根・人間の安全保障無償 (1件) (0.09) ・人材育成奨学計画 (4件) (1.71) ・デジタル地形図整備計画 (7.96) 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス検査能力および保健医療サービス提供体制強化プロジェクト [21.05～23.01] ・温帯果樹振興プロジェクト [22.03～27.03]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[7] モルディブ

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
54.4万人	8,400ドル	31.0%	38.47億ドル	高中所得国	iv / 高所得国

出典) WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対モルディブ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	-	1.94
2018年度	-	6.19	0.81
2019年度	-	10.62	2.78
2020年度	50.00	23.89	1.43
2021年度	-	8.18	2.59

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対モルディブ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	77.33	371.14	85.41

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対モルディブ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-1.07	3.14 (0.46)	2.41	4.47
2018年	-1.09	2.97 (0.25)	1.14	3.02
2019年	-1.10	12.53 -	2.15	13.58
2020年	46.27	12.78 (1.99)	1.48	60.53
2021年	-	25.09 (1.37)	1.13	26.22
累計	71.61	299.15 (4.07)	78.41	449.17

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対モルディブ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	日本 8.09	オーストラリア 2.98	米国 1.37	イタリア 0.88	フランス 0.52	14.48	8.09
2017年	日本 5.55	イタリア 1.22	オーストラリア 1.17	フランス 0.44	英国 0.30	9.00	5.55
2018年	日本 4.11	オーストラリア 1.62	イタリア 0.93	英国 0.38	韓国 0.15	7.45	4.11
2019年	日本 14.68	オーストラリア 1.53	-	英国 0.81	イタリア 0.56	19.89	14.68
	-	米国 1.53	-	-	-	-	-
2020年	日本 61.09	米国 1.21	オーストラリア 0.88	英国 0.76	ドイツ 0.54	65.62	61.09

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対モルディブ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	AsDB 10.69	Isl.Dev Bank 4.34	IDA 4.28	WHO 1.55	IFAD 1.08	4.00	25.95
2017年	AsDB 12.38	IDA 8.10	OPEC Fund 7.59	Isl.Dev Bank 4.81	GCF 3.23	7.46	43.58
2018年	OPEC Fund 15.71	GCF 12.11	CIF 8.23	AsDB 7.47	IDA 4.72	5.77	54.01
2019年	IDA 28.90	AsDB 13.31	OPEC Fund 4.04	WHO 2.74	CIF 1.16	3.21	53.39
2020年	AsDB 59.09	OPEC Fund 33.68	IDA 30.76	IMF-CTF 29.53	EU Institutions 25.80	32.82	211.67

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	8.18億円 ・人材育成奨学計画 (2件) (0.65) ・経済社会開発計画 (1件) (4.00) ・草の根・人間の安全保障無償 (5件) (0.51) ・持続可能な農業経済開発計画 (3.02) (UNDP連携)	・気候変動に強靱で安全な島づくりプロジェクト [21.10～25.10]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

中央アジア・コーカサス地域

中央アジア・コーカサス地域

表－1 中央アジア・コーカサス地域に対する我が国二国間ODA実績

(支出純額及び支出総額ベース、単位：百万ドル)

暦年		2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	累計
ODA	無償資金協力	46.95 (1.8)	58.54 (2.2)	63.29 (2.5)	66.52 (2.2)	57.49 (1.8)	1,265.50
	(うち国際機関等を通じた贈与)	15.75 (1.2)	12.34 (0.9)	1.22 (0.1)	30.33 (1.7)	22.95 (1.1)	156.31
	技術協力	34.94 (1.2)	22.96 (0.9)	26.85 (1.0)	22.49 (0.9)	25.30 (1.0)	862.25
	贈与計	81.89 (1.5)	81.51 (1.5)	90.14 (1.7)	89.01 (1.6)	82.79 (1.5)	2,127.75
	政府貸付等 支出総額	326.41 (3.4)	253.29 (3.2)	426.00 (4.5)	311.46 (2.7)	381.89 (3.1)	5,267.27
	<政府貸付等 支出純額>	<223.22>	<144.01>	<295.33>	<162.68>	<245.46>	<3,806.41>
政府開発援助計 支出総額(ODA計)		408.30 (2.7)	334.80 (2.5)	516.13 (3.5)	400.47 (2.4)	464.69 (2.6)	7,395.02
<政府開発援助計 支出純額(ODA計)>		<305.11> <(3.8)>	<225.51> <(3.7)>	<385.47> <(5.2)>	<251.69> <(2.5)>	<328.25> <(2.8)>	<5,934.16>

- 注) 1. ()内は各形態別の全世界合計に占める中央アジア・コーカサス地域の割合(%)
 2. 国際機関等を通じた贈与は、2006年から、拠出時に供与先の国が明確であるものについては、各被援助国への援助として「無償資金協力」へ計上することに改めた。
 3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。
 4. 「政府開発援助計 支出純額」の割合については、貸付の償還等に伴いマイナス数値となる場合に適切な割合が出せないことから、掲載していない。

表－2 中央アジア・コーカサス地域に対するDAC諸国のODA実績

(支出総額ベース、単位：百万ドル)

援助実績種別	暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
政府開発援助計	2018	ドイツ 417.81	日本 334.80	米国 296.79	フランス 163.94	スイス 69.98	1,480.07	334.80
	2019	日本 516.14	ドイツ 423.93	フランス 402.88	米国 298.71	韓国 110.90	1,965.68	516.14
	2020	フランス 600.85	ドイツ 588.25	日本 400.47	米国 276.94	韓国 91.88	2,184.19	400.47
政府貸付等	2018	日本 253.30	ドイツ 201.57	フランス 135.38	韓国 32.13	オーストリア 1.82	624.21	253.30
	2019	日本 426.00	フランス 377.54	ドイツ 192.41	韓国 58.02	オーストリア 0.55	1,054.51	426.00
	2020	フランス 571.16	ドイツ 387.25	日本 311.46	韓国 42.57	オーストリア 2.26	1,314.72	311.46
無償資金協力	2018	米国 282.98	ドイツ 88.26	スイス 64.77	日本 58.55	韓国 24.15	608.32	58.55
	2019	米国 284.13	ドイツ 88.27	日本 63.30	スイス 51.67	英国 34.54	623.92	63.30
	2020	米国 271.93	スイス 77.89	日本 66.52	ドイツ 48.01	韓国 31.02	565.23	66.52
技術協力	2018	ドイツ 127.98	フランス 22.99	日本 22.95	米国 13.81	韓国 12.91	247.56	22.95
	2019	ドイツ 143.25	日本 26.84	韓国 23.50	フランス 18.83	米国 14.58	287.25	26.84
	2020	ドイツ 152.99	フランス 54.83	日本 22.50	韓国 18.28	ハンガリー 13.61	304.24	22.50

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2022年10月)

注) ただし、地域区分についてはDAC基準とは異なる。

表-3 中央アジア・コーカサス地域に対する国際機関のODA実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

援助実績種別	暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
政府開発援助計	2018	IDA 837.17	EU Institutions 532.81	AsDB 237.16	GFATM 56.32	IFAD 30.07	147.04	1,840.52
	2019	EU Institutions 429.14	AsDB 424.06	IMF-CTF 399.77	IDA 299.56	GFATM 57.17	209.69	1,819.42
	2020	EU Institutions 840.82	IDA 539.01	AsDB 494.62	IMF-CTF 422.73	EFSD 73.46	347.15	2,717.84
政府貸付等	2018	IDA 749.07	EU Institutions 156.72	AsDB 120.96	Isl.Dev Bank 21.55	IFAD 19.09	6.78	1,074.17
	2019	IMF-CTF 399.77	AsDB 255.33	IDA 224.62	EU Institutions 120.72	IFAD 25.74	34.23	1,060.42
	2020	IDA 431.51	IMF-CTF 404.56	EU Institutions 303.65	AsDB 278.56	EFSD 72.82	102.44	1,593.53
無償資金協力	2018	EU Institutions 277.91	AsDB 116.16	IDA 88.10	GFATM 56.32	OSCE 21.20	102.18	661.89
	2019	AsDB 168.74	EU Institutions 164.41	IDA 74.94	GFATM 57.17	GAVI 31.60	118.13	614.98
	2020	EU Institutions 420.49	AsDB 216.06	IDA 107.50	GFATM 54.73	GAVI 39.43	169.24	1,007.45
技術協力	2018	EU Institutions 98.16	ILO 4.50	FAO 1.77	AsDB 0.04	OPEC Fund 0.03	-	104.47
	2019	EU Institutions 144.02	-	-	-	-	-	144.02
	2020	EU Institutions 116.69	IAEA 0.15	-	-	-	-	116.84

出典) OECDデータベース (OECD.Stat) (2022年10月)

- 注) 1. ただし、地域区分についてはDAC基準とは異なる。
 2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

[1] ウズベキスタン

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
3,492万人	1,960ドル	7.4%	389.95億ドル	低中所得国	iii / 低中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ウズベキスタン援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	5.10	7.07
2018年度	-	11.17	5.26
2019年度	1,878.90	6.78	8.83
2020年度	150.00	8.16	4.71
2021年度	210.60	11.30	10.19

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 米ドル建て借款(令和3年度支出官レートで円貨換算)を含む。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ウズベキスタン援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	5,010.11	292.53	206.04

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ウズベキスタン援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計	
2017年	235.51	3.65	-	5.86	245.01
2018年	179.85	3.35	(0.50)	6.17	189.38
2019年	366.83	11.24	-	6.09	384.16
2020年	255.37	7.97	(5.14)	7.83	271.17
2021年	335.31	6.69	(0.20)	6.37	348.37
累計	2,146.32	244.20	(9.43)	232.63	2,623.14

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ウズベキスタン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	日本 195.10	韓国 30.72	ドイツ 20.03	米国 11.00	フランス 6.02	271.03	195.10
2017年	日本 272.74	韓国 58.80	ドイツ 21.00	米国 10.62	スイス 8.11	378.60	272.74
2018年	日本 217.55	韓国 37.40	ドイツ 21.48	米国 10.94	フランス 4.11	299.24	217.55
2019年	日本 412.69	フランス 176.06	韓国 69.39	ドイツ 21.40	米国 18.95	710.93	412.69
2020年	日本 312.83	フランス 231.29	韓国 58.46	ドイツ 34.82	米国 22.51	677.69	312.83

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ウズベキスタン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	IDA 106.43	AsDB 68.53	GFATM 18.06	EU Institutions 12.67	GAVI 11.74	17.32	234.73
2017年	AsDB 174.52	IDA 72.06	EU Institutions 19.82	GFATM 17.93	GAVI 4.73	22.75	311.80
2018年	IDA 665.86	AsDB 60.77	EU Institutions 27.79	GFATM 10.08	GAVI 7.63	18.25	790.37
2019年	AsDB 195.35	IDA 168.79	EU Institutions 27.32	GAVI 19.22	GFATM 15.49	26.74	452.90
2020年	IDA 383.36	AsDB 202.36	IMF-CTF 128.21	EU Institutions 52.13	GAVI 24.37	62.77	853.21

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	210.60億円 ・開発政策支援プログラム (210.60)	11.30億円 ・草の根・人間の安全保障無償 (7件) (0.67) ・人材育成奨学計画 (4件) (2.69) ・カラカルパクスタン医科大学病院医療サービス改善計画 (7.94)	・就学前教育におけるインクルーシブ教育実践強化プロジェクト [21.11～24.11] ・ウズベキスタン日本人材開発センター・ビジネス人材育成・交流機能強化プロジェクト(フェーズ2) [21.12～25.11] ・火力発電財務・経営管理能力強化プロジェクト [21.12～24.05]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[2] カザフスタン

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
1,900万人	8,720ドル	4.0%	1,597.55億ドル	高中所得国	iv / 高中所得国

出典) WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対カザフスタン援助形態実績(年度別)

(単位: 億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	0.43	1.11
2018年度	-	0.38	0.61
2019年度	-	0.33	1.13
2020年度	-	4.10	0.86
2021年度	-	0.32	1.00

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対カザフスタン援助形態実績(累計)

(単位: 億円)

累計	円借款	無償資金協力	技術協力
	951.49	68.56	138.09

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対カザフスタン援助形態別実績

(支出純額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-40.62	0.28	1.35	-38.98
2018年	-41.26	0.39	0.76	-40.10
2019年	-41.78	0.35	1.05	-40.38
2020年	-42.68	0.31	1.15	-41.22
2021年	-37.98	3.71	1.05	-33.22
累計	298.48	56.51 (1.17)	156.85	511.84

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対カザフスタン経済協力実績

(支出総額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	米国 33.90	ドイツ 15.20	英国 4.73	フランス 4.18	日本 2.96	68.30	2.96
2017年	米国 20.18	ドイツ 18.04	フランス 4.29	オーストリア 2.60	韓国 1.88	53.71	1.63
2018年	米国 18.95	ドイツ 17.87	フランス 4.18	オーストリア 3.12	英国 2.43	54.33	1.15
2019年	ドイツ 17.90	米国 15.94	ハンガリー 3.97	英国 3.59	フランス 3.35	54.44	1.40
2020年	ドイツ 21.02	米国 14.19	ハンガリー 4.43	フランス 3.76	英国 3.62	57.71	1.46

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対カザフスタン経済協力実績

(支出総額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	EU Institutions 10.36	GEF 6.47	GFATM 4.49	OSCE 2.15	AsDB 2.12	4.95	30.55
2017年	EU Institutions 12.07	GFATM 7.86	GEF 5.73	OSCE 2.18	UNHCR 1.39	5.36	34.60
2018年	GFATM 6.25	EU Institutions 4.26	GEF 3.97	OSCE 2.37	AsDB 1.75	3.86	22.44
2019年	GFATM 7.24	GEF 3.98	AsDB 3.34	GCF 3.00	EU Institutions 2.56	6.87	27.00
2020年	GFATM 5.85	GEF 3.85	AsDB 2.45	OSCE 2.10	UNHCR 1.59	5.69	21.53

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	0.32億円 ・草の根・人間の安全 保障無償 (5件) (0.32)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[3] キルギス

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
669万人	1,180ドル	3.6%	90.64億ドル	低中所得国	ii / 低中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対キルギス援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	24.98	11.65
2018年度	-	17.06	12.61
2019年度	-	17.47	10.36
2020年度	-	14.83	5.80
2021年度	-	12.99	10.47

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対キルギス援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	375.80	346.05	218.22

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対キルギス援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-0.51	17.31 (7.13)	11.64	28.44
2018年	-3.82	16.98 (6.71)	8.20	21.35
2019年	-9.02	16.88 -	10.47	18.33
2020年	-9.53	15.64 (9.53)	6.75	12.86
2021年	-4.00	9.70 (2.71)	6.91	12.62
累計	224.02	274.28 (52.86)	224.64	722.94

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対キルギス経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	米国 47.45	ドイツ 43.78	スイス 22.57	日本 12.81	韓国 9.32	142.16	12.81
2017年	米国 52.50	ドイツ 35.08	日本 28.95	スイス 26.17	韓国 12.02	163.33	28.95
2018年	米国 47.10	ドイツ 36.68	日本 26.34	スイス 20.18	韓国 5.83	145.41	26.34
2019年	米国 48.10	ドイツ 32.63	日本 27.91	スイス 22.54	韓国 9.37	152.11	27.91
2020年	米国 45.08	ドイツ 24.66	スイス 24.09	日本 22.72	韓国 12.56	141.62	22.72

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対キルギス経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	AsDB 62.17	EU Institutions 55.92	IDA 46.48	IMF-CTF 26.45	Isl.Dev Bank 10.76	40.10	241.88
2017年	AsDB 79.46	IDA 40.74	EU Institutions 31.87	IMF-CTF 26.38	Isl.Dev Bank 13.20	38.80	230.45
2018年	AsDB 59.88	IDA 57.33	EU Institutions 42.63	GFATM 12.84	IFAD 12.58	31.16	216.43
2019年	AsDB 87.60	IDA 48.13	EU Institutions 37.07	Isl.Dev Bank 16.03	IFAD 12.29	32.06	233.20
2020年	AsDB 93.22	IMF-CTF 82.46	EU Institutions 76.45	IDA 40.37	Isl.Dev Bank 22.01	43.79	358.33

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	12.99億円	
		<ul style="list-style-type: none"> ・草の根・人間の安全保障無償 (9件) (0.78) ・人材育成奨学計画 (4件) (3.00) ・草の根文化無償 (1件) (0.07) ・新型コロナウイルス感染症の影響を受けた児童の質の高い教育確保計画(UNICEF連携) (2.98) ・タラス-タラズ道路ウルマル川橋梁架け替え計画 (4.39) ・ビシュケクーオシュ道路地吹雪対策計画 (1.77) 	<ul style="list-style-type: none"> ・非感染性疾患の早期発見・早期治療のためのパイロットリファラル体制強化プロジェクト [22.03~26.06]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[4] タジキスタン

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
975万人	1,150ドル	9.2%	70.46億ドル	低中所得国	ii / 低中所得国

表-1-1 我が国の対タジキスタン援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	8.11	5.07
2018年度	-	8.11	5.99
2019年度	-	35.59	5.40
2020年度	-	25.09	7.28
2021年度	-	19.97	9.13

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対タジキスタン援助形態実績(累計)

(単位:億円)

累計	円借款	無償資金協力	技術協力
	-	440.69	106.56

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対タジキスタン援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	16.86 (1.78)	7.23	24.09
2018年	-	33.94 (4.58)	3.95	37.89
2019年	-	16.74 -	5.60	22.35
2020年	-	22.40 (0.31)	4.26	26.66
2021年	-	21.98 (12.51)	8.30	30.28
累計	-	360.15 (51.09)	102.38	462.54

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対タジキスタン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	米国 31.10	日本 31.04	ドイツ 23.79	スイス 20.58	英国 5.93	117.62	31.04
2017年	米国 36.33	ドイツ 24.31	日本 24.09	スイス 19.84	英国 2.96	113.49	24.09
2018年	日本 37.89	米国 36.43	ドイツ 33.02	スイス 24.04	英国 6.84	142.29	37.89
2019年	米国 33.57	ドイツ 27.19	日本 22.35	スイス 19.15	韓国 3.49	112.25	22.35
2020年	米国 32.41	日本 26.66	スイス 20.68	ドイツ 19.09	英国 5.72	116.26	26.66

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対タジキスタン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	AsDB 118.67	IDA 34.74	EU Institutions 24.56	Isl.Dev Bank 17.68	GFATM 10.19	31.88	237.72
2017年	AsDB 111.95	IDA 34.78	EU Institutions 22.94	GFATM 19.08	CIF 12.86	42.95	244.55
2018年	IDA 85.37	AsDB 71.68	EU Institutions 43.50	Isl.Dev Bank 15.01	IFAD 7.57	40.63	263.73
2019年	AsDB 92.50	IDA 71.02	EU Institutions 34.19	GFATM 8.06	OSCE 7.40	43.49	256.66
2020年	IMF-CTF 212.06	AsDB 170.49	IDA 96.16	EFSD 53.96	EU Institutions 26.13	111.05	669.87

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	19.97億円 ・日本NGO連携無償 (1件) (0.46) ・草の根・人間の安全保障無償 (20件) (2.09) ・人材育成奨学計画 (4件) (2.20) ・幼児期予防接種改善計画(U NICEF連携) (3.07) ・ドゥシャンベールポフタル道路におけるキジルカラーポフタル間道路改修計画 (12.15)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[5] トルクメニスタン

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
612万人	-	6.3%	43.51億ドル	高中所得国	iv / -

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対トルクメニスタン援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	0.16	1.83
2018年度	-	-	1.05
2019年度	-	-	0.72
2020年度	-	2.98	0.37
2021年度	-	0.10	0.27

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対トルクメニスタン援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	45.05	9.51	13.61

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対トルクメニスタン援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力		技術協力	合計
2017年	-1.95	-	-	1.93	-0.02
2018年	-1.98	0.14	-	0.40	-1.43
2019年	-2.00	-	-	1.52	-0.48
2020年	-2.05	-	-	0.27	-1.78
2021年	-1.99	2.71	(2.71)	0.49	1.21
累計	5.78	8.33	(3.11)	16.81	30.92

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対トルクメニスタン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	米国 4.32	ドイツ 1.26	日本 0.50	フランス 0.18	韓国 0.14	6.70	0.50
2017年	米国 2.99	日本 1.93	ドイツ 1.26	韓国 0.41	英国 0.29	7.39	1.93
2018年	米国 3.11	ドイツ 1.60	韓国 1.32	フランス 0.70	日本 0.55	8.01	0.55
2019年	米国 4.41	韓国 3.97	ドイツ 1.58	日本 1.52	英国 0.79	13.55	1.52
2020年	米国 3.68	ドイツ 1.75	韓国 1.45	英国 0.70	ハンガリー 0.41	9.09	0.27

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対トルクメニスタン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	EU Institutions 8.06	OSCE 1.59	GEF 1.37	GFATM 1.28	UNICEF 1.09	2.62	16.01
2017年	EU Institutions 3.78	GEF 3.07	GFATM 2.28	OSCE 1.69	UNICEF 0.96	1.27	13.05
2018年	EU Institutions 6.32	GEF 2.57	GFATM 1.81	OSCE 1.77	UNICEF 0.83	1.65	14.95
2019年	EU Institutions 4.06	GFATM 2.25	OSCE 1.69	UNICEF 1.14	UNFPA 0.74	1.57	11.47
2020年	OPEC Fund 10.00	GFATM 2.84	EU Institutions 2.64	OSCE 1.72	GEF 1.58	2.79	21.56

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	0.10億円 ・草の根文化無償 (1件) (0.10)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[6] アゼルバイジャン

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
1,015万人	4,880ドル	5.6%	146.45億ドル	高中所得国	iii / 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対アゼルバイジャン援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	1.14	0.57
2018年度	-	1.31	0.33
2019年度	-	0.89	0.38
2020年度	-	2.66	0.20
2021年度	-	1.01	0.71

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対アゼルバイジャン援助形態実績(累計)

(単位:億円)

累計	円借款	無償資金協力	技術協力
	1,011.62	106.14	36.86

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対アゼルバイジャン援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	28.56	1.15	0.43	30.14
2018年	21.17	1.17	0.43	22.77
2019年	-3.65	1.63	0.36	-1.66
2020年	-21.05	0.53	0.28	-20.24
2021年	-27.75	3.68 (1.20)	0.25	-23.81
累計	699.70	93.60 (1.20)	40.14	833.45

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対アゼルバイジャン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	日本 58.63	ドイツ 22.02	韓国 12.36	米国 12.04	スイス 3.03	115.99	58.63
2017年	日本 49.97	ドイツ 28.64	韓国 14.67	米国 14.14	フランス 3.06	119.63	49.97
2018年	ドイツ 48.61	日本 42.91	フランス 25.84	韓国 21.79	米国 12.77	167.82	42.91
2019年	フランス 58.40	ドイツ 45.34	日本 31.53	韓国 20.63	米国 12.84	186.24	31.53
2020年	フランス 118.62	ドイツ 38.10	日本 13.65	米国 12.14	韓国 8.85	214.06	13.65

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対アゼルバイジャン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	EU Institutions 26.42	IDA 12.22	GFATM 6.51	GEF 2.70	AsDB 2.45	2.50	52.80
2017年	IDA 61.92	EU Institutions 24.73	GFATM 9.38	GEF 3.39	AsDB 1.13	4.99	105.54
2018年	EU Institutions 23.73	IDA 7.72	GFATM 4.85	GEF 3.26	AsDB 2.30	5.79	47.65
2019年	EU Institutions 19.16	GFATM 5.33	IFAD 2.39	UNHCR 1.82	OPEC Fund 1.77	7.23	37.72
2020年	EU Institutions 26.26	GFATM 5.10	UNHCR 3.11	AsDB 2.67	GEF 1.61	4.06	42.81

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	1.01億円 ・草の根・人間の安全保障無償 (10件) (0.96) ・草の根文化無償 (1件) (0.05)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[7] アルメニア

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
297万人	4,560ドル	5.7%	138.18億ドル	高中所得国	iii/ 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対アルメニア援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	16.51	2.62
2018年度	-	1.73	0.48
2019年度	-	0.78	1.84
2020年度	-	4.52	0.37
2021年度	-	0.75	0.65

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対アルメニア援助形態実績(累計)

(単位:億円)

累計	円借款	無償資金協力	技術協力
	318.08	97.29	47.88

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対アルメニア援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-10.01	0.33	3.87	-5.80
2018年	-10.16	1.76 (0.03)	0.55	-7.85
2019年	-10.29	15.47 (1.07)	1.09	6.27
2020年	-10.51	0.99	0.93	-8.60
2021年	-10.23	8.07 (3.61)	0.44	-1.71
累計	228.60	91.51 (4.70)	44.94	365.05

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対アルメニア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	フランス 81.99	ドイツ 43.80	米国 26.51	スイス 7.30	日本 4.64	171.92	4.64
2017年	ドイツ 95.65	フランス 40.71	米国 27.19	オーストリア 4.62	日本 4.21	182.36	4.21
2018年	ドイツ 100.08	米国 28.36	フランス 23.18	オーストリア 2.98	スイス 2.68	167.33	2.32
2019年	ドイツ 85.55	米国 28.33	日本 16.56	フランス 13.35	スイス 4.73	161.62	16.56
2020年	ドイツ 35.78	米国 32.40	フランス 24.74	スイス 5.13	スウェーデン 4.68	113.92	1.91

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対アルメニア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	EU Institutions 111.31	AsDB 24.04	OPEC Fund 18.22	IDA 17.88	IFAD 6.26	15.78	193.50
2017年	EU Institutions 101.35	OPEC Fund 29.51	AsDB 16.70	IDA 10.07	GFATM 2.73	9.12	169.48
2018年	EU Institutions 62.49	IDA 11.25	AsDB 9.50	GFATM 5.17	OPEC Fund 2.31	10.03	100.75
2019年	IMF-CTF 368.21	EU Institutions 38.77	AsDB 7.57	IDA 5.19	GFATM 4.08	13.65	437.45
2020年	EU Institutions 137.80	IDA 9.45	EFSD 7.99	CIF 6.30	AsDB 4.89	15.87	182.31

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	0.75億円 ・草の根・人間の安全保障無償 (7件) (0.65) ・草の根文化無償 (1件) (0.10)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[8] ジョージア

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
371万人	4,740ドル	10.4%	220.53億ドル	高中所得国	iii / 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ジョージア援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	0.97	2.32
2018年度	387.35	0.59	0.83
2019年度	-	1.05	0.62
2020年度	-	3.71	0.40
2021年度	-	1.10	2.36

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ジョージア援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	661.99	121.83	27.65

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ジョージア援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	12.23	0.88 (0.37)	0.96	14.08
2018年	0.21	0.80 (0.53)	1.92	2.93
2019年	-4.75	0.98 (0.15)	0.41	-3.36
2020年	-6.87	3.34	0.45	-3.07
2021年	-7.91	0.93	1.03	-5.95
累計	203.51	104.59 (3.20)	28.87	336.97

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ジョージア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	米国 83.72	ドイツ 45.73	日本 18.05	スウェーデン 12.20	スイス 11.71	205.73	18.05
2017年	米国 96.55	ドイツ 48.71	日本 16.63	スウェーデン 14.37	オーストリア 8.67	224.02	16.63
2018年	ドイツ 110.41	フランス 104.43	米国 100.94	スウェーデン 14.81	デンマーク 12.28	390.73	5.52
2019年	フランス 150.26	ドイツ 113.80	米国 95.87	スペイン 16.87	スウェーデン 14.83	431.58	1.93
2020年	ドイツ 356.92	フランス 221.27	米国 71.79	スウェーデン 16.18	スイス 8.93	719.67	5.04

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ジョージア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	EU Institutions 194.26	AsDB 121.71	IDA 18.32	GFATM 7.69	GEF 2.65	4.06	348.68
2017年	EU Institutions 269.07	AsDB 38.78	GFATM 10.22	IDA 9.07	OPEC Fund 6.00	7.74	340.88
2018年	EU Institutions 289.88	AsDB 31.10	GFATM 8.15	IDA 7.89	UNHCR 2.65	7.91	347.57
2019年	EU Institutions 207.65	IMF-CTF 31.56	AsDB 27.69	GFATM 8.86	IFAD 3.83	10.74	290.31
2020年	EU Institutions 481.40	AsDB 13.23	GCF 8.18	IDA 5.81	GFATM 4.14	9.29	522.04

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	1.10億円 ・草の根・人間の安全 保障無償 (12件) (1.10)	・新型コロナウイルス影響下 における医療機関のキャパ シティ強化プロジェクト [21.08~ 22.06]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

中南米地域

中南米地域

表-1 中南米地域に対する我が国二国間ODA実績

(支出純額及び支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年		2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	累計	
ODA	贈与	無償資金協力	84.96 (3.2)	131.65 (5.0)	119.49 (4.7)	127.00 (4.1)	135.60 (4.2)	7,347.88
		(うち国際機関等を通じた贈与)	3.02 (0.2)	23.56 (1.8)	15.03 (1.3)	28.74 (1.6)	44.08 (2.1)	255.70
		技術協力	155.98 (5.4)	120.39 (4.5)	115.04 (4.2)	89.26 (3.7)	108.57 (4.5)	8,525.21
		贈与計	240.94 (4.4)	252.04 (4.8)	234.53 (4.4)	216.25 (4.0)	244.17 (4.3)	15,873.09
	政府貸付等 支出総額	128.26 (1.3)	196.67 (2.5)	174.30 (1.9)	417.51 (3.7)	463.70 (3.8)	13,519.05	
	<政府貸付等 支出純額>	<- 588.11>	<- 64.13>	<- 77.06>	<164.21>	<233.61>	<565.33>	
政府開発援助計 支出総額(ODA計)		369.20 (2.4)	448.70 (3.4)	408.83 (2.8)	633.77 (3.8)	707.87 (4.0)	29,392.14	
<政府開発援助計 支出純額(ODA計)>		<- 347.17>	<187.91>	<157.47>	<380.46>	<477.78>	<16,438.42>	

注) 1. ()内は各形態別の全世界合計に占める中南米地域の割合(%)

2. 国際機関等を通じた贈与は、2006年から、拠出時に供与先の国が明確であるものについては、各被援助国への援助として「無償資金協力」へ計上することに改めた。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

4. 「政府開発援助計 支出純額」の割合については、貸付の償還等に伴いマイナス数値となる場合に適切な割合が出せないことから、掲載していない。

表-2 中南米地域に対するDAC諸国のODA実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

援助実績種別	暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
政府開発援助計	2018	米国 2,109.92	ドイツ 1,830.67	フランス 1,300.15	英国 473.96	日本 448.71	8,028.84	448.71
	2019	米国 2,089.95	ドイツ 1,610.93	フランス 957.58	カナダ 471.76	日本 408.87	7,204.43	408.87
	2020	米国 2,207.75	ドイツ 1,956.60	フランス 1,856.80	日本 633.77	カナダ 566.01	8,980.52	633.77
政府貸付等	2018	フランス 1,042.34	ドイツ 972.94	日本 196.67	韓国 115.63	カナダ 44.79	2,395.11	196.67
	2019	ドイツ 760.82	フランス 748.96	日本 174.30	カナダ 96.83	韓国 94.85	1,909.87	174.30
	2020	フランス 1,621.06	ドイツ 1,164.26	日本 417.52	カナダ 143.38	イタリア 119.80	3,574.37	417.52
無償資金協力	2018	米国 2,036.92	英国 436.04	ドイツ 351.59	スペイン 342.37	カナダ 226.28	4,367.60	131.61
	2019	米国 2,027.80	ドイツ 354.71	スペイン 301.12	カナダ 235.46	英国 225.60	4,049.81	119.52
	2020	米国 2,157.20	スペイン 354.18	カナダ 288.99	ドイツ 281.29	英国 280.43	4,248.43	127.00
技術協力	2018	ドイツ 506.12	フランス 190.04	カナダ 152.27	日本 120.43	米国 73.00	1,266.16	120.43
	2019	ドイツ 495.38	フランス 140.92	カナダ 139.47	日本 115.04	英国 91.05	1,244.72	115.04
	2020	ドイツ 511.05	フランス 170.40	カナダ 133.64	日本 89.24	英国 76.46	1,157.69	89.24

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2022年10月)

表-3 中南米地域に対する国際機関のODA実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

援助実績種別	暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
政府開発援助計	2018	EU Institutions 1,416.26	IDB 1,149.46	IDA 315.40	GFATM 123.73	OPEC Fund 107.27	548.50	3,660.59
	2019	EU Institutions 933.92	IDB 825.87	IDA 307.18	IMF-CTF 286.05	CDB 180.48	720.67	3,254.06
	2020	CABEI 1,729.20	EU Institutions 1,439.04	IDB 1,042.48	IDA 497.30	IMF-CTF 427.83	1,128.01	6,263.86
政府貸付等	2018	IDB 1,004.24	EU Institutions 583.14	IDA 183.60	OPEC Fund 105.63	CDB 36.94	34.51	1,948.02
	2019	IDB 759.85	IMF-CTF 286.05	IDA 202.43	EU Institutions 165.57	OPEC Fund 60.75	13.24	1,487.89
	2020	CABEI 1,729.20	IDB 934.89	EU Institutions 535.17	IMF-CTF 416.59	IDA 356.81	151.82	4,124.47
無償資金協力	2018	EU Institutions 699.79	IDB 145.20	IDA 131.78	GFATM 123.73	GEF 77.83	323.96	1,502.37
	2019	EU Institutions 607.25	CDB 180.48	GFATM 114.74	IDA 104.74	GEF 59.15	531.53	1,597.81
	2020	EU Institutions 727.73	GCF 205.94	CDB 158.74	IDA 140.49	GFATM 133.05	595.39	1,961.31
技術協力	2018	EU Institutions 133.33	FAO 48.26	ILO 28.21	OPEC Fund 0.44	-	-	210.17
	2019	EU Institutions 161.11	IDB 7.27	-	-	-	-	168.37
	2020	EU Institutions 176.14	IAEA 1.90	-	-	-	-	178.09

出典) OECDデータベース (OECD.Stat) (2022年10月)

注) 1. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

[1] アルゼンチン

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
4,581万人	10,050ドル	10.3%	2,463.07億ドル	高中所得国	iv/ 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対アルゼンチン援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	0.38	5.59
2018年度	-	0.28	4.57
2019年度	-	0.30	4.70
2020年度	-	5.16	3.43
2021年度	-	0.24	4.25

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対アルゼンチン援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	81.50	69.15	508.31

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対アルゼンチン援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-10.26	0.82	6.24	-3.21
2018年	-15.61	0.26	3.85	-11.50
2019年	-16.19	0.31	4.26	-11.62
2020年	-1.17	0.22	2.91	1.96
2021年	-1.87	4.72	4.11	6.96
累計	12.26	52.05	515.55	579.87

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対アルゼンチン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	ドイツ 17.66	フランス 10.21	日本 3.95	米国 1.89	イタリア 1.51	40.31	3.95
2017年	イタリア 99.22	ドイツ 20.59	フランス 11.20	日本 7.05	英国 3.42	149.18	7.05
2018年	ドイツ 26.77	フランス 22.21	米国 4.54	日本 4.11	英国 3.17	68.03	4.11
2019年	ドイツ 24.59	フランス 10.56	英国 5.75	日本 4.56	米国 4.26	56.88	4.56
2020年	ドイツ 23.24	フランス 11.90	米国 6.03	英国 4.67	日本 3.13	56.70	3.13

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対アルゼンチン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	EU Institutions 6.79	GEF 6.29	IDB 3.75	Adaptation Fund 3.58	UNHCR 2.33	4.17	26.91
2017年	OPEC Fund 5.40	IDB 4.84	EU Institutions 4.06	UNHCR 3.80	GEF 2.36	5.20	25.66
2018年	EU Institutions 75.85	IDB 3.17	ILO 2.14	GEF 1.99	Adaptation Fund 1.58	3.75	88.47
2019年	IMF-CTF 183.54	EU Institutions 21.39	GCF 4.14	OPEC Fund 3.59	IDB 2.54	9.21	224.42
2020年	EU Institutions 24.32	OPEC Fund 18.00	IDB 3.50	UNHCR 2.94	Adaptation Fund 2.80	6.55	58.10

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	0.24億円 ・草の根・人間の安全保障無償 (2件) (0.14) ・草の根文化無償 (1件) (0.10)	・国立ラプラタ大学生物科学研究センター強化プロジェクト [21.10~22.09]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[2] アンティグア・バーブーダ

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
10万人	14,900ドル	5.3%	-	高中所得国(2022年卒業)	iv / 高所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対アンティグア・バーブーダ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	2.20	0.49
2018年度	-	2.08	0.12
2019年度	-	0.10	0.06
2020年度	-	2.00	0.05
2021年度	-	-	0.03

注)1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対アンティグア・バーブーダ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	67.57	9.78

注)1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対アンティグア・バーブーダ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	1.78	0.43	2.22
2018年	-	1.99	0.18	2.17
2019年	-	1.91	0.02	1.93
2020年	-	0.09	0.05	0.15
2021年	-	1.82	0.04	1.86
累計	-	61.75	9.46	71.21

注)1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対アンティグア・バーブーダ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	日本 5.14	韓国 0.08	オーストラリア 0.05	スペイン 0.02	オーストラリア 0.01	5.32	5.14
	-	-	-	-	フランス 0.01	-	-
	-	-	-	-	ドイツ 0.01	-	-
2017年	日本 2.22	オーストラリア 0.37	スイス 0.11	カナダ 0.07	韓国 0.05	2.95	2.22
2018年	日本 2.17	カナダ 0.16	英国 0.13	韓国 0.09	オーストラリア 0.05	2.64	2.17
2019年	日本 1.93	イタリア 0.50	英国 0.33	カナダ 0.04	オーストラリア 0.02	2.85	1.93
	-	-	-	-	フランス 0.02	-	-
2020年	カナダ 0.52	イタリア 0.47	アイルランド 0.34	英国 0.25	日本 0.15	1.89	0.15

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対アンティグア・バーブーダ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	GEF 1.73	GCF 0.12	ILO 0.09	UNDP 0.06	-	-	2.00
2017年	EU Institutions 2.48	CERF 2.15	Adaptation Fund 1.57	GCF 0.38	ILO 0.09	0.20	6.87
2018年	CDB 9.08	GCF 0.81	EU Institutions 0.79	ILO 0.08	IAEA 0.05	0.02	10.88
	-	-	-	-	GEF 0.05	-	-
2019年	CDB 8.30	Adaptation Fund 5.72	EU Institutions 4.43	GCF 1.57	ILO 0.44	0.52	20.97
2020年	CDB 14.44	CIF 5.04	EU Institutions 2.88	GEF 0.27	GGGI 0.05	0.04	22.73

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	なし	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[3] ウルグアイ

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
349万人	15,800ドル	4.4%	-	(2018年卒業)	iv / 高所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ウルグアイ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	0.59	1.40
2018年度	-	0.42	0.99
2019年度	-	0.19	0.56
2020年度	-	0.23	0.16
2021年度	-	1.03	0.32

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ウルグアイ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	71.66	24.62	156.73

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ウルグアイ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	0.58	-	1.29
2018年	-	0.30	-	0.93
2019年	-	0.39	-	0.98
2020年	-	0.08 (0.02)	0.13	0.21
2021年	-	1.01	0.22	1.23
累計	-2.96	22.62	137.65	157.30

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ウルグアイ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	ドイツ 3.54	日本 2.29	フランス 2.06	英国 0.94	スペイン 0.88	12.14	2.29
2017年	ドイツ 28.17	フランス 2.27	日本 1.87	スペイン 1.12	イタリア 0.89	36.48	1.87
2018年	-	-	-	-	-	-	-
2019年	-	-	-	-	-	-	-
2020年	-	-	-	-	-	-	-

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ウルグアイ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	IDB 2.90	Adaptation Fund 2.81	EU Institutions 1.99	GEF 1.92	UNICEF 0.92	1.66	12.20
2017年	IDB 3.85	EU Institutions 1.14	ILO 1.00	-	GEF 0.89	1.53	9.40
	-	-	UNICEF 1.00	-	-	-	-
2018年	-	-	-	-	-	-	-
2019年	-	-	-	-	-	-	-
2020年	-	-	-	-	-	-	-

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	1.03億円 ・草の根・人間の安全 保障無償 (5件) (1.03)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[4] エクアドル

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
1,789万人	5,930ドル	4.2%	582.59億ドル	高中所得国	iii / 高中所得国

出典) WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対エクアドル援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	1.46	4.70
2018年度	77.98	4.92	13.20
2019年度	-	5.44	5.46
2020年度	-	9.16	2.51
2021年度	-	1.99	6.35

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対エクアドル援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	714.16	386.43	287.75

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対エクアドル援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-8.86	6.81	4.96	2.91
2018年	-6.74	2.65	4.46	0.37
2019年	-4.54	7.85 (3.21)	10.95	14.26
2020年	-4.63	2.02	4.05	1.44
2021年	1.30	8.22	2.55	12.07
累計	-79.19	331.62 (4.70)	258.03	510.47

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対エクアドル経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	フランス 88.37	ドイツ 27.64	韓国 24.75	米国 20.64	日本 19.18	222.15	19.18
2017年	フランス 40.94	韓国 34.73	ドイツ 31.40	米国 19.19	日本 11.78	167.99	11.78
2018年	フランス 102.82	ドイツ 50.41	韓国 24.49	米国 18.45	スペイン 14.18	246.10	7.11
2019年	フランス 237.36	ドイツ 44.84	米国 32.46	韓国 24.12	日本 18.80	416.15	18.80
2020年	フランス 142.44	米国 58.80	ドイツ 34.41	スペイン 19.20	韓国 9.93	290.69	6.07

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対エクアドル経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	EU Institutions 51.62	UNHCR 11.33	GEF 6.25	IDB 4.78	UNICEF 2.09	6.71	82.78
2017年	EU Institutions 65.01	UNHCR 11.18	GCF 7.90	IDB 6.98	GEF 4.47	5.71	101.24
2018年	EU Institutions 179.87	IDB 7.38	UNHCR 6.66	GEF 5.07	WFP 2.17	8.37	209.53
2019年	EU Institutions 77.50	IMF-CTF 43.59	GCF 11.42	GEF 6.91	UNHCR 5.02	15.19	159.64
2020年	EU Institutions 58.20	GCF 30.16	GEF 7.20	IDB 3.07	GFATM 2.86	9.09	110.57

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	1.99億円 ・草の根・人間の安全 保障無償 (21件) (1.99)	・新型コロナウイルス研究能 力向上プロジェクト [21.06～ 22.07] ・土砂災害リスク減少能力 向上プロジェクト [21.08～ 25.07]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[5] エルサルバドル

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
652万人	4,140ドル	10.8%	201.71億ドル	低所得国	iii / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対エルサルバドル援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	5.61	6.96
2018年度	-	1.19	9.72
2019年度	-	6.34	7.86
2020年度	-	4.10	5.51
2021年度	55.48	2.20	9.72

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 米ドル建て借款(令和3年度支出官レートで円貨換算)を含む。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対エルサルバドル援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	567.72	389.40	286.79

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対エルサルバドル援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-13.83	0.45	6.40	-6.97
2018年	-14.00	5.08	8.23	-0.68
2019年	-12.35	1.74	6.99	-3.62
2020年	32.88	5.13 (4.68)	3.70	41.71
2021年	2.65	4.76	6.87	14.29
累計	88.98	343.78 (4.68)	259.07	691.82

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対エルサルバドル経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	米国 67.76	ドイツ 35.68	スペイン 19.15	日本 11.88	ルクセンブルク 5.07	157.14	11.88
2017年	米国 83.00	スペイン 27.29	ドイツ 23.35	日本 9.18	韓国 7.39	176.70	9.18
2018年	米国 137.50	スペイン 42.21	日本 15.73	ドイツ 14.17	フランス 13.57	254.87	15.73
2019年	米国 196.82	スペイン 42.02	フランス 19.85	ドイツ 13.64	日本 13.00	303.93	13.00
2020年	米国 191.01	日本 62.76	スペイン 46.01	フランス 20.69	ドイツ 9.46	355.60	62.76

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対エルサルバドル経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	EU Institutions 21.09	GFATM 7.45	OPEC Fund 5.00	IDB 3.87	GEF 1.03	4.00	42.44
2017年	EU Institutions 17.80	GFATM 10.79	IDB 4.41	OPEC Fund 1.83	UNICEF 1.05	4.50	40.38
2018年	EU Institutions 41.10	GFATM 8.44	IDB 3.94	WFP 3.75	UNPBF 2.11	6.63	65.95
2019年	EU Institutions 32.04	GFATM 6.61	GCF 5.64	WFP 3.05	UNPBF 2.23	9.94	59.52
2020年	CABEI 284.61	EU Institutions 15.52	GFATM 9.55	IDB 4.40	WFP 3.40	12.66	330.15

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	55.48億円	2.20億円	
	・サンミゲル市バイパス建設計画(第二期) (55.48)	・草の根・人間の安全保障無償 (8件) (1.19) ・人材育成奨学計画 (2件) (1.01)	・初中等算数・数学教育における学力評価に基づいた学びの改善プロジェクト [21.04～25.04] ・工芸作物バリューチェーン振興プロジェクト [21.08～26.08] ・新型コロナウイルス感染症流行下における遠隔技術を活用した集中治療能力強化プロジェクト [21.09～22.09] ・首都圏建物の耐震評価と耐震補強のための能力強化プロジェクト [22.02～26.02]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[6] ガイアナ

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
79万人	9,380ドル	19.9%	18.90億ドル	高中所得国	iv / 高中所得国

出典) WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ガイアナ援助形態実績(年度別)

(単位: 億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	0.3	1.1
2018年度	-	18.48	1.48
2019年度	-	0.10	0.31
2020年度	-	-	0.03
2021年度	-	-	0.07

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ガイアナ援助形態実績(累計)

(単位: 億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	160.01	20.13

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ガイアナ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	-	1.13	1.13
2018年	-	0.27 (0.09)	1.40	1.66
2019年	-	2.70	0.13	2.83
2020年	-	9.70	0.19	9.90
2021年	-	0.77	0.06	0.82
累計	-0.39	119.78 (1.07)	19.23	138.62

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ガイアナ経済協力実績

(支出総額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	米国 7.78	ノルウェー 3.68	カナダ 0.91	英国 0.89	日本 0.66	14.49	0.66
2017年	米国 6.07	ノルウェー 5.04	英国 1.77	日本 1.13	カナダ 0.74	15.54	1.13
2018年	米国 5.26	ノルウェー 3.46	日本 1.66	英国 1.50	カナダ 1.48	14.05	1.66
2019年	ノルウェー 47.70	米国 3.78	日本 2.83	英国 2.58	カナダ 1.56	59.32	2.83
2020年	日本 9.90	ノルウェー 2.93	米国 2.57	カナダ 2.21	英国 2.15	20.70	9.90

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ガイアナ経済協力実績

(支出総額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	EU Institutions 42.17	IDB 10.68	CDB 6.76	IDA 5.64	UNICEF 2.26	5.85	73.36
2017年	IDB 18.86	EU Institutions 10.62	IDA 9.05	CDB 8.76	GFATM 2.75	4.99	55.03
2018年	IDA 41.45	EU Institutions 28.78	IDB 28.31	CDB 3.95	UNICEF 1.97	5.70	110.15
2019年	IDB 34.41	CDB 12.99	IDA 8.56	EU Institutions 3.83	UNICEF 2.35	6.13	68.27
2020年	IDB 21.24	EU Institutions 11.24	CDB 6.71	IDA 4.82	UNICEF 1.94	2.68	48.62

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	なし	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[7] キューバ

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
1,132万人	-	-10.9%	-	高中所得国	-

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対キューバ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	11.06	1.85
2018年度	-	35.03	7.25
2019年度	-	0.38	5.55
2020年度	-	5.00	1.88
2021年度	-	3.26	4.41

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対キューバ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	114.75	87.13

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対キューバ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	32.34 (0.13)	3.37	35.72
2018年	-	41.02 (0.51)	6.46	47.48
2019年	-	10.72 (0.75)	3.50	14.22
2020年	-	6.75 (0.17)	3.57	10.32
2021年	-	8.13 (2.97)	2.03	10.16
累計	-	135.45 (5.41)	88.09	223.54

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対キューバ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	スペイン 2,117.63	フランス 78.57	日本 20.48	スイス 14.83	米国 9.99	2,278.23	20.48
2017年	フランス 101.82	イタリア 96.21	日本 35.72	スイス 14.61	オーストリア 10.21	314.38	35.72
2018年	フランス 134.23	日本 47.48	オーストリア 13.23	ベルギー 12.55	スイス 11.77	270.41	47.48
2019年	日本 14.22	フランス 13.76	米国 13.63	スイス 13.41	イタリア 11.99	97.06	14.22
2020年	フランス 21.28	オーストリア 14.76	スイス 14.75	日本 10.32	米国 10.01	111.18	10.32

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対キューバ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	OPEC Fund 15.26	EU Institutions 12.37	GFATM 6.23	GEF 2.46	Adaptation Fund 1.34	3.65	41.32
2017年	OPEC Fund 13.65	EU Institutions 11.17	CERF 8.00	GFATM 5.05	GEF 3.17	3.33	44.38
2018年	OPEC Fund 15.15	EU Institutions 12.47	GFATM 6.02	GEF 1.78	UNICEF 1.31	3.07	39.79
2019年	EU Institutions 20.15	GFATM 5.48	OPEC Fund 4.27	CERF 2.00	GEF 1.62	5.23	38.74
2020年	EU Institutions 25.54	GCF 8.32	GEF 5.50	GFATM 3.31	UNICEF 1.02	2.36	46.04

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	3.26億円 (3.26) ・新型コロナウイルス感染症危機に対する保健医療能力強化計画(UNICEF連携)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[8] グアテマラ

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
1,711万人	4,940ドル	7.5%	269.65億ドル	高中所得国	iii / 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対グアテマラ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	0.95	6.17
2018年度	-	1.14	3.22
2019年度	-	0.62	5.93
2020年度	-	8.86	4.01
2021年度	-	4.02	8.48

注)1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対グアテマラ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	367.75	451.02	332.76

注)1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対グアテマラ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-9.23	0.52 (0.09)	6.45	-2.27
2018年	6.38	0.95 (0.18)	3.69	11.03
2019年	4.06	1.39 (0.47)	4.85	10.31
2020年	21.29	2.89 -	3.24	27.42
2021年	0.66	6.44 (5.61)	4.80	11.90
累計	161.02	393.84 (6.69)	290.03	844.89

注)1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対グアテマラ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	米国 134.92	スウェーデン 30.39	ドイツ 22.92	スペイン 17.07	カナダ 10.95	254.22	6.16
2017年	米国 211.37	スウェーデン 28.30	ドイツ 21.20	スペイン 18.91	カナダ 9.36	326.26	7.92
2018年	米国 200.97	スペイン 34.58	ドイツ 32.83	スウェーデン 32.24	日本 21.38	368.60	21.38
2019年	米国 187.75	ドイツ 26.96	スウェーデン 26.83	日本 23.33	スペイン 23.31	348.22	23.33
2020年	米国 151.04	日本 42.00	スウェーデン 30.01	スペイン 28.28	ドイツ 23.81	312.77	42.00

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対グアテマラ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	EU Institutions 17.51	GFATM 12.82	IDB 9.56	WFP 3.31	GEF 3.04	9.66	55.90
2017年	EU Institutions 42.74	IDB 34.46	GFATM 9.86	GEF 7.18	WFP 3.13	11.70	109.07
2018年	EU Institutions 21.42	IDB 19.36	GFATM 11.75	UNPBF 5.79	GEF 2.85	11.08	72.25
2019年	EU Institutions 43.10	IDB 16.78	GFATM 6.51	UNPBF 3.29	WFP 3.10	13.63	86.39
2020年	IDB 284.22	EU Institutions 32.34	GFATM 13.19	CERF 7.52	WFP 3.60	15.52	356.39

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	4.02億円 <ul style="list-style-type: none"> ・日本NGO連携無償 (1件) (0.80) ・草の根・人間の安全保障無償 (3件) (0.22) ・経済社会開発計画 (1件) (3.00) 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症 [21.12～ 流行下における遠隔技術を 活用した集中治療能力強化 プロジェクト 22.09] ・プライマリ・ヘルス・ケアを [22.01～ 通じた母子栄養改善プロ ジェクト 26.01] ・地域警察プロジェクト [21.08～ 26.08]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[9] グレナダ

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
11万人	9,630ドル	5.3%	7.26億ドル	高中所得国	iv/ 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対グレナダ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	0.09	0.12
2018年度	-	0.08	0.06
2019年度	-	2.00	0.05
2020年度	-	2.00	0.01
2021年度	-	-	0.02

注)1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対グレナダ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	65.79	11.96

注)1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対グレナダ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	0.09	0.12	0.21
2018年	-	0.09	0.05	0.13
2019年	-	0.07	0.05	0.12
2020年	-	1.87	0.01	1.88
2021年	-	1.82	0.01	1.83
累計	-	60.64	10.34	70.98

注)1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対グレナダ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	日本 4.34	ドイツ 1.52	フランス 0.67	米国 0.50	オーストラリア 0.05	7.10	4.34
2017年	ドイツ 1.18	フランス 0.23	日本 0.21	カナダ 0.11	-	2.07	0.21
	-	-	-	英国 0.11	-	-	-
2018年	ドイツ 0.89	英国 0.24	カナダ 0.15	日本 0.13	ニュージーランド 0.07	1.53	0.13
2019年	ドイツ 0.61	イタリア 0.50	カナダ 0.34	韓国 0.18	英国 0.15	1.98	0.12
2020年	日本 1.88	カナダ 0.86	ドイツ 0.42	ニュージーランド 0.07	-	3.33	1.88
	-	-	-	英国 0.07	-	-	-

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対グレナダ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	IMF-CTF 5.56	CDB 5.05	IDA 4.20	GEF 0.61	ILO 0.09	0.08	15.59
2017年	IDA 9.32	IMF-CTF 2.77	EU Institutions 1.54	CDB 1.42	GEF 1.01	0.71	16.78
2018年	IDA 33.28	CIF 2.86	CDB 1.16	GEF 0.63	EU Institutions 0.51	0.60	39.04
2019年	IMF-CTF 13.65	CDB 5.96	IDA 3.01	OPEC Fund 2.58	EU Institutions 1.82	2.21	29.23
2020年	IDA 26.76	IMF-CTF 22.84	CDB 11.32	OPEC Fund 5.15	GCF 4.84	2.12	73.03

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	なし	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[10] コスタリカ

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
514万人	12,310ドル	7.6%	337.88億ドル	高中所得国	iv / 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対コスタリカ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	3.48	4.78
2018年度	-	0.38	3.30
2019年度	-	0.24	3.25
2020年度	-	3.38	1.54
2021年度	-	0.15	0.61

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対コスタリカ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	1,021.56	67.24	241.97

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対コスタリカ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	34.25	0.35	4.37	38.97
2018年	25.95	3.15	2.99	32.09
2019年	14.93	0.52	3.24	18.69
2020年	-4.31	0.05	1.92	-2.34
2021年	-10.22	3.41 (2.97)	0.88	-5.93
累計	181.01	63.34 (2.97)	218.94	463.28

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対コスタリカ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	日本 45.73	ドイツ 29.56	米国 8.84	フランス 4.68	スペイン 1.36	94.07	45.73
2017年	日本 55.74	米国 9.92	ドイツ 9.36	フランス 4.45	韓国 1.84	86.52	55.74
2018年	日本 48.74	ドイツ 11.66	米国 10.53	フランス 4.38	カナダ 1.09	81.05	48.74
2019年	日本 35.16	米国 11.15	ドイツ 10.57	フランス 4.23	韓国 2.71	68.08	35.16
2020年	フランス 151.02	米国 24.20	日本 14.48	ドイツ 12.84	韓国 2.45	208.42	14.48

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対コスタリカ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	EU Institutions 21.40	GEF 3.65	IDB 3.43	GFATM 1.74	IAEA 0.70	2.09	33.01
2017年	EU Institutions 15.80	GEF 5.47	IDB 4.08	GFATM 1.16	UNICEF 0.93	2.56	30.00
2018年	EU Institutions 29.61	GEF 4.54	IDB 2.78	Adaptation Fund 2.39	UNICEF 1.46	4.32	45.12
2019年	EU Institutions 3.20	GEF 2.59	IDB 2.03	UNHCR 1.40	ILO 0.95	3.26	13.43
2020年	EU Institutions 4.68	OPEC Fund 3.50	GEF 3.11	IDB 3.02	UNHCR 2.53	9.46	26.29

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	0.15億円 ・草の根・人間の安全 保障無償 (2件) (0.15)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[11] コロンビア

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
5,127万人	6,160ドル	10.6%	1,719.93億ドル	高中所得国	iii/ 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対コロンビア援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	13.10	6.91
2018年度	-	2.34	7.47
2019年度	-	6.58	5.11
2020年度	-	6.13	1.74
2021年度	-	1.47	1.62

注)1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対コロンビア援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	466.33	160.30	350.51

注)1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対コロンビア援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	11.20	6.88	18.07
2018年	-	2.76	6.63	9.38
2019年	-	6.56 (4.62)	4.87	11.43
2020年	-	5.59	2.74	8.33
2021年	-	1.13	1.52	2.65
累計	-63.86	128.32 (7.92)	313.91	378.37

注)1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対コロンビア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	米国 294.48	ドイツ 282.07	フランス 224.05	ノルウェー 38.99	カナダ 35.57	1,037.30	13.21
2017年	米国 307.57	ドイツ 171.82	ノルウェー 62.56	カナダ 45.07	スイス 38.62	810.70	18.07
2018年	ドイツ 558.04	フランス 508.53	米国 339.60	韓国 61.67	ノルウェー 50.64	1,758.52	9.38
2019年	米国 433.71	ドイツ 114.56	ノルウェー 76.23	英国 66.75	スペイン 55.41	957.36	11.43
2020年	ドイツ 714.54	米国 558.93	フランス 270.18	英国 97.72	スペイン 75.94	1,937.15	8.33

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対コロンビア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	EU Institutions 91.02	GEF 13.32	IDB 9.21	UNHCR 6.94	GFATM 3.04	5.15	128.68
2017年	EU Institutions 72.22	GEF 10.30	IDB 10.07	CIF 4.81	UNHCR 3.82	9.68	110.91
2018年	EU Institutions 84.27	UNPBF 9.94	UNHCR 9.67	GCF 8.77	IDB 8.01	33.29	153.97
2019年	EU Institutions 67.51	UNPBF 8.46	CERF 7.99	GEF 7.81	WFP 6.54	24.54	122.85
2020年	EU Institutions 110.90	CIF 12.70	IDB 5.79	GFATM 5.09	CERF 5.00	20.01	159.50

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	1.47億円 ・草の根・人間の安全 保障無償 (17件) (1.47)	・平和構築に資する包摂性 を確保した農業農村開発事 業強化プロジェクト [21.11~ 26.11]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附带プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[12] ジャマイカ

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
297万人	4,800ドル	4.6%	177.01億ドル	高中所得国	iii/ 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ジャマイカ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	16.94	14.71	2.85
2018年度	-	0.47	3.17
2019年度	-	4.22	2.30
2020年度	-	2.09	1.07
2021年度	-	0.46	1.02

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ジャマイカ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	551.26	42.74	107.41

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ジャマイカ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-9.94	1.28	-	4.50
2018年	-10.09	1.04	-	3.05
2019年	-4.18	0.48	-	2.11
2020年	-4.75	5.69	-	1.28
2021年	-3.41	0.08	-	0.68
累計	-107.19	25.08	-	99.70

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ジャマイカ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	米国 22.41	英国 8.83	カナダ 5.84	日本 3.14	ベルギー 0.86	42.43	3.14
2017年	米国 32.39	英国 10.10	日本 5.78	カナダ 3.14	オーストラリア 0.63	53.93	5.78
2018年	米国 34.87	フランス 15.74	英国 10.73	カナダ 4.39	日本 4.09	71.36	4.09
2019年	フランス 33.53	米国 24.48	英国 12.72	日本 3.06	カナダ 2.83	77.88	3.06
2020年	米国 19.47	英国 11.09	日本 6.97	カナダ 2.37	韓国 0.77	41.98	6.97

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ジャマイカ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	EU Institutions 23.11	GFATM 5.26	OPEC Fund 4.03	IDB 2.04	CIF 1.81	4.97	41.22
2017年	EU Institutions 19.17	GFATM 5.20	IDB 4.96	CIF 2.62	CDB 1.70	5.86	39.51
2018年	EU Institutions 43.70	CIF 5.43	GFATM 3.91	IDB 3.25	CDB 1.68	4.84	62.81
2019年	IMF-CTF 23.78	CDB 15.19	EU Institutions 12.59	GFATM 4.28	OPEC Fund 2.97	12.17	70.99
2020年	EU Institutions 28.22	CIF 6.41	GFATM 4.21	IDB 1.73	UNICEF 0.89	2.87	44.34

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	0.46億円 ・草の根・人間の安全 保障無償 (3件) (0.46)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[13] スリナム

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
59万人	4,440ドル	-3.5%	-	高中所得国	iii / 高中所得国

出典) WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対スリナム援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	2.10	0.10
2018年度	-	4.09	0.09
2019年度	-	0.10	0.03
2020年度	-	0.13	-
2021年度	-	0.28	-

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対スリナム援助形態実績(累計)

(単位:億円)

累計	円借款	無償資金協力	技術協力
	-	56.60	7.67

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対スリナム援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	-	0.11	0.11
2018年	-	1.90	0.07	1.97
2019年	-	3.75	0.00	3.76
2020年	-	-	0.03	0.03
2021年	-	0.12	-	0.12
累計	-2.70	44.72 (0.09)	8.60	50.62

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対スリナム経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	オランダ 3.90	ベルギー 1.65	フランス 1.53	カナダ 0.46	日本 0.27	8.23	0.27
2017年	フランス 3.31	ベルギー 1.51	オランダ 0.75	カナダ 0.34	オーストラリア 0.28	6.58	0.11
2018年	オランダ 3.12	日本 1.97	ベルギー 1.12	フランス 1.11	カナダ 0.59	8.11	1.97
2019年	オランダ 4.31	日本 3.76	フランス 1.30	ベルギー 1.03	カナダ 0.67	11.42	3.76
2020年	オランダ 4.62	フランス 0.89	カナダ 0.70	ベルギー 0.37	米国 0.20	7.09	0.03

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対スリナム経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	EU Institutions 5.59	IDB 2.72	GEF 1.07	Isl.Dev Bank 0.73	GFATM 0.21	0.28	10.61
2017年	EU Institutions 9.83	GFATM 2.46	IDB 1.99	Isl.Dev Bank 0.91	OPEC Fund 0.60	1.68	17.47
2018年	EU Institutions 5.43	IDB 2.81	GFATM 1.61	GEF 1.12	Isl.Dev Bank 0.29	0.67	11.93
2019年	CDB 13.15	EU Institutions 3.60	OPEC Fund 1.84	GFATM 1.52	Isl.Dev Bank 0.90	1.82	22.83
2020年	CDB 9.55	EU Institutions 5.45	OPEC Fund 3.13	GFATM 1.33	Isl.Dev Bank 1.28	2.44	23.20

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	0.28億円 ・草の根・人間の安全 保障無償 (1件) (0.28)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附带プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[14] セントクリストファー・ネービス

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
5万人	18,560ドル	-1.0%	-	(2014年卒業)	iv / 高所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対セントクリストファー・ネービス援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	-	0.09
2018年度	-	-	0.09
2019年度	-	2.18	0.08
2020年度	-	0.07	-
2021年度	-	-	-

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対セントクリストファー・ネービス援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	33.14	5.26

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対セントクリストファー・ネービス援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	2.18	0.09	2.27
2018年	-	-	0.09	0.09
2019年	-	0.16	0.02	0.19
2020年	-	1.87	0.05	1.92
2021年	-	0.07	-	0.07
累計	-	13.50	4.75	18.25

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対セントクリストファー・ネービス経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	-	-	-	-	-	-	-
2017年	-	-	-	-	-	-	-
2018年	-	-	-	-	-	-	-
2019年	-	-	-	-	-	-	-
2020年	-	-	-	-	-	-	-

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対セントクリストファー・ネービス経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	-	-	-	-	-	-	-
2017年	-	-	-	-	-	-	-
2018年	-	-	-	-	-	-	-
2019年	-	-	-	-	-	-	-
2020年	-	-	-	-	-	-	-

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	なし	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[15] セントビンセント及びグレナディーン諸島

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
11万人	8,100ドル	0.7%	5.26億ドル	高中所得国	iv/高中所得国

出典) WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対セントビンセント及びグレナディーン諸島援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	-	0.43
2018年度	-	4.04	0.40
2019年度	-	-	0.32
2020年度	-	-	0.44
2021年度	-	3.71	0.59

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対セントビンセント及びグレナディーン諸島援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	72.55	19.69

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対セントビンセント及びグレナディーン諸島援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	1.78	0.45	2.23
2018年	-	-	0.31	0.31
2019年	-	3.70	0.33	4.03
2020年	-	-	0.45	0.45
2021年	-	3.38 (1.55)	0.11	3.49
累計	-	64.06 (1.55)	18.20	82.26

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対セントビンセント及びグレナディーン諸島経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	日本 3.74	韓国 0.14	オーストラリア 0.06	オーストラリア 0.05	フランス 0.03	4.04	3.74
2017年	日本 2.23	オーストラリア 2.12	英国 0.21	ニュージーランド 0.10	オーストラリア 0.06	4.85	2.23
	-	-	-	-	米国 0.06	-	-
2018年	カナダ 0.69	日本 0.31	韓国 0.11	英国 0.09	-	1.46	0.31
	-	-	-	米国 0.09	-	-	-
2019年	日本 4.03	カナダ 0.74	イタリア 0.15	韓国 0.11	-	5.39	4.03
	-	-	-	英国 0.11	-	-	-
2020年	カナダ 0.92	日本 0.45	英国 0.08	-	オーストラリア 0.03	1.61	0.45
	-	-	米国 0.08	-	-	-	-

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対セントビンセント及びグレナディーン諸島経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	EU Institutions 12.00	CDB 3.05	IDA 1.85	ILO 0.18	UNDP 0.07	-	17.15
2017年	CIF 4.39	EU Institutions 3.10	IDA 0.86	GEF 0.59	GCF 0.12	0.17	9.24
2018年	EU Institutions 6.30	CDB 5.45	CIF 3.00	IDA 1.24	GEF 0.63	0.23	16.85
2019年	IDA 38.80	CDB 35.62	EU Institutions 3.10	FAO 0.16	WHO 0.05	0.08	77.81
2020年	IDA 46.77	IMF-CTF 16.30	CDB 9.86	EU Institutions 0.70	WHO 0.14	0.12	74.03
	-	-	-	-	GEF 0.14	-	-

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	3.71億円 ・経済社会開発計画 (1件) (2.00) ・セントビンセント及びグレナ ディーン諸島の火山噴火被害 に対する緊急無償資金協力(IO M連携) (0.92) ・セントビンセント及びグレナ ディーン諸島の火山噴火被害 に対する緊急無償資金協力(W FP連携) (0.79)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[16] セントルシア

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
18万人	9,680ドル	6.6%	8.88億ドル	高中所得国	iv/高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対セントルシア援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	2.67	2.47
2018年度	-	8.38	1.68
2019年度	-	6.49	2.36
2020年度	-	0.04	1.07
2021年度	-	2.00	1.05

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対セントルシア援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	94.49	39.55

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対セントルシア援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	1.96	2.24	4.19
2018年	-	0.28	1.55	1.83
2019年	-	1.83	1.70	3.53
2020年	-	0.15	1.10	1.24
2021年	-	5.36	1.02	6.39
累計	-	71.78	35.52	107.30

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対セントルシア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	日本 5.59	フランス 0.86	韓国 0.11	ニュージーランド 0.10	オーストラリア 0.09	6.86	5.59
2017年	日本 4.19	フランス 0.63	カナダ 0.28	ニュージーランド 0.15	-	5.58	4.19
	-	-	-	英国 0.15	-	-	-
2018年	日本 1.83	フランス 0.63	カナダ 0.34	ニュージーランド 0.21	イタリア 0.16	3.37	1.83
2019年	日本 3.53	フランス 0.98	英国 0.72	カナダ 0.65	イタリア 0.37	6.61	3.53
2020年	フランス 1.40	日本 1.24	カナダ 0.84	英国 0.51	ニュージーランド 0.21	4.47	1.24

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対セントルシア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	EU Institutions 15.34	CDB 6.03	IDA 3.90	GEF 1.00	ILO 0.10	0.09	26.46
2017年	EU Institutions 8.43	IDA 4.90	CIF 2.76	ILO 0.09	UNDP 0.07	0.02	16.28
2018年	IDA 4.98	EU Institutions 4.07	CIF 2.31	CDB 1.92	GCF 0.06	0.03	13.37
2019年	CDB 22.02	IDA 4.16	EU Institutions 2.40	GCF 0.25	UNDP 0.19	0.30	29.33
2020年	CDB 44.16	IMF-CTF 29.81	IDA 20.40	CIF 2.17	EU Institutions 0.52	0.76	97.83

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	2.00億円 ・経済社会開発計画 (1件) (2.00)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[17] チリ

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
1,921万人	15,000ドル	11.7%	-	(2018年卒業)	iv / 高所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対チリ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	0.36	2.56
2018年度	-	0.59	2.54
2019年度	-	0.43	3.78
2020年度	-	5.39	1.55
2021年度	-	0.43	4.03

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対チリ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	243.70	111.49	445.93

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対チリ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-0.90	0.43	3.26	2.79
2018年	-0.91	0.24	1.88	1.20
2019年	-0.93	0.46	2.31	1.84
2020年	-	5.09	3.26	8.35
2021年	-0.92	0.36	1.76	1.20
累計	-9.04	82.92	401.98	475.86

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対チリ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	ドイツ 175.38	フランス 10.49	英国 9.07	日本 3.25	カナダ 2.46	205.41	3.25
2017年	ドイツ 60.91	フランス 9.81	デンマーク 4.58	日本 3.69	カナダ 3.14	89.67	3.69
2018年	-	-	-	-	-	-	-
2019年	-	-	-	-	-	-	-
2020年	-	-	-	-	-	-	-

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対チリ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	EU Institutions 5.46	GEF 4.79	IDB 4.71	ILO 0.95	-	1.56	18.43
	-	-	-	UNICEF 0.95	-	-	-
2017年	EU Institutions 5.12	IDB 5.01	GEF 1.88	ILO 1.22	UNICEF 0.98	1.83	16.03
2018年	-	-	-	-	-	-	-
2019年	-	-	-	-	-	-	-
2020年	-	-	-	-	-	-	-

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	0.43億円 ・草の根・人間の安全保障無償 (5件) (0.43)	・小規模家族生産者の金融包摂促進プロジェクト [21.06～24.06] ・新型コロナウイルス影響下における災害時の感染予防対策強化プロジェクト [21.11～22.07]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[18] ドミニカ国

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
7万人	7,760ドル	6.5%	3.78億ドル	高中所得国	iv/ 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ドミニカ国援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	2.20	0.14
2018年度	-	0.15	0.42
2019年度	-	10.72	0.57
2020年度	-	0.20	-
2021年度	-	-	-

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ドミニカ国援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	83.81	16.80

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ドミニカ国援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	-	0.16	0.16
2018年	-	2.06	0.27	2.33
2019年	-	0.06	0.48	0.54
2020年	-	0.47	0.17	0.64
2021年	-	2.71	-	2.71
累計	3.11	69.78	17.91	90.80

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ドミニカ国経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	日本 2.91	フランス 0.31	米国 0.15	韓国 0.12	ニュージーランド 0.08	3.78	2.91
2017年	カナダ 0.91	オーストラリア 0.53	米国 0.51	スイス 0.35	フランス 0.33	3.68	0.16
2018年	米国 4.76	カナダ 4.45	日本 2.33	オーストラリア 0.74	英国 0.53	13.32	2.33
2019年	米国 3.75	英国 1.35	カナダ 1.18	日本 0.54	フランス 0.52	7.95	0.54
2020年	カナダ 1.83	英国 1.26	日本 0.64	フランス 0.34	米国 0.29	4.76	0.64

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ドミニカ国経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	EU Institutions 9.72	CDB 1.86	GEF 1.19	UNDP 0.14	ILO 0.08	-	13.00
2017年	EU Institutions 9.44	IDA 8.12	CERF 3.01	CDB 1.74	UNAIDS 0.35	1.11	23.77
2018年	EU Institutions 16.07	IDA 4.58	CDB 0.94	GEF 0.38	FAO 0.20	0.11	22.27
2019年	IMF-CTF 21.49	CDB 18.21	EU Institutions 13.11	IDA 11.48	GCF 0.41	0.42	65.13
2020年	CDB 24.30	IDA 20.54	IMF-CTF 14.32	CIF 5.44	EU Institutions 2.50	3.14	70.23

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	なし	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[19] ドミニカ共和国

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
1,095万人	8,220ドル	12.3%	437.12億ドル	高中所得国	iv/高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ドミニカ共和国援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	—	0.68	6.50
2018年度	—	0.71	4.96
2019年度	—	0.92	5.20
2020年度	—	3.58	4.21
2021年度	254.88	0.87	9.14

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 米ドル建て借款(令和3年度支出官レートで円貨換算)を含む。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ドミニカ共和国援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	575.78	274.77	371.10

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ドミニカ共和国援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-5.98	0.60	6.22	0.84
2018年	-3.97	0.57	4.70	1.30
2019年	-3.95	1.11	4.63	1.80
2020年	-4.03	3.30	4.72	4.00
2021年	-3.91	0.52 (0.09)	3.76	0.36
累計	-42.13	223.59 (0.18)	322.35	503.81

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ドミニカ共和国経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	フランス 73.64	米国 61.12	スペイン 11.80	韓国 11.45	日本 10.14	172.52	10.14
2017年	米国 68.18	フランス 37.22	日本 6.82	スペイン 6.47	韓国 4.36	128.58	6.82
2018年	米国 58.98	スペイン 7.27	ドイツ 7.19	日本 5.27	韓国 4.68	89.38	5.27
2019年	米国 51.03	フランス 28.19	ドイツ 14.56	スペイン 8.85	韓国 8.31	118.87	5.75
2020年	フランス 311.45	米国 53.95	スペイン 8.64	日本 8.02	ドイツ 7.17	395.85	8.02

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ドミニカ共和国経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	EU Institutions 48.83	OPEC Fund 14.17	GFATM 6.05	IDB 3.16	UNHCR 1.54	4.04	77.78
2017年	EU Institutions 40.51	GFATM 7.98	IDB 3.85	UNICEF 1.12	WHO 0.70	1.95	56.10
2018年	EU Institutions 29.03	OPEC Fund 21.79	GFATM 7.73	IDB 3.06	UNHCR 1.86	6.36	69.83
2019年	EU Institutions 50.38	OPEC Fund 8.01	GFATM 7.95	IDB 2.10	UNHCR 1.86	7.12	77.40
2020年	CABEI 180.69	EU Institutions 33.75	GFATM 5.86	IDB 3.12	Adaptation Fund 2.99	4.99	231.41

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	254.88億円 ・エネルギー効率化計画 (38.88) ・新型コロナウイルス感染症 危機対応における公共政策 及び財政管理強化プログラム (216.00)	0.87億円 ・草の根・人間の安全 保障無償 (9件) (0.87)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[20] トリニダード・トバゴ

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
140万人	15,070ドル	-1.0%	-	(2011年卒業)	iv/ 高所得国

出典) WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対トリニダード・トバゴ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	0.23	0.04
2018年度	-	-	0.02
2019年度	-	-	0.04
2020年度	-	-	0.02
2021年度	-	-	0.73

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対トリニダード・トバゴ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	2.35	33.75

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対トリニダード・トバゴ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	-	0.04	0.04
2018年	-	0.21	0.02	0.23
2019年	-	-	0.03	0.03
2020年	-	-	0.02	0.02
2021年	-	-	0.01	0.01
累計	-	1.10	29.83	30.93

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対トリニダード・トバゴ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	-	-	-	-	-	-	-
2017年	-	-	-	-	-	-	-
2018年	-	-	-	-	-	-	-
2019年	-	-	-	-	-	-	-
2020年	-	-	-	-	-	-	-

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対トリニダード・トバゴ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	-	-	-	-	-	-	-
2017年	-	-	-	-	-	-	-
2018年	-	-	-	-	-	-	-
2019年	-	-	-	-	-	-	-
2020年	-	-	-	-	-	-	-

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	なし	・CARPHAへの支援を通じた カリブ地域の防疫に係る健 康安全保障推進プロジェクト [21.11～ 23.03]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[21] ニカラグア

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
670万人	2,010ドル	10.3%	143.54億ドル	低所得国	iii/ 低所得国

出典) WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ニカラグア援助形態実績(年度別)

(単位: 億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	49.40	11.76	9.08
2018年度	-	13.20	5.38
2019年度	-	0.60	6.71
2020年度	-	3.65	1.71
2021年度	-	17.84	4.72

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ニカラグア援助形態実績(累計)

(単位: 億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	275.15	844.16	278.94

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ニカラグア援助形態別実績

(支出純額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	3.36	0.96	11.00	15.31
2018年	2.04	4.84	5.67	12.54
2019年	4.67	5.72	5.93	16.33
2020年	0.45	2.08	3.24	5.77
2021年	0.71	13.44 (7.09)	3.03	17.18
累計	1.33	825.52 (14.71)	260.58	1,087.43

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ニカラグア経済協力実績

(支出総額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	米国 43.25	韓国 26.24	スイス 25.56	日本 22.57	スペイン 13.32	180.89	22.57
2017年	米国 51.17	韓国 36.60	スイス 22.01	日本 15.31	スペイン 14.75	186.88	15.31
2018年	韓国 46.71	米国 45.16	スペイン 16.20	ドイツ 13.12	スイス 13.05	189.30	12.54
2019年	韓国 46.12	米国 31.40	スペイン 18.23	スイス 17.46	日本 16.33	166.86	16.33
2020年	米国 31.07	韓国 20.72	スイス 20.45	スペイン 17.77	ドイツ 10.90	131.03	5.77

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ニカラグア経済協力実績

(支出総額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	IDB 155.36	EU Institutions 58.39	IDA 55.53	GFATM 11.12	OPEC Fund 11.06	15.56	307.03
2017年	IDB 286.62	IDA 74.79	EU Institutions 23.53	OPEC Fund 21.33	IFAD 10.21	20.01	436.49
2018年	IDB 104.13	IDA 69.24	EU Institutions 40.75	GFATM 6.60	IFAD 5.83	11.74	238.28
2019年	IDB 121.45	IDA 94.04	EU Institutions 42.74	IFAD 6.15	GFATM 5.41	13.50	283.29
2020年	IDB 145.47	CABEI 142.93	EU Institutions 73.53	IDA 64.04	IMF-CTF 60.35	47.88	534.21

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	17.84億円 ・草の根・人間の安全保障無償 (5件) (0.69) ・経済社会開発計画 (1件) (3.00) ・マナグア市における上水道改善計画 (14.15)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[22] ハイチ

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
1,154万人	1,420ドル	-1.8%	26.04億ドル	後発開発途上国	iii/ 低所得国

出典) WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ハイチ援助形態実績(年度別)

(単位: 億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	57.44	3.08
2018年度	-	18.66	1.92
2019年度	-	8.97	0.81
2020年度	-	10.76	1.90
2021年度	-	4.40	0.51

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ハイチ援助形態実績(累計)

(単位: 億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	595.44	43.65

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ハイチ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	11.70 (2.63)	3.68	15.38
2018年	-	41.56 (17.72)	1.77	43.33
2019年	-	21.99 (2.08)	0.82	22.81
2020年	-	23.93 (6.76)	1.77	25.71
2021年	-	6.30 (4.20)	0.43	6.72
累計	-	481.07 (132.81)	41.34	522.41

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ハイチ経済協力実績

(支出総額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	米国 431.21	カナダ 67.08	フランス 38.95	スイス 24.91	ドイツ 21.66	664.43	21.45
2017年	米国 426.40	カナダ 90.37	フランス 37.42	スイス 22.50	ドイツ 16.94	651.10	15.38
2018年	米国 339.20	カナダ 89.09	日本 43.33	フランス 41.81	スイス 19.66	590.79	43.33
2019年	米国 225.77	カナダ 64.53	フランス 41.05	日本 22.81	スイス 22.78	416.01	22.81
2020年	米国 273.10	カナダ 57.13	フランス 33.66	日本 25.71	スイス 22.54	452.97	25.71

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ハイチ経済協力実績

(支出総額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	IDB 124.23	EU Institutions 120.45	IDA 62.42	IMF-CTF 42.69	GFATM 21.22	50.18	421.18
2017年	IDB 127.79	EU Institutions 73.76	IDA 65.25	GFATM 47.23	UNICEF 10.35	31.98	356.34
2018年	EU Institutions 134.70	IDB 119.23	IDA 112.84	GFATM 28.93	CERF 12.14	40.56	448.40
2019年	IDA 81.90	IDB 66.68	EU Institutions 57.08	GFATM 30.09	GAVI 12.16	45.06	292.97
2020年	IDA 129.38	IMF-CTF 125.32	EU Institutions 103.32	GFATM 36.12	CIF 14.53	52.58	461.23

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	4.40億円 ・ジャパンプラット フォーム(JPF)を通じた人道支援 (3件) (0.90) ・ハイチ地震被害に対する緊急 無償資金協力(WFP連携) (1.52) ・ハイチ地震被害に対する緊急 無償資金協力案件(IOM連携) (0.97) ・ハイチ地震被害に対する緊急 無償資金協力案件(IFRC連携) (0.32) ・ハイチ地震被害に対する緊急 無償資金協力案件(UNICEF連 携) (0.69)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[23] パナマ

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
438万人	14,010ドル	15.3%	-	高中所得国	iv / 高所得国

出典) WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対パナマ援助形態実績(年度別)

(単位: 億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	0.59	2.74
2018年度	-	0.61	8.21
2019年度	-	0.45	14.41
2020年度	-	6.09	2.12
2021年度	-	0.18	6.28

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対パナマ援助形態実績(累計)

(単位: 億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	618.96	45.50	338.90

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対パナマ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-12.45	0.52	5.93	-6.00
2018年	-9.48	0.21	7.24	-2.03
2019年	-9.60	0.80	2.53	-6.27
2020年	-9.80	5.80	13.46	9.46
2021年	63.08	0.08	2.85	66.01
累計	204.67	39.52 (1.03)	295.81	540.00

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対パナマ経済協力実績

(支出総額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	米国 8.14	日本 6.78	スペイン 2.13	英国 1.16	ドイツ 1.05	20.72	6.78
2017年	米国 17.48	日本 6.45	ドイツ 1.40	英国 1.36	スペイン 0.63	29.03	6.45
2018年	米国 9.97	日本 7.44	スペイン 1.20	英国 1.18	カナダ 0.94	23.80	7.44
2019年	フランス 40.78	米国 10.25	日本 3.33	英国 2.18	スペイン 1.06	60.08	3.33
2020年	日本 19.26	米国 7.32	英国 1.79	韓国 1.67	フランス 1.07	34.54	19.26

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対パナマ経済協力実績

(支出総額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	EU Institutions 8.64	UNHCR 6.96	IDB 3.70	GEF 2.13	UNICEF 0.93	2.27	24.64
2017年	UNHCR 10.88	Adaptation Fund 5.53	EU Institutions 5.11	OPEC Fund 3.97	IDB 3.52	7.44	36.43
2018年	EU Institutions 23.00	IDB 3.88	GFATM 2.78	UNICEF 0.86	ILO 0.84	1.99	33.35
2019年	EU Institutions 14.63	OPEC Fund 4.68	WFP 3.23	IDB 1.39	GFATM 1.22	3.77	28.91
2020年	CABEI 399.85	UNHCR 5.74	Adaptation Fund 3.83	IDB 3.48	EU Institutions 2.65	7.19	422.73

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	0.18億円 ・草の根・人間の安全保障無償 (2件) (0.18)	・パナマにおけるCOVID-19 他新興感染症に係るサーベ イランス及び検査能力向上 プロジェクト [21.07~ 23.03]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[24] パハマ

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
40万人	-	13.7%	-	(1996年卒業)	-

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対パハマ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	-	0.06
2018年度	-	-	0.02
2019年度	-	-	-
2020年度	-	-	0.02
2021年度	-	-	-

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対パハマ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

累計	円借款	無償資金協力	技術協力
	-	2.06	0.84

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対パハマ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	-	0.02	0.02
2018年	-	-	0.05	0.05
2019年	-	-	-	-
2020年	-	-	0.01	0.01
2021年	-	-	0.01	0.01
累計	-	0.05	0.37	0.41

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対パハマ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	-	-	-	-	-	-	-
2017年	-	-	-	-	-	-	-
2018年	-	-	-	-	-	-	-
2019年	-	-	-	-	-	-	-
2020年	-	-	-	-	-	-	-

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対パハマ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	-	-	-	-	-	-	-
2017年	-	-	-	-	-	-	-
2018年	-	-	-	-	-	-	-
2019年	-	-	-	-	-	-	-
2020年	-	-	-	-	-	-	-

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	なし	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[25] パラグアイ

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
722万人	5,340ドル	4.2%	213.53億ドル	高中所得国	iii / 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対パラグアイ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	1.53	7.86
2018年度	-	12.82	7.45
2019年度	-	13.98	8.08
2020年度	91.30	10.65	4.25
2021年度	92.94	2.11	6.87

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対パラグアイ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	1,732.13	403.21	908.57

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対パラグアイ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-24.71	4.06	9.29	-11.36
2018年	1.89	1.62	7.07	10.58
2019年	13.91	6.03	6.77	26.71
2020年	7.26	0.11	4.59	11.96
2021年	2.32	4.33 (0.08)	5.22	11.87
累計	70.03	291.54 (0.08)	730.33	1,091.89

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対パラグアイ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	日本 32.02	米国 19.03	韓国 8.09	スペイン 4.48	ドイツ 3.94	73.91	32.02
2017年	日本 23.29	米国 22.36	韓国 12.35	スペイン 10.90	ドイツ 5.35	80.49	23.29
2018年	日本 39.50	米国 18.51	韓国 14.05	スペイン 11.67	ドイツ 6.34	96.61	39.50
2019年	日本 56.00	米国 16.32	韓国 14.23	スペイン 10.56	ドイツ 5.05	109.37	56.00
2020年	韓国 65.44	日本 53.44	フランス 43.01	米国 26.71	スペイン 7.89	206.69	53.44

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対パラグアイ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	EU Institutions 40.62	IDB 28.22	OPEC Fund 4.51	GFATM 3.41	GEF 2.92	4.16	83.84
2017年	EU Institutions 53.89	IDB 39.96	OPEC Fund 18.55	GFATM 3.86	GEF 2.49	4.88	123.63
2018年	IDB 52.39	EU Institutions 46.80	OPEC Fund 13.38	GFATM 4.71	GEF 2.40	5.31	124.99
2019年	IDB 44.28	EU Institutions 24.08	OPEC Fund 4.80	GCF 3.27	ILO 3.09	8.02	87.52
2020年	EU Institutions 56.07	GCF 52.87	IDB 32.45	OPEC Fund 12.88	GEF 3.51	9.60	167.38

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	92.94億円 ・国家電力システム効率改善計画 (92.94)	2.11億円 ・草の根・人間の安全保障無償 (10件) (0.88) ・ビジャ・アジェス市における給水システム改善計画 (1.19) ・パラグアイ川浚渫機材整備計画 (0.04)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[26] バルバドス

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
29万人	-	1.4%	-	(2011年卒業)	-

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対バルバドス援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	-	0.05
2018年度	-	-	0.05
2019年度	-	-	0.05
2020年度	-	-	0.01
2021年度	-	-	0.12

注)1.年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2.四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対バルバドス援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	1.10	13.12

注)1.累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2.四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対バルバドス援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	0.89	0.04	0.93
2018年	-	-	0.03	0.03
2019年	-	-	0.04	0.04
2020年	-	-	0.00	0.00
2021年	-	-	0.10	0.10
累計	-	1.13	6.64	7.77

注)1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対バルバドス経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	-	-	-	-	-	-	-
2017年	-	-	-	-	-	-	-
2018年	-	-	-	-	-	-	-
2019年	-	-	-	-	-	-	-
2020年	-	-	-	-	-	-	-

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対バルバドス経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	-	-	-	-	-	-	-
2017年	-	-	-	-	-	-	-
2018年	-	-	-	-	-	-	-
2019年	-	-	-	-	-	-	-
2020年	-	-	-	-	-	-	-

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	なし	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[27] ブラジル

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
2.14億人	7,720ドル	4.6%	6,064.85億ドル	高中所得国	iv / 高中所得国

出典) WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ブラジル援助形態実績(年度別)

(単位: 億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	1.22	16.34
2018年度	-	0.85	13.77
2019年度	-	5.52	11.33
2020年度	-	5.84	8.28
2021年度	-	0.63	39.61

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ブラジル援助形態実績(累計)

(単位: 億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	3,312.94	56.12	1,249.43

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ブラジル援助形態別実績

(支出純額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-58.68	1.15	19.35	-38.19
2018年	-30.31	1.14	16.11	-13.06
2019年	-46.48	5.04 (3.82)	12.57	-28.88
2020年	58.19	6.25 (0.82)	8.29	72.73
2021年	215.93	0.77	30.30	247.00
累計	596.62	60.02 (5.55)	1,360.43	2,017.08

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ブラジル経済協力実績

(支出総額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	ドイツ 314.46	フランス 125.69	ノルウェー 111.55	日本 84.86	英国 72.74	755.17	84.86
2017年	ドイツ 182.75	フランス 170.21	ノルウェー 54.80	日本 48.12	英国 28.57	530.89	48.12
2018年	ドイツ 228.94	フランス 116.94	ノルウェー 84.31	日本 67.73	英国 33.44	588.70	67.73
2019年	ドイツ 233.79	フランス 141.06	日本 61.78	英国 44.06	米国 39.08	572.86	61.78
2020年	ドイツ 158.42	日本 157.36	フランス 92.38	米国 53.46	英国 46.98	564.64	157.36

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ブラジル経済協力実績

(支出総額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	EU Institutions 78.78	GEF 25.19	IDB 9.94	UNICEF 2.64	UNHCR 2.15	4.50	123.20
2017年	EU Institutions 306.14	IDB 14.31	GEF 13.35	CIF 6.80	UNICEF 2.50	7.68	350.79
2018年	EU Institutions 85.56	GEF 13.54	IDB 11.39	CIF 8.57	WHO 2.59	9.70	131.33
2019年	GEF 11.40	EU Institutions 10.31	IDB 4.91	UNFPA 2.37	ILO 2.36	6.76	38.10
2020年	EU Institutions 274.83	GCF 97.85	CIF 18.19	IDB 5.86	GEF 5.67	8.58	410.97

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	0.63億円	
		<ul style="list-style-type: none"> ・草の根・人間の安全保障無償 (9件) (0.61) ・草の根文化無償 (1件) (0.02) 	<ul style="list-style-type: none"> ・アグリフードチェーンにおけるイノベーション・エコシステム及び持続可能性強化のための精密・デジタル農業共創プロジェクト [21.05～26.04] ・強靱な街作りのための土砂災害構造物対策能力向上プロジェクト [21.07～26.06] ・先進的レーダー衛星及びAI技術を用いたブラジルアマゾンにおける違法森林伐採管理改善プロジェクト [21.07～26.07] ・新型コロナウイルス感染症に対する組織的能力強化プロジェクト [21.09～23.03] ・持続可能な都市開発能力強化プロジェクト [22.03～24.02]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附带プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[28] ベネズエラ

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
2,871万人	-	-	-	高中所得国	iii / -

出典) WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ベネズエラ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	0.32	0.61
2018年度	-	0.18	0.11
2019年度	-	0.29	0.14
2020年度	-	5.26	0.09
2021年度	-	0.75	0.16

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ベネズエラ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	20.51	108.03

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ベネズエラ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	0.10	0.82	0.92
2018年	-	0.25	0.49	0.74
2019年	-	0.25	0.23	0.49
2020年	-	0.18	0.13	0.31
2021年	-	4.71	0.27	4.98
累計	-0.55	18.16	113.88	131.49

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ベネズエラ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	米国 9.87	スペイン 9.70	フランス 6.25	ドイツ 5.86	英国 1.36	35.14	0.63
2017年	スペイン 44.71	米国 12.31	ドイツ 7.11	フランス 6.83	英国 1.76	76.60	0.92
2018年	スペイン 63.68	米国 15.14	ドイツ 8.83	フランス 8.75	ノルウェー 3.85	110.84	0.74
2019年	スペイン 69.10	米国 43.37	英国 11.18	ドイツ 11.06	スウェーデン 10.83	178.03	0.49
2020年	米国 90.96	スペイン 50.62	英国 26.36	スウェーデン 11.74	スイス 10.95	233.71	0.31

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ベネズエラ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	UNHCR 3.29	GEF 3.20	EU Institutions 2.06	UNICEF 0.95	IDB 0.71	1.34	11.56
2017年	UNHCR 3.37	EU Institutions 2.61	UNICEF 1.95	GEF 1.19	WHO 1.12	1.68	11.92
2018年	EU Institutions 18.77	CERF 9.20	UNHCR 2.50	UNICEF 1.96	GEF 1.88	3.38	37.70
2019年	EU Institutions 54.98	UNICEF 11.90	CERF 10.02	UNHCR 1.05	UNFPA 0.80	1.74	81.28
	-	-	-	-	WHO 0.80	-	-
2020年	EU Institutions 56.33	GFATM 12.72	UNICEF 2.05	UNFPA 1.42	IDB 1.01	1.62	75.17

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	0.75億円 ・草の根・人間の安全 保障無償 (1件) (0.75)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[29] ベリーズ

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
41万人	4,290ドル	9.8%	14.50億ドル	低中所得国	iii/ 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ベリーズ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	0.21	1.32
2018年度	-	0.22	0.94
2019年度	-	0.44	0.90
2020年度	-	0.22	0.67
2021年度	-	0.31	0.49

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ベリーズ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

累計	円借款	無償資金協力	技術協力
	-	10.56	26.69

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ベリーズ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	0.28	1.25	1.53
2018年	-	-	0.85	0.85
2019年	-	0.40	0.78	1.18
2020年	-	0.21	0.70	0.91
2021年	-	0.20	0.46	0.66
累計	-	10.41	25.03	35.44

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ベリーズ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	米国 1.84	日本 1.20	英国 0.57	イタリア 0.30	スペイン 0.14	4.39	1.20
2017年	米国 3.39	日本 1.53	英国 0.96	カナダ 0.27	オーストラリア 0.19	6.68	1.53
2018年	米国 2.96	英国 1.03	日本 0.85	カナダ 0.54	韓国 0.10	5.60	0.85
2019年	米国 2.86	英国 2.19	イタリア 1.34	日本 1.18	カナダ 0.72	8.64	1.18
2020年	米国 3.56	英国 2.00	カナダ 1.38	日本 0.91	韓国 0.24	8.35	0.91

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ベリーズ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	EU Institutions 17.16	CDB 5.44	OPEC Fund 4.54	IDB 3.44	GEF 2.82	4.64	38.02
2017年	EU Institutions 12.00	OPEC Fund 7.58	CDB 6.61	IDB 2.23	UNHCR 1.07	2.38	31.87
2018年	EU Institutions 10.81	CDB 3.42	OPEC Fund 2.81	IDB 1.44	GFATM 1.05	2.86	22.39
2019年	CDB 26.38	EU Institutions 4.31	OPEC Fund 2.97	UNICEF 1.25	Adaptation Fund 0.54	2.12	37.56
2020年	CDB 26.10	OPEC Fund 22.42	EU Institutions 5.63	GCF 3.09	IDB 1.44	2.84	61.51

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	0.31億円 ・草の根・人間の安 全保障無償 (1件) (0.31)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[30] ペルー

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
3,336万人	6,520ドル	13.3%	874.65億ドル	高中所得国	iii / 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ペルー援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	0.81	8.84
2018年度	-	0.76	6.92
2019年度	-	1.52	10.49
2020年度	-	13.94	4.40
2021年度	48.60	1.11	11.58

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 米ドル建て借款(令和3年度支出官レートで円貨換算)を含む。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ペルー援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	4,216.01	689.02	601.07

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ペルー援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-473.57	1.60	8.55	-463.43
2018年	-11.37	1.53	6.94	-2.89
2019年	-23.01	1.31	8.20	-13.49
2020年	-35.18	0.38	6.65	-28.16
2021年	-45.46	11.55	9.04	-24.87
累計	-215.67	566.87 (1.97)	552.81	904.01

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ペルー経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	米国 115.76	ドイツ 71.33	日本 43.79	フランス 32.12	スイス 29.78	396.59	43.79
2017年	ドイツ 146.46	米国 105.37	日本 37.23	スイス 26.41	カナダ 23.95	425.38	37.23
2018年	ドイツ 107.15	フランス 100.41	米国 87.55	日本 58.89	スイス 25.15	484.56	58.89
2019年	ドイツ 213.44	米国 111.01	フランス 50.17	日本 32.50	スイス 28.83	540.92	32.50
2020年	ドイツ 209.48	米国 142.89	フランス 92.40	スペイン 32.35	スイス 23.04	587.83	21.07

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ペルー経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	EU Institutions 40.18	IDB 10.21	GFATM 9.67	GEF 8.16	Adaptation Fund 2.98	5.28	76.47
2017年	EU Institutions 116.96	GEF 7.79	IDB 7.70	CERF 5.17	GFATM 4.24	9.79	151.65
2018年	EU Institutions 70.37	GEF 7.12	IDB 5.92	GFATM 3.27	CERF 1.98	7.19	95.85
2019年	EU Institutions 16.21	GFATM 13.25	GEF 4.15	IDB 3.39	GCF 2.22	7.86	47.07
2020年	EU Institutions 24.66	GEF 8.55	GFATM 5.33	IDB 2.61	UNFPA 2.57	7.79	51.51

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	48.60億円 ・固形廃棄物処理計画(フェーズ2) (48.60)	1.11億円 ・ジャパンプラットフォーム(JPF)を通じた人道支援 (2件) (0.63) ・草の根・人間の安全保障無償 (5件) (0.48)	・TOD(Transit Oriented Development)能力強化プロジェクト [22.03~25.03]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[31] ボリビア

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
1,183万人	3,360ドル	6.1%	159.64億ドル	低中所得国	iii / 低中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ボリビア援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	—	8.26	9.77
2018年度	—	4.67	8.40
2019年度	—	20.69	6.52
2020年度	—	29.13	6.06
2021年度	—	10.25	11.48

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ボリビア援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	1,110.06	989.19	769.89

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ボリビア援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	0.22	1.61 (0.17)	8.92	10.75
2018年	0.21	0.96 -	8.03	9.20
2019年	0.76	13.68 -	7.85	22.29
2020年	1.82	8.90 -	4.13	14.85
2021年	0.31	13.02 -	10.25	23.58
累計	-157.68	1,373.90 (4.99)	646.45	1,862.67

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ボリビア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	ドイツ 34.69	スイス 30.38	デンマーク 23.43	スウェーデン 22.14	ベルギー 20.76	213.19	10.99
2017年	フランス 120.16	ドイツ 44.71	デンマーク 41.41	スイス 27.68	スウェーデン 25.92	349.10	10.75
2018年	ドイツ 49.17	フランス 40.18	スウェーデン 30.13	スペイン 29.79	スイス 28.46	269.63	9.20
2019年	フランス 164.60	ドイツ 38.30	スウェーデン 26.93	韓国 23.45	日本 22.29	348.92	22.29
2020年	ドイツ 32.54	スイス 27.24	フランス 24.93	スウェーデン 23.96	スペイン 20.91	197.67	14.85

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ボリビア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	IDB 362.46	EU Institutions 75.64	IDA 67.20	OPEC Fund 8.82	GFATM 8.09	16.34	538.54
2017年	IDB 508.23	EU Institutions 71.52	IDA 31.94	OPEC Fund 12.17	IFAD 12.03	24.65	660.57
2018年	IDB 377.55	EU Institutions 43.17	OPEC Fund 41.29	IDA 38.89	CIF 13.79	24.63	539.33
2019年	IDB 303.75	EU Institutions 66.56	IDA 44.86	CIF 14.83	GFATM 6.03	23.10	459.14
2020年	IDB 88.35	CIF 53.68	EU Institutions 44.42	IDA 38.12	GFATM 6.44	20.32	251.36

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	10.25億円 ・草の根・人間の安全保障無償 (14件) (1.31) ・オキナワ道路整備計画【追加贈与】 (3.81) ・オキナワ道路整備計画 (5.13)	・新型コロナウイルス感染症流行下における遠隔技術を活用した集中治療能力強化プロジェクト [22.02~22.09]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[32] ホンジュラス

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
1,006万人	2,540ドル	12.5%	118.50億ドル	低所得国	iii / 低所得国

出典) WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ホンジュラス援助形態実績(年度別)

(単位: 億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	—	12.54	7.00
2018年度	—	5.74	5.77
2019年度	—	18.75	5.04
2020年度	—	14.44	3.71
2021年度	110.11	5.54	4.33

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ホンジュラス援助形態実績(累計)

(単位: 億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	617.85	832.88	461.84

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ホンジュラス援助形態別実績

(支出純額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	0.77	1.81	-	6.90
2018年	0.73	10.25	-	5.45
2019年	0.53	19.50	-	4.21
2020年	0.69	11.50 (0.10)	-	3.23
2021年	0.45	12.32 (4.01)	-	3.24
累計	-83.55	1,257.86 (5.41)	404.64	1,578.94

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ホンジュラス経済協力実績

(支出総額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	米国 107.57	ドイツ 23.61	カナダ 22.46	スイス 17.07	スペイン 13.39	221.21	12.75
2017年	米国 120.46	韓国 24.66	スペイン 21.84	カナダ 17.70	スイス 16.46	239.10	9.48
2018年	米国 161.78	フランス 37.93	スペイン 24.59	カナダ 23.12	スイス 18.33	319.68	16.42
2019年	米国 126.43	韓国 35.09	日本 24.24	スイス 22.26	スペイン 18.54	273.77	24.24
2020年	米国 85.87	ドイツ 27.12	スペイン 25.67	スイス 24.07	カナダ 19.67	216.25	15.42

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ホンジュラス経済協力実績

(支出総額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	IDB 142.12	EU Institutions 47.78	IDA 24.43	OPEC Fund 9.14	GFATM 7.11	22.85	253.41
2017年	IDB 175.86	EU Institutions 67.99	IDA 23.88	GFATM 7.09	WFP 4.67	12.77	292.27
2018年	IDB 317.40	EU Institutions 93.72	IDA 8.60	GFATM 6.28	IFAD 4.00	13.14	443.15
2019年	IDB 168.24	EU Institutions 67.19	IDA 20.37	GFATM 8.13	CIF 4.29	23.35	291.55
2020年	CABEI 566.15	IDB 366.43	IMF-CTF 158.89	IDA 144.72	EU Institutions 60.48	47.04	1,343.72

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	110.11億円 (110.11)	5.54億円	
	・新型コロナウイルス感染症 危機対応緊急支援借款	・日本NGO連携無償 (1件) (0.32) ・草の根・人間の安全 保障無償 (12件) (1.08) ・経済社会開発計画 (1件) (3.00) ・国道一号線橋梁架け替え計画 (1.14)	・保健サービスネットワーク (RISS)を通じた保健サービ [21.10～ スデリバリー強化プロジェク 26.10] ト ・SDGs・ホンジュラス国家ア ジェンダ2030に資する地方 [22.03～ 自治体事業実施・モニタリン 27.03] グ体制整備及びび能力

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附带プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[33] メキシコ

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
1.30億人	9,380ドル	4.8%	6,057.00億ドル	高中所得国	iv / 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対メキシコ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	—	0.25	9.28
2018年度	—	-	8.03
2019年度	—	2.05	7.25
2020年度	—	5.98	4.30
2021年度	—	0.02	7.39

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対メキシコ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	2,054.41	70.73	792.49

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対メキシコ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-3.25	0.17	11.90	8.82
2018年	-	0.14	7.33	7.46
2019年	-	0.07 (0.07)	8.65	8.72
2020年	100.00	7.61 (0.08)	5.17	112.78
2021年	-	0.04 (0.04)	5.06	5.10
累計	-19.66	52.24 (0.19)	768.00	800.58

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対メキシコ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	ドイツ 349.41	フランス 184.25	米国 135.81	英国 15.55	日本 9.51	708.82	9.51
2017年	ドイツ 317.46	フランス 224.42	米国 189.37	英国 17.12	日本 12.07	779.74	12.07
2018年	ドイツ 274.31	米国 235.98	フランス 61.32	英国 21.98	日本 7.46	619.66	7.46
2019年	ドイツ 371.75	米国 161.02	フランス 102.51	英国 31.37	カナダ 12.39	701.28	8.72
2020年	フランス 306.10	米国 175.43	日本 112.78	ドイツ 101.40	英国 44.92	770.90	112.78

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対メキシコ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	EU Institutions 121.24	GEF 21.61	IDB 10.19	CIF 7.28	ILO 1.59	3.91	165.80
2017年	EU Institutions 103.08	IDB 16.23	CIF 15.11	GEF 7.17	ILO 2.06	4.91	148.55
2018年	CIF 14.84	EU Institutions 10.57	IDB 8.51	GEF 8.26	UNHCR 2.46	6.84	51.48
2019年	GEF 6.86	EU Institutions 6.83	IDB 3.97	ILO 2.89	UNFPA 1.97	5.12	27.63
2020年	EU Institutions 153.88	CABEI 142.50	GEF 3.94	IDB 3.80	ILO 2.14	7.34	313.60

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	0.02億円 ・草の根・人間の安全保障無償 (1件) (0.02)	・新型コロナウイルス感染症流行下における遠隔技術を活用した集中治療能力強化プロジェクト [21.07～22.10] ・コミュニティを基盤とした高齢者の包括介護プロジェクト [21.10～24.10]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附带プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

中東・北アフリカ地域

中東・北アフリカ地域

表－1 中東・北アフリカ地域に対する我が国二国間ODA実績

(支出純額及び支出総額ベース、単位：百万ドル)

暦年		2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	累計	
ODA	贈与	無償資金協力	631.49 (24.1)	475.15 (18.1)	445.46 (17.4)	500.44 (16.3)	649.42 (19.9)	20,434.12
		(うち国際機関等を通じた贈与)	508.03 (37.8)	411.56 (31.3)	384.64 (33.1)	424.34 (23.7)	588.59 (28.1)	7,419.77
		技術協力	130.50 (4.5)	82.48 (3.1)	88.73 (3.3)	57.60 (2.4)	53.55 (2.2)	4,633.96
		贈与計	762.00 (13.9)	557.64 (10.6)	534.20 (10.1)	558.03 (10.2)	702.97 (12.4)	25,068.08
	政府貸付等 支出総額	972.39 (10.2)	1,124.43 (14.0)	979.32 (10.4)	1,377.29 (12.1)	1,248.49 (10.3)	27,670.74	
	<政府貸付等 支出純額>	<316.56>	<376.06>	<246.10>	<592.82>	<507.66>	<10,294.20>	
政府開発援助計 支出総額(ODA計)	1,734.39 (11.5)	1,682.07 (12.7)	1,513.51 (10.3)	1,935.32 (11.5)	1,951.46 (11.0)	52,738.82		
<政府開発援助計 支出純額(ODA計)>	<1,078.56> <(13.3)>	<933.70> <(15.3)>	<780.30> <(10.4)>	<1,150.85> <(11.2)>	<1,210.63> <(10.4)>	<35,362.28>		

注) 1. ()内は各形態別の全世界合計に占める中東・北アフリカ地域の割合(%)

2. 国際機関等を通じた贈与は、2006年から、拠出時に供与先の国が明確であるものについては、各被援助国への援助として「無償資金協力」へ計上することに改めた。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

4. 「政府開発援助計 支出純額」の割合については、貸付の償還等に伴いマイナス数値となる場合に適切な割合が出せないことから、掲載していない。

表－2 中東・北アフリカ地域に対するDAC諸国のODA実績

(支出総額ベース、単位：百万ドル)

援助実績種別	暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
政府開発援助計	2018	米国 4,845.23	ドイツ 4,690.98	フランス 1,730.98	日本 1,682.05	英国 1,616.30	18,449.00	1,682.05
	2019	米国 5,234.90	ドイツ 4,716.20	英国 1,821.10	フランス 1,519.21	日本 1,513.51	18,362.73	1,513.51
	2020	ドイツ 5,131.24	米国 4,917.29	フランス 1,969.62	日本 1,935.30	英国 1,386.15	18,676.41	1,935.30
政府貸付等	2018	日本 1,124.44	フランス 922.54	ドイツ 882.51	韓国 88.46	イタリア 30.07	3,053.60	1,124.44
	2019	ドイツ 1,091.32	日本 979.32	フランス 782.74	韓国 76.96	イタリア 64.13	2,999.89	979.32
	2020	日本 1,377.30	フランス 1,174.35	ドイツ 1,157.06	イタリア 101.48	オーストリア 8.33	3,822.37	1,377.30
無償資金協力	2018	米国 4,788.43	ドイツ 2,609.26	英国 1,574.74	カナダ 509.95	ノルウェー 505.30	13,184.46	475.14
	2019	米国 5,190.04	ドイツ 2,291.74	英国 1,744.48	ノルウェー 492.04	カナダ 456.81	13,005.96	445.46
	2020	米国 4,870.62	ドイツ 2,417.14	英国 1,329.14	日本 500.43	ノルウェー 418.79	12,220.76	500.43
技術協力	2018	ドイツ 1,199.21	フランス 505.76	日本 82.49	カナダ 58.53	米国 56.80	2,210.93	82.49
	2019	ドイツ 1,333.13	フランス 441.81	日本 88.73	英国 76.62	カナダ 63.10	2,356.91	88.73
	2020	ドイツ 1,557.03	フランス 496.68	カナダ 133.43	日本 57.59	英国 57.01	2,633.29	57.59

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2022年10月)

注) ただし、地域区分についてはDAC基準とは異なる。

表-3 中東・北アフリカ地域に対する国際機関のODA実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

援助実績種別	暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
政府開発援助計	2018	EU Institutions 5,451.67	UNRWA 759.27	IDA 622.02	AFESD 426.86	AsDB 219.30	834.22	8,313.36
	2019	EU Institutions 5,146.91	IDA 971.44	UNRWA 765.02	AFESD 502.76	AsDB 203.59	1,022.91	8,612.64
	2020	EU Institutions 6,305.28	IDA 843.19	UNRWA 774.58	AFESD 522.48	IMF-CTF 380.33	1,266.20	10,092.02
政府貸付等	2018	EU Institutions 2,030.84	AFESD 409.28	CIF 81.16	OPEC Fund 59.79	CEB 23.60	67.57	2,672.22
	2019	EU Institutions 1,430.69	AFESD 485.03	IMF-CTF 180.11	CEB 67.17	OPEC Fund 63.39	44.98	2,271.38
	2020	EU Institutions 2,168.74	AFESD 493.78	IMF-CTF 338.26	OPEC Fund 105.97	IDA 92.27	30.70	3,229.72
無償資金協力	2018	EU Institutions 3,064.50	UNRWA 759.27	IDA 606.97	AsDB 219.30	GAVI 91.83	509.81	5,251.71
	2019	EU Institutions 3,309.23	IDA 953.16	UNRWA 765.02	AsDB 203.59	Isl.Dev Bank 94.86	608.41	5,934.26
	2020	EU Institutions 3,748.44	UNRWA 774.58	IDA 750.92	AsDB 338.73	CERF 195.16	665.45	6,473.21
技術協力	2018	EU Institutions 356.34	ILO 12.68	FAO 11.41	AFESD 8.72	OPEC Fund 0.28	-	389.43
	2019	EU Institutions 407.01	-	-	-	-	-	407.01
	2020	EU Institutions 388.11	IAEA 0.99	-	-	-	-	389.10

出典) OECDデータベース (OECD.Stat) (2022年10月)

注) 1. ただし、地域区分についてはDAC基準とは異なる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

[1] アフガニスタン

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
3,984万人	—	-2.4%	35.31億ドル	後発開発途上国	i / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対アフガニスタン援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	144.61	22.54
2018年度	-	181.48	17.43
2019年度	-	46.34	14.48
2020年度	-	43.18	9.05
2021年度	-	8.89	13.17

注)1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対アフガニスタン援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	7.20	6,010.07	664.47

注)1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対アフガニスタン援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	208.58 (179.80)	25.11	233.69
2018年	-	173.48 (167.68)	14.55	188.03
2019年	-	116.46 (110.80)	14.98	131.44
2020年	-	116.97 (104.47)	9.26	126.23
2021年	-	201.66 (196.95)	10.87	212.53
累計	-0.17	5,517.45 (4,400.04)	662.75	6,180.03

注)1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対アフガニスタン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	米国 1,386.20	ドイツ 502.84	英国 352.55	日本 300.83	スウェーデン 114.86	3,207.82	300.83
2017年	米国 1,218.64	ドイツ 478.43	英国 292.29	日本 233.69	スウェーデン 118.74	2,839.27	233.69
2018年	米国 922.05	ドイツ 438.05	英国 332.95	日本 188.03	スウェーデン 146.32	2,677.56	188.03
2019年	米国 1,443.16	ドイツ 409.23	英国 400.06	スウェーデン 137.94	日本 131.44	3,071.58	131.44
2020年	米国 1,015.64	ドイツ 373.13	英国 291.39	日本 126.23	スウェーデン 119.24	2,368.76	126.23

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対アフガニスタン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	EU Institutions 399.81	AsDB 191.95	IDA 81.61	UNICEF 44.37	UNHCR 37.87	98.95	854.56
2017年	EU Institutions 414.86	AsDB 193.02	IDA 161.62	UNICEF 45.70	GAVI 28.28	97.92	941.40
2018年	EU Institutions 460.75	IDA 240.89	AsDB 219.30	GAVI 62.38	UNICEF 44.81	94.25	1,122.37
2019年	EU Institutions 415.51	IDA 379.93	AsDB 203.59	IMF-CTF 89.15	GAVI 48.78	114.99	1,251.94
2020年	IDA 609.49	EU Institutions 368.86	IMF-CTF 344.95	AsDB 338.73	UNICEF 38.01	120.94	1,820.97

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	8.89億円 ・ジャパンプラットフォーム(JPF)を通じた人道支援 (13件) (6.31) ・日本NGO連携無償 (3件) (2.58)	・稲作振興支援プロジェクト フェーズ2 [21.04~23.03]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[2] アルジェリア

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
4,462万人	3,660ドル	3.8%	73.79億ドル	低所得国	iii / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対アルジェリア援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	-	1.35
2018年度	-	0.06	0.25
2019年度	-	-	0.30
2020年度	-	0.05	0.15
2021年度	-	-	0.58

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対アルジェリア援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	139.43	14.01	78.62

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対アルジェリア援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-0.72	0.24 (0.19)	0.61	0.14
2018年	-0.73	-	1.11	0.39
2019年	-0.74	0.23 (0.18)	0.23	-0.28
2020年	-0.75	1.50 (1.46)	0.15	0.90
2021年	-0.73	1.00 (1.00)	0.23	0.50
累計	-30.18	12.48 (3.38)	76.33	58.63

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対アルジェリア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	フランス 104.96	ドイツ 8.72	スペイン 4.43	英国 4.39	米国 3.86	141.53	0.96
2017年	フランス 120.48	米国 13.87	オランダ 11.84	ドイツ 9.48	英国 8.64	183.07	0.85
2018年	フランス 140.52	ドイツ 11.84	英国 8.82	スペイン 6.12	ベルギー 5.30	188.40	1.11
2019年	フランス 127.18	ドイツ 14.85	英国 10.83	スペイン 8.77	ベルギー 8.57	185.50	0.46
2020年	フランス 127.22	ドイツ 16.94	英国 8.87	スペイン 8.03	米国 4.93	180.00	1.65

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対アルジェリア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	EU Institutions 56.52	UNHCR 2.67	GEF 2.01	WHO 1.33	UNICEF 1.09	2.79	66.42
2017年	EU Institutions 66.27	AfDB 2.99	UNICEF 1.17	WHO 1.11	GEF 0.91	3.68	76.13
2018年	EU Institutions 50.47	UNHCR 3.19	WFP 2.52	GFATM 2.22	AfDB 1.88	5.08	65.36
2019年	EU Institutions 52.00	UNHCR 2.72	GFATM 2.49	WFP 2.24	UNICEF 1.86	4.59	65.91
2020年	EU Institutions 85.46	UNHCR 2.75	AFESD 1.63	UNICEF 1.31	UNFPA 0.95	3.70	95.80

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	なし	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[3] イエメン

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
3,049万人	-	-2.1%	75.87億ドル	後発開発途上国	i / 低所得国

出典) WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対イエメン援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	12.82	0.49
2018年度	-	39.41	0.28
2019年度	-	1.07	0.60
2020年度	-	28.97	0.06
2021年度	-	8.29	0.19

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対イエメン援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	493.19	825.28	111.34

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対イエメン援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-0.07	50.58 (50.58)	0.06	50.57
2018年	-	33.81 (33.81)	0.30	34.11
2019年	-	59.97 (59.97)	0.45	60.42
2020年	-	47.54 (47.54)	0.21	47.75
2021年	-	66.53 (64.46)	0.23	66.77
累計	107.86	1,010.96 (423.25)	97.44	1,216.26

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対イエメン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	米国 302.15	英国 171.19	ドイツ 129.45	日本 37.09	オランダ 29.66	763.07	37.09
2017年	米国 440.44	英国 263.90	ドイツ 248.96	日本 50.64	オランダ 42.88	1,274.26	50.64
2018年	米国 599.34	ドイツ 233.28	英国 221.92	オランダ 48.41	スウェーデン 42.41	1,354.80	34.11
2019年	米国 638.24	英国 332.38	ドイツ 241.83	日本 60.42	デンマーク 41.19	1,534.41	60.42
2020年	米国 704.72	ドイツ 305.35	英国 283.62	スウェーデン 50.65	日本 47.75	1,608.93	47.75

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対イエメン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	EU Institutions 99.33	IDA 38.43	WFP 24.05	GAVI 22.46	AFESD 17.72	33.24	235.21
2017年	IDA 547.90	EU Institutions 163.42	CERF 25.55	GAVI 21.86	WFP 17.89	33.85	810.48
2018年	IDA 366.08	EU Institutions 160.66	CERF 49.91	GAVI 29.45	AFESD 14.45	26.67	647.20
2019年	IDA 573.23	EU Institutions 208.29	CERF 31.67	AFESD 13.91	GAVI 11.30	36.99	875.37
2020年	EU Institutions 201.15	IDA 141.43	CERF 65.00	IMF-CTF 35.38	AFESD 23.94	57.45	524.34

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	8.29億円 ・ジャパンプラットフォーム(JPF)を通じた人道支援 (2件) (0.58) ・国内避難民及び受入コミュニティの即時のニーズに対応するための農牧畜生計支援計画(FAO連携) (7.71)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[4] イラク

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
4,118万人	5,040ドル	2.8%	252.63億ドル	高中所得国	iii / 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対イラク援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	515.56	14.14	11.35
2018年度	373.43	9.77	6.71
2019年度	1,100.00	7.81	6.72
2020年度	-	2.19	2.22
2021年度	327.00	4.82	6.49

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対イラク援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	8,630.22	1,936.53	228.88

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対イラク援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	286.73	53.25 (50.41)	13.14	353.13
2018年	411.18	56.31 (54.44)	6.69	474.17
2019年	154.22	51.10 (50.60)	7.11	212.43
2020年	644.29	50.63 (48.76)	3.89	698.81
2021年	231.90	51.61 (50.48)	4.63	288.13
累計	4,290.40	8,211.51 (540.23)	209.03	12,710.94

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対イラク経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	日本 628.92	米国 417.48	ドイツ 365.43	英国 160.74	カナダ 61.85	1,905.15	628.92
2017年	ドイツ 534.28	フランス 446.22	米国 413.76	日本 370.00	イタリア 128.15	2,297.86	370.00
2018年	米国 556.70	日本 555.01	ドイツ 502.49	英国 101.71	カナダ 76.44	2,046.84	555.01
2019年	米国 598.78	ドイツ 507.66	日本 304.40	英国 104.51	カナダ 66.05	1,815.93	304.40
2020年	日本 820.63	米国 534.71	ドイツ 407.29	カナダ 71.21	英国 61.17	2,145.76	820.63

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対イラク経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	EU Institutions 200.62	WFP 11.28	IDA 6.61	UNICEF 2.89	Isl.Dev Bank 2.20	7.25	230.85
2017年	EU Institutions 188.24	WFP 10.63	CERF 10.00	UNICEF 4.13	WHO 2.82	6.38	222.18
2018年	EU Institutions 273.76	WFP 11.31	UNICEF 4.04	WHO 3.07	GFATM 2.76	5.13	300.09
2019年	EU Institutions 232.12	IMF-CTF 86.85	WFP 7.07	WHO 3.19	UNICEF 2.90	5.23	337.37
2020年	EU Institutions 272.27	WFP 10.19	UNHCR 5.40	UNFPA 3.45	UNICEF 2.93	3.30	297.54

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	327.00億円 ・バスラ製油所改良計画(第三期) (327.00)	4.82億円 ・ジャパンプラットフォーム(JPF)を通じた人道支援 (3件) (1.20) ・日本NGO連携無償 (2件) (1.45) ・草の根文化無償 (1件) (0.01) ・選挙支援計画(UNDP連携) (2.16)	・イラク 包括的な新型コロナウイルス感染対策強化プロジェクト [22.03~22.12]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[5] イラン

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
8,503万人	3,480ドル	1.8%	103.49億ドル	低中所得国	iii / 低中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対イラン援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	28.38	12.44
2018年度	-	0.62	9.92
2019年度	-	2.75	8.28
2020年度	-	6.76	3.12
2021年度	-	8.75	6.13

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対イラン援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	461.08	118.93	315.98

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対イラン援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-23.08	16.66 (5.42)	12.84	6.43
2018年	-11.98	9.61 (1.80)	6.83	4.46
2019年	-4.81	6.37 (5.81)	11.14	12.70
2020年	-3.79	11.12 (11.12)	4.09	11.42
2021年	-1.84	41.55 (41.55)	2.81	42.52
累計	-112.61	175.62 (120.12)	336.08	399.09

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対イラン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	ドイツ 62.20	日本 15.22	オーストリア 10.37	フランス 9.79	米国 3.45	109.12	15.22
2017年	ドイツ 70.67	日本 29.51	オーストリア 11.11	フランス 10.28	ノルウェー 2.54	132.00	29.51
2018年	ドイツ 83.54	日本 16.43	オーストリア 12.06	フランス 11.24	米国 5.49	142.99	16.43
2019年	ドイツ 93.33	日本 17.51	フランス 12.20	オーストリア 10.90	韓国 5.64	158.38	17.51
2020年	ドイツ 104.76	日本 15.21	フランス 13.56	オーストリア 11.21	韓国 8.82	174.96	15.21

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対イラン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	UNHCR 16.24	EU Institutions 13.09	GFATM 5.30	UNICEF 1.88	WHO 1.14	2.94	40.59
2017年	EU Institutions 15.96	GFATM 5.23	WHO 1.63	UNICEF 1.25	GEF 1.18	2.02	27.28
2018年	EU Institutions 16.61	UNHCR 9.29	GFATM 4.11	UNICEF 1.35	UNFPA 0.90	2.57	34.85
2019年	EU Institutions 21.54	UNHCR 9.96	WHO 2.36	GFATM 2.10	CERF 1.97	8.21	46.16
2020年	EU Institutions 32.35	GFATM 5.27	UNHCR 4.38	UNFPA 1.55	UNICEF 1.25	2.13	46.92

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	8.76億円 ・草の根・人間の安全保障無償 (7件) (0.85) ・医療機材供与を通じた新型コロナウイルス感染症危機に対する保健医療能力強化計画(WHO連携) (6.95) ・イラン国立博物館展示機材整備計画 (0.96)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[6] エジプト

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
1.04億人	3,510ドル	3.3%	1,432.46億ドル	低中所得国	iii / 低中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対エジプト援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	288.18	10.32	23.95
2018年度	-	0.39	25.74
2019年度	-	0.37	20.75
2020年度	250.00	14.07	11.43
2021年度	-	5.28	21.28

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対エジプト援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	7,386.33	1,598.57	896.95

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対エジプト援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-83.10	7.62 (1.98)	32.24	-43.24
2018年	82.16	3.76 (0.70)	18.33	104.25
2019年	122.37	13.99 (1.16)	24.77	161.13
2020年	57.39	18.93 (6.49)	15.74	92.06
2021年	139.09	25.83 (13.19)	13.04	177.96
累計	1,449.32	1,461.81 (36.57)	873.53	3,784.66

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対エジプト経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	フランス 253.35	日本 215.38	ドイツ 180.44	米国 151.48	イタリア 18.09	877.34	215.38
2017年	フランス 280.06	ドイツ 201.37	日本 139.97	米国 96.60	英国 29.82	804.76	139.97
2018年	ドイツ 504.43	日本 294.58	フランス 168.59	米国 158.53	韓国 77.90	1,290.23	294.58
2019年	ドイツ 423.66	日本 357.89	米国 223.79	フランス 175.10	韓国 63.91	1,345.66	357.89
2020年	日本 311.17	フランス 247.38	米国 183.55	ドイツ 173.95	イタリア 25.19	1,022.28	311.17

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対エジプト経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	EU Institutions 341.10	AFESD 116.20	IFAD 20.77	OPEC Fund 11.86	UNHCR 6.51	24.67	521.13
2017年	EU Institutions 262.93	AFESD 118.29	IFAD 27.98	UNHCR 5.23	OPEC Fund 5.02	19.88	439.32
2018年	EU Institutions 381.78	AFESD 142.92	OPEC Fund 31.74	IFAD 18.60	CIF 17.74	40.43	633.17
2019年	EU Institutions 690.13	AFESD 230.85	OPEC Fund 29.39	Isl.Dev Bank 12.14	WFP 10.33	26.63	999.47
2020年	EU Institutions 899.92	AFESD 227.52	OPEC Fund 38.39	WFP 10.39	GEF 6.74	26.67	1,209.64

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	5.28億円	
		<ul style="list-style-type: none"> ・草の根・人間の安全保障無償 (1件) (0.11) ・新型コロナウイルスワクチン接種拡大計画(UNICEF連携) (3.92) ・カイロ大学小児病院外来診療施設建設計画 (1.25) 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別活動を中心とした日本式教育モデル発展・普及プロジェクト [21.10～27.09] ・国民皆保険(UHI)政策実施能力強化プロジェクト [21.12～24.12] ・スエズ運河通航に関するマーケティング戦略策定能力向上プロジェクト [22.01～24.01]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[7] シリア

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
1,828万人	-	-	50.29億ドル	低所得国	i / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対シリア援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	23.35	2.16
2018年度	-	24.86	3.37
2019年度	-	39.50	4.91
2020年度	-	34.88	3.97
2021年度	-	31.30	2.26

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対シリア援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	1,386.11	527.20	318.28

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対シリア援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	52.43 (52.43)	2.51	54.95
2018年	-	55.72 (55.72)	1.98	57.70
2019年	-	65.33 (65.33)	3.74	69.07
2020年	-	72.17 (72.17)	3.98	76.15
2021年	-	84.02 (84.02)	3.63	87.65
累計	302.09	705.80 (423.89)	302.51	1,310.41

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対シリア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	ドイツ 824.18	米国 637.71	英国 474.76	ノルウェー 121.68	カナダ 52.32	2,468.41	43.52
2017年	ドイツ 879.79	米国 631.44	英国 410.63	ノルウェー 129.56	カナダ 107.91	2,578.72	54.95
2018年	ドイツ 768.77	米国 696.85	英国 319.88	ノルウェー 123.56	カナダ 109.15	2,520.58	57.70
2019年	ドイツ 765.12	米国 577.92	英国 289.99	ノルウェー 135.77	カナダ 93.93	2,337.10	69.07
2020年	ドイツ 890.45	米国 691.06	英国 233.73	ノルウェー 101.00	日本 76.15	2,436.66	76.15

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対シリア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	EU Institutions 325.68	UNRWA 36.51	UNHCR 16.19	WFP 11.30	UNICEF 2.59	4.74	397.02
2017年	EU Institutions 354.22	UNRWA 39.97	WFP 7.52	UNHCR 6.33	UNICEF 2.75	4.79	415.57
2018年	EU Institutions 569.81	UNRWA 46.73	WFP 11.26	UNHCR 7.97	FAO 6.35	10.92	653.04
2019年	EU Institutions 443.07	UNRWA 60.13	WFP 10.59	UNICEF 4.65	UNFPA 2.55	6.21	527.20
2020年	EU Institutions 306.20	CERF 54.88	UNRWA 45.55	WFP 11.60	UNHCR 7.35	13.15	438.74

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	31.30億円 ・ジャパンプラット フォーム(JPF)を通じた人道支援 (11件) (5.80) ・日本NGO連携無償 (1件) (1.70) ・ダマスカス郊外及びアレppoにおける脆弱な児童のための安全な学習環境及び質の高い教育へのアクセス改善計画(UNICEF連携) (7.13) ・ラッカ及びデリゾールにおける食料安全保障の強化計画(UNDP連携) (9.90) ・紛争により甚大な被害を受けた地域の病院による救命サービスの復旧及び強化計画(WHO連携) (6.77)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[8] チュニジア

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
1,194万人	3,630ドル	3.3%	416.08億ドル	低所得国	iii / 低所得国

出典) WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対チュニジア援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	366.76	0.18	5.78
2018年度	-	0.16	3.93
2019年度	-	3.23	5.66
2020年度	-	17.43	1.52
2021年度	-	3.37	7.58

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対チュニジア援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	3,411.77	85.21	290.11

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対チュニジア援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	35.39	2.71 (0.19)	4.67	42.78
2018年	67.79	0.35 (0.19)	2.66	70.79
2019年	96.59	0.71 (0.36)	4.89	102.19
2020年	-35.99	9.56 (1.75)	3.34	-23.10
2021年	5.67	1.51 (1.35)	2.79	9.97
累計	644.32	67.16 (7.14)	269.24	980.72

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対チュニジア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	フランス 151.45	ドイツ 150.58	日本 59.80	米国 30.95	イタリア 25.99	474.60	59.80
2017年	ドイツ 186.93	フランス 179.54	日本 110.18	イタリア 50.70	米国 29.64	616.03	110.18
2018年	ドイツ 268.96	日本 155.31	フランス 153.86	米国 45.50	イタリア 27.86	718.77	155.31
2019年	ドイツ 311.40	フランス 256.87	日本 179.57	米国 125.39	イタリア 44.86	1,011.52	179.57
2020年	ドイツ 372.87	フランス 226.08	米国 93.84	イタリア 90.44	日本 59.47	920.63	59.47

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対チュニジア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	EU Institutions 422.07	AFESD 102.52	OPEC Fund 4.43	GEF 4.07	UNHCR 1.90	5.52	540.49
2017年	EU Institutions 487.46	AFESD 138.09	AfDB 11.25	GFATM 2.90	GEF 1.95	5.83	647.47
2018年	EU Institutions 422.07	AFESD 116.15	GFATM 2.90	UNHCR 2.24	GEF 1.53	5.23	550.12
2019年	EU Institutions 376.42	AFESD 71.63	OPEC Fund 8.46	UNHCR 2.52	ILO 1.85	6.21	467.09
2020年	EU Institutions 454.39	AFESD 63.07	OPEC Fund 53.84	UNHCR 2.97	Adaptation Fund 2.28	10.61	587.16

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	3.37億円	
		<ul style="list-style-type: none"> ・草の根・人間の安全保障無償 (3件) (0.27) ・経済社会開発計画 (1件) (3.00) ・草の根文化無償 (1件) (0.10) 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス対策検査能力向上プロジェクト [21.09～22.11] ・新型コロナウイルス影響下における保健医療機材人材能力強化プロジェクト [21.09～22.12]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[9] トルコ

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
8,504万人	9,830ドル	11.0%	4,354.51億ドル	高中所得国	iv / 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対トルコ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	3.79	2.81
2018年度	-	2.51	1.75
2019年度	-	1.51	1.58
2020年度	-	1.86	0.40
2021年度	774.00	2.06	0.71

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 米ドル建て借款(令和3年度支出官レートで円貨換算)を含む。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対トルコ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	7,752.43	55.13	467.66

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対トルコ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-45.42	14.31 (13.89)	3.20	-27.91
2018年	-74.24	7.89 (7.50)	1.57	-64.79
2019年	-95.68	9.56 (8.95)	1.62	-84.49
2020年	-141.08	14.46 (13.78)	1.30	-125.32
2021年	-56.49	14.12 (13.33)	0.58	-41.78
累計	1,552.15	139.92 (105.22)	449.15	2,141.22

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対トルコ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	ドイツ 361.75	フランス 225.27	英国 128.93	日本 118.29	オランダ 106.66	1,319.73	118.29
2017年	ドイツ 657.87	フランス 538.07	英国 177.61	日本 163.76	イタリア 111.75	1,948.84	163.76
2018年	ドイツ 439.79	フランス 294.10	日本 133.81	英国 96.74	イタリア 59.37	1,289.06	133.81
2019年	ドイツ 457.06	フランス 184.95	日本 87.42	英国 71.79	米国 64.34	1,049.16	87.42
2020年	ドイツ 534.89	フランス 299.80	英国 66.95	米国 50.42	日本 50.18	1,198.72	50.18

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対トルコ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	EU Institutions 3,312.27	CEB 88.47	UNHCR 8.21	GEF 7.74	WFP 1.48	4.09	3,422.24
2017年	EU Institutions 2,597.52	CEB 67.64	UNHCR 13.41	CIF 9.37	GEF 4.20	4.59	2,696.71
2018年	EU Institutions 1,907.65	CEB 23.60	CIF 11.20	GEF 2.65	UNICEF 2.25	4.97	1,952.33
2019年	EU Institutions 1,447.28	CEB 67.17	OPEC Fund 8.26	UNHCR 5.14	GEF 2.88	9.17	1,539.90
2020年	EU Institutions 1,450.12	CIF 8.48	GEF 6.06	UNFPA 2.43	UNICEF 1.56	1.52	1,470.16

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	774.00億円	2.06億円	なし
	・小零細企業迅速支援計画 (324.00)	・ジャパンプラット フォーム(JPF)を通 じた人道支援 (3件) (1.40)	
	・地方自治体環境改善計画 (450.00)	・草の根・人間の安 全保障無償 (8件) (0.66)	

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[10] パレスチナ

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
492万人	-	7.1%	-	低中所得国	iii / 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対パレスチナ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	32.83	11.38
2018年度	-	40.84	10.99
2019年度	-	34.48	8.30
2020年度	-	24.36	4.78
2021年度	-	39.65	12.24

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対パレスチナ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	1,133.14	192.45

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対パレスチナ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	34.72 (31.59)	12.22	46.94
2018年	-	38.40 (31.54)	9.93	48.33
2019年	-	44.05 (35.69)	7.95	52.00
2020年	-	55.63 (52.91)	6.36	62.00
2021年	-	84.41 (58.36)	6.96	91.36
累計	-	1,058.32 (556.95)	191.84	1250.15

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対パレスチナ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	米国 650.77	ドイツ 137.62	ノルウェー 69.14	スウェーデン 61.56	日本 56.75	1,305.08	56.75
2017年	米国 333.12	ドイツ 176.18	英国 79.74	ノルウェー 70.88	スウェーデン 66.64	1,072.11	46.94
2018年	米国 269.86	ドイツ 212.47	フランス 79.46	ノルウェー 78.59	英国 65.92	1,084.24	48.33
2019年	ドイツ 216.05	英国 103.06	ノルウェー 70.30	米国 70.12	フランス 57.97	905.73	52.00
2020年	ドイツ 225.18	ノルウェー 66.86	英国 66.50	フランス 66.16	日本 62.00	817.24	62.00

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対パレスチナ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	UNRWA 423.23	EU Institutions 419.02	Isl.Dev Bank 85.01	OPEC Fund 5.38	UNICEF 3.41	5.21	941.26
2017年	UNRWA 521.73	EU Institutions 295.46	Isl.Dev Bank 89.66	WFP 5.36	CERF 4.24	10.98	927.45
2018年	UNRWA 438.29	EU Institutions 296.16	CERF 16.27	WFP 8.38	UNICEF 5.14	10.33	774.58
2019年	UNRWA 437.28	EU Institutions 237.95	Isl.Dev Bank 85.11	WFP 18.72	CERF 7.75	16.08	802.87
2020年	UNRWA 449.50	EU Institutions 272.16	Isl.Dev Bank 73.89	CERF 22.29	WFP 14.04	18.32	850.19

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	39.65億円	
		・ジャンプラット フォーム(JPF)を通 じた人道支援 (8件) (3.04)	・非感染性疾患分野中核人 材育成プロジェクト [21.06～ 23.12]
		・日本NGO連携無 償 (4件) (2.78)	・新型コロナウイルス影響下 における感染性廃棄物管理 プロジェクト [21.07～ 22.03]
		・草の根・人間の安 全保障無償 (12件) (1.16)	
		・経済社会開発計 画 (1件) (10.00)	
		・新型コロナウイルス感染症危 機対応緊急支援計画 (8.79)	
		・教育の質及び環境改善のた めの学校建設計画 (3.08)	
		・ガザ情勢悪化により被害を 受けたパレスチナに対する緊 急無償資金協力(UNDP連 携) (3.02)	
		・同上案件(ICRC連携) (1.84)	
		・同上案件(OCHA連携) (0.22)	
		・同上案件(UNRWA連携) (5.72)	

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[11] モロッコ

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
3,735万人	3,350ドル	7.4%	654.14億ドル	低所得国	iii / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対モロッコ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	0.31	10.83
2018年度	-	0.15	8.57
2019年度	-	2.46	4.47
2020年度	208.49	5.16	3.21
2021年度	-	0.34	3.87

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対モロッコ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	3,324.49	379.22	413.82

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対モロッコ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	59.38	7.47	10.32	77.18
2018年	-15.71	8.78 (0.22)	8.62	1.69
2019年	-65.40	1.38 (0.78)	4.80	-59.22
2020年	-41.41	8.22 (1.28)	3.35	-29.84
2021年	144.42	0.95 (0.67)	2.40	147.78
累計	1,207.23	321.17 (2.96)	380.31	1,908.72

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対モロッコ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	ドイツ 566.34	フランス 474.13	日本 152.62	米国 43.32	スペイン 25.64	1,327.37	152.62
2017年	フランス 537.69	ドイツ 459.34	日本 158.44	米国 51.87	スペイン 30.61	1,297.92	158.44
2018年	フランス 373.28	ドイツ 265.26	日本 90.80	米国 58.96	スペイン 36.54	878.06	90.80
2019年	フランス 444.73	ドイツ 254.07	米国 63.43	スペイン 45.46	日本 32.71	904.62	32.71
2020年	ドイツ 617.63	フランス 587.85	米国 80.57	日本 61.09	スペイン 35.23	1,428.14	61.09

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対モロッコ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	EU Institutions 686.26	AFESD 103.38	CIF 17.48	OPEC Fund 15.34	GFATM 8.23	20.17	850.87
2017年	EU Institutions 710.79	AFESD 126.56	OPEC Fund 11.06	GCF 10.49	GFATM 7.46	18.00	884.35
2018年	EU Institutions 380.61	AFESD 85.44	CIF 53.06	OPEC Fund 27.28	GFATM 5.35	18.14	569.89
2019年	EU Institutions 531.21	AFESD 115.69	GCF 19.03	OPEC Fund 13.44	GFATM 7.36	17.03	703.78
2020年	EU Institutions 1,083.14	AFESD 146.20	GCF 28.73	OPEC Fund 12.23	CIF 8.00	17.38	1,295.68

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	0.34億円 ・草の根・人間の安全 保障無償 (4件) (0.34)	・アフリカ交通人材育成プロ ジェクト [21.05~ 24.11]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[12] ヨルダン

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
1,027万人	4,480ドル	2.2%	418.21億ドル	高中所得国	iii/ 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ヨルダン援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	50.31	8.84
2018年度	336.60	24.44	8.92
2019年度	-	21.23	7.24
2020年度	-	5.86	5.17
2021年度	110.00	13.99	6.78

注)1.年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2.四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ヨルダン援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	3,134.19	985.87	392.36

注)1.累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2.四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ヨルダン援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	94.84	84.20 (54.14)	10.25	189.29
2018年	-76.98	16.81 (8.70)	8.09	-52.09
2019年	48.64	30.43 (15.99)	6.54	85.60
2020年	119.93	48.17 (21.24)	5.36	173.46
2021年	46.13	24.68 (18.01)	4.62	75.43
累計	900.98	958.46 (191.78)	365.74	2,225.18

注)1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ヨルダン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	米国 880.94	フランス 298.99	英国 235.97	ドイツ 205.88	日本 154.85	1,985.56	154.85
2017年	米国 902.64	ドイツ 332.14	日本 272.46	フランス 176.84	カナダ 87.67	2,025.09	272.46
2018年	米国 1,141.32	ドイツ 367.07	英国 184.62	フランス 133.02	カナダ 87.96	2,139.79	33.87
2019年	米国 1,111.30	ドイツ 551.01	日本 170.72	英国 167.81	カナダ 72.85	2,280.06	170.72
2020年	米国 1,217.34	ドイツ 449.66	日本 256.89	フランス 137.45	英国 104.38	2,363.03	256.89

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ヨルダン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	EU Institutions 252.60	UNRWA 154.36	IDA 48.33	AFESD 10.86	WFP 5.02	10.22	481.41
2017年	EU Institutions 228.82	UNRWA 218.56	AFESD 52.36	IDA 8.39	OPEC Fund 4.05	10.40	522.57
2018年	EU Institutions 178.83	UNRWA 176.69	AFESD 20.32	IDA 15.05	UNICEF 3.31	11.74	405.95
2019年	UNRWA 169.80	EU Institutions 166.91	AFESD 22.16	IDA 18.28	WFP 8.91	17.06	403.13
2020年	EU Institutions 474.55	UNRWA 177.84	IDA 34.94	AFESD 18.54	CERF 6.00	21.09	732.96

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	110.00億円	13.99億円	
	・新型コロナウイルス感染症 危機対応緊急支援借款 (110.00)	・日本NGO連携無償 (2件) (1.58) ・草の根・人間の安全 保障無償 (3件) (0.27) ・経済社会開発計画 (1件) (5.00) ・ザイ給水システム改良計画 (2/4) (7.14)	・学習環境改善を通じた初等 教育退学抑止プロジェクト [21.12~ 25.12]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[13] リビア

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
696万人	8,430ドル	31.4%	-	高中所得国	iv / 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対リビア援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	-	-
2018年度	-	-	0.04
2019年度	-	-	0.02
2020年度	-	-	0.03
2021年度	-	1.98	0.02

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対リビア援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	8.46	2.23

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対リビア援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	2.64 (2.64)	-	2.64
2018年	-	1.30 (1.30)	0.03	1.33
2019年	-	3.21 (3.21)	0.02	3.24
2020年	-	9.47 (9.47)	0.02	9.49
2021年	-	14.70 (14.70)	0.02	14.71
累計	-	49.41 (49.41)	5.45	54.85

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対リビア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	ドイツ 30.99	米国 20.33	英国 19.37	イタリア 6.02	スウェーデン 5.73	102.87	-
2017年	ドイツ 172.07	イタリア 60.37	米国 44.64	英国 18.99	オランダ 6.61	338.04	2.64
2018年	米国 65.67	ドイツ 54.36	イタリア 25.61	英国 17.56	フランス 6.45	206.11	1.33
2019年	米国 64.39	ドイツ 32.74	英国 20.97	イタリア 17.54	スイス 7.83	185.73	3.24
2020年	米国 65.83	ドイツ 46.64	イタリア 39.32	英国 17.07	フランス 10.89	220.44	9.49

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対リビア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	EU Institutions 23.76	WFP 6.55	Isl.Dev Bank 0.90	GEF 0.79	UNICEF 0.69	1.24	33.92
2017年	EU Institutions 64.53	CERF 6.36	WFP 1.76	UNICEF 1.05	UNPBF 1.01	1.59	76.30
2018年	EU Institutions 58.88	CERF 11.76	WHO 2.85	UNPBF 1.96	UNFPA 1.37	1.33	78.16
2019年	EU Institutions 84.86	WFP 7.65	CERF 3.76	UNFPA 2.34	WHO 2.23	5.38	106.22
2020年	EU Institutions 58.37	WFP 7.74	UNICEF 1.98	UNFPA 1.66	WHO 0.54	0.45	70.74

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	1.98億円 (1.98) ・選挙支援計画(UNDP連携)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[14] レバノン

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
677万人	3,450ドル	-10.5%	668.93億ドル	高中所得国	iii / 低中所得国

出典) WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対レバノン援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	6.24	2.40
2018年度	-	3.31	1.14
2019年度	-	5.81	0.33
2020年度	-	13.11	0.36
2021年度	-	3.97	0.39

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対レバノン援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	130.22	95.31	19.79

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対レバノン援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-6.21	18.18 (17.38)	1.40	13.38
2018年	-6.31	11.10 (8.71)	1.75	6.55
2019年	-6.39	11.09 (9.59)	0.39	5.09
2020年	-6.52	24.51 (24.25)	0.29	18.28
2021年	-6.35	16.30 (16.30)	0.36	10.32
累計	4.63	197.64 (162.26)	24.70	226.98

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対レバノン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	ドイツ 308.06	英国 167.39	米国 139.28	ノルウェー 65.05	オランダ 52.20	918.08	28.61
2017年	米国 203.82	ドイツ 192.58	英国 150.02	カナダ 69.01	ノルウェー 63.49	905.59	19.59
2018年	ドイツ 243.87	米国 182.55	英国 128.70	オランダ 82.33	カナダ 68.60	977.16	12.85
2019年	米国 238.74	ドイツ 220.83	英国 189.82	フランス 83.84	カナダ 59.70	1,002.00	11.48
2020年	ドイツ 294.11	米国 247.07	英国 154.44	フランス 103.62	カナダ 74.84	1,123.83	24.80

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対レバノン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	EU Institutions 175.91	UNRWA 102.44	AFESD 47.10	Isl.Dev Bank 3.14	GEF 2.63	8.82	340.02
2017年	EU Institutions 182.88	AFESD 145.90	UNRWA 112.64	IDA 25.47	UNHCR 12.45	7.94	487.28
2018年	EU Institutions 203.31	UNRWA 97.56	AFESD 36.71	UNHCR 8.93	UNICEF 4.72	10.57	361.80
2019年	EU Institutions 133.13	UNRWA 97.81	AFESD 41.56	UNHCR 11.62	UNICEF 5.24	10.27	299.64
2020年	EU Institutions 139.74	UNRWA 101.69	IDA 57.33	AFESD 30.36	CERF 18.99	17.44	365.55

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	3.97億円 ・ジャパンプラットフォーム(JPF)を通じた人道支援 (3件) (1.23) ・草の根・人間の安全保障無償 (10件) (2.74)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

サブサハラ・アフリカ地域

サブサハラ・アフリカ地域

表－1 サブサハラ・アフリカ地域に対する我が国二国間ODA実績

(支出純額及び支出総額ベース、単位：百万ドル)

暦年		2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	累計
ODA	無償資金協力	549.50 (21.0)	542.30 (20.6)	657.84 (25.7)	711.65 (23.2)	668.68 (20.5)	31,682.71
	(うち国際機関等を通じた贈与)	177.10 (13.2)	123.01 (9.4)	210.56 (18.1)	296.28 (16.5)	321.45 (15.3)	4,628.23
	技術協力	362.29 (12.6)	296.81 (11.2)	307.79 (11.3)	235.16 (9.8)	277.94 (11.5)	9,297.76
	贈与計	911.79 (16.6)	839.11 (15.9)	965.63 (18.3)	946.81 (17.3)	946.62 (16.7)	40,980.47
	政府貸付等 支出総額	379.22 (4.0)	430.59 (5.4)	475.82 (5.1)	373.70 (3.3)	705.57 (5.8)	10,700.35
	<政府貸付等 支出純額>	<273.99>	<319.90>	<367.87>	<256.27>	<658.33>	<2,764.05>
政府開発援助計 支出総額(ODA計)	1,291.01 (8.6)	1,269.70 (9.6)	1,441.45 (9.8)	1,320.51 (7.8)	1,652.18 (9.3)	51,680.82	
<政府開発援助計 支出純額(ODA計)>	<1,185.78> <(14.7)>	<1,159.01> <(19.0)>	<1,333.50> <(17.8)>	<1,203.08> <(11.7)>	<1,604.95> <(13.8)>	<43,744.52>	

- 注) 1. ()内は各形態別の全世界合計に占めるサブサハラ・アフリカ地域地域の割合(%)
 2. 国際機関等を通じた贈与は、2006年より、拠出時に供与先の国が明確であるものについては、各被援助国への援助として「無償資金協力」へ計上することに改めた。
 3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。
 4. 「政府開発援助計 支出純額」の割合については、貸付の償還等に伴いマイナス数値となる場合に適切な割合が出せないことから、掲載していない。

表－2 サブサハラ・アフリカ地域に対するDAC諸国のODA実績

(支出総額ベース、単位：百万ドル)

援助実績種別	暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
政府開発援助計	2018	米国 10,692.19	英国 3,174.36	ドイツ 3,095.09	フランス 2,696.06	日本 1,269.75	27,502.70	1,269.75
	2019	米国 9,493.45	ドイツ 3,332.77	英国 3,229.10	フランス 2,841.79	日本 1,441.44	26,710.01	1,441.44
	2020	米国 11,361.94	ドイツ 4,293.19	フランス 3,926.65	英国 2,825.20	日本 1,320.47	30,306.16	1,320.47
政府貸付等	2018	フランス 1,280.88	日本 430.58	ドイツ 348.17	韓国 173.01	ポーランド 33.22	2,347.69	430.58
	2019	フランス 1,437.33	日本 475.82	ドイツ 371.16	韓国 151.74	イタリア 25.73	2,524.77	475.82
	2020	フランス 2,195.26	日本 373.69	ドイツ 326.62	米国 259.40	韓国 159.26	3,428.39	373.69
無償資金協力	2018	米国 10,474.16	英国 2,930.98	ドイツ 1,797.80	スウェーデン 985.70	フランス 924.31	21,963.47	542.37
	2019	米国 9,302.95	英国 2,774.57	ドイツ 1,942.00	フランス 989.54	スウェーデン 928.48	20,881.81	657.81
	2020	米国 10,945.89	ドイツ 2,773.07	英国 2,431.92	フランス 1,189.93	スウェーデン 985.21	23,536.34	711.65
技術協力	2018	ドイツ 949.13	フランス 490.84	日本 296.78	カナダ 262.23	英国 243.38	3,191.55	296.78
	2019	ドイツ 1,019.62	英国 454.53	フランス 414.93	日本 307.81	カナダ 244.72	3,303.44	307.81
	2020	ドイツ 1,193.52	フランス 541.46	英国 376.11	カナダ 303.77	日本 235.15	3,341.45	235.15

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2022年10月)

注) ただし、地域区分についてはDAC基準とは異なる。

表-3 サブサハラ・アフリカ地域に対する国際機関のODA実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

援助実績種別	暦年	1位		2位		3位		4位		5位		その他	合計
政府開発援助計	2018	IDA	8,821.37	EU Institutions	5,393.86	GFATM	2,429.69	AfDF	1,716.11	IMF-CTF	1,189.96	3,606.53	23,157.54
	2019	IDA	11,456.36	EU Institutions	5,147.18	GFATM	2,598.06	AfDF	1,631.20	GAVI	1,153.70	3,681.89	25,668.39
	2020	IDA	13,356.70	IMF-CTF	7,656.82	EU Institutions	5,566.68	GFATM	3,119.92	AfDF	2,331.84	4,269.24	36,301.11
政府貸付等	2018	IDA	6,677.24	AfDF	1,317.46	IMF-CTF	1,189.96	EU Institutions	325.00	IFAD	246.21	491.58	10,247.48
	2019	IDA	8,761.71	AfDF	1,085.68	IMF-CTF	486.57	EU Institutions	407.69	IFAD	267.59	434.07	11,443.29
	2020	IDA	8,957.55	IMF-CTF	7,249.31	AfDF	1,105.94	EU Institutions	481.93	OPEC Fund	236.74	464.90	18,496.40
無償資金協力	2018	EU Institutions	4,544.14	GFATM	2,429.69	IDA	2,144.16	GAVI	819.22	UNICEF	542.27	1,852.44	12,331.96
	2019	EU Institutions	4,131.07	IDA	2,694.64	GFATM	2,598.06	GAVI	1,153.70	UNICEF	576.97	2,462.21	13,616.71
	2020	EU Institutions	4,449.95	IDA	4,399.14	GFATM	3,119.92	AfDF	1,225.86	GAVI	918.21	3,053.69	17,166.73
技術協力	2018	EU Institutions	524.73	ILO	28.36	FAO	24.23	OPEC Fund	0.58	AFESD	0.22	-	578.14
	2019	EU Institutions	608.43	-	-	-	-	-	-	-	-	-	608.43
	2020	EU Institutions	634.80	IAEA	3.18	-	-	-	-	-	-	-	638.02

出典) OECDデータベース (OECD.Stat) (2022年10月)

- 注) 1. ただし、地域区分についてはDAC基準とは異なる。
 2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

アフリカ大陸全土地域

表-1 アフリカ大陸全土地域に対する我が国二国間ODA実績

(支出純額及び支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年		2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	累計	
ODA	贈与	無償資金協力	658.42 (25.2)	597.54 (22.7)	695.24 (27.2)	769.09 (25.1)	751.55 (23.1)	34,364.51
		(うち国際機関等を通じた贈与)	270.33 (20.1)	158.50 (12.1)	225.91 (19.5)	324.42 (18.1)	388.81 (18.6)	5,429.19
		技術協力	427.77 (14.8)	342.99 (13.0)	345.14 (12.7)	257.85 (10.7)	297.08 (12.3)	11,138.84
		贈与計	1,086.19 (19.7)	940.54 (17.8)	1,040.37 (19.7)	1,026.94 (18.8)	1,048.63 (18.5)	45,503.35
	政府貸付等 支出総額	1,029.40 (10.7)	928.79 (11.6)	1,086.86 (11.6)	746.30 (6.5)	1,348.07 (11.1)	23,685.66	
	<政府貸付等 支出純額>	<588.23>	<445.23>	<532.12>	<221.78>	<932.50>	<7,322.01>	
政府開発援助計 支出総額(ODA計)	2,115.59 (14.0)	1,869.32 (14.1)	2,127.24 (14.5)	1,773.24 (10.5)	2,396.70 (13.5)	69,189.00		
<政府開発援助計 支出純額(ODA計)>	<1,674.42> <(20.7)>	<1,385.76> <(22.7)>	<1,572.50> <(21.0)>	<1,248.72> <(12.2)>	<1,981.13> <(17.0)>	<52,825.36>		

注) 1. ()内は各形態別の全世界合計に占めるアフリカ大陸全土地域の割合(%)

2. 国際機関等を通じた贈与は、2006年から、拠出時に供与先の国が明確であるものについては、各被援助国への援助として「無償資金協力」へ計上することに改めた。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

4. 「政府開発援助計 支出純額」の割合については、貸付の償還等に伴いマイナス数値となる場合に適切な割合が出せないことから、掲載していない。

表-2 アフリカ大陸全土地域に対するDAC諸国のODA実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

援助実績種別	暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
政府開発援助計	2018	米国 11,023.62	ドイツ 4,925.75	英国 3,835.56	フランス 3,833.33	日本 1,869.36	33,247.60	1,869.36
	2019	米国 9,973.27	ドイツ 5,260.75	フランス 3,988.07	英国 3,850.02	日本 2,127.23	32,691.95	2,127.23
	2020	米国 11,791.00	ドイツ 6,611.88	フランス 5,244.66	英国 3,358.14	日本 1,773.18	36,713.25	1,773.18
政府貸付等	2018	フランス 1,877.85	ドイツ 1,402.63	日本 928.78	韓国 249.09	カナダ 160.52	4,772.55	928.78
	2019	フランス 2,040.74	ドイツ 1,458.65	日本 1,086.86	韓国 209.17	イタリア 43.42	4,951.85	1,086.86
	2020	フランス 3,021.08	ドイツ 1,727.84	日本 746.30	米国 259.40	イタリア 183.35	6,343.63	746.30
無償資金協力	2018	米国 10,784.51	英国 3,511.01	ドイツ 2,070.32	スウェーデン 1,063.53	フランス 1,053.40	24,070.32	597.60
	2019	米国 9,759.78	英国 3,299.86	ドイツ 2,163.03	フランス 1,180.34	スウェーデン 1,005.04	23,118.79	695.21
	2020	米国 11,352.39	ドイツ 3,099.51	英国 2,885.01	フランス 1,267.43	スウェーデン 1,056.77	25,710.92	769.08
技術協力	2018	ドイツ 1,452.81	フランス 902.05	日本 342.96	英国 324.55	カナダ 300.20	4,404.73	342.96
	2019	ドイツ 1,639.08	フランス 766.99	英国 550.16	日本 345.15	カナダ 324.05	4,621.34	345.15
	2020	ドイツ 1,784.54	フランス 956.16	英国 455.96	カナダ 338.61	日本 257.84	4,658.71	257.84

出典) OECDデータベース(OECD.Stat)(2022年10月)

注) ただし、地域区分についてはDAC基準とは異なる。

表-3 アフリカ大陸全土地域に対する国際機関のODA実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

援助実績種別	暦年	1位		2位		3位		4位		5位		その他	合計
政府開発援助計	2018	IDA	8,841.85	EU Institutions	7,321.95	GFATM	2,471.42	AfDF	2,112.85	IMF-CTF	1,189.96	4,392.10	26,330.13
	2019	IDA	11,483.94	EU Institutions	7,449.74	GFATM	2,633.84	AfDF	1,943.63	GAVI	1,153.70	4,439.58	29,104.46
	2020	IDA	13,356.70	EU Institutions	9,808.20	IMF-CTF	7,656.82	GFATM	3,150.83	AfDF	2,841.87	5,073.02	41,887.36
政府貸付等	2018	IDA	6,677.24	AfDF	1,317.46	IMF-CTF	1,189.96	EU Institutions	1,138.57	AFESD	480.29	755.46	11,558.99
	2019	IDA	8,761.71	EU Institutions	1,681.70	AfDF	1,085.68	AFESD	631.35	IMF-CTF	486.57	560.93	13,207.93
	2020	IDA	8,957.55	IMF-CTF	7,249.31	EU Institutions	2,421.71	AfDF	1,105.94	AFESD	519.84	787.62	21,042.00
無償資金協力	2018	EU Institutions	5,442.52	GFATM	2,471.42	IDA	2,164.64	GAVI	819.22	AfDF	795.38	2,191.37	13,884.57
	2019	EU Institutions	4,906.34	IDA	2,722.22	GFATM	2,633.84	GAVI	1,153.70	AfDF	857.99	2,760.67	15,034.85
	2020	EU Institutions	6,545.36	IDA	4,399.14	GFATM	3,150.83	AfDF	1,735.89	GAVI	918.21	3,249.01	19,998.40
技術協力	2018	EU Institutions	740.88	FAO	102.82	ILO	40.59	OPEC Fund	1.85	AFESD	0.44	-	886.61
	2019	EU Institutions	861.73	-	-	-	-	-	-	-	-	-	861.73
	2020	EU Institutions	841.14	IAEA	5.82	-	-	-	-	-	-	-	847.00

出典) OECDデータベース (OECD.Stat) (2022年10月)

- 注) 1. ただし、地域区分についてはDAC基準とは異なる。
 2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

[1] アンゴラ

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
3,393万人	1,770ドル	0.7%	672.77億ドル	後開発途上国	iii / 低所得国

出典) WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対アンゴラ援助形態実績(年度別)

(単位: 億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	1.06	3.97
2018年度	-	0.98	5.01
2019年度	-	3.66	3.51
2020年度	-	5.46	1.51
2021年度	-	1.28	2.86

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対アンゴラ援助形態実績(累計)

(単位: 億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	236.40	431.47	80.94

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対アンゴラ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	0.79	-	3.71
2018年	-	12.07 (1.09)	5.09	17.16
2019年	-	5.90 (0.80)	2.81	8.71
2020年	-	3.98 (1.50)	3.28	7.27
2021年	-	5.96 (1.24)	2.03	7.99
累計	195.05	332.93 (45.43)	79.38	607.36

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対アンゴラ経済協力実績

(支出総額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	米国 54.22	韓国 12.12	ノルウェー 7.80	ポーランド 5.93	フランス 5.41	104.67	4.54
2017年	米国 59.28	韓国 15.73	ノルウェー 7.69	フランス 5.97	ポルトガル 4.71	107.05	3.71
2018年	米国 52.74	日本 17.16	韓国 11.81	ノルウェー 6.45	フランス 6.33	111.00	17.16
2019年	米国 46.69	フランス 17.01	日本 8.71	ポルトガル 5.85	ノルウェー 5.36	94.98	8.71
2020年	米国 41.33	フランス 10.84	日本 7.27	ノルウェー 5.89	ドイツ 4.33	84.88	7.27

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対アンゴラ経済協力実績

(支出総額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	IDA 58.26	EU Institutions 43.28	GFATM 20.13	AfDF 15.98	UNICEF 9.24	25.20	172.08
2017年	IDA 70.10	EU Institutions 39.79	GFATM 29.06	AfDF 11.80	CERF 10.55	28.94	190.26
2018年	IDA 35.91	EU Institutions 35.43	GFATM 25.24	AfDF 9.31	UNICEF 6.58	22.21	134.68
2019年	EU Institutions 40.15	IDA 23.95	GFATM 18.59	GAVI 8.56	AfDF 7.53	27.43	126.20
2020年	EU Institutions 33.33	GFATM 21.78	AfDF 8.55	UNICEF 5.67	GAVI 5.41	23.48	98.25

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	1.28億円 ・草の根・人間の安全保障無償 (2件) (1.28)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[2] ウガンダ

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
4,712万人	840ドル	3.4%	192.17億ドル	後発開発途上国	i / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ウガンダ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	42.00	15.57
2018年度	185.77	39.32	15.67
2019年度	-	15.96	13.69
2020年度	-	29.39	10.92
2021年度	-	28.44	20.56

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ウガンダ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	662.96	739.81	381.54

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ウガンダ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	24.07	21.70 (15.41)	18.44	64.22
2018年	37.03	23.23 (4.59)	11.13	71.39
2019年	19.99	31.48 (9.88)	13.68	65.14
2020年	15.38	15.93 (4.09)	11.10	42.41
2021年	18.36	29.27 (8.64)	15.09	62.73
累計	247.92	723.55 (169.28)	361.92	1,333.40

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ウガンダ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	米国 540.32	英国 149.97	日本 66.85	ドイツ 47.14	スウェーデン 44.40	1,073.15	66.85
2017年	米国 641.35	英国 181.50	ドイツ 67.68	日本 64.58	スウェーデン 57.36	1,298.89	64.58
2018年	米国 616.95	英国 150.21	日本 72.13	フランス 71.85	スウェーデン 60.21	1,260.89	72.13
2019年	米国 520.38	英国 196.66	ドイツ 66.52	日本 65.89	スウェーデン 56.63	1,172.43	65.89
2020年	米国 646.40	英国 115.22	フランス 86.63	スウェーデン 73.30	デンマーク 68.54	1,292.54	44.01

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ウガンダ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	GFATM 195.57	IDA 179.17	AfDF 128.60	EU Institutions 74.89	GAVI 51.95	100.30	730.49
2017年	IDA 268.25	EU Institutions 155.29	GFATM 117.29	AfDF 74.87	GAVI 30.24	115.30	761.22
2018年	IDA 220.93	GFATM 167.04	AfDF 111.67	EU Institutions 107.71	GAVI 39.86	105.82	753.04
2019年	IDA 402.62	EU Institutions 147.14	GFATM 134.42	AfDF 86.03	GAVI 69.22	107.01	946.42
2020年	IDA 790.02	IMF-CTF 502.83	GFATM 225.69	EU Institutions 171.56	AfDF 76.09	131.52	1,897.70

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	28.43億円	
		・ジャパンプラット フォーム(JPF)を通じた 人道支援 (3件) (1.26)	・コミュニティ保健強化プロ ジェクト [21.04～ 22.03]
		・日本NGO連携無償 (2件) (1.54)	・北部ウガンダ生計向上支援 プロジェクト フェーズ2 [21.09～ 26.08]
		・草の根・人間の安全 保障無償 (7件) (0.63)	・西ナイル・難民受入地域レ ジリエンス強化プロジェクト [21.11～ 26.11]
		・アタリ流域地域灌漑施設整備 計画 (12.09)	・5S-CQI-TQMを通じた患者 安全構築プロジェクト [21.11～ 26.11]
		・カンパラ市交通管制改善計画 (8.85)	
		・西ナイル地域の難民受入地域 における国道改修計画 (4.06)	

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[3] エスワティニ(旧国名:スワジランド)

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
117万人	3,680ドル	7.4%	11.30億ドル	低中所得国	iii/ 低中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対エスワティニ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	19.41	1.21
2018年度	-	2.20	0.73
2019年度	-	2.72	0.61
2020年度	-	5.19	0.23
2021年度	-	2.06	2.34

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対エスワティニ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	44.12	129.53	49.70

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対エスワティニ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-1.80	2.94 (2.94)	0.80	1.94
2018年	-1.83	6.37 (2.31)	1.00	5.55
2019年	-1.85	6.10 (0.50)	0.50	4.76
2020年	-1.89	6.75 (2.47)	0.23	5.09
2021年	-1.84	6.27 (2.32)	1.08	5.51
累計	17.18	113.90 (15.52)	38.47	169.55

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対エスワティニ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	米国 56.42	日本 1.18	スウェーデン 0.88	ノルウェー 0.79	カナダ 0.56	62.21	1.18
2017年	米国 69.71	オーストラリア 6.36	日本 3.74	ドイツ 0.57	ノルウェー 0.46	82.73	3.74
2018年	米国 59.70	日本 7.37	スイス 1.02	ドイツ 0.50	-	70.83	7.37
	-	-	-	ノルウェー 0.50	-	-	-
2019年	米国 44.24	日本 6.61	ノルウェー 0.56	フランス 0.55	ドイツ 0.54	54.35	6.61
2020年	米国 62.53	日本 6.98	カナダ 0.57	英国 0.55	ノルウェー 0.49	73.17	6.98

表-4 国際機関の対エスワティニ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	GFATM 32.08	EU Institutions 31.69	OPEC Fund 11.32	UNICEF 1.41	GEF 1.08	5.06	82.63
2017年	EU Institutions 38.62	GFATM 22.93	GEF 2.64	UNICEF 1.18	WFP 1.02	4.42	70.81
2018年	GFATM 19.04	EU Institutions 13.99	OPEC Fund 6.30	UNICEF 1.29	WHO 1.08	4.77	46.46
2019年	EU Institutions 12.33	GFATM 12.09	OPEC Fund 3.46	UNICEF 1.51	UNFPA 0.99	5.25	35.63
2020年	EU Institutions 23.24	GFATM 12.21	WFP 2.50	GEF 1.97	UNICEF 1.38	3.60	44.89

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	2.06億円 ・草の根・人間の安全保障無償 (1件) (0.06) ・食糧援助(WFP連携) (2.00)	・新型コロナウイルス及び他感染症コントロールのため [21.08～22.03] の検査技術とサーベランス強化プロジェクト

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[4] エチオピア

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
1.18億人	960ドル	5.6%	300.18億ドル	後発開発途上国	i / 低所得国

出典) WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対エチオピア援助形態実績(年度別)

(単位: 億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	42.64	21.61
2018年度	-	18.49	22.33
2019年度	96.55	36.98	19.05
2020年度	-	46.99	14.18
2021年度	-	20.63	17.07

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対エチオピア援助形態実績(累計)

(単位: 億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	188.55	1,314.10	552.41

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対エチオピア援助形態別実績

(支出純額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	11.25 (5.39)	27.66	38.90
2018年	35.83	15.14 (5.50)	18.45	69.41
2019年	14.15	31.24 (13.78)	19.05	64.45
2020年	-	63.31 (39.14)	11.92	75.23
2021年	7.60	38.34 (19.77)	15.03	60.96
累計	48.75	1,326.86 (281.97)	521.82	1,897.43

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対エチオピア経済協力実績

(支出総額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	米国 876.70	英国 451.32	ドイツ 141.73	カナダ 90.74	オランダ 73.85	2,085.99	62.61
2017年	米国 1,030.73	英国 422.41	ドイツ 155.14	カナダ 89.32	オランダ 82.37	2,257.23	38.90
2018年	米国 823.39	英国 403.25	ドイツ 175.11	カナダ 90.61	韓国 84.54	2,088.43	69.41
2019年	米国 870.27	英国 382.84	ドイツ 141.64	オランダ 97.56	デンマーク 97.52	2,197.93	64.45
2020年	米国 796.11	ドイツ 447.44	英国 325.62	韓国 108.62	オランダ 108.55	2,370.29	75.23

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対エチオピア経済協力実績

(支出総額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	IDA 1,197.68	EU Institutions 339.66	AfDF 171.40	GFATM 158.65	GAVI 84.50	159.61	2,111.51
2017年	IDA 1,109.88	AfDF 247.54	EU Institutions 218.24	GFATM 182.08	GAVI 64.42	183.86	2,006.01
2018年	IDA 2,129.23	EU Institutions 273.23	AfDF 178.46	GFATM 131.22	GAVI 88.05	166.37	2,966.54
2019年	IDA 1,802.24	EU Institutions 203.05	AfDF 180.25	GFATM 115.83	GAVI 92.28	187.06	2,580.73
2020年	IDA 2,012.84	AfDF 277.22	EU Institutions 209.18	IMF-CTF 202.91	GFATM 110.41	253.96	3,066.52

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	20.63億円	
		・ジャパンプラットフォーム(JPF)を通じた人道支援 (4件) (1.43)	・企業競争力強化のための包括的支援体制構築プロジェクト [21.04~26.03]
		・日本NGO連携無償 (3件) (2.34)	・都市計画・都市管理能力強化プロジェクト [21.04~24.04]
		・草の根・人間の安全保障無償 (5件) (0.46)	・アディスアベバ上下水道公社無収水削減管理能力強化プロジェクト [21.08~25.07]
		・エチオピア北部における国内避難民等に対する緊急無償資金協力(UNHCR連携) (6.48)	・コメ生産向上に向けた技術移転能力強化プロジェクト(エチオリス2) [21.09~26.09]
		・同上案件(IOM連携) (2.16)	
		・同上案件(WFP連携) (4.54)	
		・同上案件(UNMAS連携) (0.22)	
		・食糧援助 (3.00)	

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[5] エリトリア

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
-	-	-	7.45億ドル	後発開発途上国	-

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対エリトリア援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	-	0.47
2018年度	-	2.72	0.48
2019年度	-	4.50	1.02
2020年度	-	-	0.40
2021年度	-	-	0.68

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対エリトリア援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	136.71	29.24

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対エリトリア援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	2.67	0.83	3.50
2018年	-	-	0.44	0.44
2019年	-	6.25 (3.49)	0.94	7.18
2020年	-	1.90 (0.50)	0.17	2.08
2021年	-	1.96 (1.96)	0.40	2.35
累計	-	119.02 (13.74)	28.54	147.56

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対エリトリア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	ノルウェー 1.99	アイルランド 1.37	日本 1.12	カナダ 1.06	ドイツ 0.92	10.25	1.12
2017年	日本 3.50	スイス 3.37	スペイン 2.62	ドイツ 2.26	アイルランド 1.39	17.40	3.50
2018年	ドイツ 4.35	英国 3.67	スイス 1.81	アイルランド 1.46	スペイン 1.27	15.88	0.44
2019年	日本 7.18	英国 5.61	ドイツ 4.32	イタリア 1.90	スイス 1.61	23.87	7.18
2020年	ドイツ 3.84	英国 2.45	日本 2.08	アイルランド 1.41	スイス 1.29	13.48	2.08

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対エリトリア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	GFATM 17.18	EU Institutions 13.81	IFAD 6.61	UNDP 5.54	UNICEF 2.83	9.31	55.27
2017年	GFATM 21.40	UNDP 5.86	EU Institutions 5.41	GAVI 3.78	UNICEF 2.98	7.97	47.40
2018年	GFATM 17.09	GAVI 11.60	EU Institutions 9.26	UNDP 5.12	CERF 4.99	13.16	61.21
2019年	GFATM 16.92	AfDF 9.46	UNDP 5.74	EU Institutions 4.26	UNICEF 3.79	12.54	52.70
2020年	GAVI 12.49	GFATM 8.20	UNDP 6.64	IFAD 6.35	AfDF 4.21	9.52	47.41

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	なし	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[6] ガーナ

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
3,173万人	2,360ドル	5.4%	361.82億ドル	低中所得国	iii / 低中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ガーナ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	18.98	14.66
2018年度	-	14.14	16.89
2019年度	-	20.08	19.36
2020年度	-	28.53	12.24
2021年度	-	65.30	18.21

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ガーナ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	1,363.30	1,292.85	655.83

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ガーナ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	34.57	16.63	51.20
2018年	-	57.65 (4.98)	12.48	70.13
2019年	-	30.24 (0.80)	17.85	48.09
2020年	1.57	35.86 (3.85)	13.90	51.32
2021年	0.00	20.13 (12.07)	11.62	31.75
累計	-101.60	2,027.88 (40.26)	603.08	2,529.35

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ガーナ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	米国 228.91	フランス 82.29	英国 79.17	デンマーク 50.56	カナダ 46.22	636.71	33.42
2017年	米国 233.28	英国 72.84	ドイツ 57.92	日本 51.20	韓国 47.99	618.36	51.20
2018年	米国 218.67	ドイツ 73.72	日本 70.13	カナダ 69.71	フランス 54.71	655.54	70.13
2019年	米国 202.17	ドイツ 93.09	英国 61.69	日本 48.09	カナダ 43.37	572.39	48.09
2020年	米国 206.40	ドイツ 92.39	フランス 67.47	日本 51.32	カナダ 49.23	586.05	51.32

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ガーナ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	IDA 304.41	IMF-CTF 230.80	AfDF 72.91	GFATM 65.70	EU Institutions 61.05	56.50	791.36
2017年	IDA 380.14	AfDF 135.71	GFATM 93.53	IMF-CTF 92.09	EU Institutions 32.10	52.49	786.09
2018年	IMF-CTF 188.07	IDA 141.60	EU Institutions 78.81	GFATM 66.10	AfDF 49.67	81.41	605.67
2019年	IDA 157.31	AfDF 87.89	GFATM 68.90	IMF-CTF 46.76	GAVI 43.83	84.94	489.63
2020年	IMF-CTF 1,027.95	IDA 396.91	AfDF 132.20	EU Institutions 129.39	GFATM 69.44	93.72	1,849.59

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	65.30億円	
		<ul style="list-style-type: none"> ・草の根・人間の安全保障無償 (5件) (0.49) ・人材育成奨学計画 (4件) (2.47) ・栄養改善のための持続可能なシステムを通じたユニバーサル・「栄養」・ヘルス・カバレッジ計画(WFP連携) (4.99) ・保健・栄養・医療のためのデジタルソリューション計画(UNIDO連携) (5.00) ・米バリューチェーンの収穫後の過程における付加価値向上のための技術向上及び品質管理体制構築計画(UNIDO連携) (4.02) ・新型コロナウイルス感染症危機対応緊急支援計画 (2.17) ・第二次国道八号線改修計画 (19.56) ・第二次テマ交差点改良計画 (22.97) ・第二次国道八号線改修計画 (3.63) 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス影響下における救急サービス強化プロジェクト [21.10～22.12] ・ガーナ国国境衛生管理能力強化プロジェクト [21.12～22.03] ・稲作生産性向上プロジェクト [22.03～27.02]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[7] カーボベルデ

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
56万人	3,330ドル	7%	20.60億ドル	低中所得国	iii / 低中所得国

出典) WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対カーボベルデ援助形態実績(年度別)

(単位: 億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	3.60	0.08
2018年度	-	0.08	0.12
2019年度	-	6.60	0.08
2020年度	-	5.60	0.02
2021年度	-	5.60	0.37

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対カーボベルデ援助形態実績(累計)

(単位: 億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	259.46	186.92	25.01

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対カーボベルデ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	5.64	1.94	0.54	8.12
2018年	8.58	3.94	0.08	12.59
2019年	2.17	6.25	0.10	8.53
2020年	1.63	0.09	0.03	1.76
2021年	2.43	5.15	0.06	7.64
累計	105.69	153.19	24.61	283.49

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対カーボベルデ経済協力実績

(支出総額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	ポルトガル 33.95	米国 18.93	ルクセンブルク 10.86	日本 10.13	フランス 5.67	81.71	10.13
2017年	フランス 27.53	ポルトガル 26.95	米国 24.90	ルクセンブルク 10.16	日本 8.12	100.18	8.12
2018年	ポルトガル 21.28	ルクセンブルク 14.73	日本 13.82	フランス 5.29	米国 4.01	63.00	13.82
2019年	ポルトガル 22.49	ルクセンブルク 17.13	日本 9.77	ベルギー 5.47	フランス 4.46	66.36	9.77
2020年	ルクセンブルク 14.85	ポルトガル 14.60	フランス 4.56	日本 2.39	オーストリア 1.05	41.61	2.39

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対カーボベルデ経済協力実績

(支出総額ベース、単位: 百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	EU Institutions 38.82	IDA 2.16	AfDF 1.87	IFAD 1.47	GEF 1.43	5.48	51.24
2017年	EU Institutions 33.92	IFAD 2.02	UNICEF 1.70	GFATM 1.19	IDA 1.02	4.21	44.07
2018年	EU Institutions 13.24	IDA 7.56	IFAD 2.57	AfDF 2.42	GFATM 1.47	6.28	33.55
2019年	IDA 66.67	EU Institutions 33.58	IFAD 2.36	OPEC Fund 2.14	UNICEF 1.07	6.34	112.15
2020年	IDA 61.17	EU Institutions 34.80	IMF-CTF 33.01	GFATM 1.62	GEF 1.31	4.87	136.78

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	5.60億円	
		・草の根・人間の安全保障無償 (1件) (0.10)	・ハイブリッド発電システム導入プロジェクト [21.05～23.03]
		・経済社会開発計画 (1件) (3.00)	
		・食糧援助 (2.50)	

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[8] ガボン

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
228万人	7,100ドル	1.5%	77.22億ドル	高中所得国	iii / 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ガボン援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	0.47	4.24
2018年度	-	0.40	3.24
2019年度	-	1.38	4.30
2020年度	-	3.45	1.34
2021年度	-	0.55	3.99

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ガボン援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	54.18	67.16

注) 1. 累計金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ガボン援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-0.88	0.42	3.16	2.69
2018年	-0.94	0.25	3.83	3.13
2019年	-0.49	1.81 (1.34)	3.77	5.08
2020年	-	0.41 (0.14)	1.87	2.28
2021年	-	3.80 (0.65)	2.35	6.15
累計	-19.40	55.88 (2.18)	68.67	105.14

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ガボン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	フランス 31.18	米国 4.37	日本 4.34	ドイツ 0.95	韓国 0.30	42.18	4.34
2017年	フランス 112.97	米国 5.29	日本 3.58	ドイツ 0.75	カナダ 0.29	123.34	3.58
2018年	フランス 125.11	日本 4.07	米国 2.23	ドイツ 0.68	カナダ 0.26	133.04	4.07
2019年	フランス 142.48	日本 5.58	ドイツ 0.65	スペイン 0.58	ポルトガル 0.49	151.71	5.58
2020年	フランス 55.41	日本 2.28	米国 1.30	韓国 1.24	ドイツ 0.65	61.93	2.28

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ガボン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	EU Institutions 9.20	GEF 2.27	WHO 1.56	GFATM 1.23	UNICEF 0.90	2.04	17.19
2017年	EU Institutions 11.77	AfDB 2.29	WHO 1.35	UNICEF 1.09	UNFPA 0.48	1.75	18.73
2018年	EU Institutions 4.49	AfDB 3.55	GFATM 1.53	WHO 1.38	UNICEF 0.86	2.10	13.90
2019年	EU Institutions 3.06	WHO 1.11	UNFPA 1.10	AfDB 1.02	UNICEF 0.89	2.69	9.86
2020年	EU Institutions 5.47	WHO 1.55	UNFPA 1.15	UNICEF 1.02	UNDP 1.01	2.60	12.81

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	0.55億円 ・草の根・人間の安全保障無償 (5件) (0.55)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[9] カメルーン

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
2,722万人	1,590ドル	3.5%	160.03億ドル	低中所得国	iii/ 低中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対カメルーン援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	58.94	17.17	6.82
2018年度	-	3.17	9.89
2019年度	-	5.32	6.28
2020年度	-	9.20	6.03
2021年度	-	6.22	7.41

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対カメルーン援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	292.25	313.78	131.19

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対カメルーン援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	12.76	7.80 (7.69)	8.64	29.19
2018年	12.94	4.06 (3.32)	5.26	22.26
2019年	16.87	8.02 (7.65)	8.99	33.88
2020年	10.42	10.90 (6.55)	3.57	24.89
2021年	11.36	16.48 (11.60)	6.19	34.03
累計	108.69	410.51 (89.76)	127.35	646.56

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対カメルーン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	フランス 266.58	ドイツ 88.53	米国 79.29	日本 23.72	韓国 11.25	504.76	23.72
2017年	フランス 312.41	ドイツ 104.71	米国 88.65	日本 29.19	韓国 25.57	600.61	29.19
2018年	フランス 366.79	米国 113.56	ドイツ 113.53	日本 22.26	カナダ 14.17	688.27	22.26
2019年	フランス 419.43	ドイツ 113.79	米国 91.56	日本 35.12	英国 14.30	734.43	35.12
2020年	米国 202.09	フランス 163.18	ドイツ 119.30	日本 25.52	英国 19.37	593.20	25.52

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対カメルーン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	IDA 131.30	EU Institutions 78.29	AfDF 43.24	GFATM 34.99	UNICEF 11.55	38.48	337.85
2017年	IMF-CTF 287.01	IDA 135.36	EU Institutions 86.14	GFATM 77.45	AfDF 61.64	65.71	713.29
2018年	IMF-CTF 156.30	IDA 137.15	EU Institutions 74.69	GFATM 61.17	AfDF 52.44	87.64	569.40
2019年	IDA 320.70	EU Institutions 96.48	IMF-CTF 74.86	GFATM 72.78	AfDF 32.41	85.07	682.29
2020年	IMF-CTF 461.32	IDA 109.24	EU Institutions 102.40	GFATM 68.36	OPEC Fund 33.19	116.39	890.90

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	6.22億円 ・草の根・人間の安全 保障無償 (2件) (0.17) ・食糧援助(WFP連携) (2.00) ・チャド湖流域地域の安定化に 向けたインフラ整備計画(UND P連携) (2.60) ・カメルーン・ラジオ・テレビ局テ レビ番組制作機材整備計画 (1.45)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[10] ガンビア

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
249万人	800ドル	5.6%	10.74億ドル	後発開発途上国	i / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ガンビア援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	2.48	0.70
2018年度	-	2.49	1.16
2019年度	-	2.56	1.24
2020年度	-	18.41	0.28
2021年度	-	2.59	0.23

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ガンビア援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	199.42	33.06

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ガンビア援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	-	0.41	0.41
2018年	-	2.24	1.22	3.47
2019年	-	3.28 (1.00)	0.96	4.24
2020年	-	2.73 (0.33)	0.39	3.12
2021年	-	5.64 (2.59)	0.24	5.89
累計	-	162.52 (10.95)	29.43	191.95

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ガンビア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	英国 14.58	米国 2.42	日本 1.78	スペイン 0.48	スウェーデン 0.44	21.93	1.78
2017年	英国 19.98	米国 18.69	スペイン 3.24	ドイツ 1.36	スウェーデン 0.57	45.83	0.41
2018年	英国 21.52	フランス 5.97	イタリア 4.76	日本 3.47	ドイツ 3.01	47.31	3.47
2019年	英国 22.11	米国 5.59	日本 4.24	フランス 2.95	ドイツ 1.57	41.57	4.24
2020年	英国 25.80	日本 3.12	ドイツ 2.80	米国 2.71	スペイン 1.44	41.04	3.12

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ガンビア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	IDA 18.69	AfDF 15.69	GFATM 10.18	Isl.Dev Bank 7.04	EU Institutions 6.74	20.74	79.09
2017年	IDA 85.78	EU Institutions 49.91	OPEC Fund 21.34	GFATM 19.90	IMF-CTF 16.17	52.86	245.94
2018年	EU Institutions 50.34	IDA 33.96	AfDF 27.35	GFATM 11.60	OPEC Fund 10.43	30.60	164.28
2019年	EU Institutions 53.84	AfDF 32.87	IDA 15.31	IFAD 7.70	GFATM 7.52	33.05	150.30
2020年	IDA 83.50	EU Institutions 62.77	IMF-CTF 34.47	AfDF 24.91	GFATM 10.31	38.19	254.15

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	2.59億円 ・草の根・人間の安全 保障無償 (1件) (0.09) ・食糧援助 (2.50)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[11] ギニア

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
1,350万人	1,010ドル	3.1%	47.02億ドル	後発開発途上国	i / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ギニア援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	38.53	3.57
2018年度	-	5.69	3.12
2019年度	-	5.63	2.00
2020年度	-	12.29	2.98
2021年度	-	13.73	2.30

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ギニア援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	160.08	631.03	93.23

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ギニア援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	26.65 (7.78)	3.42	30.08
2018年	-	14.75 (6.72)	3.23	17.98
2019年	-	14.30 (3.00)	2.04	16.34
2020年	-	11.67 (1.63)	1.29	12.96
2021年	-	6.68 (2.22)	3.15	9.84
累計	-13.52	702.51 (79.17)	83.79	772.79

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ギニア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	米国 126.09	フランス 51.51	ドイツ 23.25	イタリア 21.41	日本 18.06	255.92	18.06
2017年	米国 75.10	フランス 58.86	日本 30.08	ドイツ 12.18	スペイン 5.69	194.78	30.08
2018年	米国 82.52	フランス 64.95	ドイツ 18.56	日本 17.98	スペイン 16.05	216.89	17.98
2019年	フランス 63.94	米国 62.87	ドイツ 17.82	日本 16.34	スペイン 11.24	188.85	16.34
2020年	フランス 59.49	米国 43.33	日本 12.96	ドイツ 11.61	ベルギー 9.55	151.86	12.96

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ギニア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	EU Institutions 77.48	IDA 74.23	GFATM 52.24	IMF-CTF 51.04	AfDF 21.38	46.62	322.99
2017年	EU Institutions 82.18	IDA 61.44	AfDF 31.04	GFATM 29.23	IMF-CTF 23.86	55.79	283.53
2018年	IDA 139.11	EU Institutions 105.61	IMF-CTF 48.74	GFATM 28.69	AfDF 23.36	78.64	424.15
2019年	IDA 165.22	EU Institutions 81.49	GFATM 48.19	AfDF 32.07	UNICEF 14.63	48.46	390.06
2020年	IMF-CTF 266.71	IDA 164.03	AfDF 49.11	EU Institutions 48.08	GFATM 30.11	62.39	620.41

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	13.73億円 ・草の根・人間の安全保障無償 (4件) (0.42) ・国立公衆衛生研究所建設計画 (8.45) ・国道三号線スンバ橋架け替え計画 (4.86)	・海岸ギニアにおける国産米の生産・販売促進プロジェクト [21.06～25.05]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附带プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[12] ギニアビサウ

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
202万人	780ドル	3.8%	11.12億ドル	後発開発途上国	i / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ギニアビサウ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	2.70	0.50
2018年度	-	3.60	0.27
2019年度	-	3.40	0.18
2020年度	-	5.19	0.06
2021年度	-	2.00	0.13

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ギニアビサウ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	183.58	9.94

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ギニアビサウ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	2.41 (2.41)	0.41	2.82
2018年	-	0.18 -	0.23	0.41
2019年	-	4.95 (4.95)	0.19	5.14
2020年	-	5.27 (5.27)	0.05	5.32
2021年	-	5.96 (5.96)	0.07	6.03
累計	-	151.40 (52.57)	9.63	161.03

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ギニアビサウ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	イタリア 101.89	ポルトガル 12.97	米国 8.69	ドイツ 2.88	スペイン 1.31	131.56	1.28
2017年	米国 10.69	ポルトガル 10.64	日本 2.82	イタリア 1.37	スペイン 1.13	29.26	2.82
2018年	ポルトガル 12.90	米国 3.46	スペイン 3.12	イタリア 1.98	フランス 1.05	24.75	0.41
2019年	ポルトガル 18.73	日本 5.14	スペイン 1.95	フランス 1.89	イタリア 1.05	31.16	5.14
2020年	ポルトガル 17.25	日本 5.32	米国 4.92	スペイン 2.04	カナダ 1.02	34.10	5.32

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ギニアビサウ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	EU Institutions 23.24	GFATM 15.14	IDA 8.90	IMF-CTF 7.11	UNICEF 3.32	11.16	68.86
2017年	EU Institutions 23.64	IDA 17.38	GFATM 13.19	IMF-CTF 8.40	AfDF 8.20	17.03	87.84
2018年	IDA 54.71	EU Institutions 27.38	GFATM 16.49	AfDF 7.56	IFAD 5.16	21.33	132.64
2019年	EU Institutions 28.19	IDA 27.63	GFATM 9.79	AfDF 6.42	UNDP 3.80	15.87	91.68
2020年	IDA 41.94	GFATM 24.20	EU Institutions 15.67	Isl.Dev Bank 9.31	AfDF 7.03	22.26	120.43

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	2.00億円 ・食糧援助(WFP連携) (2.00)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[13] ケニア

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
5,499万人	2,010ドル	7.5%	412.01億ドル	低所得国	iii/ 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ケニア援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	225.43	37.29	32.93
2018年度	-	9.72	36.90
2019年度	848.90	65.69	46.18
2020年度	80.00	26.70	21.40
2021年度	-	3.79	50.71

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ケニア援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	4,910.09	1,415.79	1,410.30

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ケニア援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	26.60	17.39 (6.28)	36.75	80.73
2018年	79.02	28.55 (5.75)	30.42	137.99
2019年	166.17	19.02 (8.07)	28.71	213.90
2020年	67.99	30.63 (19.68)	40.48	139.10
2021年	186.01	18.94 (12.01)	23.57	228.52
累計	1,387.84	1,293.31 (292.97)	1,221.89	3,903.04

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ケニア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	米国 810.60	英国 181.00	日本 164.95	フランス 88.18	ドイツ 86.45	1,592.29	164.95
2017年	米国 861.38	英国 199.25	日本 162.69	ドイツ 125.21	フランス 78.13	1,702.18	162.69
2018年	米国 834.70	日本 224.12	英国 157.17	フランス 115.12	ドイツ 96.95	1,710.74	224.12
2019年	米国 688.52	日本 290.08	英国 172.18	フランス 129.07	ドイツ 91.60	1,629.20	290.08
2020年	米国 683.84	フランス 241.65	日本 221.72	英国 118.04	ドイツ 104.70	1,626.84	221.72

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ケニア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	IDA 448.53	AfDF 198.19	EU Institutions 152.97	GFATM 106.39	GAVI 30.58	55.69	992.34
2017年	IDA 576.73	AfDF 199.02	EU Institutions 169.46	GFATM 168.63	GAVI 32.29	85.30	1,231.42
2018年	IDA 762.04	AfDF 189.33	EU Institutions 109.90	GFATM 86.85	GAVI 24.30	67.33	1,239.74
2019年	IDA 1,494.50	GFATM 114.25	EU Institutions 98.51	AfDF 88.51	GAVI 36.26	83.23	1,915.27
2020年	IDA 1,716.91	IMF-CTF 756.06	EU Institutions 158.01	GFATM 124.03	AfDF 61.03	92.05	2,908.10

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	3.79億円	
		<ul style="list-style-type: none"> ・草の根・人間の安全保障無償 (6件) (0.73) ・日本NGO連携無償 (2件) (1.52) ・人材育成奨学計画 (2件) (1.17) ・ナクル市及びその周辺並びにモンバサ市周辺配電設備整備計画 (0.37) 	<ul style="list-style-type: none"> ・送電系統技術能力向上プロジェクト [21.05～24.05] ・持続的森林管理・景観回復による森林セクター強化及びコミュニティの気候変動レジリエンスプロジェクト [22.02～27.01] ・乾燥・半乾燥地域における気候変動適応力強化を通じた食と栄養改善プロジェクト [22.03～27.03] ・ケニア中央医学研究所研究能力強化プロジェクト [22.03～25.03] ・カウンティ保健サービス管理におけるアカウンタビリティ強化プロジェクト [22.03～27.03] ・ナイロビ首都圏公共バス運営改善プロジェクト [22.03～25.02] ・地熱発電事業における蒸気供給管理能力向上プロジェクト [22.03～25.02]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[14] コートジボワール

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
2,705万人	2,450ドル	7.0%	297.52億ドル	低中所得国	iii / 低中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対コートジボワール援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	29.13	17.94
2018年度	161.37	30.61	20.14
2019年度	-	7.84	6.75
2020年度	-	32.86	5.90
2021年度	-	44.72	12.71

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対コートジボワール援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	392.06	696.06	227.36

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対コートジボワール援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	22.44 (1.05)	15.98	38.43
2018年	-	11.90 (3.48)	12.74	24.64
2019年	14.22	25.55 (2.21)	13.08	52.85
2020年	34.33	25.21 (7.01)	5.97	65.51
2021年	23.86	2.73 (1.88)	7.67	34.26
累計	28.10	785.39 (88.80)	213.09	1,026.58

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対コートジボワール経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	フランス 295.47	米国 146.11	日本 22.55	ドイツ 14.44	韓国 6.02	496.51	22.55
2017年	フランス 297.08	米国 156.71	スペイン 120.13	ドイツ 58.20	日本 38.43	688.70	38.43
2018年	フランス 384.99	米国 184.89	日本 24.64	カナダ 15.76	ドイツ 15.61	648.72	24.64
2019年	フランス 421.30	ドイツ 123.30	米国 76.33	日本 52.85	韓国 10.27	710.02	52.85
2020年	フランス 312.68	米国 196.30	ドイツ 81.08	日本 65.51	カナダ 13.34	687.67	65.51

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対コートジボワール経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	IDA 181.36	EU Institutions 109.86	GFATM 89.44	IMF-CTF 32.29	AfDF 25.85	44.38	483.19
2017年	IDA 230.98	EU Institutions 102.31	AfDF 96.81	IMF-CTF 89.46	GFATM 68.38	80.37	668.32
2018年	IDA 241.74	EU Institutions 103.46	IMF-CTF 91.35	GFATM 53.53	AfDF 29.69	74.26	594.03
2019年	IDA 241.23	EU Institutions 102.04	GFATM 81.44	IMF-CTF 45.76	AfDF 41.92	66.31	578.72
2020年	IMF-CTF 391.85	IDA 351.33	EU Institutions 123.86	GFATM 78.52	AfDF 40.27	77.82	1,063.65

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	44.72億円	
		・草の根・人間の安全保障無償 (7件) (0.63) ・第二次日本・コートジボワール友好交差点改善計画 (23.95) ・大アビジャン圏母子保健サービス改善のためのココディ大学病院整備計画 (20.14)	・大アビジャン圏都市開発マスタープラン実施促進プロジェクト [21.06～24.06] ・養殖魚バリューチェーン開発を通じた内水面養殖再興計画プロジェクト [21.11～27.04]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[15] コモロ

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
89万人	1,460ドル	2.3%	3.37億ドル	後発開発途上国	iii / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対コモロ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	0.08	0.39
2018年度	-	8.55	0.42
2019年度	-	5.17	0.22
2020年度	-	3.00	0.08
2021年度	-	2.00	0.10

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対コモロ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	99.72	14.39

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対コモロ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	1.78	0.33	2.12
2018年	-	4.57 (1.67)	0.42	4.99
2019年	-	3.36	0.21	3.57
2020年	-	5.59 (0.81)	0.11	5.70
2021年	-	0.90 (0.90)	0.10	1.00
累計	-	76.67 (3.37)	12.88	89.55

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対コモロ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	フランス 20.39	米国 1.03	日本 0.29	ベルギー 0.13	-	22.02	0.29
	-	-	-	韓国 0.13	-	-	-
2017年	フランス 21.42	日本 2.12	米国 1.43	オーストラリア 0.23	カナダ 0.16	25.60	2.12
2018年	フランス 19.81	日本 4.99	米国 1.26	韓国 0.21	カナダ 0.19	26.83	4.99
2019年	フランス 21.29	日本 3.57	米国 1.62	カナダ 0.27	英国 0.16	27.14	3.57
2020年	フランス 27.01	日本 5.70	米国 0.87	カナダ 0.42	韓国 0.29	34.53	5.70

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対コモロ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	EU Institutions 8.69	IDA 5.91	GFATM 5.16	GEF 3.14	AfDF 2.91	8.08	33.88
2017年	IDA 16.79	EU Institutions 9.03	GEF 4.30	AfDF 2.63	UNDP 2.10	8.03	42.88
2018年	EU Institutions 12.00	IDA 9.46	AfDF 7.86	GFATM 4.86	GEF 4.22	9.31	47.71
2019年	AfDF 12.27	IDA 5.94	GEF 5.49	EU Institutions 5.04	GFATM 3.07	10.99	42.79
2020年	IDA 37.15	AfDF 19.90	IMF-CTF 6.53	GEF 4.18	UNDP 3.17	14.28	85.20

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	2.00億円 (2.00) ・食糧援助	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[16] コンゴ共和国

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
566万人	1,630ドル	-3.5%	69.66億ドル	低所得国	iii/ 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対コンゴ共和国援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	0.10	1.20
2018年度	-	2.10	0.70
2019年度	-	2.09	0.88
2020年度	-	4.60	0.07
2021年度	-	3.00	0.75

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対コンゴ共和国援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	74.27	13.98

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対コンゴ共和国援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	2.72 (0.93)	0.46	3.17
2018年	-	1.90 (1.81)	0.88	2.78
2019年	-	2.24 (2.15)	0.90	3.14
2020年	-	3.87 (1.92)	0.35	4.22
2021年	-	8.34 (4.15)	0.44	8.78
累計	-	70.75 (53.28)	15.53	86.28

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対コンゴ共和国経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	フランス 44.16	米国 4.23	日本 3.82	ベルギー 1.21	イタリア 0.65	55.74	3.82
2017年	フランス 55.71	日本 3.17	米国 2.43	英国 2.38	スペイン 1.00	67.50	3.17
2018年	フランス 57.68	米国 9.77	日本 2.78	英国 2.39	スペイン 0.71	75.83	2.78
2019年	フランス 85.00	米国 10.87	英国 7.06	日本 3.14	デンマーク 2.25	111.26	3.14
2020年	フランス 71.50	米国 17.89	日本 4.22	英国 1.03	カナダ 0.79	97.93	4.22

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対コンゴ共和国経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	EU Institutions 16.47	IDA 13.19	AfDF 8.95	GFATM 4.59	GAVI 4.35	16.06	63.60
2017年	IDA 20.69	EU Institutions 13.94	GFATM 10.14	AfDF 7.97	UNHCR 6.76	15.40	74.92
2018年	IDA 29.55	EU Institutions 22.94	GFATM 7.03	UNHCR 5.57	CERF 3.98	12.29	81.35
2019年	IDA 34.38	EU Institutions 17.42	GFATM 15.42	AfDF 6.68	UNPBF 4.09	21.12	99.12
2020年	IDA 58.85	EU Institutions 17.46	GFATM 13.75	AfDF 9.71	CIF 9.44	24.70	133.92

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	3.00億円 ・食糧援助(WFP連携) (3.00)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[17] コンゴ民主共和国

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
9,238万人	580ドル	5.7%	102.88億ドル	後発開発途上国	i / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対コンゴ民主共和国援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	33.24	11.32
2018年度	-	29.06	6.82
2019年度	-	18.24	12.10
2020年度	-	8.66	6.28
2021年度	-	4.66	16.84

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対コンゴ民主共和国援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	355.96	792.18	219.28

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対コンゴ民主共和国援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	28.74 (9.20)	11.90	40.63
2018年	-	34.03 (7.38)	9.23	43.27
2019年	-	20.64 (7.65)	6.66	27.29
2020年	-	38.97 (18.18)	6.72	45.69
2021年	-	31.55 (17.15)	10.58	42.13
累計	-479.62	2,081.38 (361.16)	204.34	1,806.10

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対コンゴ民主共和国経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	米国 340.63	英国 174.90	ベルギー 103.10	ドイツ 85.27	フランス 62.94	1,008.61	41.43
2017年	米国 445.66	英国 214.32	ドイツ 141.15	ベルギー 113.86	スウェーデン 67.25	1,226.36	40.63
2018年	米国 476.12	英国 271.72	ドイツ 142.66	ベルギー 128.28	スウェーデン 79.40	1,376.81	43.27
2019年	米国 647.87	英国 235.67	ドイツ 201.99	ベルギー 100.91	スウェーデン 76.51	1,519.26	27.29
2020年	米国 783.79	ドイツ 176.73	英国 174.53	ベルギー 104.46	スウェーデン 75.27	1,589.55	45.69

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対コンゴ民主共和国経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	IDA 350.71	EU Institutions 213.92	GFATM 207.38	AfDB 146.44	AfDF 117.97	200.27	1,236.69
2017年	IDA 340.74	GFATM 225.59	EU Institutions 182.72	AfDF 109.12	AfDB 95.05	279.77	1,232.99
2018年	IDA 483.86	EU Institutions 217.93	GFATM 145.34	AfDF 94.48	AfDB 76.70	272.05	1,290.36
2019年	IDA 465.07	EU Institutions 213.23	GFATM 199.01	GAVI 163.96	AfDF 92.24	328.27	1,461.79
2020年	IDA 470.71	IMF-CTF 405.67	GFATM 217.43	EU Institutions 200.19	AfDF 155.38	489.75	1,939.12

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	4.66億円 ・草の根・人間の安全 保障無償 (6件) (0.66) ・食糧援助 (4.00)	[21.09～ 25.08] ・キンシャサ市都市交通マ スタープラン(PDTK)実施促進プ ロジェクト

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[18] サントメ・プリンシペ

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
22万人	2,280ドル	1.8%	3.06億ドル	後発開発途上国	iii / 低所得国

出典) WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対サントメ・プリンシペ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	0.24	0.27
2018年度	-	4.86	0.27
2019年度	-	3.21	0.18
2020年度	-	4.19	0.01
2021年度	-	2.77	0.02

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対サントメ・プリンシペ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	83.94	8.58

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対サントメ・プリンシペ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	2.31	0.23	2.54
2018年	-	2.63	0.23	2.86
2019年	-	1.93	0.17	2.10
2020年	-	3.00	0.04	3.04
2021年	-	3.81	0.01	3.83
累計	-	72.39 (1.10)	8.25	80.64

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対サントメ・プリンシペ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	ポルトガル 15.53	日本 2.37	フランス 0.47	英国 0.08	米国 0.07	18.58	2.37
2017年	ポルトガル 12.23	日本 2.54	フランス 0.55	カナダ 0.18	英国 0.13	15.72	2.54
2018年	ポルトガル 15.48	日本 2.86	フランス 0.59	英国 0.20	カナダ 0.19	19.41	2.86
2019年	ポルトガル 14.51	日本 2.10	フランス 0.33	カナダ 0.31	英国 0.07	17.44	2.10
	-	-	-	-	米国 0.07	-	-
2020年	ポルトガル 13.91	日本 3.04	フランス 0.82	カナダ 0.36	スウェーデン 0.09	18.41	3.04
	-	-	-	-	米国 0.09	-	-

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対サントメ・プリンシペ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	EU Institutions 6.08	IDA 5.86	GFATM 3.32	GEF 3.30	AfDF 3.24	9.15	30.96
2017年	EU Institutions 7.71	AfDF 4.03	GFATM 3.76	OPEC Fund 2.11	GEF 1.86	9.94	29.40
2018年	IDA 10.67	AfDF 7.80	EU Institutions 4.49	GFATM 2.78	GEF 2.06	7.63	35.42
2019年	IDA 17.04	AfDF 5.52	EU Institutions 4.89	GFATM 1.47	UNICEF 1.23	5.93	36.11
2020年	AfDF 21.09	IDA 19.96	IMF-CTF 17.68	EU Institutions 8.34	GFATM 2.38	7.12	76.56

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	2.77億円 ・草の根・人間の安全保障無償 (3件) (0.27) ・食糧援助 (2.50)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[19] ザンビア

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
1,892万人	1,040ドル	3.6%	240.46億ドル	後発開発途上国	i / 低所得国

出典) WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ザンビア援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	41.18	18.69
2018年度	-	6.54	17.81
2019年度	-	4.57	12.68
2020年度	-	29.97	11.01
2021年度	-	8.04	16.86

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ザンビア援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	464.75	1,211.84	695.32

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ザンビア援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	1.22	5.77 (1.29)	18.36	25.35
2018年	4.63	14.37 (1.00)	15.42	34.43
2019年	6.90	24.50 (1.80)	13.68	45.08
2020年	2.98	7.18 (1.00)	10.00	20.16
2021年	2.65	13.05 (4.92)	10.76	26.46
累計	-263.29	1,793.37 (33.46)	616.51	2,146.59

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ザンビア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	米国 368.45	英国 78.06	スウェーデン 44.44	フランス 41.91	日本 38.95	646.50	38.95
2017年	米国 496.99	英国 68.33	スウェーデン 58.08	ドイツ 32.85	日本 25.35	744.56	25.35
2018年	米国 482.76	スウェーデン 58.73	英国 41.64	ドイツ 39.61	日本 34.43	695.79	34.43
2019年	米国 324.83	英国 65.14	スウェーデン 57.05	日本 46.74	ドイツ 33.52	566.38	46.74
2020年	米国 394.30	ドイツ 57.20	スウェーデン 56.35	英国 52.94	日本 21.00	615.17	21.00

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ザンビア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	EU Institutions 126.89	IDA 93.53	GFATM 86.45	AfDF 34.25	GAVI 18.72	42.84	402.69
2017年	GFATM 127.44	IDA 94.38	EU Institutions 54.20	AfDF 24.06	IFAD 15.16	64.89	380.12
2018年	IDA 141.34	GFATM 98.46	EU Institutions 49.32	AfDF 19.35	GAVI 18.26	72.71	399.42
2019年	IDA 121.15	EU Institutions 97.72	GFATM 91.49	AfDF 35.72	GAVI 23.39	53.41	422.87
2020年	IDA 151.31	GFATM 110.86	EU Institutions 59.04	AfDF 26.79	GAVI 18.74	65.16	431.92

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	8.04億円 <ul style="list-style-type: none"> ・日本NGO連携無償 (2件) (0.79) ・草の根・人間の安全保障無償 (1件) (0.08) ・建設機械操作の技能訓練を通じた若者雇用促進計画(UNIDO連携) (4.17) ・経済社会開発計画 (3.00) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ルサカ郡一次レベル病院運営管理能力強化プロジェクト [21.04～26.05] ・ザンビア国家公衆衛生研究所における新型コロナウイルス対策を含む検査能力向上プロジェクト [21.07～22.09] ・ザンビア大学獣医学部臨床教育強化プロジェクト [21.09～24.09]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[20] シエラレオネ

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
814万人	510ドル	3.1%	24.53億ドル	後発開発途上国	i / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対シエラレオネ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	1.98	4.77
2018年度	-	2.17	5.37
2019年度	-	6.91	6.38
2020年度	-	38.20	1.75
2021年度	-	2.10	10.50

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対シエラレオネ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	20.00	285.83	101.55

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対シエラレオネ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	5.07 (4.90)	5.58	10.65
2018年	-	6.02 (1.51)	3.18	9.20
2019年	-	11.69 (9.62)	6.94	18.63
2020年	-	9.10 (5.26)	2.90	12.00
2021年	-	10.55 (10.49)	5.51	16.06
累計	-36.97	389.39 (86.49)	93.28	445.69

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対シエラレオネ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	英国 227.16	米国 128.59	ドイツ 18.04	日本 13.39	アイルランド 11.91	421.52	13.39
2017年	英国 152.57	米国 83.07	ドイツ 17.22	アイルランド 13.80	日本 10.65	292.14	10.65
2018年	英国 128.38	米国 60.76	ドイツ 25.54	アイルランド 14.38	韓国 12.12	261.26	9.20
2019年	英国 98.72	米国 58.70	ドイツ 23.55	日本 18.63	韓国 17.90	255.69	18.63
2020年	英国 95.31	米国 53.41	ドイツ 30.29	アイルランド 16.67	日本 12.00	228.28	12.00

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対シエラレオネ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	EU Institutions 87.33	IMF-CTF 67.94	GFATM 27.51	IDA 27.13	AfDF 18.39	59.65	287.95
2017年	IDA 67.90	IMF-CTF 54.30	EU Institutions 51.44	GFATM 41.94	AfDF 12.45	49.99	278.03
2018年	EU Institutions 74.19	GFATM 40.91	IDA 30.93	IMF-CTF 22.02	OPEC Fund 15.19	54.01	237.27
2019年	IDA 132.01	EU Institutions 72.89	AfDF 38.25	GFATM 30.80	UNICEF 10.61	41.50	326.07
2020年	IDA 220.15	IMF-CTF 201.74	EU Institutions 111.44	AfDF 46.31	GFATM 28.96	53.27	661.88

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	2.10億円	
		<ul style="list-style-type: none"> ・草の根・人間の安全保障無償 (1件) (0.10) ・食糧援助(WFP連携) (2.00) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワクチンコールドチェーン強化プロジェクト-新型コロナ予防接種支援- [21.05~23.03] ・レジリエンス強化のための能力向上プロジェクト [21.06~25.06] ・新型コロナ感染症流行下におけるオラドゥリング子ども病院に対する緊急支援プロジェクト [21.06~22.03] ・中央子ども病院サービス向上プロジェクト [22.03~26.03] ・高度ディーゼルエンジン・メンテナンス技術プロジェクト [22.03~23.03]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[21] ジブチ

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
100万人	3,300ドル	4.3%	31.91億ドル	後発開発途上国	iii / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ジブチ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	4.84	3.69
2018年度	-	41.79	3.87
2019年度	-	3.65	7.12
2020年度	-	48.84	3.18
2021年度	-	45.08	11.49

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ジブチ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	456.69	87.48

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ジブチ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	13.24 (1.10)	3.68	16.92
2018年	-	6.72 (1.50)	2.66	9.38
2019年	-	37.81 (1.77)	6.53	44.33
2020年	-	9.58 (1.94)	4.34	13.92
2021年	-	9.13 (2.81)	2.69	11.82
累計	-	386.64 (50.63)	75.43	462.07

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ジブチ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	フランス 49.79	日本 9.13	米国 6.75	スウェーデン 1.47	ドイツ 1.14	70.28	9.13
2017年	フランス 44.11	日本 16.92	米国 11.62	カナダ 1.44	スウェーデン 0.93	76.21	16.92
2018年	フランス 47.88	米国 9.62	日本 9.38	スウェーデン 1.37	カナダ 1.24	70.63	9.38
2019年	日本 44.33	フランス 43.21	米国 24.88	カナダ 1.18	イタリア 0.92	117.18	44.33
2020年	フランス 41.42	米国 21.32	イタリア 16.49	日本 13.92	英国 1.47	97.76	13.92

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ジブチ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	AFESD 25.00	EU Institutions 13.17	GFATM 9.01	IDA 8.41	GEF 3.86	15.40	74.84
2017年	EU Institutions 14.69	IDA 14.28	AFESD 11.83	GFATM 5.31	AfDF 4.37	13.46	63.95
2018年	EU Institutions 32.48	AFESD 24.89	IDA 17.28	OPEC Fund 12.09	GFATM 2.67	15.74	105.17
2019年	EU Institutions 37.63	IMF-CTF 27.63	AfDF 18.65	IDA 17.69	AFESD 11.27	29.53	142.41
2020年	IMF-CTF 49.01	AfDF 46.57	IDA 34.51	EU Institutions 31.41	OPEC Fund 12.67	29.99	204.15

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	45.08億円 ・草の根・人間の安全保障無償 (2件) (0.17) ・海上保安能力向上計画 (29.46) ・タジュラ湾海上輸送能力強化計画 (15.45)	・新型コロナウイルス影響下の沿岸警備における感染防止及び緊急時対応能力強化プロジェクト [21.08~22.03]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[22] ジンバブエ

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
1,509万人	1,400ドル	5.8%	137.39億ドル	低所得国	iii/ 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ジンバブエ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	2.97	5.35
2018年度	-	29.63	2.37
2019年度	-	8.89	2.43
2020年度	-	5.89	1.67
2021年度	-	2.02	5.04

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ジンバブエ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	380.65	610.43	206.12

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ジンバブエ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	9.83 (2.46)	5.00	14.84
2018年	-	10.10 (1.09)	2.57	12.68
2019年	-	21.97 (4.97)	1.72	23.69
2020年	-	30.80 (16.21)	1.89	32.69
2021年	-	14.67 (8.64)	2.95	17.62
累計	143.79	571.79 (119.90)	187.24	902.82

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ジンバブエ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	米国 216.53	英国 134.63	ドイツ 36.94	スウェーデン 30.05	日本 15.05	491.06	15.05
2017年	米国 228.31	英国 120.57	スウェーデン 37.62	ドイツ 30.25	日本 14.84	475.38	14.84
2018年	米国 203.14	英国 125.25	ドイツ 45.31	スウェーデン 42.79	日本 12.68	471.23	12.68
2019年	米国 258.04	英国 126.84	スウェーデン 48.74	ドイツ 27.27	日本 23.69	526.27	23.69
2020年	米国 283.94	英国 125.44	スウェーデン 46.79	ドイツ 36.72	日本 32.69	575.58	32.69

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ジンバブエ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	GFATM 144.51	EU Institutions 50.82	WFP 15.57	GAVI 9.53	AfDF 9.33	30.00	259.77
2017年	GFATM 127.06	EU Institutions 61.88	GAVI 16.11	AfDF 13.01	UNICEF 8.82	25.85	252.74
2018年	GFATM 200.92	EU Institutions 65.39	GAVI 11.85	AfDF 11.59	OPEC Fund 8.54	31.66	329.93
2019年	GFATM 141.55	EU Institutions 53.00	GAVI 30.88	IDA 30.76	AfDF 20.94	51.95	329.07
2020年	GFATM 150.15	EU Institutions 116.44	CERF 34.89	GAVI 28.18	AfDF 19.70	65.12	414.48

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	2.02億円 ・日本NGO連携無償 (1件) (0.90) ・草の根・人間の安全保障無償 (6件) (1.12)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附带プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[23] スーダン

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
4,491万人	670ドル	0.1%	221.65億ドル	後発開発途上国	i / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対スーダン援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	20.27	15.27
2018年度	-	17.61	11.74
2019年度	-	1.53	9.82
2020年度	-	33.00	6.84
2021年度	-	3.38	12.82

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対スーダン援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	105.00	1,338.30	277.96

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対スーダン援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	11.34 (4.59)	12.34	23.68
2018年	-	14.88 (6.77)	14.77	29.65
2019年	-	20.14 (10.10)	7.99	28.13
2020年	-	11.22 (10.63)	5.63	16.86
2021年	-	38.59 (16.04)	10.35	48.94
累計	17.02	1,267.45 (589.54)	265.11	1,549.58

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対スーダン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	米国 228.62	英国 92.06	日本 36.82	ドイツ 32.00	スウェーデン 23.94	503.28	36.82
2017年	米国 118.26	英国 81.15	ドイツ 46.86	スウェーデン 26.19	日本 23.68	378.00	23.68
2018年	米国 229.49	英国 119.97	ドイツ 60.77	スウェーデン 38.48	日本 29.65	564.95	29.65
2019年	米国 276.07	英国 118.98	ドイツ 77.14	スウェーデン 42.65	日本 28.13	639.05	28.13
2020年	米国 230.01	ドイツ 179.72	英国 178.59	スウェーデン 66.31	ノルウェー 28.75	807.46	16.86

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対スーダン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	EU Institutions 94.75	GFATM 82.25	AFESD 44.78	GAVI 34.24	IFAD 14.42	26.82	311.68
	-	-	-	-	UNICEF 14.42	-	-
2017年	EU Institutions 112.77	AFESD 57.03	CERF 29.63	GAVI 28.42	GFATM 24.25	63.12	315.23
2018年	EU Institutions 166.65	GAVI 50.01	GFATM 46.57	CERF 20.00	AfDF 12.53	38.47	334.25
2019年	EU Institutions 55.90	GFATM 53.03	GAVI 49.02	AFESD 45.16	CERF 43.37	63.53	309.99
2020年	EU Institutions 104.37	CERF 103.37	IDA 100.64	GFATM 62.48	GAVI 27.33	85.91	484.12

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	4.17億円	
		<ul style="list-style-type: none"> ・ジャパンプラット フォーム(JPF)を通じた人道支援 (2件) (0.79) ・草の根・人間の安全保障無償 (4件) (0.38) ・食糧援助 (3.00) 	<ul style="list-style-type: none"> ・スーダンのきれいな街プロジェクト [21.04～25.04] ・リバーナイル州における市場指向型農業および灌漑スキームの組織とその運営能力強化プロジェクト [21.04～26.04]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附带プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[24] セーシェル

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
9.9万人	13,260ドル	1.8%	-	2018年卒業	iv / 高所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対セーシェル援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	0.09	0.14
2018年度	-	-	0.10
2019年度	-	8.00	0.06
2020年度	-	1.00	0.08
2021年度	-	-	0.07

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対セーシェル援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	64.29	19.66

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対セーシェル援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	5.35	0.13	5.49
2018年	-	7.12 (0.20)	0.10	7.22
2019年	-	0.01	0.08	0.09
2020年	-	8.43	0.06	8.49
2021年	-	-	0.06	0.06
累計	-	46.66	23.29	69.95

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対セーシェル経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	フランス 2.85	日本 0.98	オーストラリア 0.27	英国 0.17	ベルギー 0.16	4.57	0.98
2017年	日本 5.49	フランス 2.30	オーストラリア 1.28	英国 0.44	カナダ 0.16	9.71	5.49
2018年	-	-	-	-	-	-	-
2019年	-	-	-	-	-	-	-
2020年	-	-	-	-	-	-	-

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対セーシェル経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	EU Institutions 7.47	AfDB 1.56	GEF 1.17	Adaptation Fund 1.14	WHO 0.67	0.43	12.44
2017年	EU Institutions 4.43	AfDB 0.59	WHO 0.50	IAEA 0.26	ILO 0.22	0.08	6.08
2018年	-	-	-	-	-	-	-
2019年	-	-	-	-	-	-	-
2020年	-	-	-	-	-	-	-

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	なし	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[25] 赤道ギニア

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
145万人	5,810ドル	-0.9%	-	高中所得国	iii / 高中所得国

出典) WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対赤道ギニア援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	-	0.17
2018年度	-	-	0.18
2019年度	-	0.10	0.12
2020年度	-	0.10	0.04
2021年度	-	0.10	0.02

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対赤道ギニア援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	12.00	3.86

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対赤道ギニア援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	-	0.15	0.15
2018年	-	-	0.17	0.17
2019年	-	-	0.11	0.11
2020年	-	-	0.08	0.08
2021年	-	0.09	0.03	0.12
累計	-	8.35	4.06	12.41

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対赤道ギニア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	フランス 3.07	スペイン 2.18	米国 2.13	韓国 0.18	ポルトガル 0.09	7.85	0.06
2017年	フランス 3.22	米国 2.22	スペイン 1.51	カナダ 0.18	日本 0.15	7.38	0.15
2018年	フランス 2.02	スペイン 2.01	米国 1.22	カナダ 0.19	日本 0.17	5.79	0.17
2019年	フランス 2.00	スペイン 1.95	米国 0.48	カナダ 0.31	韓国 0.13	5.12	0.11
2020年	フランス 2.12	スペイン 1.73	韓国 0.27	カナダ 0.18	米国 0.13	4.64	0.08

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対赤道ギニア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	UNICEF 1.20	GEF 0.70	UNFPA 0.54	WHO 0.52	UNDP 0.34	0.48	3.78
2017年	UNICEF 1.17	WHO 0.69	ILO 0.65	UNFPA 0.51	GEF 0.45	0.88	4.36
2018年	UNICEF 0.98	GCF 0.70	GEF 0.67	EU Institutions 0.53	-	0.79	4.72
	-	-	-	UNFPA 0.53	-	-	-
	-	-	-	WHO 0.53	-	-	-
2019年	IMF-CTF 69.55	UNFPA 1.71	-	WHO 1.42	GEF 0.67	1.93	76.98
	-	UNICEF 1.71	-	-	-	-	-
2020年	UNDP 1.27	UNFPA 1.15	UNICEF 0.86	WHO 0.81	EU Institutions 0.32	0.44	5.16
	-	-	-	-	GEF 0.32	-	-

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	0.10億円 ・草の根・人間の安全 保障無償 (1件) (0.10)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[26] セネガル

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
1,720万人	1,540ドル	6.1%	289.31億ドル	後発開発途上国	iii / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対セネガル援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	60.39	18.35
2018年度	-	14.94	21.69
2019年度	-	21.38	17.28
2020年度	71.69	7.98	13.14
2021年度	-	15.35	25.47

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対セネガル援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	585.92	1,259.52	587.00

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対セネガル援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	74.89	7.43 (0.09)	22.47	104.79
2018年	2.66	4.56 (0.50)	18.21	25.43
2019年	1.19	11.18	16.13	28.50
2020年	2.86	25.40 (2.85)	11.74	40.00
2021年	7.55	17.10 (0.75)	14.86	39.50
累計	72.60	1,108.45 (22.91)	536.66	1,717.71

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対セネガル経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	米国 125.13	フランス 107.22	カナダ 48.26	韓国 36.57	日本 28.04	438.83	28.04
2017年	米国 159.63	フランス 148.70	日本 105.06	カナダ 42.05	韓国 23.31	577.49	105.06
2018年	フランス 246.77	米国 181.45	カナダ 72.00	ドイツ 47.30	日本 25.71	671.26	25.71
2019年	フランス 290.12	米国 177.07	ドイツ 43.53	韓国 36.45	カナダ 29.43	692.42	28.78
2020年	フランス 327.02	ドイツ 171.38	米国 162.19	カナダ 51.66	日本 40.14	859.32	40.14

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対セネガル経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	IDA 137.10	EU Institutions 79.85	AfDF 78.17	GFATM 23.72	GAVI 13.75	40.90	373.49
2017年	IDA 241.47	EU Institutions 51.68	OPEC Fund 43.53	AfDF 27.29	GFATM 20.51	62.09	446.56
2018年	IDA 142.35	EU Institutions 123.34	AfDF 31.63	GFATM 26.04	GAVI 20.62	60.46	404.43
2019年	IDA 626.29	EU Institutions 90.76	AfDF 28.15	GFATM 24.47	GAVI 19.05	55.13	843.83
2020年	IDA 352.88	EU Institutions 216.27	IMF-CTF 150.25	OPEC Fund 37.26	GFATM 24.04	92.71	873.38

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	15.35億円	
		・日本NGO連携無償 (1件) (0.37)	・新型コロナウイルス感染症流行下における遠隔技術を活用した集中治療能力強化プロジェクト [21.10~23.03]
		・草の根・人間の安全保障無償 (1件) (0.09)	
		・経済社会開発計画 (1件) (3.00)	・セネガル南東部及びカザマンスにおける稲作強化プロジェクト [22.01~27.01]
		・草の根文化無償 (1件) (0.09)	
		・食糧援助 (2.50)	・セネガル川流域コメバリューチェーン強化プロジェクト [22.03~27.03]
		・新型コロナウイルス感染症危機対応緊急支援計画 (5.14)	
		・ダカール港第三埠頭改修計画【追加贈与】 (4.16)	

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附带プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[27] ソマリア

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
1,636万人	450ドル	3.3%	48.36億ドル	後発開発途上国	i / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ソマリア援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	-	0.39
2018年度	-	0.10	0.99
2019年度	-	7.00	3.02
2020年度	-	4.40	0.39
2021年度	-	-	1.53

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ソマリア援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	64.70	213.49	16.46

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ソマリア援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	21.17 (21.08)	0.32	21.49
2018年	-	9.30 (9.30)	0.87	10.17
2019年	-	13.19 (13.10)	1.18	14.38
2020年	-	15.89 (10.95)	1.89	17.77
2021年	-	20.89 (20.89)	0.85	21.74
累計	38.70	484.23 (399.44)	11.81	534.73

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ソマリア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	米国 214.58	英国 205.25	ドイツ 82.77	スウェーデン 66.46	ノルウェー 40.52	764.32	21.55
2017年	英国 363.44	米国 332.40	ドイツ 222.86	スウェーデン 85.00	ノルウェー 66.11	1,258.04	21.49
2018年	米国 383.85	英国 258.48	ドイツ 190.39	スウェーデン 107.26	ノルウェー 66.79	1,147.26	10.17
2019年	米国 470.82	英国 227.76	ドイツ 157.98	スウェーデン 88.93	ノルウェー 64.41	1,228.30	14.38
2020年	米国 691.45	フランス 448.32	英国 298.31	ドイツ 204.59	スウェーデン 94.22	2,015.64	17.77

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ソマリア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	EU Institutions 158.63	GFATM 24.08	UNICEF 18.42	WFP 18.01	UNDP 8.48	17.75	245.35
2017年	EU Institutions 260.83	GFATM 37.16	CERF 32.99	UNICEF 19.50	WFP 12.18	50.01	412.70
2018年	EU Institutions 266.71	GFATM 23.65	UNICEF 21.04	CERF 17.27	UNDP 12.07	35.49	376.22
2019年	EU Institutions 165.44	CERF 49.87	IDA 29.87	AfDF 24.78	GAVI 23.67	86.87	380.50
2020年	IDA 570.65	IMF-CTF 303.48	EU Institutions 165.87	AfDF 158.13	GFATM 31.48	70.87	1,300.48

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	なし	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[28] タンザニア

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
6,150万人	1,140ドル	4.3%	284.90億ドル	後発開発途上国	ii / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対タンザニア援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	3.67	22.72
2018年度	-	10.48	24.88
2019年度	-	22.47	21.67
2020年度	-	12.63	12.24
2021年度	351.74	2.86	11.54

注)1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対タンザニア援助形態実績(累計)

(単位:億円)

累計	円借款	無償資金協力	技術協力
	1,152.58	1,852.19	984.23

注)1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対タンザニア援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	31.70	20.68	-	74.21
2018年	32.42	20.95 (0.50)	22.07	75.44
2019年	19.82	15.07 (0.86)	20.03	54.92
2020年	11.15	27.94 (6.38)	12.72	51.82
2021年	16.46	14.89 (1.48)	10.39	41.74
累計	363.36	2,987.00 (47.56)	877.54	4,227.90

注)1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対タンザニア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	米国 501.00	英国 251.98	日本 192.65	スウェーデン 94.29	韓国 64.28	1,465.98	192.65
2017年	米国 600.80	英国 214.61	スウェーデン 137.59	カナダ 90.30	日本 77.09	1,440.64	77.09
2018年	米国 661.56	英国 204.81	スウェーデン 127.11	日本 78.67	韓国 73.27	1,516.73	78.67
2019年	米国 477.44	英国 175.12	カナダ 79.74	スウェーデン 70.78	日本 59.09	1,173.30	59.09
2020年	米国 618.56	英国 123.63	韓国 91.64	スウェーデン 72.90	カナダ 67.62	1,299.76	55.18

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対タンザニア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	IDA 429.72	GFATM 224.84	AfDF 119.48	EU Institutions 101.01	GAVI 34.18	67.98	977.21
2017年	IDA 543.17	GFATM 247.06	AfDF 231.78	EU Institutions 134.11	GAVI 48.23	106.43	1,310.79
2018年	IDA 567.45	EU Institutions 165.15	AfDF 151.78	GFATM 99.76	GAVI 49.84	91.08	1,125.07
2019年	IDA 553.52	GFATM 180.62	AfDF 124.83	EU Institutions 93.83	GAVI 60.76	79.38	1,092.95
2020年	IDA 490.34	GFATM 298.10	AfDF 147.12	EU Institutions 107.20	GAVI 40.17	89.04	1,171.99

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	351.74億円	2.85億円	
	・ザンジバル都市水道配水施設改善計画 (108.64)	・日本NGO連携無償 (1件) (0.84)	・効率的な送配電システムのための能力開発プロジェクト フェーズ2 [22.03～25.03]
	・アルーシャ-ホリリ間道路改修計画 (243.10)	・草の根・人間の安全保障無償 (1件) (0.10)	
		・ダルエスサラーム市交通機能向上計画 (1.91)	

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附带プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[29] チャド

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
1,692万人	650ドル	-1.2%	39.34億ドル	後発開発途上国	i / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対チャド援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	3.00	0.27
2018年度	-	3.00	0.24
2019年度	-	6.00	0.26
2020年度	-	3.00	0.08
2021年度	-	4.48	0.02

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対チャド援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	82.48	10.38

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対チャド援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	10.99 (5.19)	0.23	11.21
2018年	-	5.37 (5.37)	0.22	5.58
2019年	-	5.55 (5.55)	0.21	5.76
2020年	-	7.45 (4.64)	0.10	7.55
2021年	-	9.44 (9.44)	0.04	9.48
累計	-	169.95 (160.78)	11.19	181.15

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対チャド経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	米国 75.78	フランス 35.38	スイス 26.24	ドイツ 18.72	スウェーデン 7.05	180.81	5.08
2017年	フランス 95.57	米国 35.22	スイス 26.57	ドイツ 26.55	イタリア 12.75	231.87	11.21
2018年	フランス 102.98	米国 93.53	ドイツ 39.26	スイス 31.37	カナダ 14.64	311.66	5.58
2019年	フランス 102.95	米国 65.56	ドイツ 41.06	スイス 27.89	カナダ 10.86	278.62	5.76
2020年	米国 88.32	フランス 74.63	ドイツ 39.92	スイス 28.54	カナダ 9.67	276.55	7.55

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対チャド経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	EU Institutions 149.69	IDA 91.40	IMF-CTF 61.73	AfDF 57.28	GFATM 42.41	54.64	457.15
2017年	EU Institutions 131.46	IDA 87.98	AfDF 79.23	IMF-CTF 48.60	GFATM 27.44	63.97	438.67
2018年	EU Institutions 169.41	IMF-CTF 148.87	IDA 125.01	GFATM 31.01	AfDF 28.39	73.64	576.35
2019年	EU Institutions 90.95	IMF-CTF 76.27	IDA 69.66	GFATM 51.84	UNICEF 19.80	85.90	394.41
2020年	IDA 206.55	IMF-CTF 188.30	EU Institutions 165.71	AfDF 72.56	GFATM 28.12	109.94	771.17

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	4.48億円 ・経済社会開発計画 (1件) (1.48) ・予防接種のためのコールド チェーン整備計画 (U N I C E F 連携) (3.00)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[30] 中央アフリカ

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
492万人	530ドル	0.9%	11.15億ドル	後発開発途上国	i / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対中央アフリカ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	3.50	0.04
2018年度	-	5.93	0.08
2019年度	-	3.50	0.11
2020年度	-	5.48	0.03
2021年度	-	1.48	0.02

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対中央アフリカ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	6.00	406.41	28.28

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対中央アフリカ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	10.86 (10.86)	0.03	10.90
2018年	-	6.37 (6.37)	0.07	6.44
2019年	-	5.71 (5.71)	0.10	5.81
2020年	-	10.79 (10.79)	0.05	10.84
2021年	-	6.42 (6.42)	0.03	6.45
累計	-2.01	444.52 (152.63)	24.76	467.27

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対中央アフリカ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	米国 79.65	フランス 32.56	英国 25.53	ドイツ 18.31	スウェーデン 15.86	259.92	15.70
2017年	米国 61.88	ドイツ 48.25	フランス 33.20	英国 17.60	スウェーデン 13.60	251.67	10.90
2018年	米国 56.87	ドイツ 49.45	フランス 42.11	スウェーデン 24.14	英国 19.38	267.83	6.44
2019年	米国 104.13	ドイツ 54.84	フランス 44.60	英国 19.28	スウェーデン 17.95	309.75	5.81
2020年	米国 130.34	ドイツ 49.61	フランス 37.03	英国 25.46	スウェーデン 18.61	321.94	10.84

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対中央アフリカ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	EU Institutions 126.19	IDA 38.22	IMF-CTF 34.82	GFATM 17.60	AfDF 9.52	38.55	264.90
2017年	EU Institutions 94.12	IMF-CTF 55.61	AfDF 29.46	GFATM 29.18	CERF 16.00	53.75	278.12
2018年	EU Institutions 127.62	IDA 98.04	IMF-CTF 64.67	GFATM 25.16	AfDF 15.80	57.14	388.44
2019年	IDA 169.58	EU Institutions 115.50	GFATM 30.60	UNPBF 15.18	GAVI 13.29	46.47	390.61
2020年	IDA 177.19	EU Institutions 151.31	IMF-CTF 63.61	GFATM 30.41	AfDF 20.82	67.40	510.74

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	1.48億円 ・予防接種へのアクセス強化計画(UNICEF連携) (1.48)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[31] トーゴ

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
848万人	980ドル	5.3%	34.67億ドル	後発開発途上国	i / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対トーゴ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	11.54	0.64
2018年度	-	14.28	0.72
2019年度	-	3.15	0.88
2020年度	-	3.08	0.98
2021年度	-	5.99	1.31

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対トーゴ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	93.46	279.28	29.73

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対トーゴ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	16.27	0.39	16.66
2018年	-	26.48	0.63	27.12
2019年	-	17.52 (0.30)	0.80	18.31
2020年	-	4.92 (1.85)	0.93	5.85
2021年	-	3.28 (0.30)	0.76	4.04
累計	-44.04	368.14 (10.21)	30.01	354.11

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対トーゴ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	フランス 25.37	ドイツ 19.71	米国 4.98	日本 3.34	スイス 2.14	63.16	3.34
2017年	ドイツ 25.86	フランス 24.48	日本 16.66	米国 5.07	カナダ 1.83	81.01	16.66
2018年	フランス 32.43	ドイツ 30.43	日本 27.12	米国 4.26	カナダ 1.82	102.98	27.12
2019年	ドイツ 30.47	フランス 24.39	日本 18.31	米国 4.03	カナダ 2.91	90.06	18.31
2020年	ドイツ 41.94	フランス 32.35	日本 5.85	米国 4.49	カナダ 3.62	98.43	5.85

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対トーゴ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	EU Institutions 40.35	IDA 22.94	GFATM 21.30	Isl.Dev Bank 12.85	AfDF 10.33	23.38	131.14
2017年	EU Institutions 80.82	IMF-CTF 69.80	IDA 66.42	GFATM 32.46	GAVI 12.25	38.43	300.19
2018年	IMF-CTF 71.27	IDA 69.82	EU Institutions 45.41	AfDF 20.88	GFATM 17.34	29.87	254.60
2019年	IDA 207.10	EU Institutions 45.71	GFATM 16.04	AfDF 15.63	GAVI 9.17	27.71	321.37
2020年	IDA 149.00	IMF-CTF 143.02	EU Institutions 57.64	AfDF 46.77	GFATM 34.03	43.29	473.75

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	5.99億円 ・草の根・人間の安全保障無償 (2件) (0.19) ・日本NGO連携無償 (1件) (0.81) ・経済社会開発計画 (1件) (1.00) ・食糧援助 (4.00)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[32] ナイジェリア

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
2.11億人	2,100ドル	3.6%	762.15億ドル	低所得国	iii/ 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ナイジェリア援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	2.50	7.28
2018年度	-	5.67	10.81
2019年度	-	39.62	5.02
2020年度	-	20.11	4.20
2021年度	-	12.11	9.33

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ナイジェリア援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	633.97	594.03	233.87

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ナイジェリア援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-0.11	13.38 (4.84)	9.67	22.94
2018年	-	7.77 (1.95)	5.47	13.25
2019年	-	6.97 (5.52)	8.20	15.17
2020年	-5.34	9.43 (8.39)	4.11	8.20
2021年	-5.20	24.42 (14.27)	6.49	25.71
累計	-124.53	2,591.91 (113.09)	222.85	2,690.23

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ナイジェリア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	米国 530.19	英国 431.96	ドイツ 72.30	フランス 58.98	カナダ 35.04	1,228.81	16.00
2017年	米国 729.22	英国 419.19	ドイツ 290.39	フランス 77.04	カナダ 56.47	1,743.35	23.06
2018年	米国 845.80	英国 397.54	ドイツ 240.10	フランス 89.35	カナダ 45.14	1,734.61	13.25
2019年	米国 654.80	英国 328.41	ドイツ 163.39	フランス 50.98	カナダ 41.95	1,361.92	15.17
2020年	米国 932.87	英国 309.42	フランス 203.83	ドイツ 123.61	カナダ 40.06	1,719.14	13.54

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ナイジェリア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	IDA 787.56	GFATM 193.66	EU Institutions 156.50	GAVI 128.42	UNICEF 57.93	109.79	1,433.87
2017年	IDA 820.61	GFATM 287.36	EU Institutions 278.17	GAVI 121.98	UNICEF 55.19	160.21	1,723.53
2018年	IDA 951.80	EU Institutions 300.98	GFATM 194.00	GAVI 89.38	AfDF 71.36	122.48	1,730.00
2019年	IDA 1,332.70	GFATM 215.67	GAVI 188.98	EU Institutions 186.61	AfDF 75.85	117.60	2,117.41
2020年	IDA 1,212.18	GFATM 266.27	EU Institutions 172.44	GAVI 157.47	UNICEF 41.73	108.54	1,958.63

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	12.11億円 ・草の根・人間の安全保障無償 (2件) (0.20) ・経済社会開発計画 (1件) (3.00) ・循環型経済の実践を通じた持続可能なプラスチックのリユース促進計画 (U N I D O連携) (3.19) ・ラゴス変電設備緊急復旧・増強計画 (5.72)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[33] ナミビア

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
259万人	4,550ドル	2.4%	—	高中所得国	iii/ 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ナミビア援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	0.46	2.74
2018年度	-	0.53	2.38
2019年度	-	0.71	1.67
2020年度	-	9.50	1.34
2021年度	-	0.50	2.36

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ナミビア援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	100.91	79.05	63.77

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ナミビア援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-8.37	0.68	3.09	-4.60
2018年	-8.50	0.35	1.60	-6.55
2019年	-8.61	1.73 (1.00)	2.05	-4.82
2020年	-8.79	1.34 (0.93)	1.31	-6.14
2021年	-8.55	11.01 (2.36)	1.54	4.00
累計	14.85	78.23 (6.58)	70.83	163.91

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ナミビア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	ドイツ 85.86	米国 57.82	日本 2.99	フィンランド 2.80	スウェーデン 1.09	154.16	2.99
2017年	米国 58.65	ドイツ 53.47	フランス 33.69	日本 3.77	フィンランド 2.40	156.53	3.77
2018年	米国 66.64	ドイツ 65.40	日本 1.95	フィンランド 1.58	スウェーデン 1.02	140.51	1.95
2019年	ドイツ 93.46	米国 33.80	日本 3.78	英国 1.44	フランス 1.43	138.60	3.78
2020年	米国 83.21	ドイツ 57.41	フランス 17.65	日本 2.66	英国 1.73	167.33	2.66

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ナミビア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	GFATM 24.85	EU Institutions 16.30	GEF 3.10	UNICEF 1.27	WHO 1.23	3.35	50.10
2017年	GFATM 47.74	EU Institutions 5.42	Adaptation Fund 4.12	GCF 3.76	GEF 2.55	6.00	69.60
2018年	EU Institutions 19.11	GFATM 18.59	GCF 7.52	Adaptation Fund 4.12	GEF 1.87	6.30	57.51
2019年	EU Institutions 17.55	GFATM 12.74	GCF 7.43	GEF 2.22	ILO 1.43	6.13	47.51
2020年	EU Institutions 20.69	GFATM 11.09	GEF 3.82	GCF 3.79	CERF 3.00	6.65	49.03

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	0.50億円 ・草の根・人間の安全保 障無償 (7件) (0.50)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[34] ニジェール

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
2,513万人	590ドル	1.4%	49.84億ドル	後発開発途上国	i / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ニジェール援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	5.18	2.53
2018年度	-	5.16	3.99
2019年度	-	18.24	1.90
2020年度	-	8.00	3.65
2021年度	-	4.10	7.51

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ニジェール援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	32.00	617.00	229.03

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ニジェール援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	12.63 (9.61)	1.92	14.55
2018年	-	8.85 (4.10)	3.51	12.36
2019年	-	11.51 (4.08)	1.88	13.39
2020年	-	9.14 (1.25)	2.04	11.18
2021年	-	14.96 (12.05)	7.10	22.06
累計	-28.61	603.68 (120.14)	221.68	796.75

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ニジェール経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	米国 106.15	フランス 76.13	ドイツ 42.44	スイス 31.96	ルクセンブルク 24.04	376.76	10.74
2017年	イタリア 79.17	米国 77.22	フランス 68.37	ドイツ 38.32	スイス 34.08	431.35	14.55
2018年	米国 159.33	ドイツ 103.14	フランス 53.28	ルクセンブルク 43.89	スイス 30.47	532.74	12.36
2019年	米国 159.36	ドイツ 102.15	フランス 86.71	ルクセンブルク 42.62	スイス 32.91	555.93	13.39
2020年	米国 212.52	ドイツ 142.95	フランス 105.76	ルクセンブルク 34.13	スイス 34.04	699.61	11.18

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ニジェール経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	EU Institutions 231.03	IDA 205.88	GAVI 23.32	GFATM 22.00	UNICEF 20.29	101.25	603.75
2017年	IDA 318.20	EU Institutions 241.34	IMF-CTF 39.10	GFATM 38.15	AfDF 28.66	149.99	815.43
2018年	IDA 285.98	EU Institutions 239.20	AfDF 73.54	GFATM 42.33	IMF-CTF 39.93	111.05	792.03
2019年	IDA 508.79	EU Institutions 173.09	AfDF 63.94	GAVI 36.58	GFATM 35.77	95.68	913.85
2020年	IDA 514.69	EU Institutions 237.36	IMF-CTF 171.52	AfDF 120.18	GFATM 53.15	167.17	1,264.07

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	4.10億円 ・草の根・人間の安全保障無償 (1件) (0.10) ・食糧援助 (4.00)	・みんなの学校:コミュニティ協働による基礎教育の質及び男女間公平性の改善 [21.07~25.06]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[35] ブルキナファソ

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
2,150万人	860ドル	6.9%	102.97億ドル	後発開発途上国	i / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ブルキナファソ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	56.59	23.18	8.90
2018年度	-	26.79	6.01
2019年度	-	28.99	5.42
2020年度	-	40.49	5.08
2021年度	-	7.07	8.30

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ブルキナファソ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	56.59	584.88	207.73

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ブルキナファソ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	8.87 (4.20)	10.50	19.37
2018年	-	9.48 (1.00)	6.34	15.82
2019年	-	20.78 (5.70)	6.01	26.78
2020年	9.78	39.73 (9.49)	3.69	53.20
2021年	-	57.91 (28.13)	5.94	63.85
累計	9.78	549.09 (80.82)	201.23	760.10

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ブルキナファソ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	フランス 79.87	米国 62.53	デンマーク 47.58	ドイツ 43.60	スイス 36.98	382.92	30.25
2017年	フランス 108.87	米国 72.61	ドイツ 41.01	スイス 34.62	デンマーク 33.41	434.24	19.37
2018年	フランス 106.38	米国 65.16	ドイツ 54.39	カナダ 43.94	デンマーク 39.57	463.83	15.82
2019年	フランス 121.29	米国 101.26	ドイツ 77.73	スウェーデン 48.98	カナダ 39.71	569.19	26.78
2020年	フランス 164.21	米国 121.36	ドイツ 93.44	日本 53.20	スイス 51.01	722.64	53.20

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ブルキナファソ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	IDA 339.20	EU Institutions 157.86	GFATM 49.73	AfDF 46.11	IMF-CTF 32.02	79.94	704.88
2017年	IDA 207.27	EU Institutions 187.54	AfDF 45.14	GFATM 38.10	GAVI 20.61	71.35	570.01
2018年	IDA 407.56	EU Institutions 196.78	GFATM 48.53	AfDF 42.04	GAVI 27.05	112.25	834.22
2019年	IDA 305.35	EU Institutions 151.45	GFATM 49.74	AfDF 41.88	GAVI 36.51	92.15	677.07
2020年	IDA 382.05	EU Institutions 236.84	IMF-CTF 194.21	AfDF 79.90	GFATM 61.80	193.63	1,148.43

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	7.07億円	
		<ul style="list-style-type: none"> ・草の根・人間の安全保障無償 (5件) (0.40) ・草の根文化無償 (1件) (0.10) ・食糧援助 (5.00) ・ワガドゥグ東南部タンソババイパス道路改善計画 (1.58) 	<ul style="list-style-type: none"> ・道路維持管理能力向上プロジェクト [21.04～24.03] ・国立公衆衛生研究所新型コロナウイルス対応能力強化プロジェクト [21.07～22.03]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附带プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[36] ブルンジ

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
1,226万人	240ドル	1.8%	9.66億ドル	後発開発途上国	i / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ブルンジ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	4.68	1.03
2018年度	-	6.00	0.68
2019年度	-	3.30	1.00
2020年度	-	3.50	1.05
2021年度	-	13.27	1.26

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ブルンジ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	33.00	313.68	51.57

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ブルンジ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	1.73 (1.47)	0.86	2.58
2018年	-	9.21 (4.97)	0.64	9.86
2019年	-	10.83 (3.83)	0.77	11.60
2020年	-	4.79 (1.35)	0.88	5.66
2021年	-	10.01 (6.82)	1.17	11.18
累計	-11.22	309.94 (93.13)	51.30	350.02

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ブルンジ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	米国 389.58	ベルギー 52.15	ドイツ 46.09	オランダ 33.90	スイス 7.49	560.54	3.64
2017年	米国 64.09	ベルギー 36.38	ドイツ 32.87	オランダ 30.97	スイス 9.29	211.66	2.58
2018年	米国 50.03	ベルギー 41.51	オランダ 37.06	ドイツ 33.34	日本 9.86	216.27	9.86
2019年	米国 63.69	ドイツ 37.39	オランダ 30.82	ベルギー 28.51	日本 11.60	208.44	11.60
2020年	米国 62.45	ドイツ 34.29	オランダ 31.38	ベルギー 28.02	スイス 8.14	201.26	5.66

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ブルンジ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	EU Institutions 58.19	IDA 33.61	GFATM 23.22	GAVI 17.42	OPEC Fund 16.58	72.61	221.63
2017年	GFATM 59.86	IDA 49.29	EU Institutions 44.19	AfDF 21.12	IFAD 17.30	52.95	244.70
2018年	IDA 85.34	EU Institutions 48.97	GAVI 33.71	IFAD 20.81	UNICEF 11.38	60.55	260.76
2019年	IDA 126.50	EU Institutions 110.52	GFATM 49.27	AfDF 31.72	IFAD 18.53	40.22	395.30
	-	-	-	-	GAVI 18.53	-	-
2020年	IDA 87.85	EU Institutions 56.42	GFATM 37.36	IFAD 24.10	UNDP 21.03	80.42	307.14

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	13.27億円 ・草の根・人間の安全保障無償 (1件) (0.10) ・経済社会開発計画 (1件) (4.00) ・食糧援助(WFP連携) (3.50) ・ブジュンブラ港改修計画 (5.67)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[37] ベナン

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
1,245万人	1,370ドル	6.6%	68.64億ドル	後発開発途上国	iii/ 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ベナン援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	6.37	4.93
2018年度	-	7.23	6.10
2019年度	-	14.24	7.33
2020年度	-	7.10	2.94
2021年度	-	11.96	2.93

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ベナン援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	37.62	462.50	107.98

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ベナン援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	15.86	4.49	20.35
2018年	-	9.10	5.16	14.26
2019年	-	5.11 (0.50)	5.27	10.39
2020年	-	13.62 (0.14)	4.79	18.41
2021年	-	5.86 (1.62)	2.97	8.83
累計	-3.14	439.74 (17.03)	105.72	542.32

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ベナン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	米国 58.20	ドイツ 39.84	フランス 31.72	オランダ 29.73	スイス 24.54	227.21	10.92
2017年	米国 120.49	フランス 46.41	ドイツ 37.27	オランダ 31.73	スイス 27.18	330.42	20.35
2018年	米国 58.13	フランス 51.27	ドイツ 42.10	スイス 28.40	ベルギー 27.68	272.34	14.26
2019年	米国 100.92	ドイツ 45.14	フランス 40.41	オランダ 31.60	スイス 25.29	299.79	10.39
2020年	米国 97.49	フランス 68.75	ドイツ 65.38	オランダ 38.72	スイス 28.04	366.90	18.41

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ベナン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	IDA 128.47	AfDF 50.79	EU Institutions 50.12	GFATM 22.70	GAVI 7.20	37.03	296.30
2017年	IDA 112.30	EU Institutions 84.41	AfDF 69.09	GFATM 50.51	IMF-CTF 44.14	40.25	400.70
2018年	IDA 110.51	EU Institutions 94.45	IMF-CTF 45.07	AfDF 32.16	GFATM 23.34	44.22	349.76
2019年	IDA 226.88	EU Institutions 49.99	AfDF 25.07	GFATM 24.95	GAVI 11.12	34.92	372.93
2020年	IDA 291.27	IMF-CTF 204.74	EU Institutions 148.56	GFATM 29.18	AfDF 18.97	51.26	743.97

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	11.96億円 ・草の根・人間の安全保障無償 (6件) (1.00) ・クフォ県及びプラトー県における飲料水供給システム強化計画 (1.63) ・コトヌ市ベドコ交差点立体交差建設計画 (9.33)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[38] ボツワナ

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
240万人	6,940ドル	11.4%	19.82億ドル	高中所得国	iii/ 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ボツワナ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	0.34	3.67
2018年度	-	0.27	4.22
2019年度	-	0.25	3.36
2020年度	-	9.68	2.68
2021年度	-	0.16	2.02

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ボツワナ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	219.81	54.06	97.96

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ボツワナ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	3.22	0.31	-	4.20
2018年	6.10	0.35	-	3.13
2019年	-1.28	0.72 (0.50)	3.32	2.76
2020年	-0.48	4.47 (0.18)	2.63	6.62
2021年	1.26	5.04 (0.33)	2.53	8.83
累計	10.55	83.23 (1.01)	93.09	186.87

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ボツワナ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	米国 67.42	日本 12.14	オーストラリア 0.63	ニュージーランド 0.46	カナダ 0.43	83.00	12.14
2017年	米国 55.45	日本 11.76	英国 1.38	韓国 1.02	オーストラリア 0.91	72.38	11.76
2018年	米国 54.66	日本 12.77	英国 1.52	オーストラリア 1.01	ドイツ 0.67	71.74	12.77
2019年	米国 44.65	日本 9.41	英国 2.54	ドイツ 1.53	韓国 1.13	61.22	9.41
2020年	米国 54.50	日本 13.41	英国 2.55	ドイツ 1.30	韓国 0.74	74.28	13.41

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ボツワナ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	GFATM 5.90	EU Institutions 3.31	GEF 2.13	UNHCR 2.11	UNICEF 0.92	3.85	18.24
2017年	EU Institutions 18.94	GFATM 12.32	GEF 1.82	UNHCR 1.77	WHO 1.00	3.55	39.41
2018年	GFATM 11.75	GEF 3.26	EU Institutions 2.14	UNHCR 1.28	UNICEF 1.18	3.45	23.05
2019年	GFATM 7.50	EU Institutions 5.18	OPEC Fund 3.73	GEF 2.72	UNICEF 1.01	5.01	25.15
2020年	GFATM 6.33	EU Institutions 5.48	GEF 2.10	OPEC Fund 1.68	UNICEF 1.24	2.40	19.24

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	0.16億円 ・草の根・人間の安全 保障無償 (2件) (0.16)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[39] マダガスカル

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
2,843万人	500ドル	4.4%	53.47億ドル	後発開発途上国	i / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対マダガスカル援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	9.48	9.38
2018年度	-	19.64	11.59
2019年度	-	10.94	8.37
2020年度	-	23.07	9.59
2021年度	-	20.00	15.07

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対マダガスカル援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	559.14	741.96	252.29

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対マダガスカル援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	5.43 (4.46)	8.45	13.88
2018年	19.86	12.09	10.38	42.34
2019年	13.39	10.53 (2.60)	8.62	32.55
2020年	40.16	16.66 (2.73)	7.64	64.46
2021年	13.98	15.68 (4.82)	12.02	41.68
累計	-75.07	1,046.61 (24.97)	243.49	1,215.03

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対マダガスカル経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	米国 116.22	フランス 53.49	ドイツ 51.30	韓国 9.37	スイス 8.67	266.30	8.48
2017年	米国 89.40	フランス 57.47	ドイツ 41.51	韓国 19.56	日本 13.88	253.11	13.88
2018年	米国 98.34	フランス 73.88	ドイツ 52.00	日本 42.34	ノルウェー 10.09	301.07	42.34
2019年	米国 108.39	フランス 78.98	ドイツ 35.07	日本 32.55	ノルウェー 9.09	284.51	32.55
2020年	米国 121.76	フランス 84.77	日本 64.46	ドイツ 35.72	ノルウェー 9.12	341.38	64.46

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対マダガスカル経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	IDA 145.45	EU Institutions 77.25	IMF-CTF 43.68	AfDF 32.53	GFATM 21.77	71.71	392.40
2017年	IDA 204.57	IMF-CTF 129.51	EU Institutions 76.11	AfDF 60.06	GFATM 21.52	75.05	566.82
2018年	IDA 196.99	EU Institutions 90.13	GFATM 47.91	IMF-CTF 44.50	AfDF 38.15	84.84	502.51
2019年	IDA 210.89	EU Institutions 74.50	IMF-CTF 44.77	AfDF 33.40	IFAD 26.79	93.42	483.77
2020年	IMF-CTF 392.71	IDA 320.94	EU Institutions 110.16	GFATM 43.63	AfDF 35.97	97.50	1,000.90

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	20.00億円	
		・草の根・人間の安全保障無償 (6件) (0.53)	・道路・橋梁維持管理能力強化プロジェクト [21.04~25.01]
		・日本NGO連携無償 (1件) (0.34)	
		・経済社会開発計画 (1件) (5.00)	
		・草の根文化無償 (1件) (0.04)	
		・国道二号線(アンタナナリポートアマシナ間)におけるマングル橋及びアンツァパザナ橋改修計画 (12.31)	
		・アロチャ湖南西地域灌漑施設改修計画 (1.78)	

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[40] マラウイ

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
1,965万人	630ドル	2.8%	31.85億ドル	後発開発途上国	i / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対マラウイ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	74.65	13.65
2018年度	-	4.37	11.57
2019年度	-	1.53	10.16
2020年度	-	12.00	6.29
2021年度	-	23.85	12.41

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対マラウイ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	331.49	816.54	498.40

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対マラウイ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	29.44 (2.79)	11.67	41.10
2018年	-	10.64 (1.30)	10.35	20.99
2019年	-	40.21 (0.97)	10.63	50.84
2020年	-	22.55 (2.32)	5.67	28.22
2021年	-	10.99 (3.69)	8.69	19.67
累計	-35.41	928.98 (33.08)	439.42	1,332.99

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対マラウイ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	米国 371.44	英国 140.48	ノルウェー 62.94	ドイツ 50.18	アイルランド 21.59	704.28	20.52
2017年	米国 449.92	英国 115.24	ドイツ 67.38	ノルウェー 58.86	日本 41.10	793.29	41.10
2018年	米国 449.54	英国 111.81	ノルウェー 58.86	ドイツ 56.95	アイルランド 24.76	763.61	20.99
2019年	米国 269.66	英国 103.63	ドイツ 66.11	ノルウェー 56.58	日本 50.84	609.20	50.84
2020年	米国 323.10	ドイツ 97.17	英国 85.78	ノルウェー 53.51	日本 28.22	648.36	28.22

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対マラウイ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	IDA 153.29	GFATM 130.88	EU Institutions 84.40	IMF-CTF 75.36	AfDF 46.74	83.12	573.80
2017年	IDA 328.33	GFATM 172.06	EU Institutions 112.63	AfDF 55.48	IMF-CTF 27.04	76.79	772.31
2018年	GFATM 139.95	IDA 132.44	EU Institutions 87.50	AfDF 49.76	IMF-CTF 31.57	98.97	540.17
2019年	GFATM 162.69	IDA 156.24	EU Institutions 130.87	AfDF 40.30	GAVI 18.64	85.30	594.03
2020年	IMF-CTF 213.33	IDA 196.40	GFATM 174.43	EU Institutions 107.84	AfDF 66.58	101.09	859.68

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	23.85億円 <ul style="list-style-type: none"> ・草の根・人間の安全保障無償 (3件) (0.32) ・日本NGO連携無償 (1件) (0.29) ・新型コロナウイルス感染症危機対応緊急支援計画 (4.01) ・テザニ水力発電所増設計画【追加贈与】 (0.50) ・リロングウェ市における変電所改修計画 (5.26) ・リロングウェ市幹線道路改修計画 (13.47) 	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[41] マリ

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
2,086万人	870ドル	3.1%	64.60億ドル	後発開発途上国	i / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対マリ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	4.70	2.29
2018年度	-	6.87	0.54
2019年度	-	6.19	1.95
2020年度	-	15.94	0.75
2021年度	-	4.47	1.58

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対マリ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	87.02	696.35	109.67

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対マリ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	16.17 (4.58)	3.83	19.99
2018年	-	5.17 (2.00)	1.30	6.47
2019年	-	7.09 (4.00)	1.50	8.59
2020年	-	8.16 (2.36)	0.71	8.88
2021年	-	15.30 (12.57)	1.00	16.31
累計	-8.30	706.46 (118.92)	104.83	802.99

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対マリ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	米国 210.04	カナダ 87.42	フランス 73.89	ドイツ 68.64	デンマーク 39.68	687.97	9.24
2017年	米国 218.89	フランス 108.24	カナダ 94.51	ドイツ 74.15	スウェーデン 39.39	736.08	19.99
2018年	米国 216.61	ドイツ 126.27	フランス 94.14	カナダ 86.30	オランダ 48.93	815.32	6.47
2019年	米国 223.01	フランス 113.05	ドイツ 107.48	カナダ 72.20	スウェーデン 45.39	805.78	8.59
2020年	米国 186.43	フランス 127.78	ドイツ 108.55	カナダ 60.85	デンマーク 49.08	768.38	8.88

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対マリ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	EU Institutions 247.18	IDA 104.24	IMF-CTF 52.82	GAVI 34.71	AfDF 34.61	94.62	568.19
2017年	EU Institutions 210.44	IDA 193.66	AfDF 86.32	GFATM 44.22	IMF-CTF 43.88	90.92	669.45
2018年	IDA 247.09	EU Institutions 235.00	IMF-CTF 134.43	AfDF 48.65	GFATM 44.11	122.12	831.39
2019年	IDA 415.01	EU Institutions 207.37	GFATM 43.34	AfDF 36.07	GAVI 27.66	90.40	819.85
2020年	IMF-CTF 252.76	IDA 179.32	EU Institutions 156.68	AfDF 93.00	GFATM 55.13	139.73	876.63

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	4.47億円 ・草の根・人間の安全保障無償 (1件) (0.09) ・草の根文化無償 (1件) (0.09) ・食糧援助(WFP連携) (2.00) ・選挙支援計画(UNDP連携) (2.29)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[42] 南アフリカ

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
6,004万人	6,440ドル	4.9%	1700.15億ドル	高中所得国	iii / 高中所得国

出典) WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対南アフリカ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	1.16	11.88
2018年度	-	0.89	9.63
2019年度	-	2.91	7.70
2020年度	-	0.60	4.19
2021年度	-	0.19	6.36

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対南アフリカ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	140.61	144.96	176.41

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対南アフリカ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-0.84	0.92	11.02	11.10
2018年	-0.85	1.03	8.96	9.14
2019年	-0.86	2.69 (1.85)	8.20	10.03
2020年	-0.88	4.51 (3.68)	5.27	8.90
2021年	-0.43	1.76 (1.29)	5.03	6.36
累計	-2.66	133.74 (9.73)	192.46	323.54

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対南アフリカ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	米国 491.27	ドイツ 398.01	フランス 117.36	ベルギー 19.20	英国 16.60	1,097.43	11.05
2017年	米国 597.65	ドイツ 134.58	フランス 65.43	英国 24.68	スイス 14.70	893.14	11.94
2018年	米国 578.72	ドイツ 141.70	フランス 66.80	英国 39.62	スイス 15.75	893.61	10.00
2019年	米国 392.07	ドイツ 207.30	フランス 123.05	英国 43.51	スイス 11.40	830.92	10.89
2020年	米国 720.78	ドイツ 175.27	英国 62.02	フランス 48.82	オーストラリア 20.20	1,104.91	9.78

出典) OECD/DAC

注) 卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対南アフリカ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	EU Institutions 107.84	GFATM 68.15	UNHCR 12.22	GEF 10.75	CIF 6.93	9.46	215.34
2017年	EU Institutions 132.66	GFATM 81.19	UNHCR 15.42	GEF 5.44	WHO 1.92	7.57	244.19
2018年	EU Institutions 132.66	GFATM 115.10	GEF 6.27	WHO 1.82	AfDB 1.48	4.85	262.17
2019年	EU Institutions 151.42	GFATM 83.17	Adaptation Fund 2.43	UNAIDS 2.23	GEF 2.06	9.72	251.02
2020年	EU Institutions 150.49	GFATM 118.13	UNHCR 9.92	GEF 7.02	Adaptation Fund 1.88	8.12	295.55

出典) OECD/DAC

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	0.19億円 ・草の根・人間の安全保障無償 (1件) (0.06) ・日本NGO連携無償 (1件) (0.13)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[43] 南スーダン

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
1,138万人	-	-	-	後発開発途上国	i / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対南スーダン援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	8.86	5.36
2018年度	-	39.60	9.01
2019年度	-	24.85	4.95
2020年度	-	10.67	2.99
2021年度	-	15.07	9.86

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対南スーダン援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	337.10	119.64

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対南スーダン援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	35.74 (20.34)	6.48	42.22
2018年	-	26.80 (19.11)	5.57	32.37
2019年	-	35.97 (20.08)	6.77	42.74
2020年	-	19.22 (10.11)	3.12	22.34
2021年	-	35.83 (20.27)	5.89	41.71
累計	-	428.26 (278.29)	123.72	551.98

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対南スーダン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	米国 544.80	英国 224.11	ドイツ 123.86	ノルウェー 68.73	カナダ 67.46	1,277.26	55.15
2017年	米国 887.08	英国 217.68	ドイツ 151.55	カナダ 109.94	ノルウェー 73.04	1,697.81	42.22
2018年	米国 683.60	英国 202.88	ドイツ 137.02	ノルウェー 76.26	オランダ 70.40	1,393.43	32.37
2019年	米国 559.56	英国 264.73	ドイツ 143.09	ノルウェー 68.96	スウェーデン 56.21	1,320.48	42.74
2020年	米国 725.86	英国 199.78	ドイツ 155.22	カナダ 73.19	スウェーデン 72.62	1,437.68	22.34

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対南スーダン経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	EU Institutions 224.02	UNHCR 26.85	WFP 16.60	IDA 14.11	UNICEF 10.70	28.97	321.26
2017年	EU Institutions 240.41	IDA 61.46	UNHCR 56.68	GFATM 48.14	AfDF 20.17	61.42	488.27
2018年	EU Institutions 101.53	GFATM 27.82	IDA 24.81	AfDF 13.24	UNICEF 11.16	28.66	207.22
2019年	IDA 79.71	EU Institutions 68.50	UNHCR 47.82	GAVI 34.64	GFATM 31.72	95.04	357.43
2020年	EU Institutions 117.15	IMF-CTF 51.40	IDA 44.91	UNHCR 36.01	GFATM 31.76	97.33	378.55

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	15.07億円	
		・ジャパンプラットフォーム(JPF)を通じた人道支援 (6件) (2.49)	・南スーダン放送局組織能力強化プロジェクトフェーズ2 [21.12~25.11]
		・草の根・人間の安全保障無償 (1件) (0.08)	・食料安全保障・生計向上のための農業振興・再活性化プロジェクト [22.03~27.03]
		・日本NGO連携無償 (1件) (1.20)	・ジュバ市きれいな水供給プロジェクト [22.03~25.03]
		・ジュバにおける廃棄物管理改善計画 (7.80)	
		・食糧援助(WFP連携) (3.50)	

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[44] モーリシャス

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
127万人	10,860ドル	4.0%	139.16億ドル	高中所得国	iv/ 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対モーリシャス援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	-	0.69
2018年度	-	0.10	0.13
2019年度	-	3.10	0.95
2020年度	300.00	15.00	2.76
2021年度	-	6.10	1.62

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対モーリシャス援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	461.46	84.64	67.04

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対モーリシャス援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-2.75	1.92	-	-0.25
2018年	-2.80	6.05	-	3.74
2019年	-2.97	3.84	-	1.07
2020年	6.60	3.78	-	11.81
2021年	266.76	17.57 (1.17)	2.42	286.75
累計	273.16	75.29 (1.17)	58.98	407.43

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対モーリシャス経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	フランス 33.79	日本 4.28	オーストラリア 0.66	ドイツ 0.45	英国 0.26	39.64	4.28
2017年	フランス 32.57	オーストラリア 2.94	日本 2.57	ドイツ 0.71	スウェーデン 0.50	40.08	2.57
2018年	フランス 80.19	日本 6.60	ドイツ 1.26	英国 0.68	オーストラリア 0.58	90.04	6.60
2019年	フランス 21.63	日本 4.10	フィンランド 2.62	英国 2.56	ドイツ 1.82	34.40	4.10
2020年	フランス 358.95	日本 14.28	ドイツ 2.80	フィンランド 1.51	英国 1.11	380.67	14.28

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対モーリシャス経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	EU Institutions 38.77	GEF 1.63	GFATM 0.77	UNDP 0.60	WHO 0.41	0.54	42.73
2017年	EU Institutions 5.89	GEF 4.79	GCF 2.97	GFATM 2.19	WHO 0.89	1.15	17.90
2018年	EU Institutions 26.76	GEF 2.00	Adaptation Fund 1.67	AfDB 1.07	WHO 0.72	2.14	34.37
2019年	EU Institutions 14.74	GCF 4.35	Adaptation Fund 4.19	GEF 1.53	OPEC Fund 0.80	4.05	29.67
2020年	EU Institutions 10.16	GCF 4.95	GEF 2.55	UNDP 1.44	GFATM 0.97	0.92	20.99

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	6.10億円 ・草の根・人間の安全保障無償 (2件) (0.10) ・経済社会開発計画 (1件) (6.00)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[45] モーリタニア

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
478万人	1,730ドル	2.3%	48.19億ドル	後発開発途上国	iii / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対モーリタニア援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	5.06	1.63
2018年度	-	18.00	1.90
2019年度	-	5.84	0.46
2020年度	-	4.10	0.31
2021年度	-	6.61	3.30

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対モーリタニア援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	110.84	578.07	73.73

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対モーリタニア援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	10.95 (6.04)	1.78	12.73
2018年	-	11.90 (2.00)	2.25	14.16
2019年	-	8.47 (3.86)	0.65	9.12
2020年	-	11.27 (2.28)	0.43	11.71
2021年	-	6.51 (1.75)	1.61	8.13
累計	-11.71	622.93 (72.06)	71.32	682.54

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対モーリタニア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	フランス 26.10	ドイツ 16.49	日本 15.58	米国 12.24	スペイン 5.24	78.78	15.58
2017年	フランス 27.00	ドイツ 18.65	日本 12.73	米国 10.42	スペイン 5.79	78.82	12.73
2018年	フランス 28.17	ドイツ 26.56	日本 14.16	米国 13.11	スペイン 8.35	102.10	14.16
2019年	フランス 38.31	ドイツ 21.92	米国 17.92	日本 9.12	スペイン 6.93	97.65	9.12
2020年	フランス 41.24	ドイツ 25.09	米国 16.10	日本 11.71	スペイン 9.53	107.77	11.71

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対モーリタニア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	AFESD 77.90	IDA 65.37	EU Institutions 27.96	UNHCR 9.04	Isl.Dev Bank 8.57	35.73	224.53
2017年	AFESD 107.07	IDA 53.43	EU Institutions 30.19	IMF-CTF 22.96	AfDF 13.90	59.24	286.78
2018年	AFESD 110.75	EU Institutions 60.72	IMF-CTF 46.89	IDA 36.79	WFP 9.59	48.29	313.03
2019年	AFESD 162.81	IDA 95.38	EU Institutions 74.38	AfDF 6.19	UNHCR 5.52	29.69	373.96
2020年	IMF-CTF 184.53	IDA 161.01	EU Institutions 80.34	AFESD 74.26	AfDF 17.60	48.91	566.64

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	6.61億円 ・草の根・人間の安全保障無償 (4件) (0.36) ・食糧援助 (5.00) ・水産職業訓練センター施設整備計画 (1.25)	新型コロナウイルス対策強化プロジェクト [21.07~22.12]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附带プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[46] モザンビーク

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
3,216万人	480ドル	2.2%	628.19億ドル	後発開発途上国	i / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対モザンビーク援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	41.81	23.38
2018年度	-	21.78	20.18
2019年度	47.88	76.68	18.67
2020年度	-	43.81	10.31
2021年度	-	19.39	19.60

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対モザンビーク援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	752.14	1,265.43	359.84

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対モザンビーク援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	100.86	22.52	-	123.38
2018年	83.96	40.02	-	123.98
2019年	53.80	19.51 (3.86)	18.47	91.79
2020年	34.41	26.60 (8.48)	10.32	71.32
2021年	34.00	23.24 (5.51)	12.46	69.70
累計	411.31	1,170.44 (40.54)	349.93	1,931.68

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対モザンビーク経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	米国 390.18	日本 89.48	ドイツ 81.56	スウェーデン 76.76	英国 73.60	1,099.27	89.48
2017年	米国 507.55	日本 149.52	英国 74.65	ドイツ 64.28	スウェーデン 59.29	1,255.87	149.52
2018年	米国 520.38	日本 143.87	英国 95.04	スウェーデン 79.38	ドイツ 72.78	1,322.11	143.87
2019年	米国 354.72	英国 132.63	日本 92.72	スウェーデン 88.54	ノルウェー 57.90	1,145.64	92.72
2020年	米国 485.86	ドイツ 97.61	スウェーデン 81.01	日本 72.72	ポルトガル 72.07	1,208.43	72.72

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対モザンビーク経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	IDA 248.64	GFATM 182.04	EU Institutions 96.76	AfDF 67.54	GAVI 27.56	75.59	698.13
2017年	IDA 232.62	GFATM 163.30	EU Institutions 93.95	AfDF 53.72	GAVI 37.38	89.35	670.30
2018年	IDA 276.18	GFATM 113.30	EU Institutions 65.48	AfDF 45.96	GAVI 33.32	88.22	622.48
2019年	IDA 282.21	GFATM 168.49	EU Institutions 105.78	IMF-CTF 77.48	AfDF 64.65	143.54	842.15
2020年	IDA 498.88	IMF-CTF 344.81	GFATM 265.10	EU Institutions 183.83	AfDF 90.37	117.85	1,500.84

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	19.38億円	
		<ul style="list-style-type: none"> ・ジャパンプラット フォーム(JPF)を通じた人道支援 (2件) (1.10) ・日本NGO連携無償 (1件) (0.89) ・経済社会開発計画 (2件) (10.50) ・草の根・人間の安全保障無償 (6件) (0.59) ・食糧援助(WFP連携) (2.00) ・新型コロナウイルス感染症危機対応緊急支援計画 (4.30) 	<ul style="list-style-type: none"> ・母子栄養サービス強化プロジェクト [21.05~24.05] ・ニアッサ州持続的給水システム及び衛生促進プロジェクト [21.06~26.06] ・新型コロナウイルス影響下における母子保健看護師サービス強化プロジェクト [21.09~22.09] ・新型コロナウイルス感染症流行下における遠隔技術を活用した集中治療能力強化プロジェクト [21.11~22.12] ・橋梁維持管理能力強化プロジェクト [21.04~24.10]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[47] リベリア

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
518万人	620ドル	4.0%	18.46億ドル	後発開発途上国	i / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対リベリア援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	7.17	1.91
2018年度	-	17.60	2.24
2019年度	-	21.19	1.53
2020年度	-	20.17	2.07
2021年度	-	6.45	2.03

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対リベリア援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	40.00	382.56	68.77

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対リベリア援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	22.95 (3.66)	2.52	25.47
2018年	-	17.18 -	1.69	18.87
2019年	-	23.76 (1.50)	1.83	25.59
2020年	-	19.93 (0.27)	2.03	21.96
2021年	-	16.72 (5.93)	1.14	17.86
累計	-55.71	559.16 (120.57)	54.60	558.59

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対リベリア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	米国 400.35	ドイツ 44.73	スウェーデン 27.55	日本 26.27	ノルウェー 20.60	534.07	26.27
2017年	米国 288.18	ドイツ 33.07	日本 25.47	スウェーデン 25.06	ノルウェー 22.96	409.63	25.47
2018年	米国 231.47	スウェーデン 40.14	ドイツ 33.28	日本 18.87	ノルウェー 10.86	351.17	18.87
2019年	米国 186.04	ドイツ 50.73	スウェーデン 34.70	日本 25.59	英国 11.99	322.48	25.59
2020年	米国 179.67	スウェーデン 35.68	ドイツ 31.74	日本 21.96	ノルウェー 14.28	302.35	21.96

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対リベリア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	IDA 118.88	EU Institutions 48.57	IMF-CTF 38.49	AfDF 19.32	GFATM 18.89	34.08	278.23
2017年	IDA 56.79	EU Institutions 44.54	AfDF 33.89	GFATM 24.94	IMF-CTF 20.47	38.32	218.99
2018年	IDA 91.18	AfDF 46.14	EU Institutions 35.36	GFATM 31.70	UNDP 7.00	30.77	242.14
2019年	IDA 108.37	AfDF 41.82	EU Institutions 40.94	GFATM 15.83	GAVI 14.26	42.73	263.96
2020年	IMF-CTF 129.53	IDA 115.12	AfDF 43.09	EU Institutions 41.68	GFATM 20.82	44.33	394.58

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	6.45億円 (3.95) (2.50) ・食料安全保障及び栄養改善のための漁業及び稲作分野における能力強化計画(FAO連携) ・食糧援助	・小規模農家コメ生産向上プロジェクト [21.05～25.05] ・モンセラード州保健サービス改善・監理支援能力強化プロジェクト [21.10～24.10]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[48] ルワンダ

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
1,328万人	850ドル	10.9%	89.94億ドル	後発開発途上国	i / 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ルワンダ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	76.70	1.37	14.82
2018年度	-	38.53	13.21
2019年度	100.00	20.73	11.17
2020年度	-	14.89	8.59
2021年度	-	8.50	22.03

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ルワンダ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	292.08	525.60	212.59

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ルワンダ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	7.80	20.34 (1.47)	15.18	43.32
2018年	11.79	13.19 (2.30)	12.76	37.75
2019年	55.26	13.52 (2.27)	9.91	78.69
2020年	32.48	16.10 (3.82)	7.43	56.01
2021年	42.98	15.41 (2.28)	12.55	70.93
累計	155.84	393.51 (46.88)	189.56	738.91

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ルワンダ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	米国 177.91	英国 92.90	オランダ 55.89	ドイツ 47.85	スウェーデン 29.17	501.48	27.40
2017年	米国 177.36	英国 76.58	オランダ 48.07	ドイツ 45.24	日本 43.32	511.55	43.32
2018年	米国 170.00	英国 73.05	オランダ 47.12	ドイツ 45.58	ベルギー 41.86	500.25	37.75
2019年	米国 185.84	英国 80.92	日本 78.69	オランダ 47.22	ドイツ 44.53	563.07	78.69
2020年	米国 189.76	ドイツ 59.88	ベルギー 59.33	日本 56.01	英国 54.84	571.95	56.01

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ルワンダ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	IDA 229.44	EU Institutions 110.84	IMF-CTF 100.20	AfDF 93.89	GFATM 70.61	65.26	670.23
2017年	IDA 296.12	EU Institutions 149.28	GFATM 84.69	IMF-CTF 74.97	AfDF 47.31	78.10	730.46
2018年	IDA 253.24	AfDF 119.77	EU Institutions 93.57	GFATM 69.40	IMF-CTF 25.52	59.86	621.36
2019年	IDA 309.02	GFATM 94.53	EU Institutions 72.99	AfDF 63.54	IFAD 22.82	62.32	625.22
2020年	IDA 475.71	IMF-CTF 251.03	AfDF 138.47	GFATM 79.39	EU Institutions 72.63	74.33	1,091.56

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	8.50億円	
		・日本NGO連携無償 (2件) (0.90)	・ICTを活用した初等理数科学びの改善プロジェクト [21.09～26.08]
		・草の根・人間の安全保障無償 (2件) (0.18)	・コーヒーバリューチェーン強化振興プロジェクト [21.10～26.10]
		キガリ市ゾベ-ノトラ間送水幹線強化計画 (7.43)	・地方給水マネジメント強化プロジェクト [21.10～26.10]
			・キガリ市都市交通改善プロジェクト [22.03～25.03]
			・キガリ市水道事業体運営改善プロジェクト [22.03～27.03]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附带プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[49] レト

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
216万人	1,270ドル	1.0%	18.18億ドル	後発開発途上国	iii/ 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対レト援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	2.88	0.43
2018年度	-	20.38	0.46
2019年度	-	2.25	0.78
2020年度	-	3.74	0.46
2021年度	-	16.23	0.48

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対レト援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	165.57	15.21

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対レト援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	1.32 (1.17)	0.32	1.64
2018年	-	3.05 (0.30)	0.42	3.48
2019年	-	4.01 (3.71)	0.58	4.59
2020年	-	3.65 (2.59)	0.45	4.09
2021年	-	3.62 (2.50)	0.41	4.04
累計	-	122.94 (30.58)	14.65	137.59

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対レト経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	米国 46.87	英国 7.68	ドイツ 2.86	スイス 1.66	カナダ 1.46	63.19	0.40
2017年	米国 73.52	日本 1.64	オーストラリア 1.39	ドイツ 1.20	スイス 0.66	80.27	1.64
2018年	米国 86.13	日本 3.48	ドイツ 1.14	スイス 0.63	オーストラリア 0.44	93.62	3.48
2019年	米国 54.96	日本 4.59	ドイツ 0.82	スイス 0.74	オーストラリア 0.44	63.29	4.59
2020年	米国 78.25	日本 4.09	ドイツ 1.23	スイス 0.69	英国 0.68	86.98	4.09

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対レト経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	IDA 18.74	GFATM 17.24	EU Institutions 13.70	GEF 4.10	AfDF 3.46	12.27	69.50
2017年	IDA 31.83	GFATM 25.81	EU Institutions 9.95	AfDF 6.87	OPEC Fund 5.18	12.89	92.52
2018年	IDA 36.57	GFATM 19.34	EU Institutions 12.60	AfDF 10.32	IFAD 4.02	10.44	93.31
2019年	IDA 40.21	GFATM 19.30	EU Institutions 8.39	CERF 7.85	AfDF 7.60	23.43	106.80
2020年	IDA 32.78	GFATM 30.28	EU Institutions 19.02	IMF-CTF 16.24	AfDF 4.58	20.63	123.53

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	16.23億円 ・草の根・人間の安全保障無償 (1件) (0.08) ・食糧援助 (WFP連携) (2.00) ・小水力発電整備計画 (14.15)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

欧州地域

欧州地域

表-1 欧州地域に対する我が国二国間ODA実績

(支出純額及び支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年		2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	累計	
ODA	贈与	無償資金協力	10.43 (0.4)	9.57 (0.4)	13.12 (0.5)	12.92 (0.4)	20.11 (0.6)	902.93
		(うち国際機関等を通じた贈与)	1.96 (0.1)	2.91 (0.2)	3.43 (0.3)	5.61 (0.3)	4.93 (0.2)	43.68
		技術協力	20.47 (0.7)	17.42 (0.7)	13.60 (0.5)	10.17 (0.4)	12.71 (0.5)	472.72
		贈与計	30.90 (0.6)	26.99 (0.5)	26.71 (0.5)	23.09 (0.4)	32.82 (0.6)	1,375.66
	政府貸付等 支出総額	61.53 (0.6)	53.26 (0.7)	49.93 (0.5)	64.24 (0.6)	63.84 (0.5)	1,284.11	
	<政府貸付等 支出純額>	<43.33>	<31.39>	<24.85>	<29.25>	<18.17>	<1,014.93>	
政府開発援助計 支出総額(ODA計)		92.42 (0.6)	80.26 (0.6)	76.64 (0.5)	87.33 (0.5)	96.66 (0.5)	2,659.77	
<政府開発援助計 支出純額(ODA計)>		<74.23> <(0.9)>	<58.39> <(1.0)>	<51.56> <(0.7)>	<52.34> <(0.5)>	<50.99> <(0.4)>	<2,390.59>	

注) 1. ()内は各形態別の全世界合計に占める欧州地域の割合(%)

2.国際機関等を通じた贈与は、2006年から、拠出時に供与先の国が明確であるものについては、各被援助国への援助として「無償資金協力」へ計上することに改めた。

3.四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

4.「政府開発援助計 支出純額」の割合については、貸付の償還等に伴いマイナス数値となる場合に適切な割合が出せないことから、掲載していない。

表-2 欧州地域に対するDAC諸国のODA実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

援助実績種別	暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
政府開発援助計	2018	ドイツ 847.24	米国 507.33	スイス 173.80	英国 164.37	スウェーデン 160.09	2,555.89	80.25
	2019	ドイツ 663.22	米国 450.44	スウェーデン 186.16	スイス 185.27	英国 170.93	2,396.29	76.66
	2020	ドイツ 825.34	米国 487.66	スイス 183.50	スウェーデン 160.20	英国 145.82	2,587.53	87.31
政府貸付等	2018	ドイツ 290.90	日本 53.26	フランス 30.30	カナダ 14.93	イタリア 8.50	399.26	53.26
	2019	ドイツ 240.78	日本 49.93	フィンランド 10.87	イタリア 8.91	カナダ 8.29	330.50	49.93
	2020	ドイツ 339.55	日本 64.24	ポーランド 7.12	フランス 6.96	オーストリア 6.89	428.77	64.24
無償資金協力	2018	米国 454.27	ドイツ 207.21	英国 149.18	スイス 146.86	スウェーデン 99.11	1,380.41	9.57
	2019	米国 427.24	英国 158.58	スイス 151.39	スウェーデン 124.79	ドイツ 109.10	1,308.82	13.14
	2020	米国 477.32	スイス 177.15	ドイツ 157.23	英国 126.96	スウェーデン 111.56	1,405.03	12.90
技術協力	2018	ドイツ 349.15	ポーランド 81.07	オーストリア 71.90	スウェーデン 60.98	米国 53.06	776.21	17.42
	2019	ドイツ 313.34	ポーランド 99.65	オーストリア 74.88	スウェーデン 61.37	スイス 33.88	756.98	13.58
	2020	ドイツ 328.56	ポーランド 86.70	オーストリア 77.12	ハンガリー 72.88	スウェーデン 48.64	753.72	10.17

出典) OECDデータベース (OECD.Stat) (2022年10月)

表-3 欧州地域に対する国際機関のODA実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

援助実績種別	暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
政府開発援助計	2018	EU Institutions 2,537.71	IDA 71.90	GFATM 58.99	OSCE 55.41	GEF 26.80	150.09	2,900.81
	2019	EU Institutions 2,376.27	IMF-CTF 120.35	GFATM 65.28	OSCE 53.42	IDA 52.22	171.14	2,838.73
	2020	EU Institutions 4,211.28	EFSD 500.00	IDA 167.06	IMF-CTF 86.78	GFATM 70.23	268.74	5,304.10
政府貸付等	2018	EU Institutions 933.49	IDA 71.70	OPEC Fund 18.02	CEB 15.97	IMF-CTF 11.33	16.31	1,066.79
	2019	EU Institutions 757.21	IMF-CTF 120.35	IDA 52.22	CEB 17.17	OPEC Fund 12.69	5.38	965.01
	2020	EU Institutions 2,408.13	EFSD 500.00	IDA 167.06	IMF-CTF 86.78	CEB 44.74	60.89	3,267.60
無償資金協力	2018	EU Institutions 1,170.07	GFATM 58.99	OSCE 55.41	GEF 26.80	WHO 25.90	55.15	1,392.26
	2019	EU Institutions 1,304.30	GFATM 65.28	OSCE 53.42	WHO 31.66	UNHCR 13.93	90.29	1,558.96
	2020	EU Institutions 1,374.14	GFATM 70.23	OSCE 54.33	WHO 21.95	UNHCR 20.89	64.47	1,606.00
技術協力	2018	EU Institutions 434.16	ILO 4.23	FAO 3.39	-	-	-	441.77
	2019	EU Institutions 314.76	-	-	-	-	-	314.76
	2020	EU Institutions 429.01	IAEA 1.47	-	-	-	-	430.50

出典) OECDデータベース (OECD.Stat) (2022年10月)

注) 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

[1] アルバニア

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
281万人	6,110ドル	8.5%	110.86億ドル	高中所得国	iii / 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対アルバニア援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	0.09	3.74
2018年度	-	0.24	2.89
2019年度	-	1.03	2.67
2020年度	-	1.89	1.99
2021年度	-	0.95	2.73

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	180.92	56.76	43.26

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対アルバニア援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	12.30	-	3.75	16.04
2018年	-1.16	0.08	0.84	-0.24
2019年	-5.17	0.63	3.41	-1.13
2020年	-6.60	0.65	1.17	-4.78
2021年	-6.04	2.00	2.46	-1.58
累計	72.99	43.68	44.27	160.94

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対アルバニア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	ドイツ 67.80	スイス 21.66	米国 18.04	日本 17.89	スウェーデン 10.29	164.13	17.89
2017年	ドイツ 52.84	スイス 22.33	米国 21.48	日本 19.07	スウェーデン 11.49	155.25	19.07
2018年	ドイツ 85.94	スイス 22.19	米国 21.20	イタリア 16.14	スウェーデン 11.46	188.61	6.13
2019年	ドイツ 64.42	スイス 30.67	イタリア 19.10	米国 17.07	スウェーデン 13.75	177.47	5.33
2020年	ドイツ 92.59	スイス 32.55	米国 16.05	イタリア 13.86	スウェーデン 13.21	204.38	1.81

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対アルバニア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	EU Institutions 92.76	Isl.Dev Bank 3.60	OSCE 2.91	IDA 2.61	GEF 1.88	5.62	109.37
2017年	EU Institutions 79.28	Isl.Dev Bank 4.29	OSCE 2.93	IDA 1.86	OPEC Fund 1.49	5.30	95.15
2018年	EU Institutions 219.25	OPEC Fund 4.02	OSCE 3.10	GFATM 2.47	GEF 1.45	6.83	237.11
2019年	EU Institutions 79.57	OPEC Fund 4.83	GFATM 3.30	OSCE 2.99	UNICEF 0.94	5.44	97.09
2020年	EU Institutions 133.09	OSCE 3.05	GEF 1.72	UNFPA 0.94	UNICEF 0.92	4.78	144.51

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	0.95億円 (10件) (0.95)	<ul style="list-style-type: none"> ・ディヴィアカ・カラヴァスタ国立公園における生態系に基づく管理に係る能力開発プロジェクト [21.05～24.05] ・新型コロナウイルス感染症を含む感染症対策能力向上プロジェクト [21.09～22.12]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[2] ウクライナ

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
4,382万人	4,120ドル	3.4%	1,356.43億ドル	低所得国	iii/ 低所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ウクライナ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	0.89	14.70
2018年度	-	0.89	3.46
2019年度	-	3.22	3.34
2020年度	-	2.90	2.00
2021年度	-	16.07	2.33

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ウクライナ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	1,742.54	78.70	59.09

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ウクライナ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-8.30	2.43 (1.52)	8.31	2.44
2018年	-6.00	2.60 (1.77)	8.69	5.29
2019年	-7.40	5.65 (2.82)	2.32	0.58
2020年	-14.71	5.09 (4.31)	2.98	-6.64
2021年	-25.44	7.14 (4.50)	2.14	-16.16
累計	578.96	69.28 (30.21)	61.29	709.53

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ウクライナ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	日本 350.80	ドイツ 176.57	米国 175.43	カナダ 51.01	英国 42.66	985.34	350.80
2017年	米国 233.43	ドイツ 203.11	ポーランド 60.86	カナダ 38.03	スウェーデン 35.20	764.58	10.75
2018年	ドイツ 234.51	米国 193.09	ポーランド 67.23	英国 39.07	スウェーデン 36.62	790.62	13.72
2019年	ドイツ 205.72	米国 200.01	ポーランド 81.41	カナダ 46.91	スウェーデン 37.53	777.94	9.12
2020年	米国 238.35	ドイツ 207.37	ポーランド 65.22	カナダ 36.23	スイス 34.48	778.90	8.54

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ウクライナ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	EU Institutions 485.64	GFATM 58.08	WFP 8.73	GEF 8.24	OSCE 3.50	5.33	569.53
2017年	EU Institutions 364.68	GFATM 31.47	OSCE 3.50	CIF 3.48	WFP 2.12	8.28	413.53
2018年	EU Institutions 376.56	GFATM 42.13	CIF 8.41	CERF 5.90	OSCE 3.64	9.00	445.63
2019年	EU Institutions 436.01	GFATM 47.85	CERF 6.00	UNHCR 4.52	OSCE 3.47	10.12	507.96
2020年	EU Institutions 1,660.19	GFATM 51.32	CIF 14.11	UNHCR 5.83	OSCE 3.59	8.37	1,743.41

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	16.08億円 ・草の根・人間の安全保障無償 (10件) (0.85) ・日本NGO連携無償 (1件) (15.23)	・国家地理空間データ基盤活用のための能力向上プロジェクト [22.02～25.01]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[3] コンボ

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
181万人	4,970ドル	9.1%	33.52億ドル	高中所得国	iii / 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対コンボ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	2.05	1.61
2018年度	-	2.99	3.09
2019年度	-	0.46	3.40
2020年度	-	1.39	1.07
2021年度	-	0.37	5.70

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対コンボ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	15.56	31.41

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対コンボ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	0.39	2.69	3.08
2018年	-	1.85	2.61	4.46
2019年	-	2.74 (0.09)	1.42	4.16
2020年	-	2.08 (0.72)	2.09	4.17
2021年	-	0.50	2.34	2.85
累計	-	15.28 (0.81)	25.38	40.66

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対コンボ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	米国 63.20	ドイツ 47.82	スイス 24.84	スウェーデン 13.42	オーストリア 8.67	183.90	1.30
2017年	ドイツ 50.93	米国 50.28	スイス 24.07	スウェーデン 15.48	ルクセンブルク 8.63	182.04	3.08
2018年	米国 48.52	ドイツ 36.22	スイス 17.96	スウェーデン 16.36	オーストリア 8.62	158.19	4.46
2019年	米国 39.12	ドイツ 33.72	スイス 19.67	スウェーデン 16.45	オーストリア 12.28	154.99	4.16
2020年	ドイツ 44.45	米国 39.13	スイス 20.23	スウェーデン 15.97	オーストリア 10.61	160.80	4.17

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対コンボ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	EU Institutions 141.34	OSCE 17.90	IDA 9.45	UNHCR 3.49	GFATM 1.84	1.82	175.83
2017年	EU Institutions 171.76	OSCE 17.93	IDA 9.85	UNHCR 3.29	GFATM 1.29	2.03	206.15
2018年	EU Institutions 148.68	OSCE 18.59	IDA 8.90	UNHCR 1.49	GFATM 1.37	2.08	181.10
2019年	EU Institutions 156.40	OSCE 17.89	IDA 12.17	UNPBF 2.06	UNHCR 1.59	4.33	194.44
2020年	EU Institutions 251.82	IDA 91.86	CEB 20.27	OSCE 18.11	GFATM 1.36	4.83	388.25

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	0.37億円 ・草の根・人間の安全保障無償 (5件) (0.37)	・循環型社会に向けた廃棄物管理能力向上プロジェクト フェーズ2 [21.05~24.07] ・新型コロナウイルス感染症を含む感染症対策能力向上プロジェクト [21.07~22.03]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[4] セルビア

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
684万人	8,440ドル	7.4%	411.44億ドル	高中所得国	iv / 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対セルビア援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	1.26	1.90
2018年度	-	0.94	2.52
2019年度	-	0.37	3.85
2020年度	-	1.65	1.90
2021年度	-	0.58	2.91

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対セルビア援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	282.52	231.66	61.22

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対セルビア援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	29.87	0.62	-	33.94
2018年	1.27	1.77 (0.63)	2.48	5.52
2019年	24.10	0.41	-	27.09
2020年	43.67	1.00	-	46.82
2021年	58.01	0.90	-	61.55
累計	170.02	201.38 (4.84)	54.37	425.78

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対セルビア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	ドイツ 134.42	スイス 24.08	米国 16.56	スウェーデン 12.26	オーストリア 11.73	229.75	8.37
2017年	ドイツ 214.02	日本 34.93	スイス 25.65	米国 16.96	スウェーデン 14.46	342.55	34.93
2018年	ドイツ 192.98	フランス 32.61	米国 24.68	スイス 24.51	スウェーデン 14.60	332.87	6.62
2019年	ドイツ 160.66	日本 28.31	米国 25.60	チェコ 23.68	スイス 21.50	332.15	28.31
2020年	ドイツ 113.71	ハンガリー 49.39	日本 48.09	米国 28.01	スイス 27.11	345.37	48.09

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対セルビア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	EU Institutions 479.12	OSCE 6.40	UNHCR 5.75	GEF 2.08	CEB 1.79	3.85	498.97
2017年	EU Institutions 501.47	OSCE 6.40	UNHCR 5.73	GEF 1.52	UNICEF 0.98	2.00	518.09
2018年	EU Institutions 687.23	OSCE 6.70	UNHCR 2.43	GEF 2.28	WHO 1.28	2.75	702.66
2019年	EU Institutions 404.43	OSCE 6.37	UNHCR 3.23	UNICEF 1.08	UNPBF 0.91	4.43	420.48
2020年	EU Institutions 410.12	OSCE 6.46	UNHCR 2.79	GEF 1.77	UNICEF 0.92	3.54	425.60

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	0.58億円 ・草の根・人間の安全保障無償 (8件) (0.58)	・廃棄物管理能力向上プロジェクト [21.06～24.06]

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[5] ベラルーシ

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
934万人	6,950ドル	2.5%	416.54億ドル	高中所得国	iii / 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ベラルーシ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	0.41	-
2018年度	-	0.36	-
2019年度	-	0.31	-
2020年度	-	0.24	-
2021年度	-	0.84	-

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ベラルーシ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	5.41	-

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ベラルーシ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	0.17	0.07	0.23
2018年	-	0.59	0.08	0.67
2019年	-	0.34	0.04	0.39
2020年	-	0.29	0.00	0.29
2021年	-	0.15	0.01	0.16
累計	-	4.70	3.80	8.50

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ベラルーシ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	ポーランド 19.18	ドイツ 13.48	米国 12.40	スウェーデン 9.80	フランス 1.90	62.36	0.22
2017年	ポーランド 33.01	ドイツ 14.55	米国 8.46	スウェーデン 8.25	フランス 2.02	71.35	0.23
2018年	ポーランド 34.15	ドイツ 14.92	米国 9.09	スウェーデン 6.85	フランス 1.96	73.46	0.67
2019年	ポーランド 39.14	ドイツ 13.53	スウェーデン 8.94	米国 7.89	英国 2.58	78.66	0.39
2020年	ポーランド 62.64	ドイツ 52.93	米国 8.21	スウェーデン 5.80	英国 1.97	140.49	0.29

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ベラルーシ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	EU Institutions 31.15	GFATM 8.37	GEF 3.82	UNICEF 0.87	WHO 0.72	1.11	46.04
2017年	EU Institutions 39.42	GFATM 7.23	GEF 2.56	UNICEF 0.87	UNDP 0.42	1.04	51.54
2018年	EU Institutions 29.59	GFATM 6.29	GEF 2.13	UNICEF 0.70	-	2.44	41.87
	-	-	-	WHO 0.70	-	-	-
2019年	EU Institutions 109.54	GFATM 5.79	GEF 2.20	UNICEF 0.83	UNHCR 0.78	1.65	120.78
2020年	EFSD 500.00	EU Institutions 162.30	GFATM 11.80	GEF 3.29	UNICEF 0.99	2.56	680.94

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	0.84億円 ・草の根・人間の安全保障無償 (4件) (0.30) ・ベラルーシにおける人道状況の悪化を受けた緊急無償資金協力(IOM連携) (0.54)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[6] ボスニア・ヘルツェゴビナ

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
326万人	6,770ドル	7.1%	129.86億ドル	高中所得国	iii/ 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対ボスニア・ヘルツェゴビナ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	1.35	0.73
2018年度	-	0.89	0.74
2019年度	-	0.51	0.82
2020年度	-	1.49	0.57
2021年度	-	5.78	0.76

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対ボスニア・ヘルツェゴビナ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	167.43	320.61	73.52

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対ボスニア・ヘルツェゴビナ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	14.14	1.31 (0.44)	0.95	16.40
2018年	41.95	0.69 -	0.55	43.20
2019年	18.12	1.04 -	0.79	19.96
2020年	11.80	0.25	0.87	12.92
2021年	-3.70	6.34 (0.43)	0.69	3.34
累計	118.80	279.22 (1.57)	71.25	469.28

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対ボスニア・ヘルツェゴビナ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	ドイツ 43.47	米国 42.90	スイス 24.36	オーストリア 20.09	スウェーデン 16.79	185.90	12.17
2017年	ドイツ 94.52	米国 56.15	スイス 22.77	スウェーデン 20.88	オーストリア 20.84	257.31	17.60
2018年	米国 49.69	日本 44.42	ドイツ 38.27	スイス 23.52	オーストリア 22.18	226.55	44.42
2019年	米国 45.78	ドイツ 44.06	スウェーデン 24.66	日本 24.02	スイス 22.82	224.11	24.02
2020年	ドイツ 80.05	米国 47.51	スウェーデン 25.13	スイス 21.77	オーストリア 20.52	244.83	19.95

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対ボスニア・ヘルツェゴビナ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	EU Institutions 235.16	IDA 50.30	OPEC Fund 21.96	OSCE 11.45	UNHCR 4.47	12.54	335.87
2017年	EU Institutions 221.36	IDA 36.14	CEB 11.88	OSCE 11.60	OPEC Fund 7.33	12.46	300.78
2018年	EU Institutions 140.33	IDA 25.06	CEB 15.87	OPEC Fund 14.00	OSCE 12.49	17.15	224.90
2019年	EU Institutions 202.61	IMF-CTF 117.72	IDA 24.71	OSCE 11.89	CEB 10.15	18.57	385.65
2020年	EU Institutions 260.54	OPEC Fund 38.99	IDA 17.47	CEB 15.97	OSCE 12.11	10.45	355.52

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	5.78億円 ・草の根・人間の安全保障無償 (5件) (0.78) ・経済社会開発計画 (1件) (5.00)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[7] 北マケドニア

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
207万人	6,130ドル	4.%	108.40億ドル	高中所得国	iii/ 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対北マケドニア援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	0.52	0.36
2018年度	-	0.54	3.57
2019年度	-	1.49	0.23
2020年度	-	1.66	0.93
2021年度	-	1.00	1.40

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対北マケドニア援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	96.89	278.25	52.44

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対北マケドニア援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-4.67	0.45	0.36	-3.85
2018年	-4.74	0.47	0.83	-3.44
2019年	-4.80	0.84	2.65	-1.30
2020年	-4.90	1.32	0.09	-3.49
2021年	-4.77	1.61	1.09	-2.06
累計	39.54	99.78	51.24	190.55

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対北マケドニア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	米国 22.85	スイス 22.10	ドイツ 9.45	スロベニア 3.00	オーストリア 2.60	70.35	0.91
2017年	米国 24.94	スイス 20.86	ドイツ 9.35	スロベニア 3.54	英国 2.52	70.88	0.81
2018年	米国 26.96	スイス 24.30	ドイツ 9.17	スロベニア 4.57	スウェーデン 4.53	84.35	1.30
2019年	スイス 26.81	米国 22.53	ドイツ 11.72	スウェーデン 5.32	-	89.01	3.50
	-	-	-	英国 5.32	-	-	-
2020年	スイス 20.43	米国 18.80	ドイツ 15.40	スウェーデン 6.97	スロベニア 6.05	82.01	1.41

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対北マケドニア経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	EU Institutions 136.25	OSCE 6.36	CEB 1.60	UNHCR 1.35	GFATM 1.19	3.01	149.76
2017年	EU Institutions 126.65	CEB 6.92	OSCE 6.60	UNHCR 1.36	UNICEF 1.03	2.91	145.47
2018年	EU Institutions 145.15	OSCE 6.95	UNICEF 1.01	CEB 0.96	IAEA 0.94	3.08	158.07
2019年	EU Institutions 104.20	CEB 6.96	OSCE 6.61	UNICEF 0.92	UNHCR 0.83	2.35	121.86
2020年	EU Institutions 259.46	OSCE 6.55	CEB 6.26	UNHCR 0.96	UNICEF 0.92	3.53	277.67

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	1.00億円 ・草の根・人間の安 全保障無償 (13件) (1.00)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[8] モルドバ

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
257万人	5,460ドル	13.9%	92.88億ドル	高中所得国	iii / 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対モルドバ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	0.55	0.75
2018年度	-	0.56	0.11
2019年度	-	0.71	0.23
2020年度	20.59	2.10	0.87
2021年度	-	15.87	0.79

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対モルドバ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	79.85	101.78	26.72

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対モルドバ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	4.93	0.59	5.53
2018年	0.07	0.77	0.36	1.21
2019年	-	0.76	0.20	0.96
2020年	-	0.72	0.55	1.26
2021年	0.10	1.39	0.73	2.22
累計	49.51	75.58	26.26	151.34

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対モルドバ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	米国 29.69	スイス 14.42	スウェーデン 13.99	ドイツ 13.16	ノルウェー 5.52	98.85	2.72
2017年	米国 30.45	スイス 15.99	スウェーデン 14.22	ドイツ 12.96	日本 5.53	100.65	5.53
2018年	米国 38.37	スウェーデン 16.04	ドイツ 13.01	スイス 11.49	チェコ 3.67	100.61	1.21
2019年	米国 39.11	スウェーデン 16.37	スイス 15.98	ドイツ 13.96	チェコ 4.53	107.34	0.96
2020年	米国 35.30	スイス 16.22	スウェーデン 15.07	ドイツ 11.95	チェコ 5.15	101.04	1.26

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対モルドバ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	EU Institutions 121.12	IDA 47.89	IMF-CTF 12.09	GFATM 7.63	CEB 3.47	10.35	202.56
2017年	EU Institutions 128.14	IDA 20.70	IMF-CTF 14.42	GFATM 10.82	IFAD 3.42	9.77	187.27
2018年	EU Institutions 120.26	IDA 36.58	IMF-CTF 11.33	GFATM 6.73	IFAD 3.82	8.13	186.83
2019年	EU Institutions 177.75	IDA 14.98	GFATM 6.71	IFAD 4.88	IMF-CTF 2.63	11.36	218.31
2020年	EU Institutions 278.94	IMF-CTF 86.78	IDA 57.41	IFAD 6.99	GFATM 4.89	13.06	448.07

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	15.87億円 ・草の根・人間の安全保障無償 (1件) (0.38) ・消防機材整備計画 (15.49)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。

[9] モンテネグロ

主要経済指標等 (2021年)

人口	GNI一人あたり	経済成長率	対外債務残高	DAC分類	世界銀行分類
62万人	9,300ドル	12.4%	105.52億ドル	高中所得国	iv / 高中所得国

出典)WDI(世界銀行)等。詳細は解説参照。

表-1-1 我が国の対モンテネグロ援助形態実績(年度別)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2017年度	-	0.27	0.04
2018年度	-	0.10	0.06
2019年度	-	0.10	0.12
2020年度	-	1.09	0.54
2021年度	-	0.14	0.67

注) 1. 年度の区分及び金額は原則、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-1-2 我が国の対モンテネグロ援助形態実績(累計)

(単位:億円)

	円借款	無償資金協力	技術協力
累計	-	41.24	10.03

注) 1. 累計金額は原則、円借款は借款契約ベース、無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は予算年度の経費実績ベースによる。

2. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-2 我が国の対モンテネグロ援助形態別実績

(支出純額ベース、単位:百万ドル)

暦年	政府貸付等(支出純額)	無償資金協力	技術協力	合計
2017年	-	0.13	0.02	0.16
2018年	-	0.24	0.04	0.28
2019年	-	0.18	0.05	0.24
2020年	-	0.94	0.09	1.03
2021年	-	0.08	0.50	0.58
累計	-1.28	12.18	9.19	20.08

注) 1. DACリスト掲載国に関する実績は、DACへの報告データに基づく。

2. 無償資金協力の()内は国際機関等経由の贈与の実績。

3. 四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-3 主要ドナーの対モンテネグロ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	合計	うち日本
2016年	ドイツ 30.47	米国 2.86	スロベニア 1.36	日本 1.12	オーストリア 1.08	40.41	1.12
2017年	ドイツ 13.80	米国 1.90	スロベニア 1.40	英国 1.34	オーストリア 1.14	22.70	0.16
2018年	ドイツ 19.84	米国 2.29	ノルウェー 1.97	スロベニア 1.61	英国 1.35	30.27	0.28
2019年	ドイツ 14.62	英国 4.86	ノルウェー 2.30	スロベニア 1.72	米国 1.70	30.36	0.24
2020年	ドイツ 24.56	米国 2.37	英国 1.91	オーストリア 1.20	スロベニア 1.10	36.10	1.03

出典)OECD/DAC

注)卒業国向け援助を除く。

表-4 国際機関の対モンテネグロ経済協力実績

(支出総額ベース、単位:百万ドル)

暦年	1位	2位	3位	4位	5位	その他	合計
2016年	EU Institutions 68.00	OSCE 2.08	UNHCR 1.67	GEF 0.98	UNICEF 0.96	0.71	74.42
2017年	EU Institutions 123.03	OSCE 1.98	GEF 1.63	UNHCR 1.50	UNICEF 0.85	1.25	130.22
2018年	EU Institutions 166.30	OSCE 1.73	GEF 1.36	UNICEF 0.94	UNHCR 0.76	1.54	172.63
2019年	EU Institutions 119.50	OSCE 1.87	UNHCR 1.31	UNICEF 0.88	UNPBF 0.66	2.22	126.45
2020年	EU Institutions 221.04	OSCE 2.12	UNICEF 1.12	IAEA 0.87	UNHCR 0.79	2.65	228.60

出典)OECD/DAC

注)四捨五入の関係上、合計が一致しないことがある。

表-5 我が国年度別・形態別実績詳細(表-1-1の最新年の詳細)

(単位:億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力
2021年度	なし	0.14億円 ・草の根・人間の安全保障無償 (2件) (0.14)	なし

注) 1. 表-1-1注釈同様。

2. 技術協力においては、当該年度開始の技術協力プロジェクト及び有償勘定技術支援・円借款附帯プロジェクトを掲載。[]内は協力期間。